

特記仕様書

工事名称	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事（建築主体工事）
工事場所	三原市宮浦五丁目
工事内容	宮浦中学校における、屋内運動場・武道場の長寿命化改修工事を行う。 [工事概要] <ul style="list-style-type: none">・屋内運動場 R C造、地上1階、延床面積1,021㎡・武道場 R C造、地上1階、延床面積354㎡
準則	公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書（各 最新版 国土交通省官房官庁営繕部監修）に基づき施工する。
別途発注工事	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事（設備工事）
支払条件等	前払金及び中間前金払・部分払等の支払について、令和8年度は請負金額の10分の4以内の額とする。
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 <ul style="list-style-type: none">・建築基準法、同施行令、同施行規則・消防法、同施行令・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則・建設業法、同施行令、同施行規則・建設工事公衆災害防止対策要綱・石綿障害予防規則・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらにおいて受注金額の増減はなきものとする。 本設計図書と不整合が確認されて設計変更（増額）が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。 商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。 設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。
工 期	本工事は請負契約締結の後、令和9年9月16日をもって工期とする。 このうち検査期間として13日間を見込んでいる。（工事の完成通知予定日は令和9年9月3日。）
留意事項	<ul style="list-style-type: none">・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。・本工事は「発注者指定型」による週休2日適用工事の対象工事であり、「三原市週休2日適用工事等実施要領（建築工事）」（令和7年6月24日改定）により工事を行うこと。

- ・工事着手前までに「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
- ・月単位の週休2日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・生成AIを積極的に活用して工事を進めること。提出書類については、必ず生成AIによるチェックを行った上で提出すること。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議（現場事務所と市役所を想定）併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用カメラ、マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事に含む。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出し、出席者に内容を共有すること。
- ・現場事務所には、HDMI規格により出力できるモニター（50インチ以上）を設置すること。
- ・現場事務所内は、無線通信（会議にて同時接続10台以上）が可能な環境とすること。
- ・騒音・振動等の発生が予想される作業を含めた工事全般について、学校と協議の上でなるべく児童・生徒等に配慮した作業計画すること。授業時間等に十分配慮して作業すること。
- ・使用する塗料は原則として水性塗料とするなど、学校に配慮すること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・騒音計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
- ・騒音計の表示盤は、近隣に対して1カ所以上を掲示すること。
- ・騒音測定については、騒音規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実にを行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、現状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
- ・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。
- ・敷地の出入口付近には、敷鉄板（下部に砕石敷）を敷き、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。
- ・工事中の雨水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて適宜中和を行うこと。

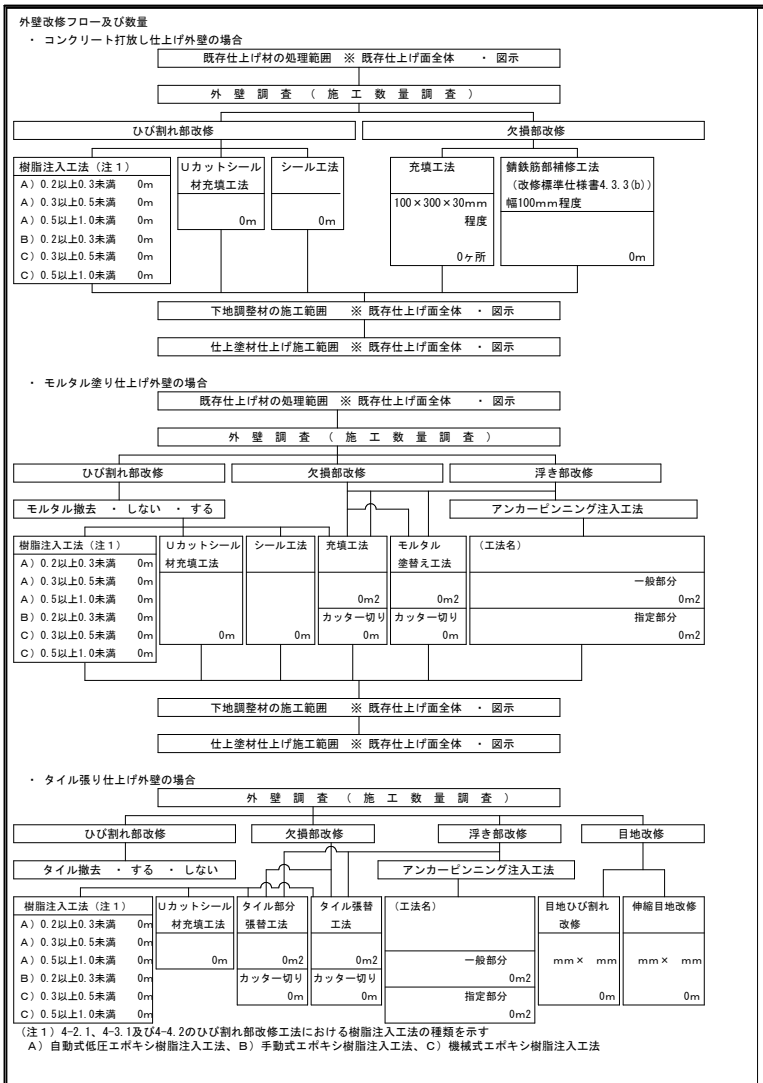
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
- ・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道使用料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
- ・家具については転倒防止対策のため、床及び壁へ固定すること。
- ・雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、枠その他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については、引渡しの日の翌日から10年間責任を負うこと。このことについて、保証書を作成して提出すること。（改修工事については、本工事の範囲）
- ・図面に水勾配がある箇所については、施工図に勾配のパーセントを記載すると共に、完成図にも勾配のパーセントを計測して記載すること。計測する箇所については監督員と協議すること。
- ・塗装の下塗り、中塗り、上塗りは原則的に色を塗り分けること。
- ・鍵のプランについては、協議の上で同一キーとする箇所を確認すること。
- ・シリンダーキーについては、既存のグランドマスターキー及びマスターキーに取り込むこと。
- ・外壁劣化状況の調査費用は本工事で見込んでいます。
- ・石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有塗材除去作業に当たっては、原則として事前に試験施工を行い、除去後の検体を採取することによって、石綿が除去されることを確認すること。分析調査費等は見込んでいます。
- ・屋内運動場西面及び南面外壁の石綿除去作業については、学校の夏季休業日期間中に施工すること。
- ・作業員に対して、新規入場教育時に石綿含有建材の使用位置を確認させること。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・石綿含有建材の除去専門業者については、建設技術審査証明協議会による「建設技術審査証明事業」の提出、又は本工事に相応した技術を有することが分かる施工実績証明等が確認できること。
- ・石綿含有建材の除去作業員については、一般健康診断・石綿健康診断・じん肺健康診断の3種類を定期的に受診していることが確認できること。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・本工事は別途契約の工事と施工上密接に関連するため、本工事の受注者が調整を行うこと。
- ・工程計画、取り合い工事及び工事用車両の出入り等については、当該別途契約の工事関係者と互いに協力し合い、相互の工事を考慮した上で十分調整し、工事の円滑な施工に務めること。
- ・足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地等は、建築主体工事に見込んでいますが、別途発注工事業者も使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。）
- ・品質証明員（技術士、1級施工管理技士もしくは1級建築士の資格を有するもので、当該工事に従事していない者）を定める場合は、「総合施工計画書」に品質証明計画と品質証明員の氏名・資格を記載し、資格証明書の写しを添付すること。
- ・品質証明員を定める場合は、品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般に行うこと。また、社内検査を実施し、報告書等を適宜提出すること。
- ・大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は現場事務所等へ待機のうえ、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。

- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
- ・熱中症対策として、従業員及び作業員が必要に応じて水分を補給できるよう作業所に給水設備を設置すること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-R(2部)にて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・完成写真（竣工写真）の撮影を外注する場合は、撮影データを三原市が利用することについての承諾書を提出すること。（押印した原本）
- ・製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）
- ・4月入学式、3月卒業式、10月末文化祭及び11月上旬シンガポール学生交流日の日程を考慮した工程とすること。
- ・配膳車のルートを確保すること。

宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
【意匠図】						【構造図】					
A-00	表紙・図面リスト	—	A-30	【屋内運動場】 控室平面詳細図・断面詳細図	1/50	A-48	【武道場】 外部仕上表	—	S-01	改修工事特記仕様書-10 (構造関係)	—
A-01	改修工事特記仕様書-1	—	A-31	【屋内運動場】 ステージ展開図	1/100	A-49	【武道場】 内部仕上表	—	S-02	改修工事特記仕様書-11 (構造関係)	—
A-02	改修工事特記仕様書-2	—	A-32	【屋内運動場】 放送室・器具庫平面詳細図・展開図	1/50	A-50	【武道場】 1階平面図・建具配置図	1/100	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図	—
A-03	改修工事特記仕様書-3	—	A-33	【屋内運動場】 外部廻り1階平面詳細図	1/50	A-51	【武道場】 屋根伏図	1/100	S-04	鉄骨構造標準図 (1)	—
A-04	改修工事特記仕様書-4	—	A-34	【屋内運動場】 外部廻り1・2階平面詳細図	1/50	A-52	【武道場】 立面図	1/100	S-05	鉄骨構造標準図 (2)	—
A-05	改修工事特記仕様書-5	—	A-35	【屋内運動場】 1階天井伏図	1/200	A-53	【武道場】 断面図	1/100	S-06	渡り廊下鉄骨ブレース改修図	1/50
A-06	改修工事特記仕様書-6	—	A-36	【屋内運動場】 2階天井伏図	1/200	A-54	【武道場】 断面詳細図 (1)	1/10・1/30			
A-07	改修工事特記仕様書-7	—	A-37	【屋内運動場】 建具表 (1)	1/100	A-55	【武道場】 断面詳細図 (2)	1/30			
A-08	改修工事特記仕様書-8	—	A-38	【屋内運動場】 建具表 (2)	1/100	A-56	【武道場】 (改修前・後)便所平面詳細図・展開図	1/50			
A-09	改修工事特記仕様書-9	—	A-39	【屋内運動場】 部分詳細図 (1)	1/10・1/20	A-57	【武道場】 (改修前・後)アプローチ廻り平面詳細図	1/50			
A-10	外壁改修工事特記仕様書-1	—	A-40	【屋内運動場】 部分詳細図 (2)	1/5・1/10 1/20・1/30	A-58	【武道場】 (改修前・後)アプローチ廻り断面詳細図 (1)	1/50			
A-11	外壁改修工事特記仕様書-2	—	A-41	【屋内運動場】 体育室コートライン図	1/100	A-59	【武道場】 (改修前・後)アプローチ廻り断面詳細図 (2)	1/50			
A-12	外壁改修工事特記仕様書-3	—	A-42	【屋内運動場】 家具参考図	1/30	A-60	【武道場】 アプローチ折版屋根・天井伏図	1/100			
A-13	工事区分表	—	A-43	【屋内運動場】 (参考図1) 各種幕 配置図	1/50	A-61	【武道場】 平面詳細図	1/10・1/20・1/50			
A-14	付近見取図・配置図	1/600・1/5000	A-44	【屋内運動場】 (参考図2) 幕詳細図	1/5・1/50	A-62	【武道場】 展開図 (1)	1/50			
A-15	【屋内運動場】 外部仕上表 (1)	—	A-45	【屋内運動場】 (参考図3) ステージ下部 椅子運搬台	1/30	A-63	【武道場】 展開図 (2)	1/50			
A-16	【屋内運動場】 外部仕上表 (2)	—	A-46	【屋内運動場】 (参考図4) 体育器具施設図	1/30	A-64	【武道場】 器具庫展開図	1/50			
A-17	【屋内運動場】 内部仕上表	—	A-47	【屋内運動場】 (参考図5) 体育器具伏図	1/20・1/100	A-65	【武道場】 天井伏図	1/100			
A-18	【屋内運動場】 1階平面図・建具配置図	1/100				A-66	【武道場】 建具表 (1)	1/100			
A-19	【屋内運動場】 2階平面図・建具配置図	1/100				A-67	【武道場】 建具表 (2)	1/100			
A-20	【屋内運動場】 屋根伏図・建具配置図	1/100				A-68	【武道場】 部分詳細図 (1)	1/2・1/10 1/30・1/50			
A-21	【屋内運動場】 立面図 (1)	1/100				A-69	【武道場】 部分詳細図 (2)	1/4・1/5 1/20・1/30			
A-22	【屋内運動場】 立面図 (2)	1/100				A-70	【武道場】 家具参考図 (1)	1/30			
A-23	【屋内運動場】 断面図	1/100				A-71	【武道場】 家具参考図 (2)	1/30			
A-24	【屋内運動場】 断面詳細図 (1)	1/20・1/50				A-72	仮設計画図 (1)	1/200			
A-25	【屋内運動場】 断面詳細図 (2)	1/50				A-73	仮設計画図 (2)	1/100			
A-26	【屋内運動場】 断面詳細図 (3)	1/50									
A-27	【屋内運動場】 体育室展開図 (1)	1/100									
A-28	【屋内運動場】 体育室展開図 (2)	1/100									
A-29	【屋内運動場】 ステージ平面詳細図・展開図	1/50									

<p>10 アルミニウム製瓦木</p> <p>種類 ・ オープン形式 (・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形) ・ 板材折曲げ形 (・ オープン形式 ・ シール形式) 本体幅 () mm 板厚 (※ 2.0mm) mm 表面処理 種別 () 種 色合等 ・ 標準色 () ・ 特注色 () 既存瓦木の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・ 行わない) 下地補修の工法 ※ 図示 板材折曲げ形の瓦木の取付方法 ※ 図示 瓦木の固定金具の工法等 1章 17 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) の倍の風圧力に対応した工法</p>		<p>(外)のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキシ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm²以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選り取り記する。 T : タイルの母材破断 M : 既調合モルタルとタイルの界面破断 MG : 既調合モルタルの母材破断 G : 既調合モルタルと下地板の界面破断 D : 下地板の母材破断</p> <p>ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるよう塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施す「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。</p> <p>(5) 接着強さ (温冷繰返し後の) 試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せかけた後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 (温冷繰返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm²以上を確保していること) (6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化粉体樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。</p>		<p>アンカーピン材 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたものを 注入口付アンカーピン材 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm</p> <p>・ モルタルを撤去して改修 ・ モルタルの材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 既製目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示</p> <p>平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする</p>		<p>4 ① 外壁複合改修構工法</p> <p>1 タイルの形状、寸法等</p> <p>2 ひび割れ部改修工法</p> <p>3 欠損部改修工法</p> <p>4 ④ 浮き部改修工法</p> <p>5 目地改修工法</p> <p>6 外壁複合改修構工法</p>		<p>4 ⑤ 外壁改修工事 仕上塗材仕上げ外壁)</p> <p>① 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整</p> <p>② 下地調整材</p> <p>③ 仕上塗材仕上げ</p> <p>4 マスチック塗材塗り</p> <p>5 外壁用塗膜防水材塗り</p>		<table border="1"> <tr> <td>工法</td> <td>処理範囲</td> <td>下地面の補修</td> </tr> <tr> <td>○ サンダー工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td>4-2 外壁改修工事 (コンクリート打直し仕上げ外壁)、</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td>4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による</td> </tr> <tr> <td>吐出力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離剤工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td>塗膜はく離剤工法の処理範囲</td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法</td> <td>※ サンダー工法、高圧水洗工法</td> <td>後の既存仕上げ面全面</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>石積含有仕上げ塗材の除去は、9章環境配慮改修工事による</p> <table border="1"> <tr> <td>※ 下地調整塗材</td> <td>・ ポリマーセメントモルタル</td> <td>[4. 5. 2]</td> </tr> <tr> <td>仕上塗材仕上げ</td> <td></td> <td>[4. 1. 5] [4. 5. 2] [表 4. 5. 1]</td> </tr> </table> <p>建築物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>仕上塗材の種類 ○ 厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <td>呼び名</td> <td>仕上げの形状</td> <td>工法</td> <td>防火材料</td> </tr> <tr> <td>※ 外装薄塗材E</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>○可とう形外装薄塗材E</td> <td>ゆず肌</td> <td>ローラー</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・ 厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <td>呼び名</td> <td>仕上げの形状</td> <td>工法</td> <td>上塗り材</td> <td>防火材料</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>○ 複層仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <td>呼び名</td> <td>仕上げの形状</td> <td>工法</td> <td>上塗り材の種類</td> <td>耐候性</td> <td>防火材料</td> </tr> <tr> <td>※ 複層塗材E</td> <td></td> <td></td> <td>溶媒 ※ 水系</td> <td>※ 耐候形 3種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>樹脂 ※ アクリル系</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>外観 ※ つやあり</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・ 複層塗材E</p> <table border="1"> <tr> <td>呼び名</td> <td>仕上げの形状</td> <td>工法</td> <td>防火材料</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> </table> <p>軽量骨材仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <td>呼び名</td> <td>防火材料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-</td> </tr> </table>		工法	処理範囲	下地面の補修	○ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-2 外壁改修工事 (コンクリート打直し仕上げ外壁)、	・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による	吐出力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上			・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	塗膜はく離剤工法の処理範囲	・ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法	後の既存仕上げ面全面			図示	※ 下地調整塗材	・ ポリマーセメントモルタル	[4. 5. 2]	仕上塗材仕上げ		[4. 1. 5] [4. 5. 2] [表 4. 5. 1]	呼び名	仕上げの形状	工法	防火材料	※ 外装薄塗材E			-	○可とう形外装薄塗材E	ゆず肌	ローラー	-	呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材	防火材料				-	-				・ 適用する	-				・ 適用する	-	呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	耐候性	防火材料	※ 複層塗材E			溶媒 ※ 水系	※ 耐候形 3種	-				樹脂 ※ アクリル系	-	-				外観 ※ つやあり	-	-	呼び名	仕上げの形状	工法	防火材料				-				-	呼び名	防火材料		-		-
工法	処理範囲	下地面の補修																																																																																																														
○ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-2 外壁改修工事 (コンクリート打直し仕上げ外壁)、																																																																																																														
・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による																																																																																																														
吐出力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上																																																																																																																
・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	塗膜はく離剤工法の処理範囲																																																																																																														
・ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法	後の既存仕上げ面全面																																																																																																														
		図示																																																																																																														
※ 下地調整塗材	・ ポリマーセメントモルタル	[4. 5. 2]																																																																																																														
仕上塗材仕上げ		[4. 1. 5] [4. 5. 2] [表 4. 5. 1]																																																																																																														
呼び名	仕上げの形状	工法	防火材料																																																																																																													
※ 外装薄塗材E			-																																																																																																													
○可とう形外装薄塗材E	ゆず肌	ローラー	-																																																																																																													
呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材	防火材料																																																																																																												
			-	-																																																																																																												
			・ 適用する	-																																																																																																												
			・ 適用する	-																																																																																																												
呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	耐候性	防火材料																																																																																																											
※ 複層塗材E			溶媒 ※ 水系	※ 耐候形 3種	-																																																																																																											
			樹脂 ※ アクリル系	-	-																																																																																																											
			外観 ※ つやあり	-	-																																																																																																											
呼び名	仕上げの形状	工法	防火材料																																																																																																													
			-																																																																																																													
			-																																																																																																													
呼び名	防火材料																																																																																																															
	-																																																																																																															
	-																																																																																																															
<p>防水改修フロー及び数量 ・ 既存保護層の補修及び処置</p> <p>防水面調査 (施工数量調査)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">ひび割れ部補修</th> <th colspan="2">欠損部改修</th> <th colspan="2">浮き部補修</th> <th colspan="2">ざい弱部補修</th> <th colspan="2">既存目地欠損部補修</th> <th colspan="2">既存目地欠損部補修 (脱気を利用する場合)</th> </tr> <tr> <td>アスファルト防水工事用シール材 (幅2mm未満)</td> <td>0m</td> <td>ウカットのうスシール材 (幅2mm以上)</td> <td>0m</td> <td>ポリマーセメントモルタル補修</td> <td>0m</td> <td>ポリマーセメントモルタル補修</td> <td>0m2</td> <td>撤去のうス、ポリマーセメントモルタル補修</td> <td>0m2</td> <td>ケレン等のうス、ポリマーセメントモルタル補修</td> <td>0m2</td> <td>アスファルト防水工事用シール材</td> <td>0m</td> <td>ポリマーセメントモルタル補修</td> <td>0m</td> <td>既存目地撤去のうスポリウレタン系シーリング材</td> <td>0m</td> </tr> </table> <p>シーリング改修 シーリング再充填工法</p> <table border="1"> <tr> <td>mm × mm</td> <td>0m</td> <td>mm × mm</td> <td>0m</td> </tr> </table>		ひび割れ部補修		欠損部改修		浮き部補修		ざい弱部補修		既存目地欠損部補修		既存目地欠損部補修 (脱気を利用する場合)		アスファルト防水工事用シール材 (幅2mm未満)	0m	ウカットのうスシール材 (幅2mm以上)	0m	ポリマーセメントモルタル補修	0m	ポリマーセメントモルタル補修	0m2	撤去のうス、ポリマーセメントモルタル補修	0m2	ケレン等のうス、ポリマーセメントモルタル補修	0m2	アスファルト防水工事用シール材	0m	ポリマーセメントモルタル補修	0m	既存目地撤去のうスポリウレタン系シーリング材	0m	mm × mm	0m	mm × mm	0m	<p>4 ① 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)</p> <p>② 欠損部改修工法</p> <p>4 ③ 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)</p> <p>1 ひび割れ部改修工法</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>3 ひび割れ部改修工法</p> <p>4 欠損部改修工法</p> <p>1 ひび割れ部改修工法</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>3 浮き部改修工法</p> <p>4 欠損部改修工法</p> <p>5 目地改修工法</p> <p>6 外壁複合改修構工法</p>		<p>4 ④ 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)</p> <p>1 ひび割れ部改修工法</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>3 ひび割れ部改修工法</p> <p>4 欠損部改修工法</p> <p>5 目地改修工法</p> <p>6 外壁複合改修構工法</p>		<p>4 ⑤ 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)</p> <p>1 ひび割れ部改修工法</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>3 ひび割れ部改修工法</p> <p>4 欠損部改修工法</p> <p>5 目地改修工法</p> <p>6 外壁複合改修構工法</p>		<p>4 ⑥ 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)</p> <p>1 ひび割れ部改修工法</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>3 ひび割れ部改修工法</p> <p>4 欠損部改修工法</p> <p>5 目地改修工法</p> <p>6 外壁複合改修構工法</p>																																																																						
ひび割れ部補修		欠損部改修		浮き部補修		ざい弱部補修		既存目地欠損部補修		既存目地欠損部補修 (脱気を利用する場合)																																																																																																						
アスファルト防水工事用シール材 (幅2mm未満)	0m	ウカットのうスシール材 (幅2mm以上)	0m	ポリマーセメントモルタル補修	0m	ポリマーセメントモルタル補修	0m2	撤去のうス、ポリマーセメントモルタル補修	0m2	ケレン等のうス、ポリマーセメントモルタル補修	0m2	アスファルト防水工事用シール材	0m	ポリマーセメントモルタル補修	0m	既存目地撤去のうスポリウレタン系シーリング材	0m																																																																																															
mm × mm	0m	mm × mm	0m																																																																																																													
<p>4 ① 外壁改修工事 (共通事項)</p> <p>1 ポリマーセメントモルタル</p> <p>2 ポリマーセメントスラリー</p> <p>3 吸水調整材</p> <p>4 既調合モルタル</p>		<p>(品質・性能) [4. 2. 2]</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>下がり量 (mm)</td> <td>5以内</td> <td>ひび割れの発生が無いこと。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表面の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ (N/mm²)</td> <td>6.0以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧縮強さ (N/mm²)</td> <td>20.0以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">接着強さ (N/mm²)</td> <td>標準条件</td> <td>1.0以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊条件</td> <td>0.5以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>透水性</td> <td>裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(品質・性能) [4. 2. 2]</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>吸水率 (72時間) (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以下</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘着係数 0.50~1.00</p> <p>改修標準仕様書表4.3.2による [4. 3. 5]</p> <p>(品質・性能) [4. 3. 5]</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>70.0%以上</td> <td>長さ変化率</td> <td>0.20%以下</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量</td> <td>1.80kg/g以上</td> <td>曲げ強さ</td> <td>4.0N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>接着強さ</td> <td>標準時 0.60N/mm²以上 ・ 湿冷繰り返し後 0.40N/mm²以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(試験方法) (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算し用いる。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに留意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を置きまじし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50:リング型わくの径 mm (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ (標準時) の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施す「150角ユニットタイル</p>		項目	品質・性能	項目	品質・性能	下がり量 (mm)	5以内	ひび割れの発生が無いこと。		表面の状態				曲げ強さ (N/mm ²)	6.0以上			圧縮強さ (N/mm ²)	20.0以上			接着強さ (N/mm ²)	標準条件	1.0以上		特殊条件	0.5以上		透水性	裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。			その他	1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。			広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水率 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上	項目	品質・性能	項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下	単位容積質量	1.80kg/g以上	曲げ強さ	4.0N/mm ² 以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm ² 以上 ・ 湿冷繰り返し後 0.40N/mm ² 以上			<p>設計</p> <p>年度</p> <p>令和 年月</p> <p>三原市都市部建築課</p>		<p>大 中 小 地域 施設 種類 工事名</p> <p>建築 宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)</p>		<p>事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治</p> <p>図面名称・縮尺 non scale (A3版-71%縮小)</p> <p>改修工事特記仕様書-3</p>		<p>図番 A-03</p>																																							
項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																																																													
下がり量 (mm)	5以内	ひび割れの発生が無いこと。																																																																																																														
表面の状態																																																																																																																
曲げ強さ (N/mm ²)	6.0以上																																																																																																															
圧縮強さ (N/mm ²)	20.0以上																																																																																																															
接着強さ (N/mm ²)	標準条件	1.0以上																																																																																																														
	特殊条件	0.5以上																																																																																																														
透水性	裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。																																																																																																															
その他	1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。																																																																																																															
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水率 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																																																											
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上																																																																																																											
項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																																																													
保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下																																																																																																													
単位容積質量	1.80kg/g以上	曲げ強さ	4.0N/mm ² 以上																																																																																																													
接着強さ	標準時 0.60N/mm ² 以上 ・ 湿冷繰り返し後 0.40N/mm ² 以上																																																																																																															



5	1	改修工法	[5. 1. 3]																						
		<table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○ アルミ製建具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>● 樹脂製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製建具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>● 鋼製軽量建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>● ステンレス製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> </table>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○ アルミ製建具	○	○	※ 建具表による	● 樹脂製建具	-	-	※ 建具表による	○ 鋼製建具	○	○	※ 建具表による	● 鋼製軽量建具	-	-	※ 建具表による	● ステンレス製建具	-	-
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																						
○ アルミ製建具	○	○	※ 建具表による																						
● 樹脂製建具	-	-	※ 建具表による																						
○ 鋼製建具	○	○	※ 建具表による																						
● 鋼製軽量建具	-	-	※ 建具表による																						
● ステンレス製建具	-	-	※ 建具表による																						
	2	防火戸	[5. 1. 4]																						
	3	見本の製作等	[5. 1. 5]																						
	4	防犯建物部品	[5. 1. 7]																						
5		アルミニウム製建具	[5. 2. 2] [5. 2. 2]																						
		性能値等	[5. 2. 2] [5. 2. 2]																						
		・ 耐風圧性の等級 ()、気密性の等級 ()、水密性の等級 ()																							
		※ 改修標準仕様書5.2.11による種別																							
		外部に面する建具の種類	○ A種 (建具符号: ○ 全て ・ 建具表による ・) ● B種 (建具符号: ● 全て ・ 建具表による ・) ○ C種 (建具符号: ○ 全て ・ 建具表による ・)																						
		防音ドア、防音サッシ	遮音性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による ・)																						
		断熱ドア、断熱サッシ	断熱性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による ・)																						
		耐震性能	建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1																						
		形状及び仕上げ	枠の見込み寸法 ※ 建具表による ・ 表面処理																						
		外部に面する建具	種別 ○ BG-1種 ・ BG-2種 ・ 色合等 ※ 標準色 () ・ 特注色 ()																						
		屋内の建具	種別 ● BC-1種 ・ BC-2種 ・ 色合等 ※ 標準色 () ・ 特注色 ()																						
		結露水の処理方法	※ 図示 ・																						
		取付工法	水切り板、ぜん板 ※ 図示 ・ 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する																						

6	網戸等	[5. 2. 3] [5. 3. 3]										
		<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・ 防虫網</td> <td>※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※ 0.25mm以上</td> <td>※ 16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・ 防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table>	種類	材質	線径	網目	・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ	・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材
種類	材質	線径	網目									
・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ									
・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm									
7	樹脂製建具	[5. 2. 2] [5. 3. 2~5]										
		性能値等										
8	鋼製建具	[5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [5. 4. 2]										
		性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・)										
9	鋼製軽量建具	[5. 2. 2] [5. 5. 2~4]										
		性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・)										
10	ステンレス製建具	[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]										
		性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・)										
11	建具用金物	[5. 7. 2. 3]										
		金物の種類及び見え掛り部の材質等										
12	鍵	[5. 8. 4]										
		マスターキー ※ 製作する (組) ・ 製作しない ○ 既存に絡込む										
13	自動ドア開閉装置	[5. 9. 2. 3]										
		引き戸用駆動装置										

14	自重式上り引戸装置	[5. 10. 3]
		性能値等 ※ 標準仕様書5.10.11による
15	重量シャッター	[5. 11. 2. 3]
		シャッターの種類
16	軽量シャッター	[5. 12. 2~4]
		開閉方式の種類
17	オーバーヘッドドア	[5. 13. 2. 3]
		セクション材料
18	木製建具	[5. 7. 2~4]
		建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・

事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課
工事完成	年度	令和 年月	

大	中	小	地域	施設	種類	工事名
					建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)

多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置	性能値	※ 改修標準仕様書5.9.2による	引き戸用検出装置	性能値	※ 改修標準仕様書5.9.3による
引き戸用検出装置	性能値	※ 改修標準仕様書5.9.3による	戸の開閉方式	※ 建具表による	防錆 ・ 適用する ・ 適用しない
自重式上り引戸装置	性能値等 ※ 標準仕様書5.10.11による	(試験方法)	性能値等 ※ 標準仕様書5.10.11による	(試験方法)	
重量シャッター	シャッターの種類	※ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防塵シャッター	外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa	開閉方式の種類	※ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式
軽量シャッター	開閉方式の種類	※ 手動式 ・ 上部電動式 (手動併用)	耐風圧強度 () N/m ²	降重物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所	※ 図示
オーバーヘッドドア	セクション材料	※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	耐風圧強度 () N/m ²	降重物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所	※ 図示
木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・	建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量	※ F☆☆☆☆	表面材のホルムアルデヒド放数量等	※ 標準仕様書16.7.2(2)(i) (a)による
	表面材の合板の種類	合板の種類	規格等	備考	
	○ 普通合板	表面の樹種	生地、透明塗料塗り (※ ラフ合板程度) ・ 不透明塗料塗り (※ しな合板程度) ・ 板面の品質 (・ 広葉樹1等) ・ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)		
	・ 天然木化粧合板	樹種名 ()	接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)		
	・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装)	表面性能 () タイプ		
	・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)	曲げ強さによる区分 ()	接着剤による区分 ()		
		難燃性による区分 ()			
	表面板の厚さ	※ 改修標準仕様書5.7.6による	引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用	・ 適用する ・ 適用しない	
			かまち戸		
			かまち樹種 ()	鏡板樹種 ()	
			見込み寸法	※ 建具表による	

20 ガラスブロック積み
21 ガラス用フィルム
ガラス
内装改修工事
1 他の部位との取り合い等
2 既存床の撤去及び下地修繕
3 既存壁の撤去及び下地修繕
4 製材
5 造作用集材材

6 造作用単板積層材
7 合板等
8 接合具等
9 防蟻・防蟻処理
10 内部間仕切り輪及び床組み
11 窓、出入口その他
12 床板張り
13 壁及び天井下地

14 軽量鉄骨天井下地
15 軽量鉄骨壁下地
16 ビニル床シート
17 ビニル床タイル
18 接着剤
19 ビニル幅木
20 ゴム床タイル
21 カーペット敷き

野縁等の種類
スタッド、ランナの種類
ビニル床シート
ビニル床タイル
接着剤
ビニル幅木
ゴム床タイル
カーペット敷き

22	合成樹脂塗料	[6. 1.0. 2. 3]			
		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
23	防じん用塗料	材料 水性アクリル系樹脂塗料とし、製造所の指定する製品とする 工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗りとは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m ² 以上とする 仕上げの種類(※ 平滑仕上げ・防汚仕上げ)(※ 標準色・ JIS K 5970Iに基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆			
		[6. 1.1. 2~6]			
24	フローリング張り	単層フローリング			
		種類	工法	樹種	厚さ(mm) 間伐材等の適用
25	畳敷き	複合フローリング			
		種類	工法	樹種	種別 厚さ(mm) 間伐材等の適用
26	せっこうボードの他ボード及び合板張り	MD F、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書19.7.2(2)(i)の(a)~(d)のいずれか			
		種別	A種・B種・C種	D種(農床・KT-I・KT-II ※KT-III・KT-K・KT-N)	下地の種類 標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロロ)

27	壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ [6. 1.4. 2. 3]			
		施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考
28	モルタル塗り	モルタル・せっこうプラスター面の素地ごしらの種類 ※B種 コンクリート面の素地ごしらの種類 ※B種 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらの種類 ※B種			
		モルタル	※ 現場調合材料・既調合材料(材料)	既製目地材 〇 捨ける 施工箇所() 形状(※ 図示)	
29	タイル張り	伸縮調整目地の位置 床タイル(※ 縦、横とも4m以内ごと ※ 図示) 床タイル以外(※ 図示)			
		施工箇所	再仕材料	吸水率による区分	うわぐすり 役物 色 耐摩耗性 耐腐 備考

30	セルフレベリング材塗り	[6. 1.7. 2. 3]			
		項目	品質・性能	項目	品質・性能
31	材料	[7. 1. 3]			
		項目	品質・性能	項目	品質・性能

32	錆止め塗料塗り	[7. 4. 2. 3]			
		数値面	SOP	新規見え掛り	・A種
33	仕上げ塗料塗り	[7. 5. 2~7. 1. 3. 2]			
		塗装の種類	塗装面	工法	備考
34	8 耐震改修工事	[9. 1. 1. 3~5]			
		調査	石綿含有建材の事前調査	[9. 1. 1. 3~5]	
35	9 環境配慮改修工事	[9. 1. 1. 3~5]			
		調査	石綿含有建材の事前調査	[9. 1. 1. 3~5]	

2	外断熱改修工事	測定方法 ○ 自動測定器による測定	3	断熱・防露改修工事	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・断熱材打込み工法	1	フリーアクセスフロア	（20.2.2）	表示	案内用記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 ・ 窓名札、ビクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示			
		測定名称 ・測定4 ・測定5 ・測定（ ）									測定方法 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称 ・測定4 ・測定5 ・測定（ ）	測定方法 メンブレインフィ ルタ直径 (mm) 25 試料の吸引流量 (l/min) 5 試料の吸引時間 (min) 30
2	外断熱改修工事	石綿含有建材の処理 ○ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 囲形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）	4	屋上緑化改修工事	[9.4.2~4]	10	その他	（20.2.2）	表示	（20.2.11）			
		石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし ・ 破砕して除去 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 囲形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）									石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去した石綿含有成形板の処分 ○ 石綿含有石こうボード ※ 埋立処分（管理型最終処分場） ○ 石綿含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）	石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去 除去対象範囲 ※ 図示 養生方法 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ○ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）	石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による 除去工法 ※ 石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン工法 ・ 集じん装置付き超高压水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度） ・ 集じん装置付き超高压水洗工法（100MPa以上） ・ 超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用） ・ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ・ 剥離剤併用超高压水洗工法（30～50MPa程度） ・ 剥離剤併用超高压水洗工法（100MPa以上） ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ○ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 除去対象範囲 ※ 図示 作業場の隔離 ※ 行わない ○ 行う 試験施工 ※ 行わない ○ 行う 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ○ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ○ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※ 改修標準仕様書9.1.3(3)による 確認及び後片付け ※ 改修標準仕様書9.1.3(4)の(7)、(9)、(5)及び(9)による
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治	図面名称・縮尺 non scale (A3版-71%縮小)	図番	
工事完成	年度	令和 年月	三原市都市部建築課			建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事（建築主体工事）			改修工事特記仕様書-7	A-07		

9	床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製</td> <td>・ 450×450 ※ 600×600</td> <td>・ 一般形 ・ 密閉形</td> <td>・ 屋内外用 ・ 屋内用</td> </tr> <tr> <td colspan="4">密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)</td> </tr> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">受持材 蓋枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度</td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td>鋼製</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>二重蓋の中蓋</td> <td>鋼製</td> <td>JIS G 5501のFC150、FC200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="3">塩化ビニル樹脂製等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目地材</td> <td>黄銅</td> <td>JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">底板材コーナーステンレス鋼板</td> <td>ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム板</td> <td>JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鋼材</td> <td>—</td> <td>鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂積付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>パッキン材</td> <td colspan="3">塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパパー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの</td> </tr> <tr> <td>アンカー材</td> <td colspan="3">鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>取手</td> <td colspan="3">黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼製、ステンレス鋼製、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td> </tr> <tr> <td>鍵</td> <td colspan="3">黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする</td> </tr> <tr> <td>蓋の耐荷重性能</td> <td colspan="3">蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。</td> </tr> <tr> <td>受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験</td> <td colspan="3">試験体は、張物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10</td> <td rowspan="2">手すり</td> <td> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ</td> <td>・ クリアラッカー ・ HL程度 ・ SOP ・ EP-G</td> <td>・ 35 ・ 45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ビニル製ハンドレール</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>天井見切り縁等</td> <td colspan="2">壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材質 ※ アルミニウム既製品 ・ ビニル既製品</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">12</td> <td rowspan="2">視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導用ブロック)</td> <td colspan="2">(1.1.2.2、1.9.2.2)</td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">13</td> <td rowspan="2">鉄筋</td> <td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ SD295A</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">14</td> <td rowspan="2">浴槽金網</td> <td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 浴槽金網</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">15</td> <td rowspan="2">鉄筋の継手及び定着</td> <td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> <p>鉄筋の継手の方法等</p> <p>※ 重ね継ぎ手</p> <p>鉄筋の重ね継手の長さ</p> <p>※ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継手の長さのうち大きい値とする</p> <p>鉄筋の定着長さ</p> <p>※ 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による</p> <p>機械式定着工法</p> <p>・ 適用する</p> <p>適用箇所 ・ 図示による</p> <p>種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 螺合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定</p> </td> <td></td> </tr> </table>	材質	寸法 (mm)	形式	備考	・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600	・ 一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ・ 屋内用	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)				部材名	材質	屋内外用	屋内用	受持材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	鋼製	—	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	二重蓋の中蓋	鋼製	JIS G 5501のFC150、FC200		その他	塩化ビニル樹脂製等			目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604		ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304		底板材コーナーステンレス鋼板	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	—	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂積付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパパー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの			アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの			取手	黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼製、ステンレス鋼製、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする			鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする			蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。			受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験	試験体は、張物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。			10	手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ</td> <td>・ クリアラッカー ・ HL程度 ・ SOP ・ EP-G</td> <td>・ 35 ・ 45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ビニル製ハンドレール</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ	・ クリアラッカー ・ HL程度 ・ SOP ・ EP-G	・ 35 ・ 45		○ビニル製ハンドレール					11	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材質 ※ アルミニウム既製品 ・ ビニル既製品		12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導用ブロック)	(1.1.2.2、1.9.2.2)		<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製			屋外	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製				突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による				13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)		<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ SD295A</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	備考	※ SD295A	※ D16以下		※ SD345	※ D19以上			14	浴槽金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)		<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 浴槽金網</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※ 浴槽金網			・ 鉄筋格子				15	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)		<p>鉄筋の継手の方法等</p> <p>※ 重ね継ぎ手</p> <p>鉄筋の重ね継手の長さ</p> <p>※ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継手の長さのうち大きい値とする</p> <p>鉄筋の定着長さ</p> <p>※ 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による</p> <p>機械式定着工法</p> <p>・ 適用する</p> <p>適用箇所 ・ 図示による</p> <p>種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 螺合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定</p>	
		材質	寸法 (mm)	形式	備考																																																																																																																																																																						
・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600	・ 一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ・ 屋内用																																																																																																																																																																								
密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)																																																																																																																																																																											
部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																																																																																																																								
受持材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15																																																																																																																																																																									
	ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度																																																																																																																																																																								
鋼製	—	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																								
二重蓋の中蓋	鋼製	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																																																																																																																									
その他	塩化ビニル樹脂製等																																																																																																																																																																										
目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604																																																																																																																																																																									
	ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304																																																																																																																																																																									
底板材コーナーステンレス鋼板	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430																																																																																																																																																																								
	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	—																																																																																																																																																																								
	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂積付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																								
パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパパー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの																																																																																																																																																																										
アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの																																																																																																																																																																										
取手	黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼製、ステンレス鋼製、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																																																																																																										
鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする																																																																																																																																																																										
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。																																																																																																																																																																										
受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験	試験体は、張物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。																																																																																																																																																																										
10	手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ</td> <td>・ クリアラッカー ・ HL程度 ・ SOP ・ EP-G</td> <td>・ 35 ・ 45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ビニル製ハンドレール</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ	・ クリアラッカー ・ HL程度 ・ SOP ・ EP-G	・ 35 ・ 45		○ビニル製ハンドレール																																																																																																																																																																
		材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																																																																																																																						
・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ	・ クリアラッカー ・ HL程度 ・ SOP ・ EP-G	・ 35 ・ 45																																																																																																																																																																									
○ビニル製ハンドレール																																																																																																																																																																											
11	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材質 ※ アルミニウム既製品 ・ ビニル既製品																																																																																																																																																																									
12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導用ブロック)	(1.1.2.2、1.9.2.2)																																																																																																																																																																									
		<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製			屋外	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製																																																																																																																																																
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																																								
屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0																																																																																																																																																																								
	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																																																																																																																								
	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・																																																																																																																																																																								
	・ コンクリート製																																																																																																																																																																										
屋外	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																																																																																																																								
	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・																																																																																																																																																																								
	・ コンクリート製																																																																																																																																																																										
突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による																																																																																																																																																																											
13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)																																																																																																																																																																									
		<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ SD295A</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	備考	※ SD295A	※ D16以下		※ SD345	※ D19以上																																																																																																																																																																	
種類の記号	呼び名	備考																																																																																																																																																																									
※ SD295A	※ D16以下																																																																																																																																																																										
※ SD345	※ D19以上																																																																																																																																																																										
14	浴槽金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)																																																																																																																																																																									
		<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 浴槽金網</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※ 浴槽金網			・ 鉄筋格子																																																																																																																																																																		
種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																																																																																																																									
※ 浴槽金網																																																																																																																																																																											
・ 鉄筋格子																																																																																																																																																																											
15	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)																																																																																																																																																																									
		<p>鉄筋の継手の方法等</p> <p>※ 重ね継ぎ手</p> <p>鉄筋の重ね継手の長さ</p> <p>※ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継手の長さのうち大きい値とする</p> <p>鉄筋の定着長さ</p> <p>※ 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による</p> <p>機械式定着工法</p> <p>・ 適用する</p> <p>適用箇所 ・ 図示による</p> <p>種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 螺合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定</p>																																																																																																																																																																									

16	コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)									
		<table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 24</td> <td>※ 標準仕様書表6.2.2による</td> <td>※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td> </tr> </table>	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランブ (cm)	適用箇所	※ 24	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)			
設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランブ (cm)	適用箇所									
※ 24	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)									
17	セメント	種類 (6.3.1)	<p>※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は</p> <p>フライアッシュセメントA種</p> <p>・ 高炉セメントB種</p> <p>・ フライアッシュセメントB種</p>								
		8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)	<p>せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 12mm)</p> <p>・ メッシュ型枠</p> <p>・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m²h²℃/kCa以上</p>								
19	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランブ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 普通コンクリート</td> <td>※ 18</td> <td>※ 15</td> <td>※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(10)による</td> </tr> </table>	種類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランブ (mm)	施工箇所	※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(10)による
		種類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランブ (mm)	施工箇所						
※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(10)による								
種類	<p>※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は</p> <p>フライアッシュセメントA種</p> <p>・ 高炉セメントB種</p> <p>・ フライアッシュセメントB種</p>										
20	床コンクリート直均し仕上げ	仕上げの平坦さは、図示以外は下記による (8.1.4)(表8.1.5)									
		<table border="1"> <tr> <th>改修標準仕様書表8.1.5による平坦さの種類別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>a種</td> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式) ()</td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ()</td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()</td> </tr> </table>	改修標準仕様書表8.1.5による平坦さの種類別	施工箇所	a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式) ()	b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ()	c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()	
改修標準仕様書表8.1.5による平坦さの種類別	施工箇所										
a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式) ()										
b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ()										
c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()										
21	あと施工アンカー	(14.1.3)									
		6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記によるあと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない									
22	トイレベース	(20.2.5)									
		<table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部形状</th> <th>ドアエッジ材質</th> </tr> <tr> <td>※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※ 幅木タイプ</td> <td>※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材</td> </tr> </table>	表面材の材料	脚部形状	ドアエッジ材質	※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材			
表面材の材料	脚部形状	ドアエッジ材質									
※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材									
(品質・性能)											
(1) パネル											
項目	品質・性能										
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。										
裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。										
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。										
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき										
エッジ材	処理を施した材料とする。										
小口	防水処理を施す。										
(2) 構造金物											
項目	品質・性能										
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。										
(3) 付属金物											
項目	品質・性能										
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。										
ラッチセット											
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。										
(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。											
(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性											
項目	品質・性能										
	耐薬品性及び耐汚染性	耐引ひかき性									
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。	—									
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。										
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。									
ポリエステル樹脂系化粧板MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。										
ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。										
(試験方法)											
(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法-第2部: ドア用金物」に規定する試験による。											
(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。											
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上											

建築設計基準		項目		特記事項		扉	特定室等及び避難経路の扉重量がある扉	A D S D L D S S D	R C 壁に設置する特定室等及び避難経路の扉 ・耐震ドア 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ※建具表による)	その他の建築非構造部材	フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア	20章 フリーアクセスフロアの特記事項による																													
外壁	外壁	CW (メタル P C a)	CW工事 取付方法、性能等 地震力に対する安全性	設計用震度		ガラス	ガラス	ガラス	RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉 ・耐震ドア 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ※建具表による)		エキスパンションジョイント金物	エキスパンションジョイント金物	20章 フリーアクセスフロアの特記事項による	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>階区分</th> <th>建築物間のクリアランス (mm)</th> <th>変位追随量 (mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>断熱性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>() 階 ～ () 階</td> <td>・60 ・100 ・150</td> <td>(避難経路の床等) ・無し ・無し ・以上 (その他) ・以上</td> <td>・有り () ・無し ・無し ・無し ・以上</td> <td>・有り () ・無し ・無し ・無し ・以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>() 階 ～ () 階</td> <td>・60 ・100 ・150</td> <td>(避難経路の床等) ・無し ・無し ・以上 (その他) ・以上</td> <td>・有り () ・無し ・無し ・無し ・以上</td> <td>・有り () ・無し ・無し ・無し ・以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材質	階区分	建築物間のクリアランス (mm)	変位追随量 (mm)	耐火性能	断熱性能	備考	・アルミニウム製	() 階 ～ () 階	・60 ・100 ・150	(避難経路の床等) ・無し ・無し ・以上 (その他) ・以上	・有り () ・無し ・無し ・無し ・以上	・有り () ・無し ・無し ・無し ・以上		・アルミニウム製	() 階 ～ () 階	・60 ・100 ・150	(避難経路の床等) ・無し ・無し ・以上 (その他) ・以上	・有り () ・無し ・無し ・無し ・以上	・有り () ・無し ・無し ・無し ・以上								
				材質	階区分				建築物間のクリアランス (mm)	変位追随量 (mm)				耐火性能	断熱性能	備考																										
				・アルミニウム製	() 階 ～ () 階				・60 ・100 ・150	(避難経路の床等) ・無し ・無し ・以上 (その他) ・以上				・有り () ・無し ・無し ・無し ・以上	・有り () ・無し ・無し ・無し ・以上																											
				・アルミニウム製	() 階 ～ () 階				・60 ・100 ・150	(避難経路の床等) ・無し ・無し ・以上 (その他) ・以上				・有り () ・無し ・無し ・無し ・以上	・有り () ・無し ・無し ・無し ・以上																											
				構造体の層間変形に対する追従性					層間変形角					構造体の層間変形に対する追従性 以下の構造体の層間変形角に対して、破壊、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。 構造体の層間変形角 ・ 1 / 100 ・ 1 / 200 ・ /																												
				層間変形角 1 / 300 に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。					天井					特定天井	軽鋼鉄骨天井 下地 (特定天井)	範囲 ※図示 特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による。 特定天井告示 (平成25年国土交通省告示第771号) による特定天井の設計用震度 検証ルート ()	<table border="1"> <thead> <tr> <th>室名</th> <th>階</th> <th>設計用水平震度 (KH)</th> <th>設計用鉛直震度 (KV)</th> <th>クリアランス (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	室名	階	設計用水平震度 (KH)	設計用鉛直震度 (KV)	クリアランス (mm)																				
				室名	階				設計用水平震度 (KH)	設計用鉛直震度 (KV)				クリアランス (mm)																												
外壁パネルの耐震性		天井		特定天井以外の在来工法による吊り天井の落下により著しい影響がある室のもの	軽鋼鉄骨天井 下地 (吊り天井)	範囲 ※図示 標準仕様書 14.4.1～14.4.4に加えて、天井下地材における耐震性を考慮した補強は、以下の1)～4)のとおりとする。 1) 野縁受けは、相互にジョイントを差し込んだ上でねじ留め。 2) 野縁と野縁受けの隙り合うジョイントの位置は、互いに1m以上離し、千鳥状に配置。 3) 野縁受けと吊りボルトの接合に用いるハンガーは、ねじ留め等の措置 (閉き止め) を講じる。 4) 野縁と野縁受けの接合に用いるクリップは、特定天井告示 (平成25年国土交通省告示第771号) 第3項に適合する天井に用いるもの又は耐風圧クリップ相当の緊締度を「新たな特定天井の技術基準 (天井と周囲の壁等との間に隙間を設けない仕様) の解説 (平成28年7月版)」 (国土交通省国土技術政策総合研究所) の「付録1クリップの接合部の衝撃試験」により確認されたものを使用する。なお、当該クリップは、JISA6517によらなくてもよいものとする。																																				
構造体の層間変形に対する追従性		天井		在来工法の吊り天井	軽鋼鉄骨天井 下地	—																																				
外壁パネルの耐震性		天井		システム天井	システム天井	※グリッドタイプ ・システム天井 範囲 ※図示 耐震性 以下の設計用震度の地震力及び構造体の層間変形角に対して、脱落しないものとする。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度 (KH) ※1.0 設計用鉛直震度 (KV) ※0.5 構造体の層間変形角 ・ 1 / 100 ・ 1 / 200 ・ /																																				
構造体の層間変形に対する追従性		間仕切り		間仕切り	A L Cパネル	間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性 設計用震度 設計用水平震度 (KH) ※1.0 設計用鉛直震度 (KV) ※0.5 構造体の層間変形角 ・ 1 / 100 ・ 1 / 200 ・																																				
構造体の層間変形に対する追従性		間仕切り		間仕切り	A L Cパネル	間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性 設計用震度 設計用水平震度 (KH) ※1.0 設計用鉛直震度 (KV) ※0.5 構造体の層間変形角 ・ 1 / 100 ・ 1 / 200 ・																																				
構造体の層間変形に対する追従性		間仕切り		間仕切り	A L Cパネル	間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性 設計用震度 設計用水平震度 (KH) ※1.0 設計用鉛直震度 (KV) ※0.5 構造体の層間変形角 ・ 1 / 100 ・ 1 / 200 ・																																				
構造体の層間変形に対する追従性		間仕切り		間仕切り	A L Cパネル	間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性 設計用震度 設計用水平震度 (KH) ※1.0 設計用鉛直震度 (KV) ※0.5 構造体の層間変形角 ・ 1 / 100 ・ 1 / 200 ・																																				
外壁	仕上げ	石工事	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																													

固定方法 ・壁固定 (図示)
・床固定 (図示)

以下の設計用震度の地震による引抜き力に対して固定金具に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないものとする。ただし、所定の応力度以内にあたる事の確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震による引抜き力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される) が定める値とする。

設計用水平震度 (KH) ※1.0
設計用鉛直震度 (KV) ※0.5

家具名称	設置場所	備考
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

・軽鋼鉄骨壁下地等への補強 (※図示)
※収納物の取乱防止措置 (ラッチ機構、ロック機構等) を講ずる。

名称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理	
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.2.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	
改修前 改修後							
工程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 参考数量:		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 参考数量:		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm () ひび割れ幅 0.5~1.0mm () ()内は挙動ひび割れ数量を示す	
名称		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理	
記号・仕様		B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4.3.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 [標仕4.3.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm以上	
改修前 改修後							
工程		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm () ひび割れ幅 0.5~1.0mm () ()内は挙動ひび割れ数量を示す		①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量:		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、②⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	
名称		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理		E 浮き部処理	
記号・仕様		C-1 打放し面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつき		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.11] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	
改修前 改修後							
工程		①錆鉄筋周辺のはつき ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤はつき部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、③⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量:		①カッター縁切り ②浮き部はつき ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④はつき部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、③⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:		①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔跡埋戻し [バテ状エポキシ樹脂] 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ①一般部分: ②指定部分: ③峽幅部:	
事業年度		設計		大 中 小 地域 施設 種類		工事名	
年度		令和 年月		三原市都市部建築課		宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	
工事完成		年度		大 中 小 地域 施設 種類		事務所名・建築士登録番号・氏名	
年度		令和 年月		建築		有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	
						図面名称・縮尺 (A3版-71%縮小) 図番	
						外壁改修特記仕様書-1 A-10	

名称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10]									
改修前	改修後										
工程		①ピン固定部穿孔	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑩セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
		②孔内エアークリーニング	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所		一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
		③エポキシ樹脂注入	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所		一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
		④ステンレスピン挿入	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所		一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
		⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所		一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
					⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)						
		①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分) ②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：									

名称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.3.13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.11]									
改修前	改修後										
工程		①ピン固定部穿孔	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
		②孔内エアークリーニング	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所		一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
		③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所		一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
		④ステンレスピン挿入	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所		一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
		⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所		一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
					⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)						
		①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分) ②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：									

名称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.14] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.12]									
改修前	改修後										
工程		①穿孔	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所		一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
		②孔内エアークリーニング	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑥サンダーケレン	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所		一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
		③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所		一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
		④エポキシ樹脂注入	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	一般部 指定部	ヶ所 ヶ所		一般部 指定部	ヶ所 ヶ所	
					※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。						
					参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：						
		①一般部分標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分) ②指定部分標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ● 注入口付アンカーピン固定部									

名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.13]	
改修前	改修後		
工程		①ピン固定部穿孔 一般部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 ケ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 ケ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 ケ所
		⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 ケ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：	
		①一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分) ②指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ● 注入口付アンカーピン固定部 ○ 注入口	

名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.3.16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ	
改修前	改修後		
工程		①ピン固定部穿孔 一般部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 ケ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [※ポリマーセメントスラリー] 一般部 ケ所	⑥注入口穿孔 一般部 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し [※ポリマーセメントスラリー] 一般部 ケ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：
		D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4.4.15] ①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン（注入口付）挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ] 参考数量：	

名称		E 欠損部処理	
記号・仕様		E-1 打直し面充填工法 [標仕4.2.8]	E-2 打直し面欠損部処理 [標仕4.2.3]
改修前	改修後		
工程		①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③欠損はつり部埋戻し [※ポリマーセメントスラリー・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 参考数量：	①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤欠損はつり部埋戻し [※ポリマーセメントスラリー・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 参考数量：
		E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4.3.3] ①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④欠損はつり部埋戻し [※ポリマーセメントスラリー・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による) ※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 参考数量：	F 外壁複合改修工法 F 外壁複合改修工法 *印寸法は80程度とする ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦シーリング打設 (MS-2) モルタル下地突出部がある場合は撤去し、水切り目地がある場合は穴埋めをすること。
		参考数量 ネット張り m ² 水切 m	

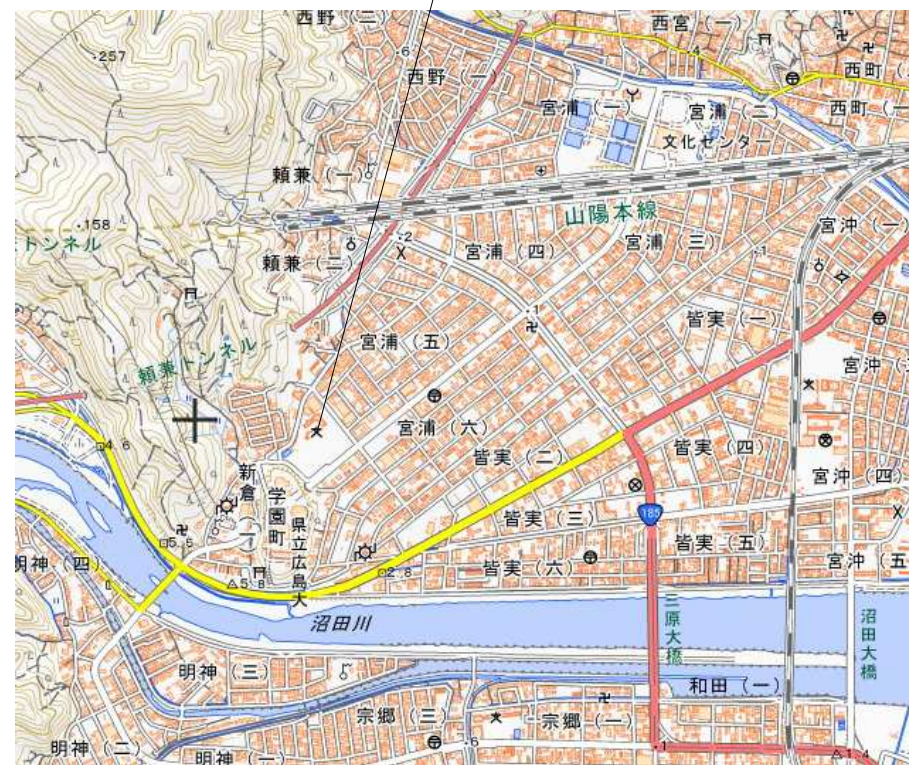
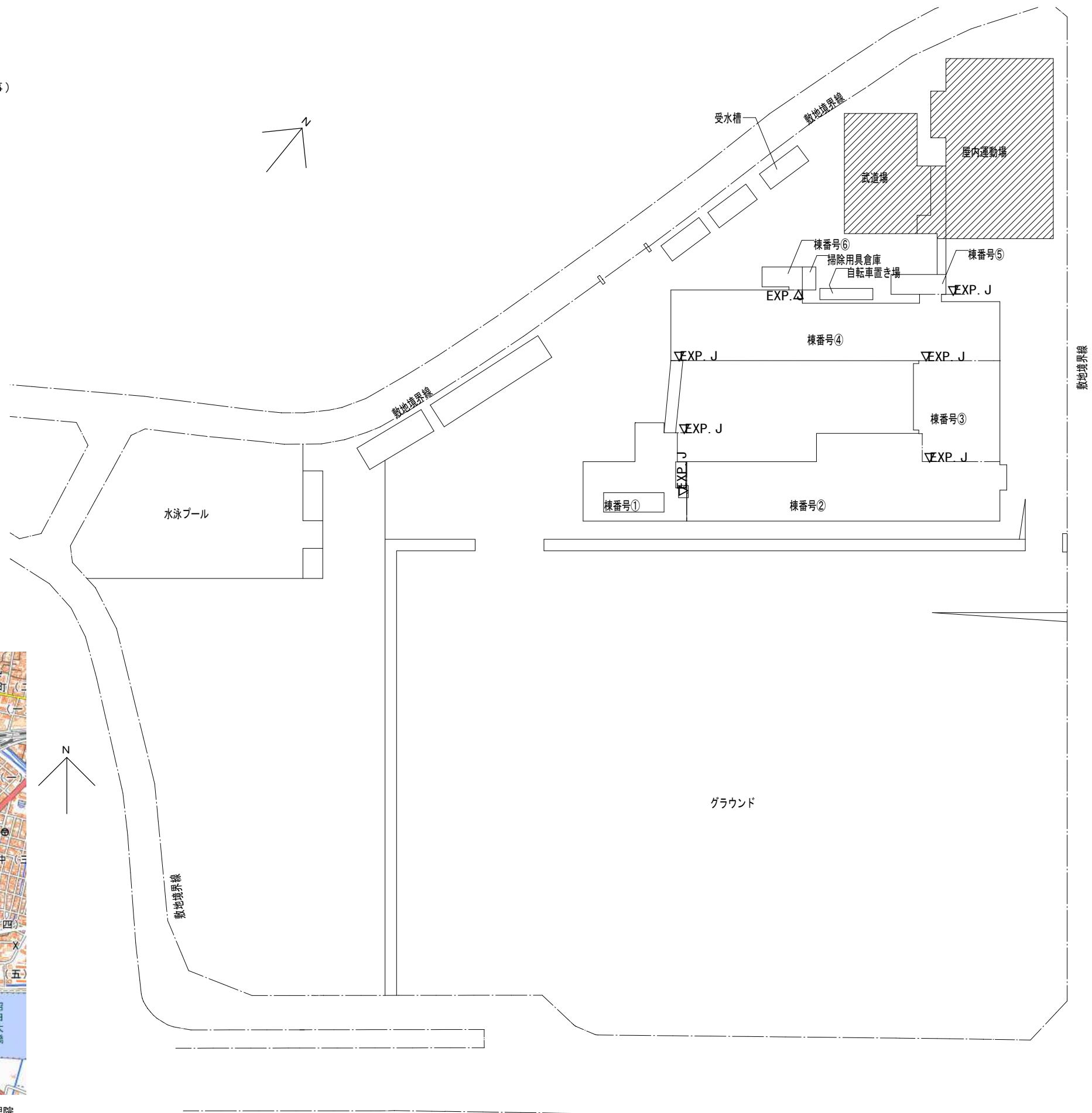
工事区分表

区分は○印を適用する。●印が有る場合は●印を適用する。

Main table with columns for '項目' (Item), '備考' (Remarks), and '工事区分' (Construction Division). It lists various construction tasks such as '貫通スリーブ' (Penetration Sleeve), '昇降機' (Elevator), and '電気配線' (Electrical Wiring) with checkboxes for different categories.

■ 工事概要

1. 工事名称：宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事（建築主体工事）
2. 工事場所：広島県三原市宮浦五丁目29-1
3. 工事内容：
 - ・屋内運動場 内部・外部改修工事
 - ・武道場 内部・外部改修工事
 - ・上記に伴う、折版屋根一時撤去・再取付工事



改修場所
広島県三原市宮浦五丁目29番1号

付近見取図 S=1/5000

出典：国土地理院
No Scale

配置図 S=1/600

改修範囲を示す

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/600, 5000 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事（建築主体工事）	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	付近見取図・配置図	A-14

外部仕上げ表			改修前																	改修後																				
符号	場所・部位	下地	仕上げ	下地補修																	下地調整																	符号	仕上げ	備考
				コンクリート打放し仕上げ							モルタル塗り仕上げ										既存塗膜等の除去			下地調整 (塗装面下地)																
				ひび割れ部			欠損部				ひび割れ部					欠損部					(1)	(2)	(3)	(イ)	(ロ)	下地調整 (塗装面下地)		(ハ)	(ニ)	(ホ)	(ヘ)									
				(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(1)	(2)	(3)	(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)	(ヘ)															
樹脂注入工法	Uカット 0.2mm 1.0mm	Uカット 0.2mm 1.0mm	Uカット 0.2mm 1.0mm	シール工法	充填工法	充填工法 (発錆部分)	充填工法 (番線・セハ跡等)	樹脂注入工法	Uカット 0.2mm 1.0mm	Uカット 0.2mm 1.0mm	シール工法	充填工法	充填工法 (撤去部)	充填工法 (発錆部分)	モルタル 塗替え工法 (26mm以上)	サンダー工法	高圧水洗工法 30MPa以上	塗膜はく離剤工法	水洗い工法 9MPa以上	ポリマーセメントペースト	下地調整材 C-2	鉄鋼面	モルタル面 ボード面	V.P.管面	コンクリート面	鋼製建具面														
26	壁樋 (養生管)	S	SOP塗 (撤去)																									26	白が入管125A×1800 (新設)											
27	床下換気口	S	錆鉄製300x150 ステンレス防虫網付 (既存のまま)																									27	コーキング塗 (新設)	四周シーリング MS-2 10x10 (打替)										
28	犬走	C	防水モルタル塗 (既存のまま)																									28												
29	階段 (1), (2) 踏面, 蹴上	C	防水モルタル塗 (既存のまま)																									29	クリーニング	ステンレススリッパ (撤去・新設)										
30	階段 (3) ~ (6) 踏面, 蹴上	C	防水モルタル塗 (既存のまま)																									30	クリーニング	くつふきマット (既存のまま) ステンレススリッパ (既存のまま)										
31	階段 (1) ~ (6) 立上, 巾木	C	防水モルタル塗 (既存のまま)																									31												
32	庇 (4), (5)	C	防水モルタル塗 (既存のまま)																									32	ウレタン塗膜防水 (着色) [X-2] (新設)											
33	庇 (4), (5) (軒先)	C	防水モルタル塗 (既存のまま)																									33	ウレタン塗膜防水 (着色) [X-2] (新設)											
34	7&ミ製防球格子	-	- (一時撤去)																									34	- (復旧)											
35	7&ミ合金製畜糞マット	-	900×600 (既存のまま)																									35	900×600 (既存のまま)											
36	壁樋 (養生管)	S	SOP塗 (既存のまま)																									36	SOP塗 (塗替)											
37	鉄製格子	S	錆鉄製 (既存のまま)																									26	コーキング塗 (新設)											

参考数量

略号 C : コンクリート
M : モルタル塗り
S : 軽量鉄骨
SOP : 合成樹脂調合ペイント
防水形複層塗材 : 防水形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材
複層塗材RC : 水性エポキシ樹脂エマルジョン系複層仕上塗材

特記事項			
1 外壁改修については、設計時の全数調査報告書を基に、下地補修の前にひび割れ、コンクリートの剥落、タイルひび割れ・浮き及び仕上げ塗材の劣化部分等の不良箇所を十分に調査して、施工数量調査報告書及び工事施工計画書を作成し、監督員の承諾を受けた後、改修に着手すること。	3 本工事に支障となるものは、一時取外し、支障のないよう復旧すること。	7 屋外既設 防水層 (立上り共) は、撤去とする。脱気テープは#3.0mm程度とする。	で除去を行うこと。
2 外部建具周囲・打継目地等のシーリングは既存シーリング材を除去後打替えとする。 ※ シーリングの打替えを行う場合は、既存シーリング材及びバックアップ材を除去し、下地及び除去したシーリング材について監督員の確認を受けた後に施工すること。	4 水洗い工法は、高圧水洗機 (9MPa以上) を使用して、粉化物・付着物等の除去、清掃を行う。	8 既存塗膜壁面で脆弱と思われる箇所については、付着強度が1.0 Nmm ² 以上であることを各面3ヶ所以上であることを確認すること	(3) アスベストが飛散することのないよう「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル 令和3年3月 (厚生労働省、環境省)」及び「建築物等の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針 平成28年4月 (国立研究開発法人建築研究所、日本建築仕上材工業会)」等を参考に適切に施工すること。
また、除去したシーリング材は重量を測り、全量の写真撮影を行うこと。	5 クリーニングは、金属、建具及びガラスに適合する洗剤での水洗い程度とする。	9 外壁のひび割れから常時漏水が認められた場合は、別途漏水防止工事を行う必要があるため、監督員と協議すること。	12 硬質塩化ビニル製雨樋のSOP塗りは、C-2種を適用する。下地調整は、研磨紙すりによる・目荒しの上、溶剤ふきにより油類の除去を行う。
	6 外壁塗材の除去 (1) 改修範囲内の塗材除去を行うこと。 (2) 除去作業については、平らな面を集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法で行い、建具取合い・出隅・入隅等を超音波ケレン工法で行うこと。	10 軒裏及び外壁のリッ吹付は、アスベストを含有している。 11 アスベスト含有仕上塗材等の除去 (1) 改修範囲内のアスベストは全面除去を行うこと。 (2) 除去作業については、「泡噴出+集塵装置付湿式ディスクグラインダーケレン工法」	

[屋内運動場]

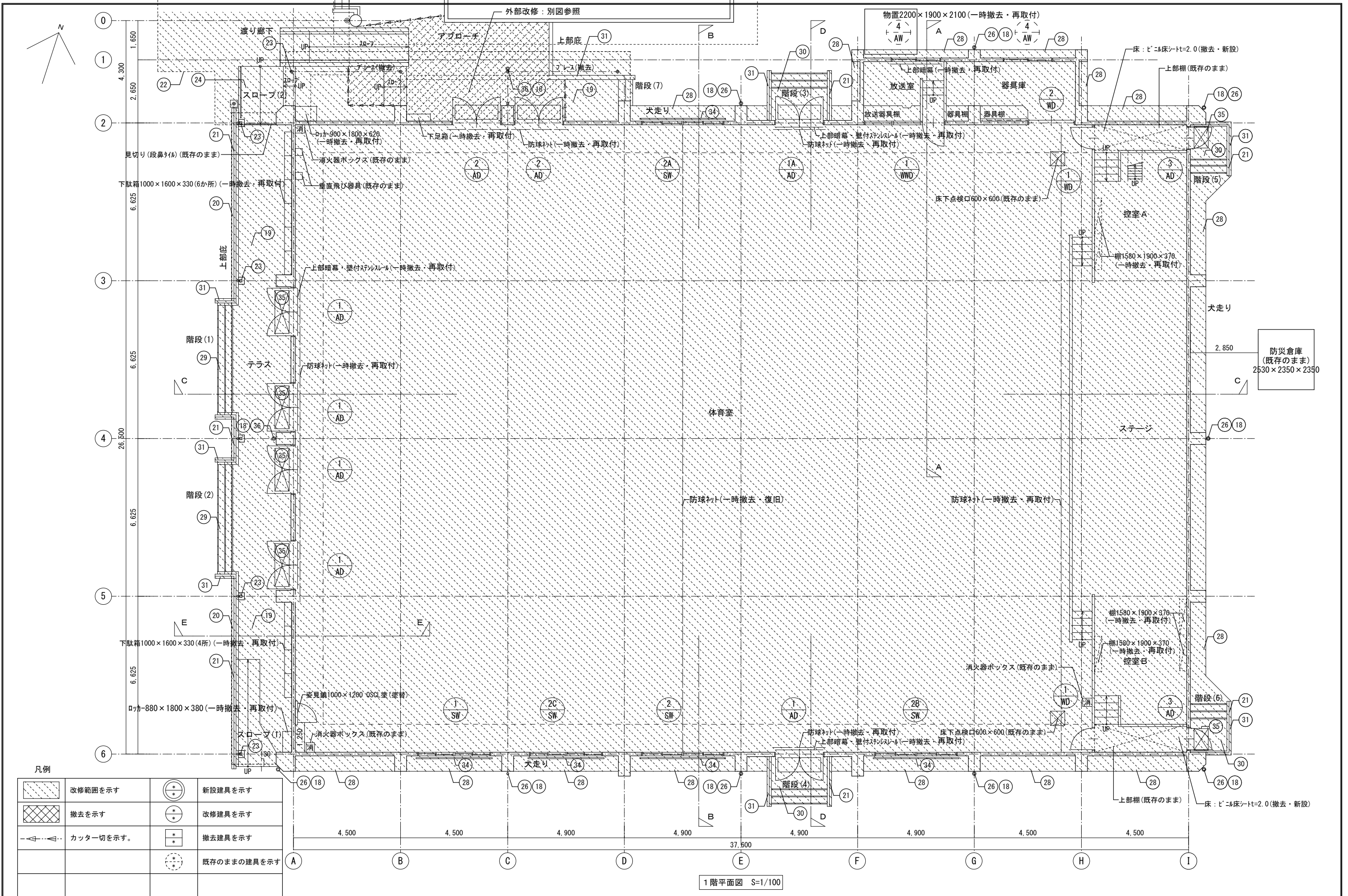
階	室名	床			巾木			腰壁・壁			天井					備考	
		下地	仕上	床レベル	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	廻り縁	天井高(CH)		梁型
共通	体育室	改修前	C	ウレタン塗装のうえ樹脂ワックス仕上 ﾌﾞｯｸﾞ複合化粧ﾌﾟﾗﾝｸ t=15張 耐水ﾌﾗﾝｸ合板 t=12捨張 鋼製床下地 (撤去)	±0	C	米桐 t=25 H=100	OP (撤去)	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ素面木下地 : 7ﾌﾞﾄﾝﾌﾟﾗﾝｸ 縦張 ｽﾃｰｼﾞ側・ｽﾃｰｼﾞ部 : 有孔ｼﾝﾊﾞｰ t=6 目透張	CL (撤去)	S	化粧木毛ﾌﾞｯｸﾞ ｼｯｸﾞﾙ板 t=25張表し	OP(鉄部)	直天 8.825 ～ 12.112		暗幕(一時撤去) 防球ﾈｯﾄ(一時撤去) 姿見鏡 床下点検口 ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ ﾚｰﾙ ｺｰﾄﾞﾄﾗﾝｸﾞﾘﾝｸﾞ (撤去) (ﾊﾞｽｸﾞｰﾄﾞ: 2面、ﾊﾞﾚｰｺｰﾄﾞ: 2面、ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾞｺｰﾄﾞ: 4面) 各種体育器具 (既存のまま) (各支柱及び基礎、助木(固定式)、高鉄棒基礎、吊棧)
		改修後	C (既存のまま)	ウレタン塗装 ﾌﾞｯｸﾞ複合化粧ﾌﾟﾗﾝｸ t=15張 (新設) 耐水ﾌﾗﾝｸ合板 t=12捨張 (既存のまま) 鋼製床下地 (既存のまま) 床改修(仕上・下地)は全体の20%程度計上のごと	±0	C (既存のまま)	米桐 t=25 H=100 (既存のまま)	SOP (塗替)	C (既存のまま)	ｺﾝｸﾘｰﾄ素面木下地 : 7ﾌﾞﾄﾝﾌﾟﾗﾝｸ t=12縦張 (一部補修) ｽﾃｰｼﾞ側・ｽﾃｰｼﾞ部 : 有孔ｼﾝﾊﾞｰ t=6 目透張 (一部補修)	O S C L (塗替) E P-G (塗替)	S (既存のまま) C (既存のまま)	化粧木毛ﾌﾞｯｸﾞ ｼｯｸﾞﾙ板 t=25張表し (既存のまま)	OP(鉄部) (既存のまま) E P-G (新設)	直天 8.825 ～ 12.112		暗幕(再取付) ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ ﾚｰﾙ (既存のまま) 姿見鏡 床下点検口 防球ﾈｯﾄ(再取付) ｺｰﾄﾞﾄﾗﾝｸﾞﾘﾝｸﾞ (新設) (ﾊﾞｽｸﾞｰﾄﾞ: 2面、ﾊﾞﾚｰｺｰﾄﾞ: 2面、ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾞｺｰﾄﾞ: 4面) 各種体育器具 (既存のまま) (各支柱及び基礎、助木(固定式)、高鉄棒基礎、吊棧)
	ステージ	改修前	C	ウレタン塗装のうえ樹脂ワックス仕上 ﾌﾞｯｸﾞ複合化粧ﾌﾟﾗﾝｸ t=15張 耐水ﾌﾗﾝｸ合板 t=12捨張 鉄骨、木床下地 (撤去)	+1000	C	米桐 t=25 H=100	OP (撤去)	C	下地調整材 ﾏｽﾊﾞｽﾄ含有(撤去)【レベル3】	O S C L (一部撤去)	S	化粧木毛ﾌﾞｯｸﾞ ｼｯｸﾞﾙ板 t=25張表し		直天 7.800 ～ 8.400		幕一式(一時撤去) 框架成材 演台、花台、移動階段 ﾌﾞﾄﾞﾞﾞｰﾙ
		改修後	C (既存のまま)	ウレタン塗装 ﾌﾞｯｸﾞ複合化粧ﾌﾟﾗﾝｸ t=15張 (新設) 耐水ﾌﾗﾝｸ合板 t=12捨張 (新設) 鉄骨、木床下地 (既存のまま)	+1000	C (既存のまま)	米桐 t=25 H=100 (既存のまま)	SOP (塗替)	C (既存のまま)	壁: EP-G(新設)	O S C L (一部新設)	S (既存のまま)	化粧木毛ﾌﾞｯｸﾞ ｼｯｸﾞﾙ板 t=25張表し (既存のまま)		直天 7.800 ～ 8.400		幕一式(再取付) 框架成材: 全面ｼﾝｸﾞﾙ-掛けのうえ O S C L 塗(新設) 演台、花台、移動階段 (既存のまま) ﾌﾞﾄﾞﾞﾞｰﾙ (既存のまま)
	器具庫	改修前	C	ウレタン塗装のうえ樹脂ワックス仕上 ﾌﾞｯｸﾞ複合化粧ﾌﾟﾗﾝｸ t=15張 耐水ﾌﾗﾝｸ合板 t=12捨張 (撤去)	±0	C	米桐 t=25 H=100	OP (撤去)	C	ﾍﾙﾄﾞ金鍍押え	V P (撤去)	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放		3.850		
		改修後	C (既存のまま)	ウレタン塗装 ﾌﾞｯｸﾞ複合化粧ﾌﾟﾗﾝｸ t=15張 (新設) 耐水ﾌﾗﾝｸ合板 t=12捨張 (既存のまま)	±0	C (既存のまま)	米桐 t=25 H=100 (既存のまま)	SOP (塗替)	C (既存のまま)	ﾍﾙﾄﾞ金鍍押え (既存のまま)	E P-G (塗替)	C (既存のまま)	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 (既存のまま)		3.850		
	控室 A 控室 B	改修前	C	ウレタン塗装のうえ樹脂ワックス仕上 ﾌﾞｯｸﾞ複合化粧ﾌﾟﾗﾝｸ t=15張 耐水ﾌﾗﾝｸ合板 t=12捨張 鉄骨、木床下地 (撤去)	±0	C	米桐 t=25 H=100	OP (撤去)	W	ﾌﾞﾘﾝﾄ合板 t=5		S	化粧木毛ﾌﾞｯｸﾞ ｼｯｸﾞﾙ板 t=25張表し		直天 7.800 ～ 8.400		ｸﾞﾗｯﾌﾟ
		改修後	C (既存のまま)	ウレタン塗装 ﾌﾞｯｸﾞ複合化粧ﾌﾟﾗﾝｸ t=15張 (新設) 耐水ﾌﾗﾝｸ合板 t=12捨張 (新設) 鉄骨、木床下地 (既存のまま)	±0	C (既存のまま)	米桐 t=25 H=100 (既存のまま)	SOP (塗替)	W (既存のまま)	ﾌﾞﾘﾝﾄ合板 t=5 (既存のまま)		S (既存のまま)	化粧木毛ﾌﾞｯｸﾞ ｼｯｸﾞﾙ板 t=25張表し (既存のまま)		直天 7.800 ～ 8.400		ｸﾞﾗｯﾌﾟ (SOP塗装)
	放送室	改修前	C	ウレタン塗装のうえ樹脂ワックス仕上 ﾌﾞｯｸﾞ複合化粧ﾌﾟﾗﾝｸ t=15張 耐水ﾌﾗﾝｸ合板 t=12捨張 鉄骨、木床下地 (撤去)	±0	C	米桐 t=25 H=100	OP (撤去)	C	7ﾌﾞﾄﾝﾌﾟﾗﾝｸ t=12縦張	CL (撤去)	W	ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ t=9		2.650		暗幕 ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ 室名札
		改修後	C (既存のまま)	ウレタン塗装 ﾌﾞｯｸﾞ複合化粧ﾌﾟﾗﾝｸ t=15張 (新設) 耐水ﾌﾗﾝｸ合板 t=12捨張 (既存のまま) 鉄骨、木床下地 (既存のまま)	±0	C (既存のまま)	米桐 t=25 H=100 (既存のまま)	SOP (塗替)	C (既存のまま)	7ﾌﾞﾄﾝﾌﾟﾗﾝｸ t=12縦張 (既存のまま)	O S C L (塗替)	W (既存のまま)	ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ t=9 (既存のまま)		2.650		暗幕 (既存のまま) ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ (既存のまま) ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ (既存のまま) 室名札 (既存のまま)
	ステージ 下物入	改修前	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ金鍍押え	±0	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ素面表し		C	ｺﾝｸﾘｰﾄ素面表し		W	木下地表し	OP(鉄部) 3回塗	850		椅子運搬台
		改修後	C (既存のまま)	ｺﾝｸﾘｰﾄ金鍍押え (既存のまま)	±0	C (既存のまま)	ｺﾝｸﾘｰﾄ素面表し (既存のまま)		C (既存のまま)	ｺﾝｸﾘｰﾄ素面表し (既存のまま)		W (既存のまま)	木下地表し (既存のまま)	OP(鉄部) (既存のまま)	850		椅子運搬台 (既存のまま)
2	ギャラリー	改修前	C	ﾍﾙﾄﾞ塗金鍍押え	±0	C	米桐 t=25 H=100	OP	W	有孔ｼﾝﾊﾞｰ t=6 目透張	O S C L (撤去)	S	化粧木毛ﾌﾞｯｸﾞ ｼｯｸﾞﾙ板 t=25張表し	OP(鉄部) 3回塗	4.825		手摺 ﾍﾞｰｽﾞ ﾍﾞｰｽﾞ裏下地調整材 ﾏｽﾊﾞｽﾄ含有(撤去) ｶｰﾞﾞﾝｸﾞ (撤去)【レベル3】 ｸﾞﾗｯﾌﾟ ﾏﾞｽｸﾞｰﾄﾞ ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ 防球ﾈｯﾄ(一時撤去) 暗幕(一時撤去)
		改修後	C (既存のまま)	ﾍﾙﾄﾞ塗金鍍押え (既存のまま)	±0	C (既存のまま)	米桐 t=25 H=100 (既存のまま)	SOP (塗替)	W (既存のまま)	有孔ｼﾝﾊﾞｰ t=6 目透張 (既存のまま)	O S C L (塗替)	S (既存のまま)	化粧木毛ﾌﾞｯｸﾞ ｼｯｸﾞﾙ板 t=25張表し (既存のまま)	OP(鉄部) (既存のまま)	4.825		手摺 SOP 塗(塗替) ｸﾞﾗｯﾌﾟ ﾏﾞｽｸﾞｰﾄﾞ (既存のまま) ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ 防球ﾈｯﾄ(再取付) 暗幕(再取付) ｶｰﾃﾝBOX補強(新設)

凡例		凡例		凡例		凡例	
符号	名称	符号	名称	符号	名称	符号	名称
M	モルタル	OP	油性調合ペイント	GB-S	耐水ボード		
C	コンクリート	SOP	合成樹脂調合ペイント	GB-R	石膏ボード		
CB	コンクリートブロック	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	GB-D	化粧石膏ボード		
RC	鉄筋コンクリート	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	GB-F	強化石膏ボード		
LGS	軽量鉄骨下地	AEP	アクリル樹脂水性エマルジョンペイント	GB-R-H	普通硬質強化石膏ボード		
				DR	ロックウール化粧吸音板		

*特記事項 巾木・壁の塗装(新設)は、既存塗装面の下地調整を行うこと。
ステージ及びギャラリー裏のリソ吹付は、アスベストを含有している。

[屋内運動場]

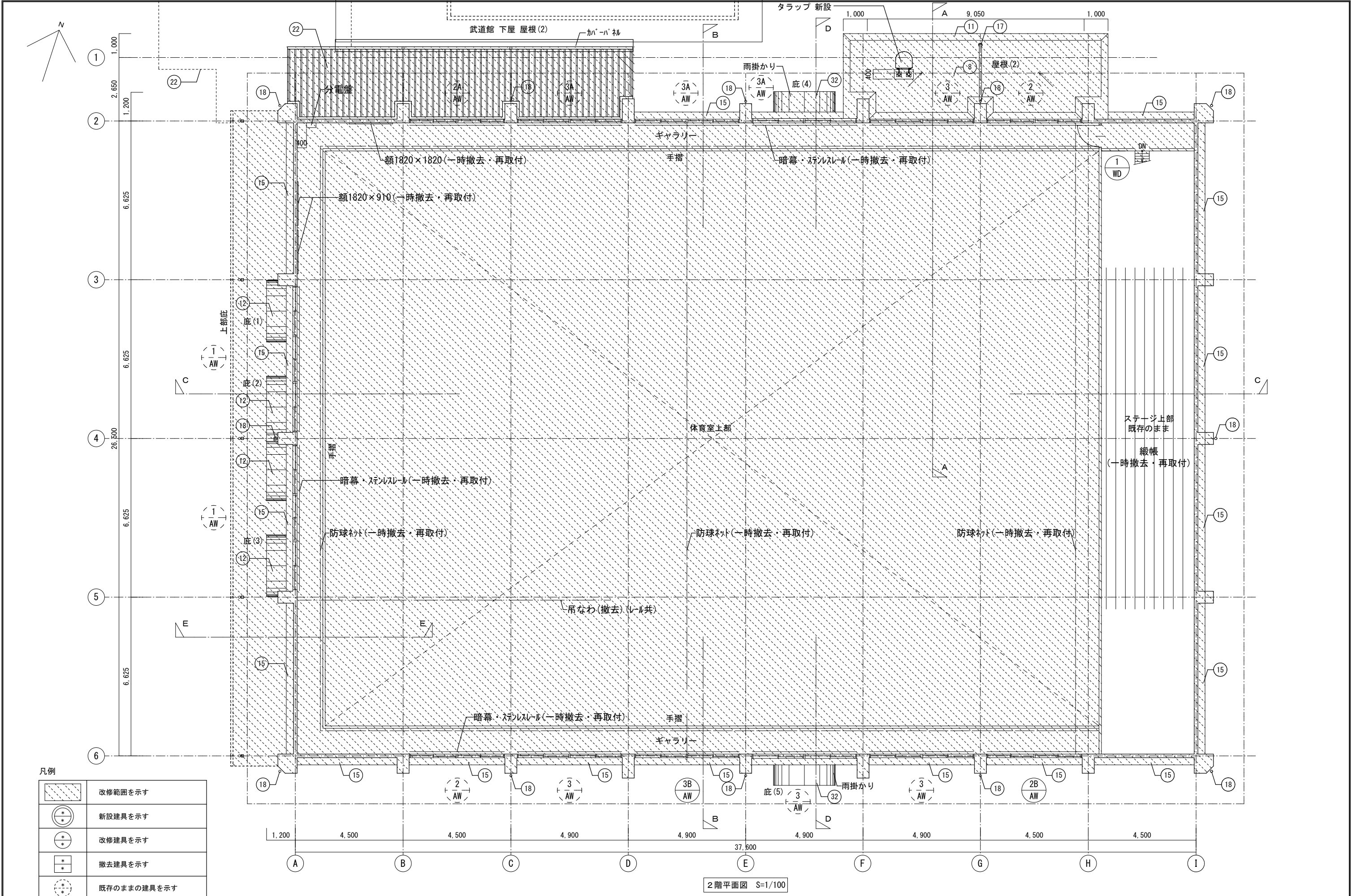
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月	三原市都市部建築課					建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	内部仕上表		A-17



1階平面図 S=1/100

[屋内運動場]

事業年度	年度	設計	令和 年月	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版・71%縮小)	図番
工事完成	年度	三原市都市部建築課							建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	1階平面図・建具配置図	A-18



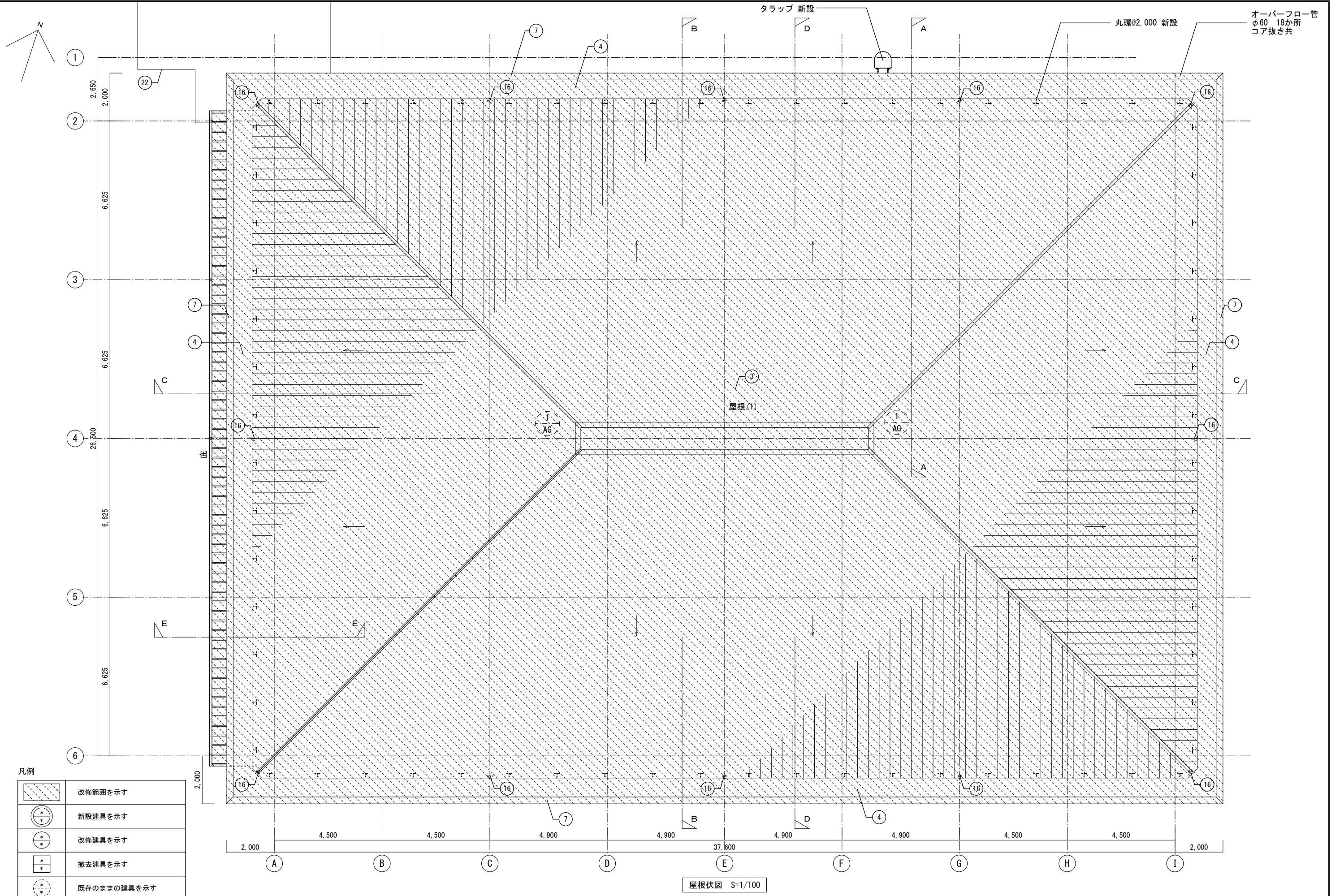
凡例

	改修範囲を示す
	新設建具を示す
	改修建具を示す
	撤去建具を示す
	既存のままの建具を示す

2階平面図 S=1/100

[屋内運動場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図番 A-19
工事完成 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)		2階平面図・建具配置図	



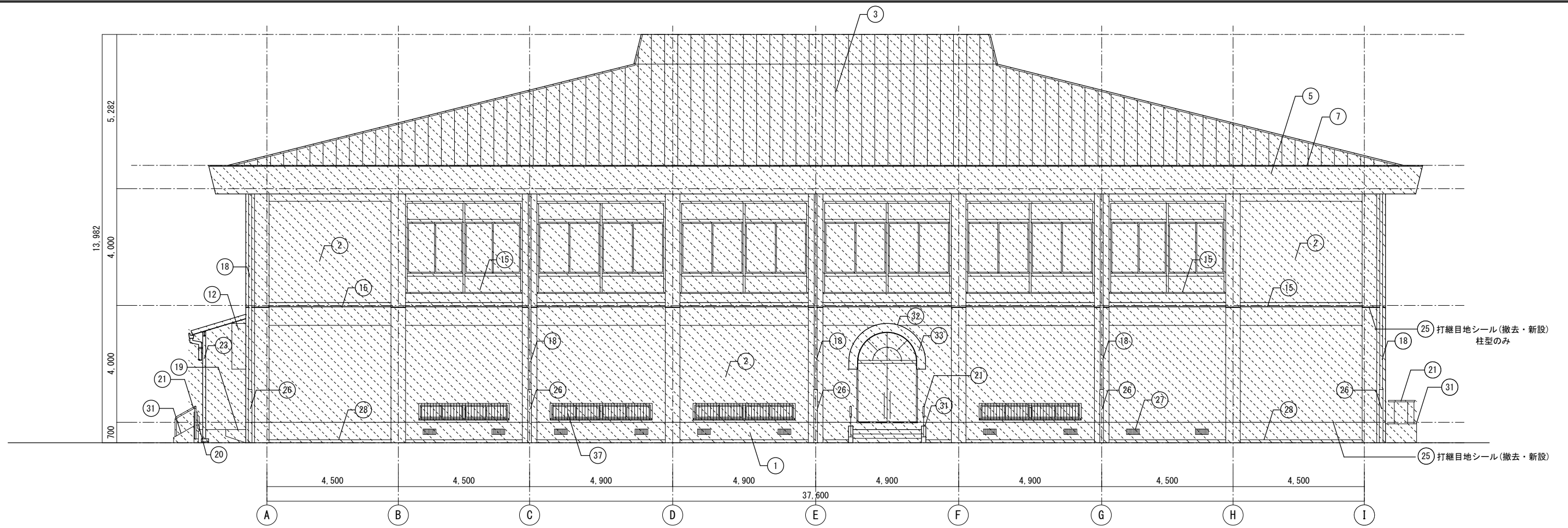
凡例

	改修範囲を示す
	新設建具を示す
	改修建具を示す
	撤去建具を示す
	既存のままの建具を示す

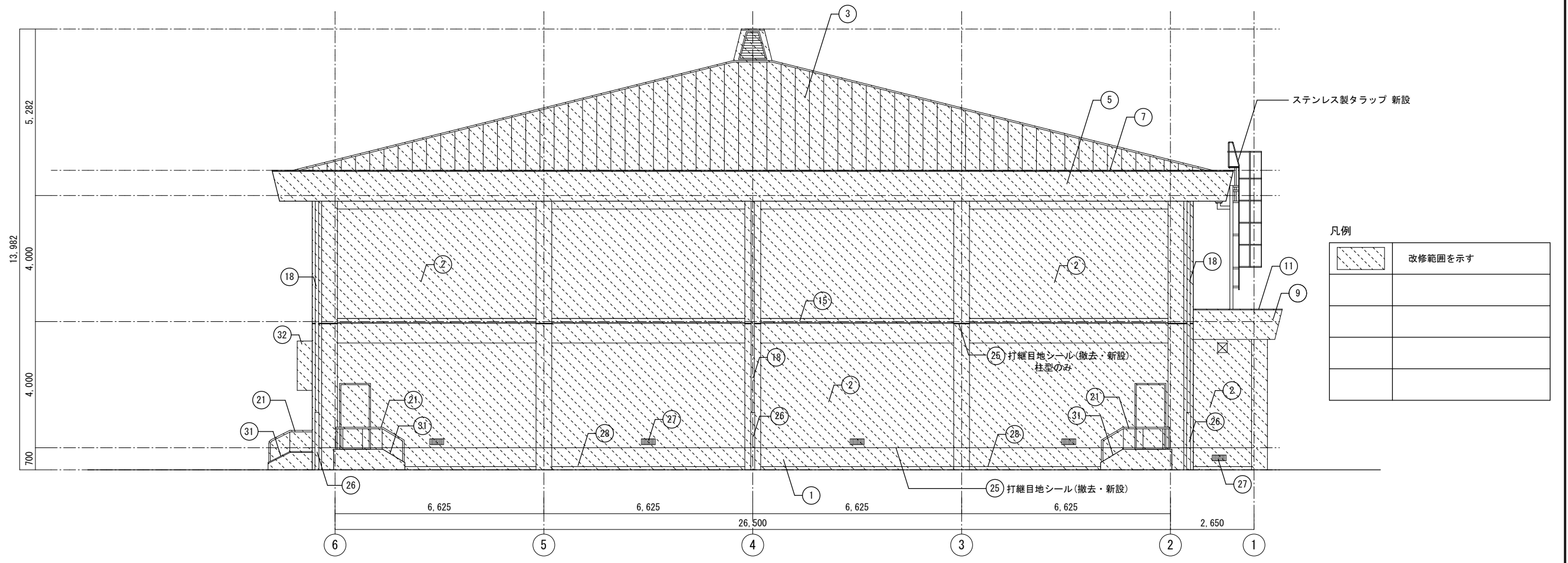
屋根伏図 S=1/100

[屋内運動場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年 月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/100 屋根伏図・建具配置図	(A3版-71%縮小) 図番 A-20
工事完成 令和 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)			



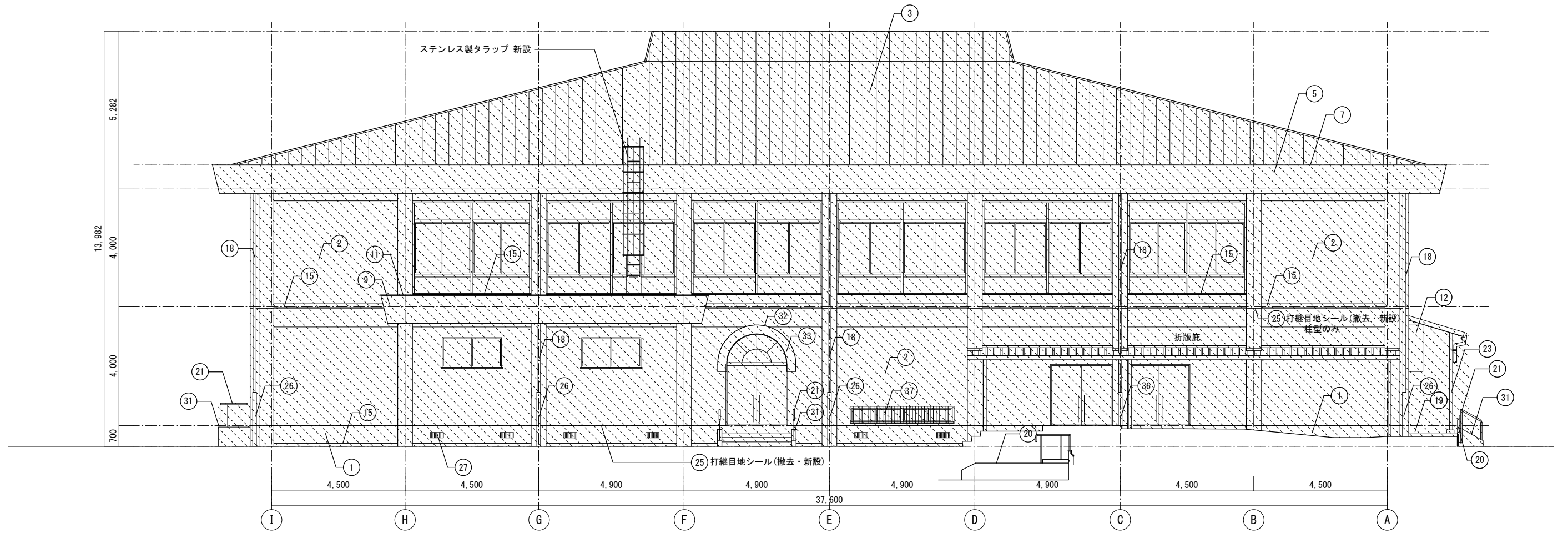
東立面図 S=1/100



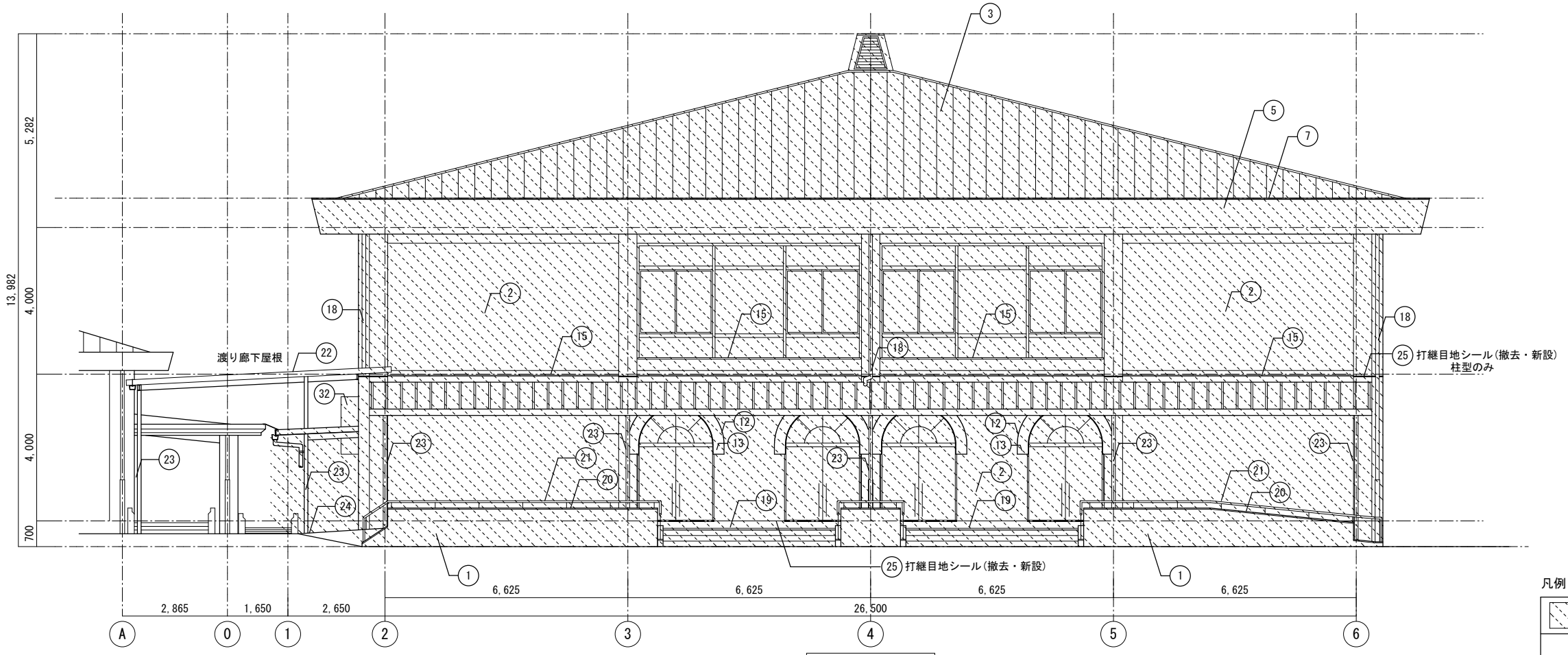
北立面図 S=1/100

[屋内運動場]

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	S=1/100		A-21
工事完成	年度										立面図(1)		



西立面図 S=1/100



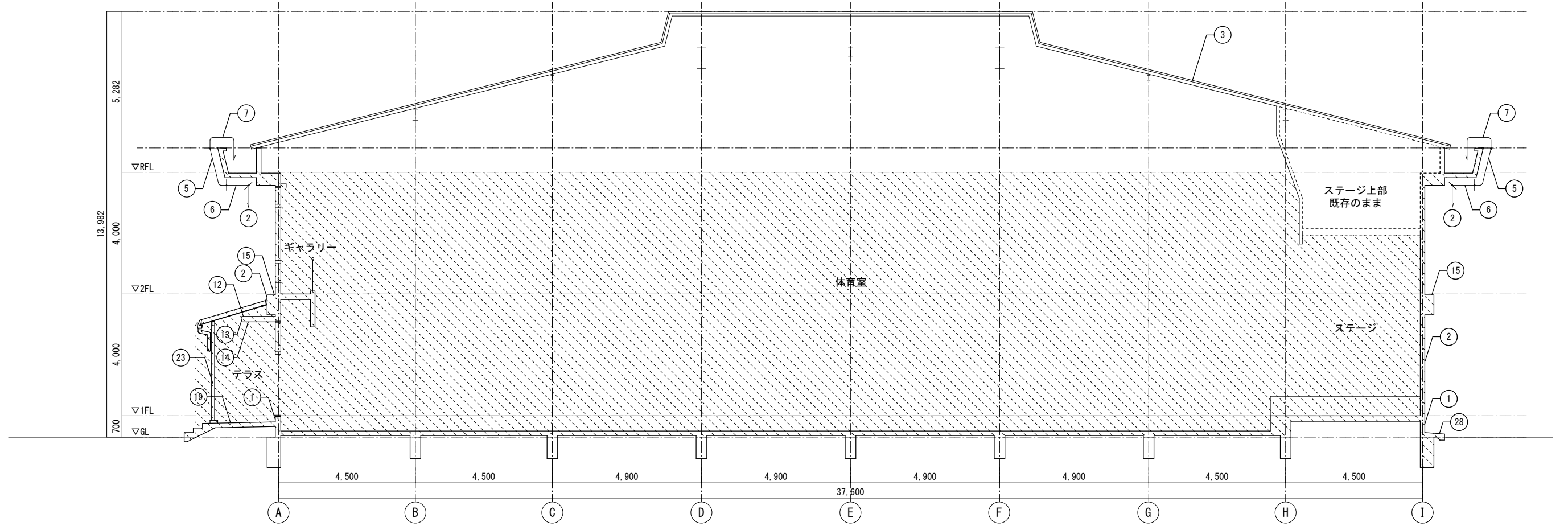
南立面図 S=1/100

凡例

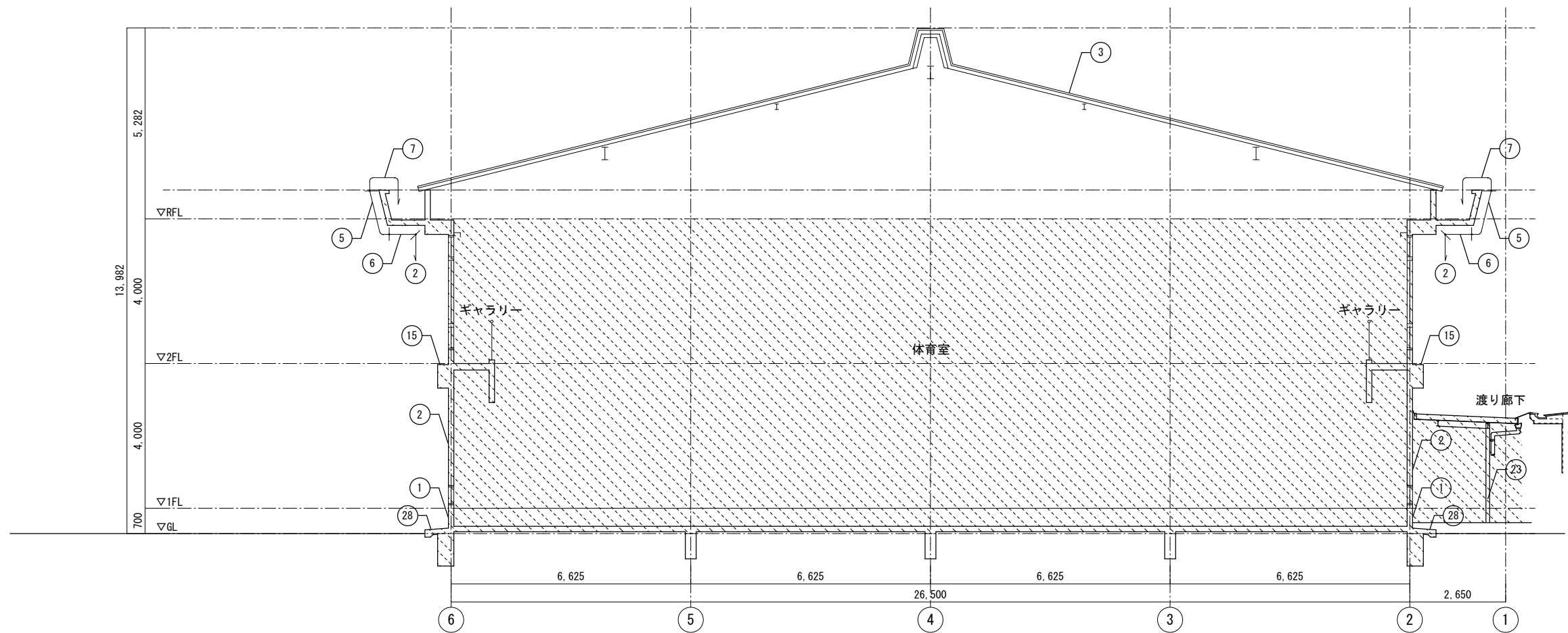
	改修範囲を示す
--	---------

[屋内運動場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/100 立面図 (2)	(A3版-71%縮小) 図番 A-22
工事完成 令和 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)			



a-a断面図 S=1/100



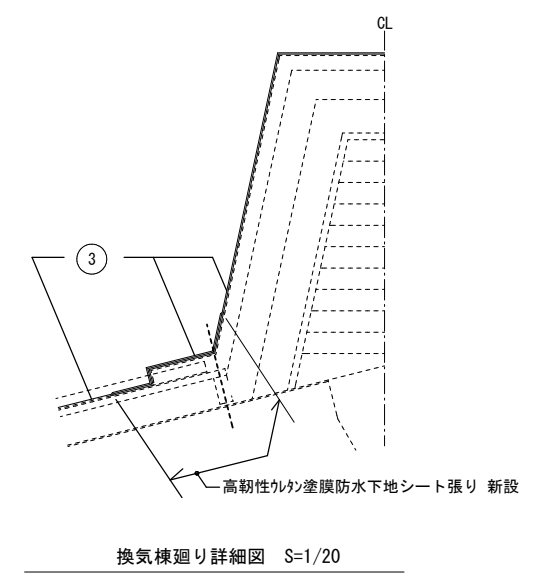
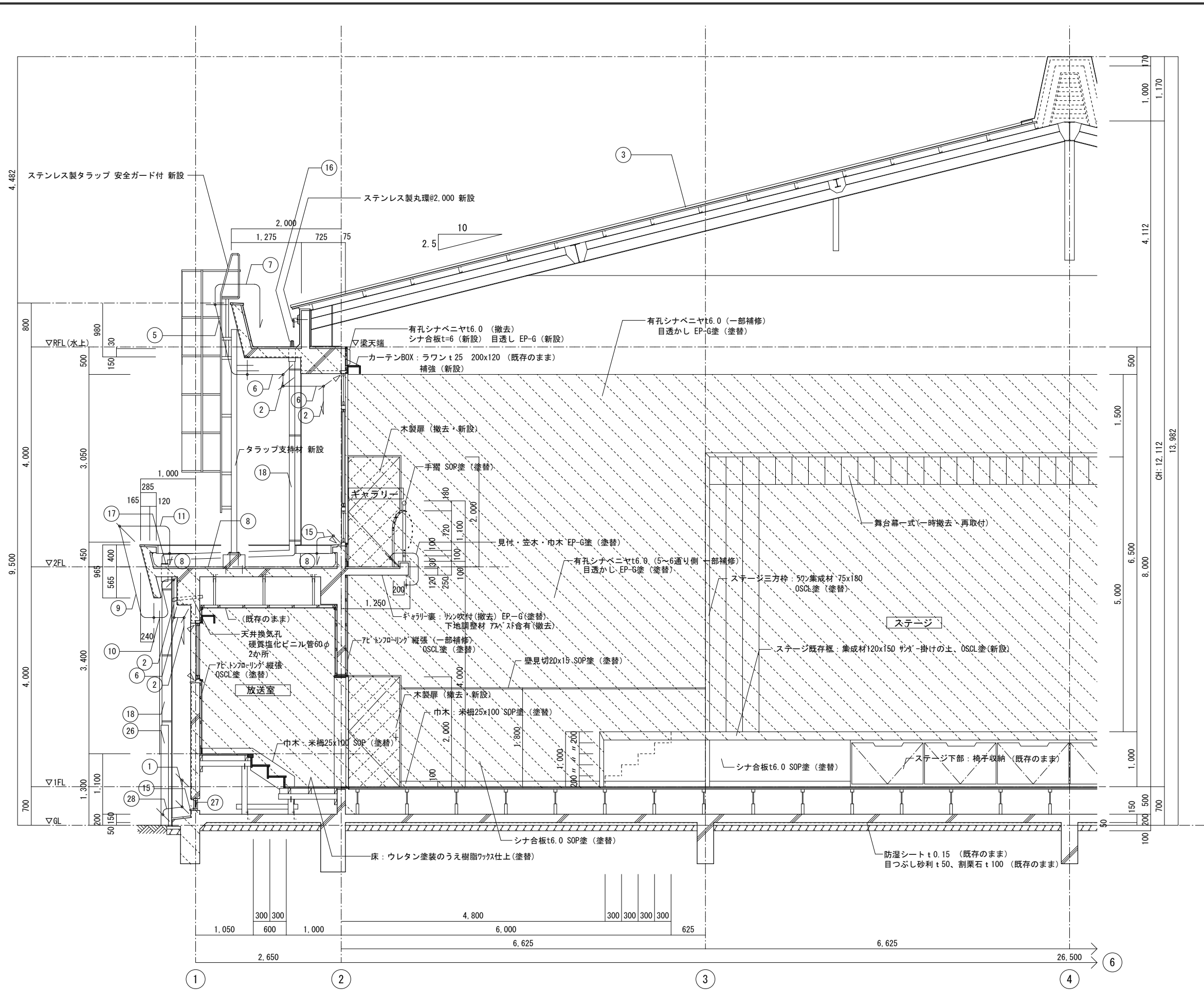
b-b断面図 S=1/100

凡例

	改修範囲を示す

[屋内運動場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/100 断面図	(A3版-71%縮小) 図番 A-23
工事完成 令和 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)			



換気棟廻り詳細図 S=1/20

凡例

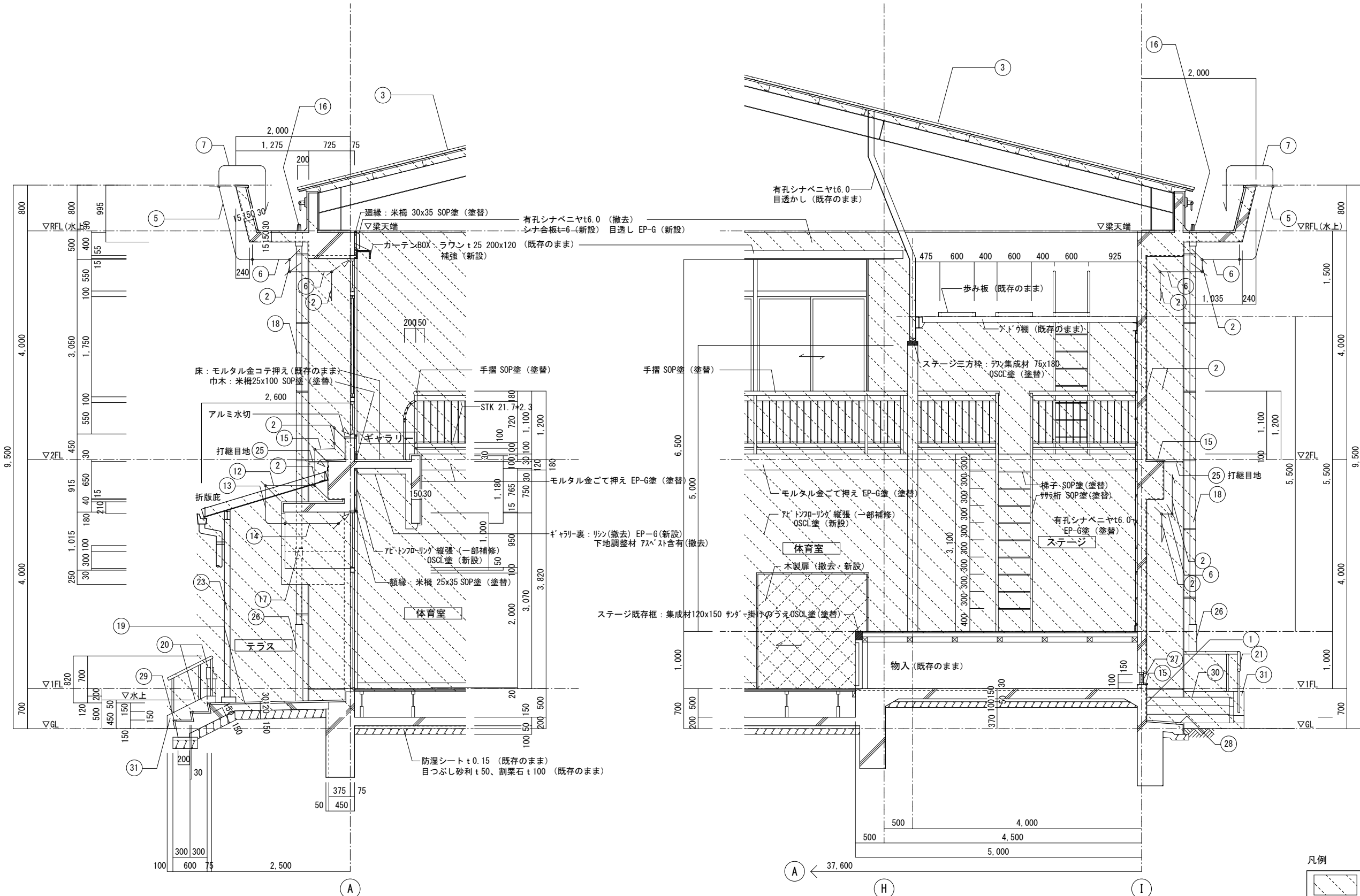
	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター一切を示す。

体育室部 (F)~(G) 柱間

体育室部 A-A 断面詳細図 S=1/50

[屋内運動場]

事業年度	年度	設計	令和 年月	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/20, 50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月	三原市都市部建築課						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	断面詳細図 (1)	A-24



体育室部 ③～④ 柱間

ステージ部 ③～④ 柱間

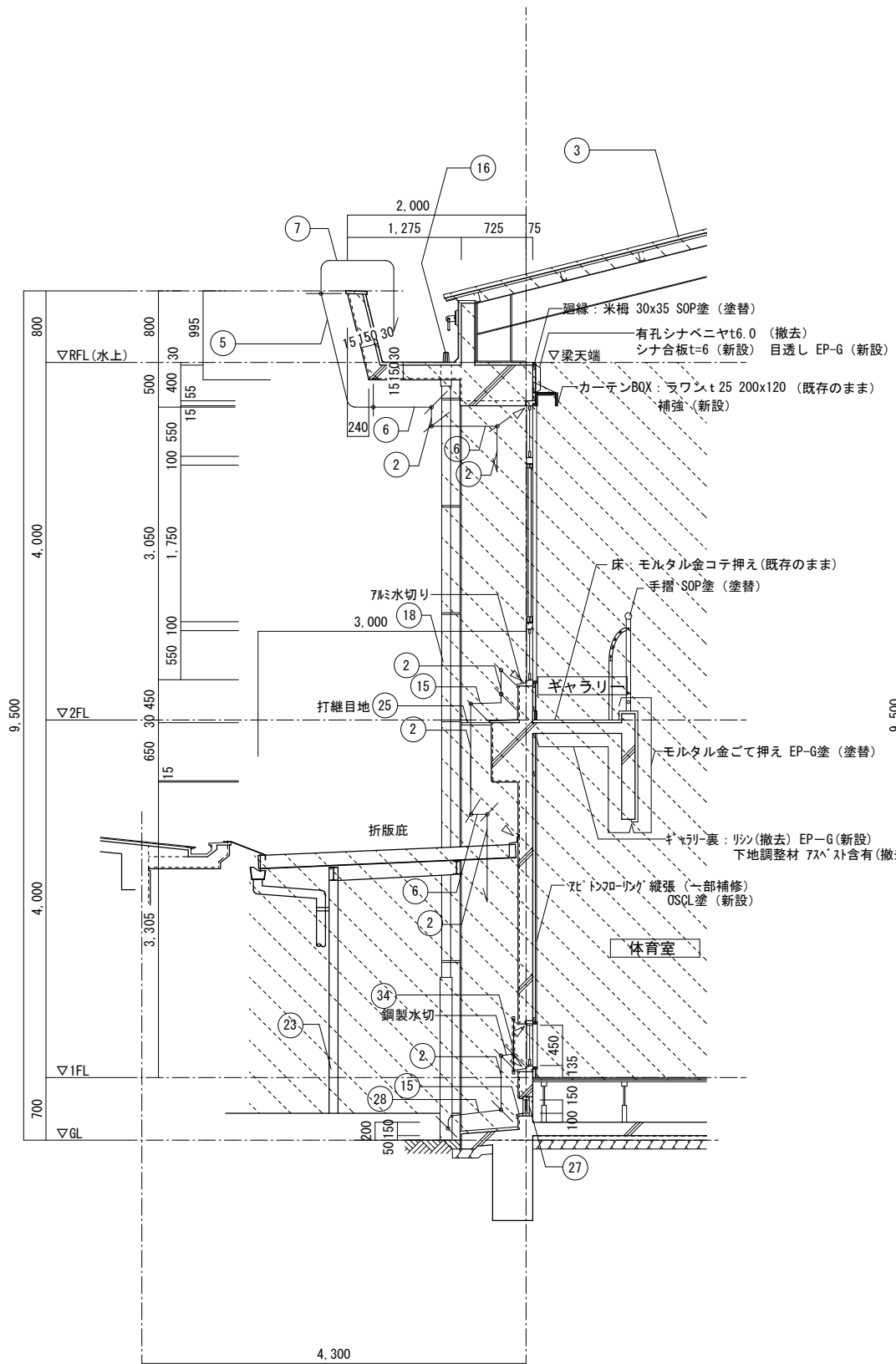
C-C 断面詳細図 S=1/50

凡例

	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す。

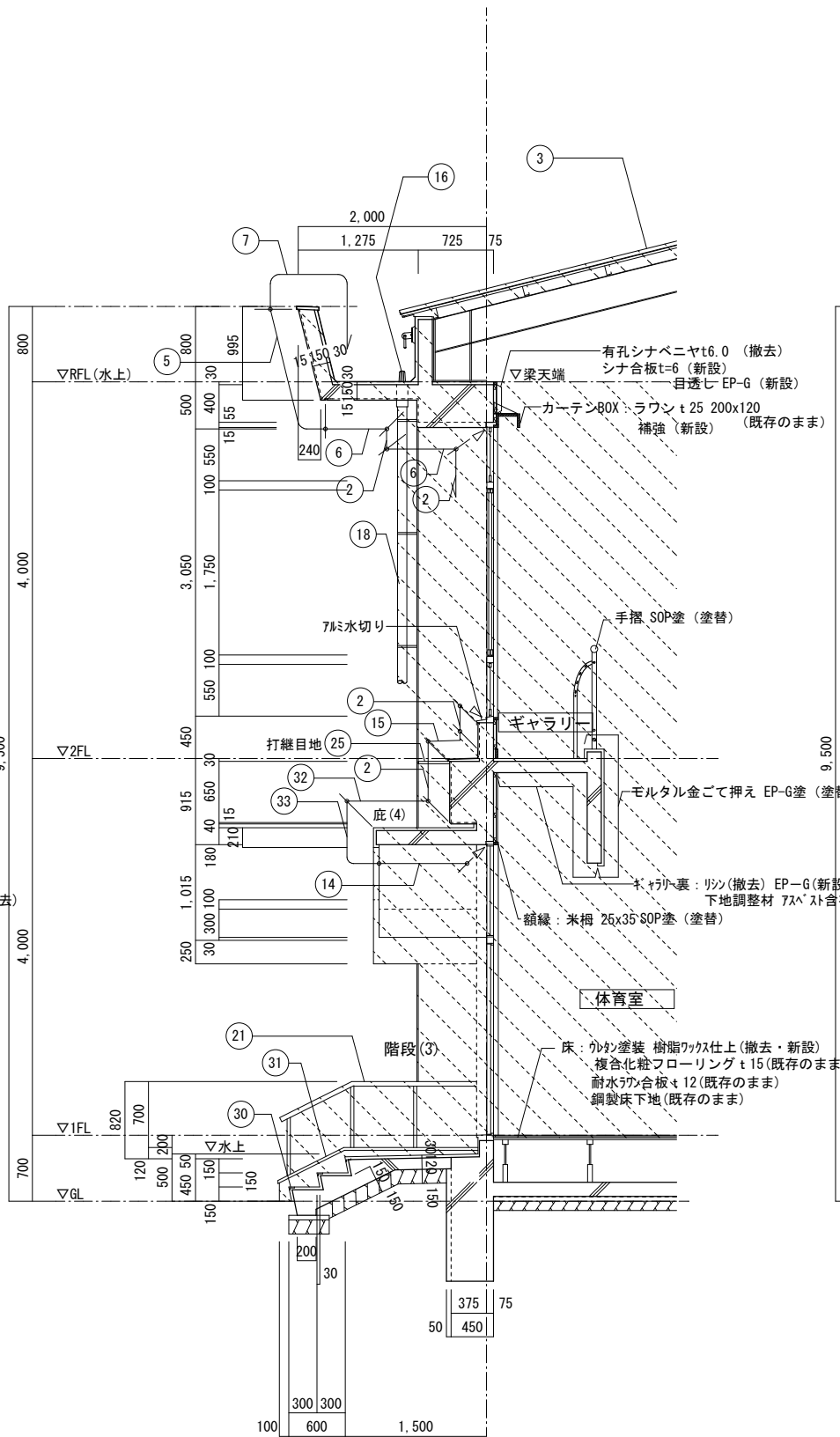
[屋内運動場]

事業年度	年度	設計	令和 年月	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	設計	令和 年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	断面詳細図 (2)		A-25



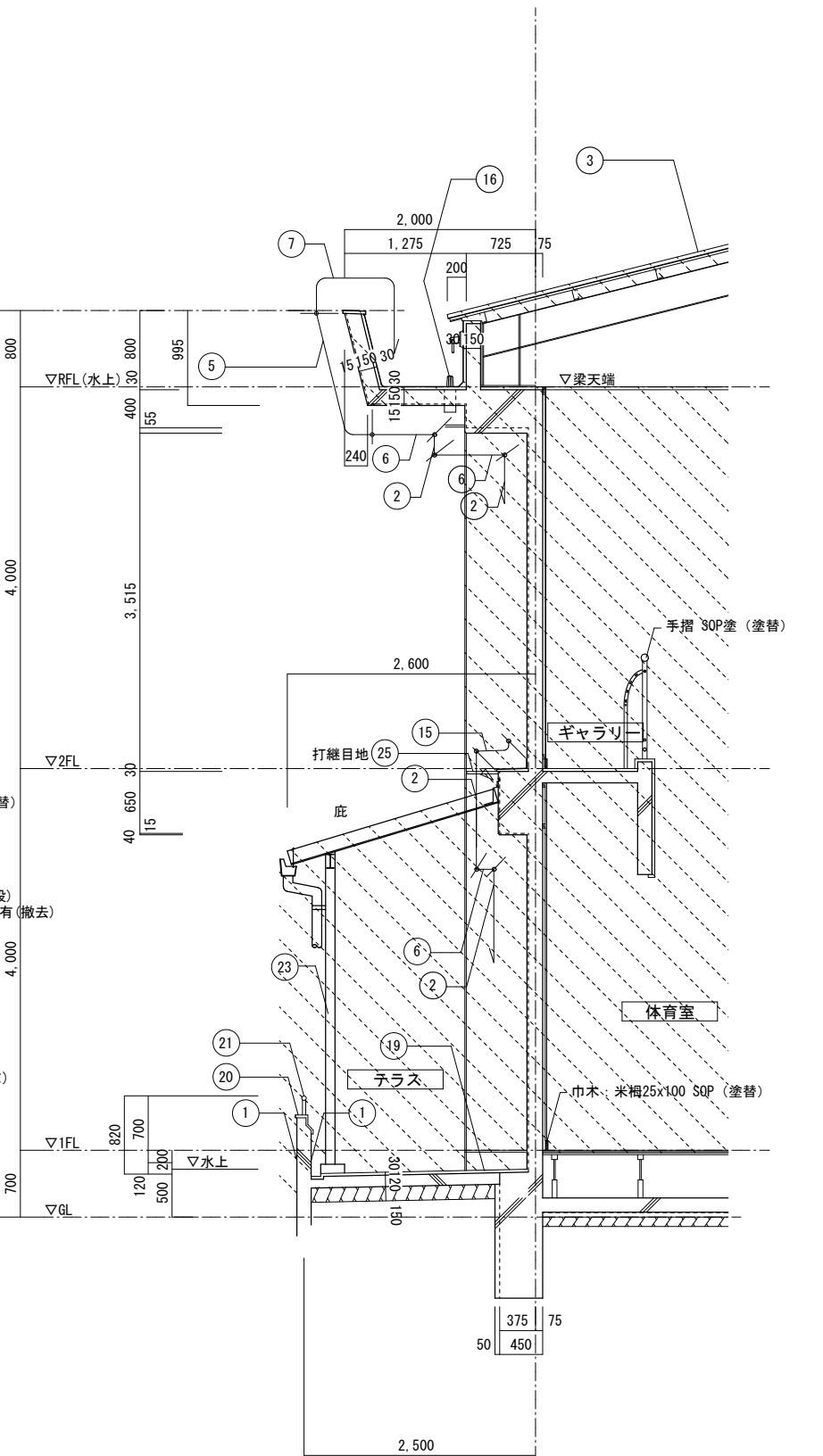
体育室部 ①～③ 柱間

B-B 断面詳細図 S=1/50



体育室部 ④～⑥ 柱間

D-D 断面詳細図 S=1/50



体育室部 ⑦～⑨ 柱間

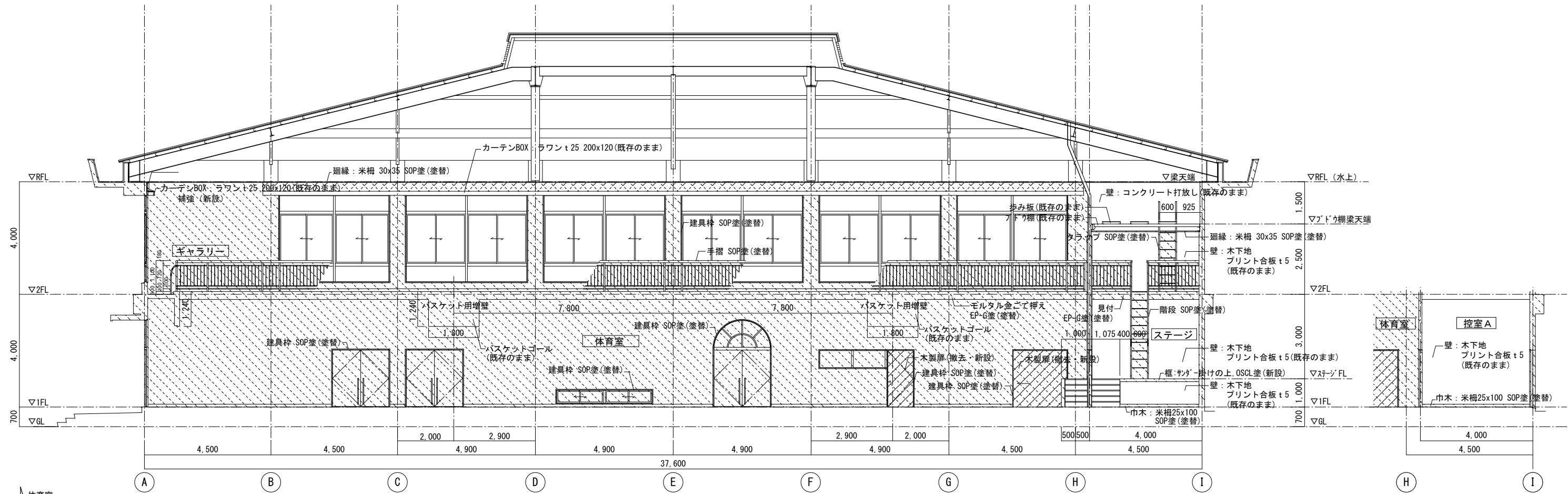
E-E 断面詳細図 S=1/50

凡例

	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す。

[屋内運動場]

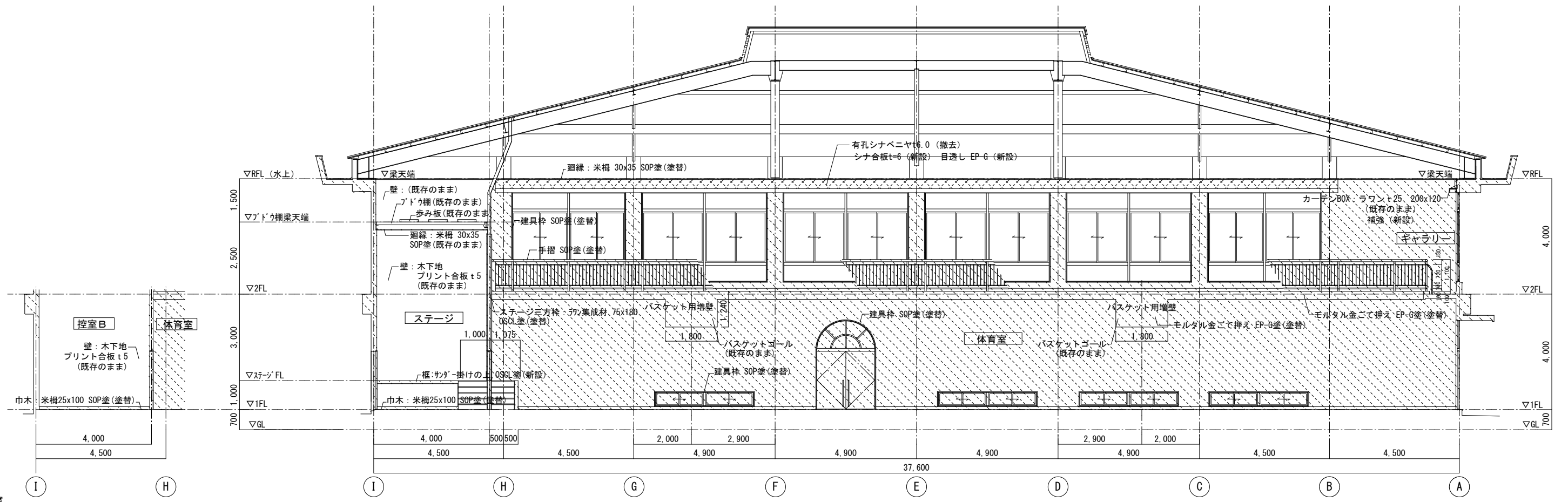
事業年度	年度	設計	令和 年月	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月	三原市都市部建築課						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治	断面詳細図(3)		A-26



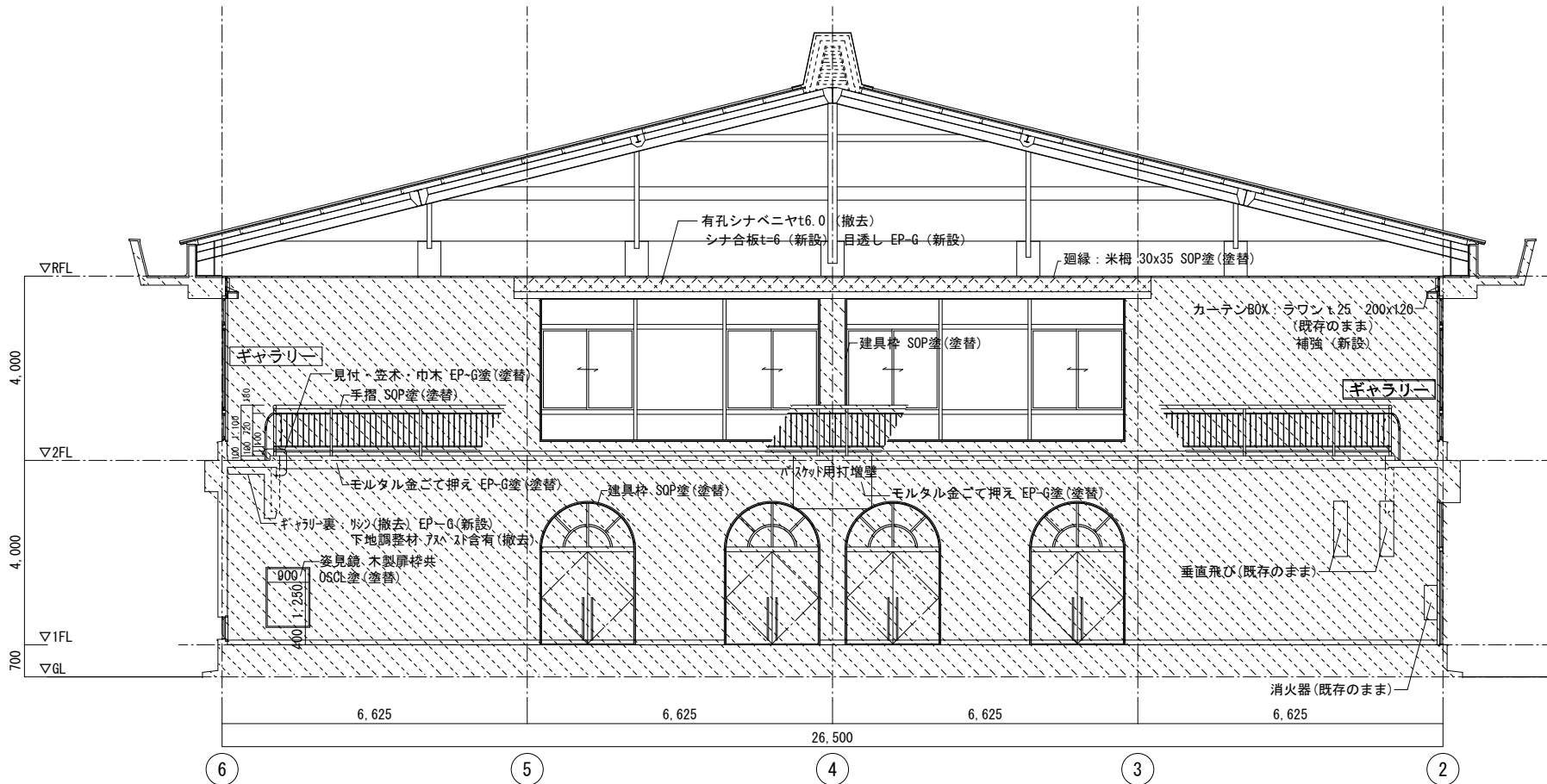
凡例

	改修範囲を示す
	仕上撤去・新設範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す。

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図番 A-27
工事完成 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)		体育室展開図 (1)	



体育室



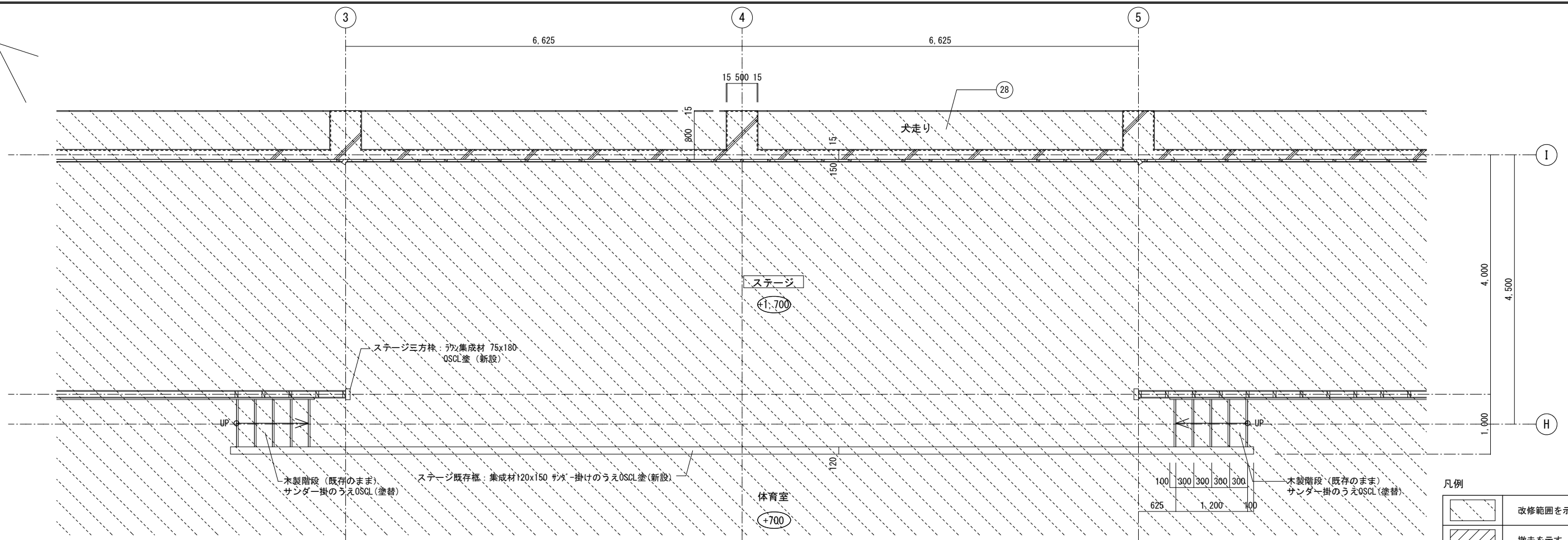
凡例

	改修範囲を示す
	仕上撤去・新設範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す。

体育室

[屋内運動場]

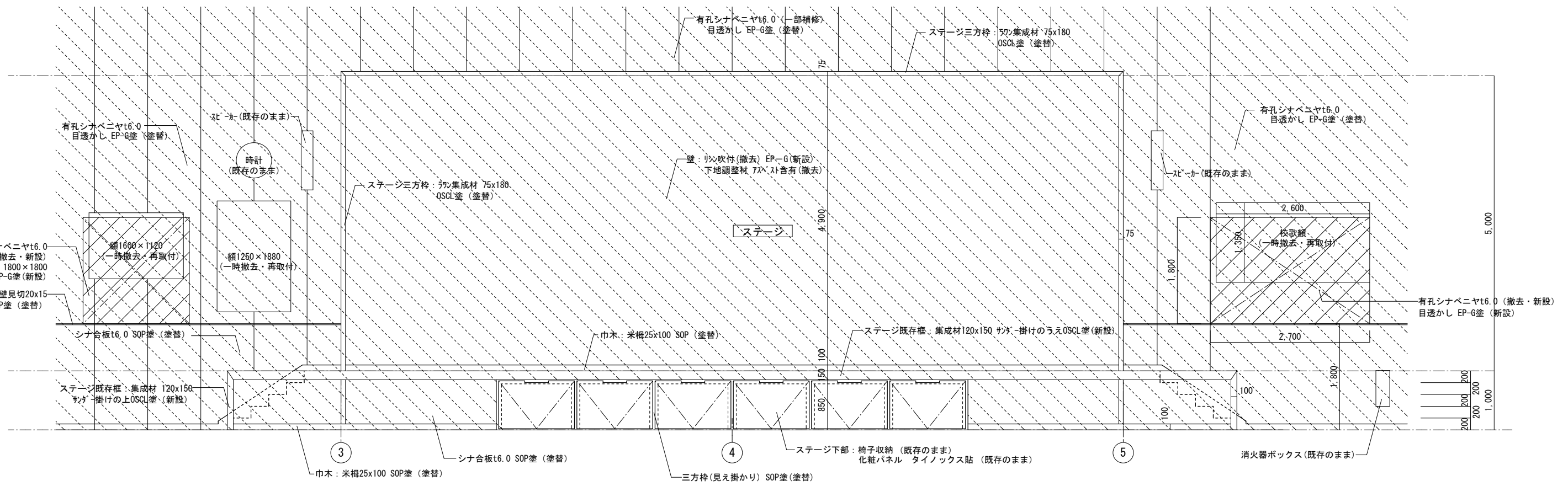
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	体育室展開図 (2)		A-28



ステージ平面詳細図 S=1/50

凡例

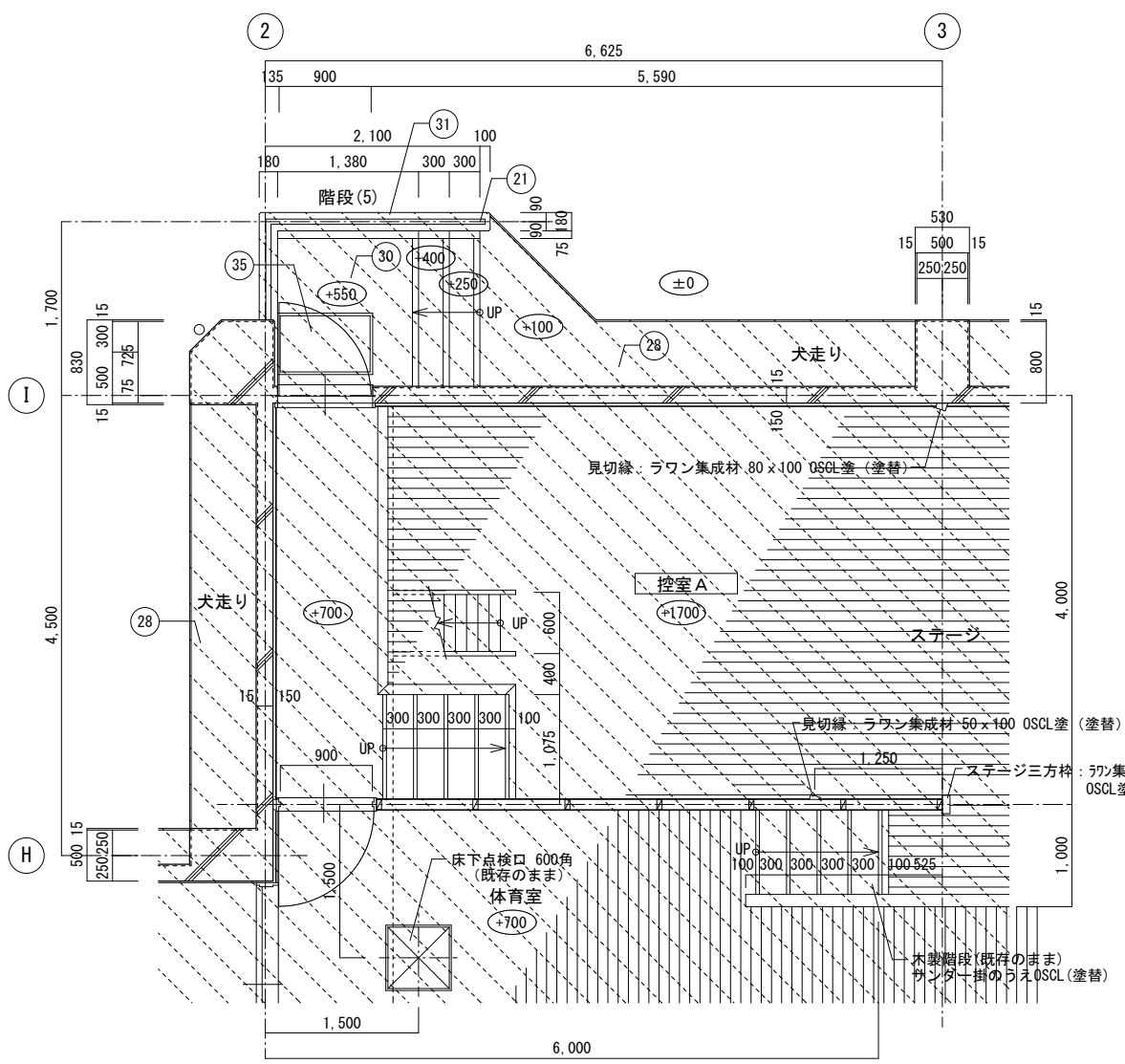
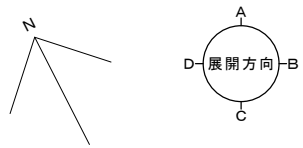
	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す。



ステージ展開図 S=1/50

[屋内運動場]

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	ステージ平面詳細図・展開図		A-29



控室A 平面詳細図 S=1/50

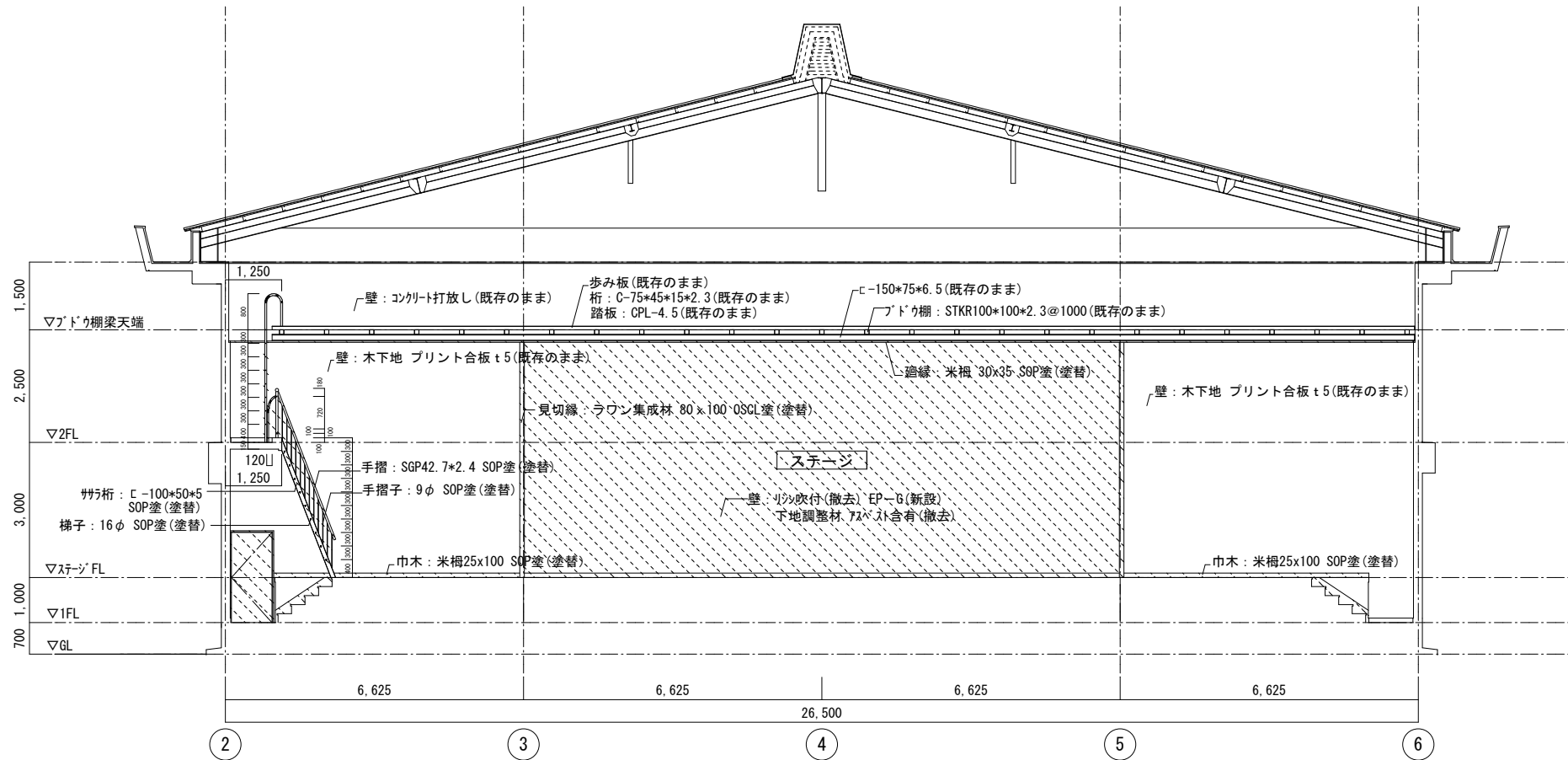
凡例

	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター一切を示す。

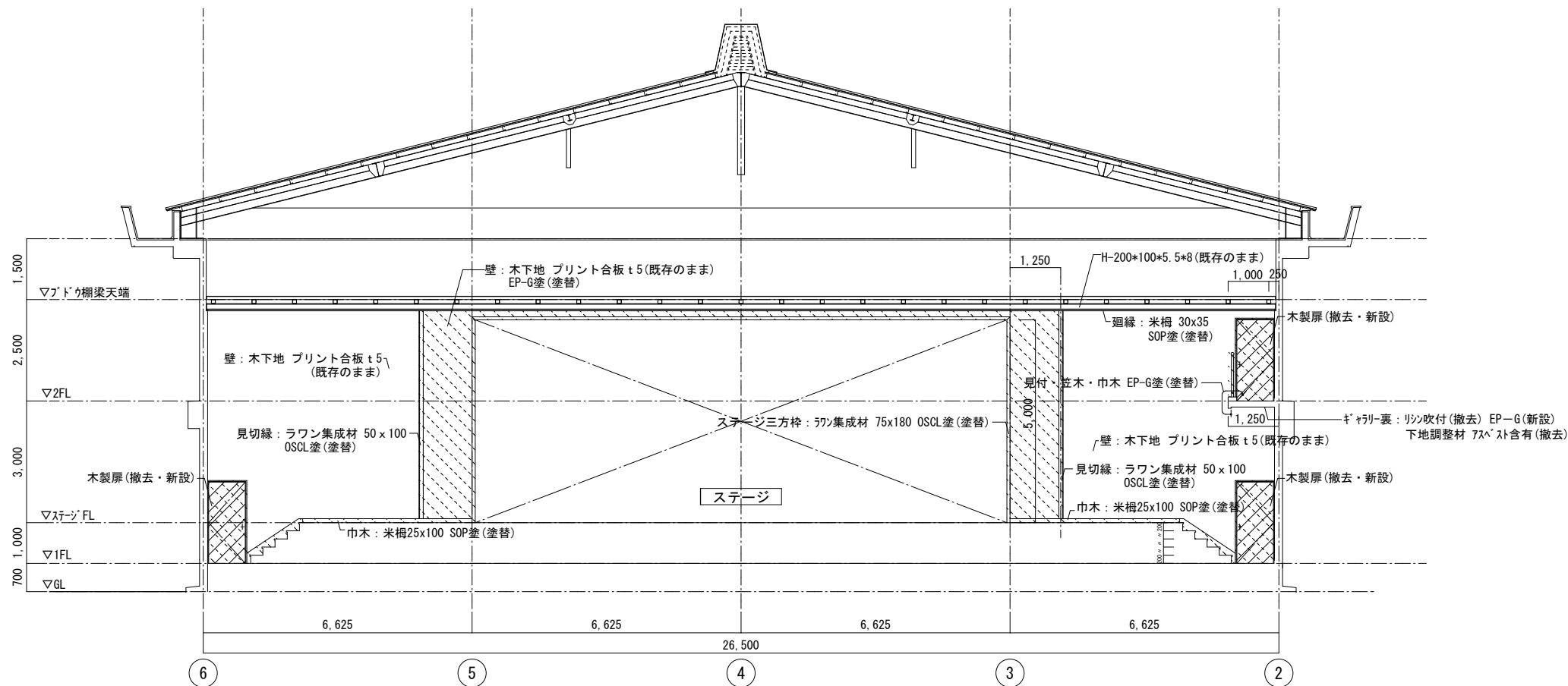


[屋内運動場]

事業年度	年度	設計	令和 年月	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月	三原市都市部建築課						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	控室平面詳細図・断面詳細図	A-30



体育室ステージ



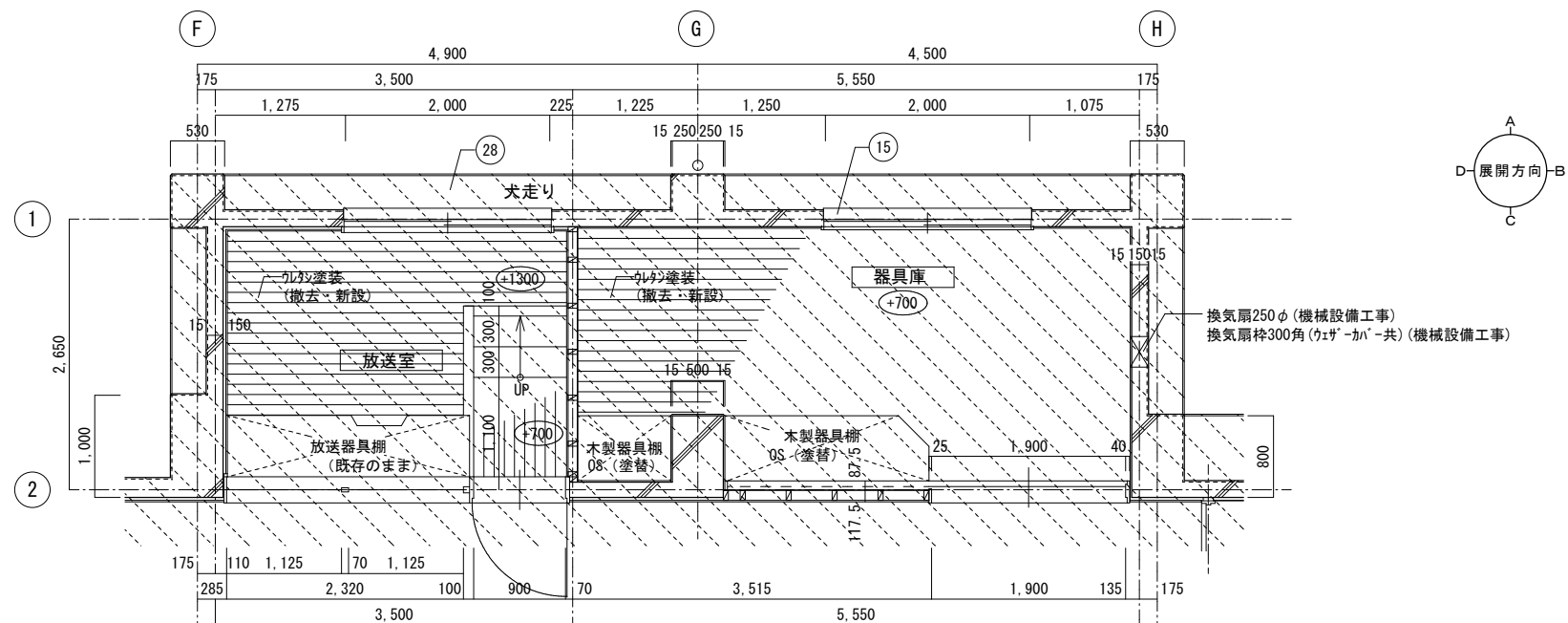
凡例

	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す

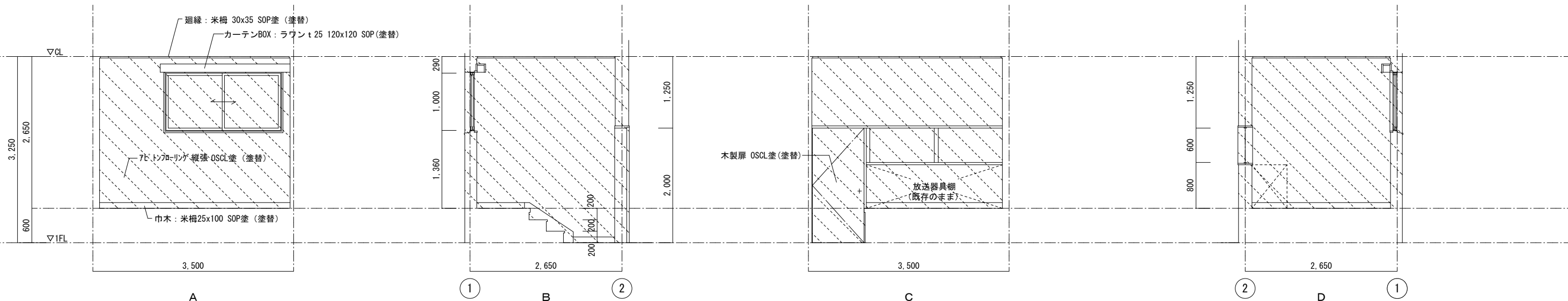
体育室ステージ

[屋内運動場]

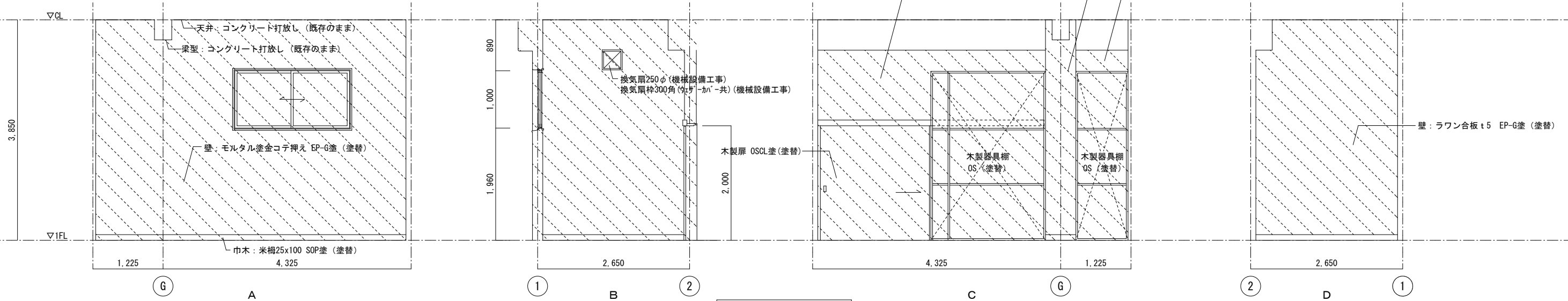
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/100	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	ステージ展開図			A-31



放送室・器具庫 平面詳細図 S=1/50



放送室 展開図 S=1/50

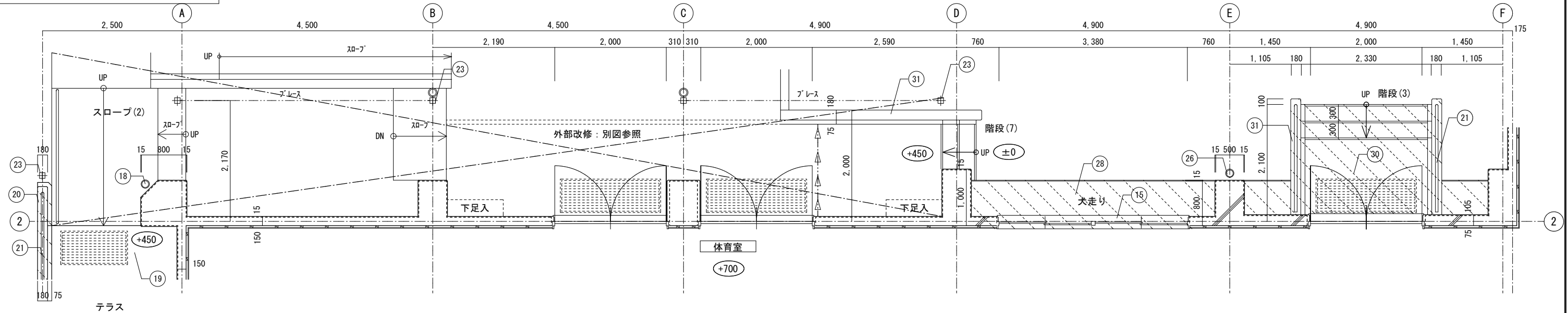


器具庫 展開図 S=1/50

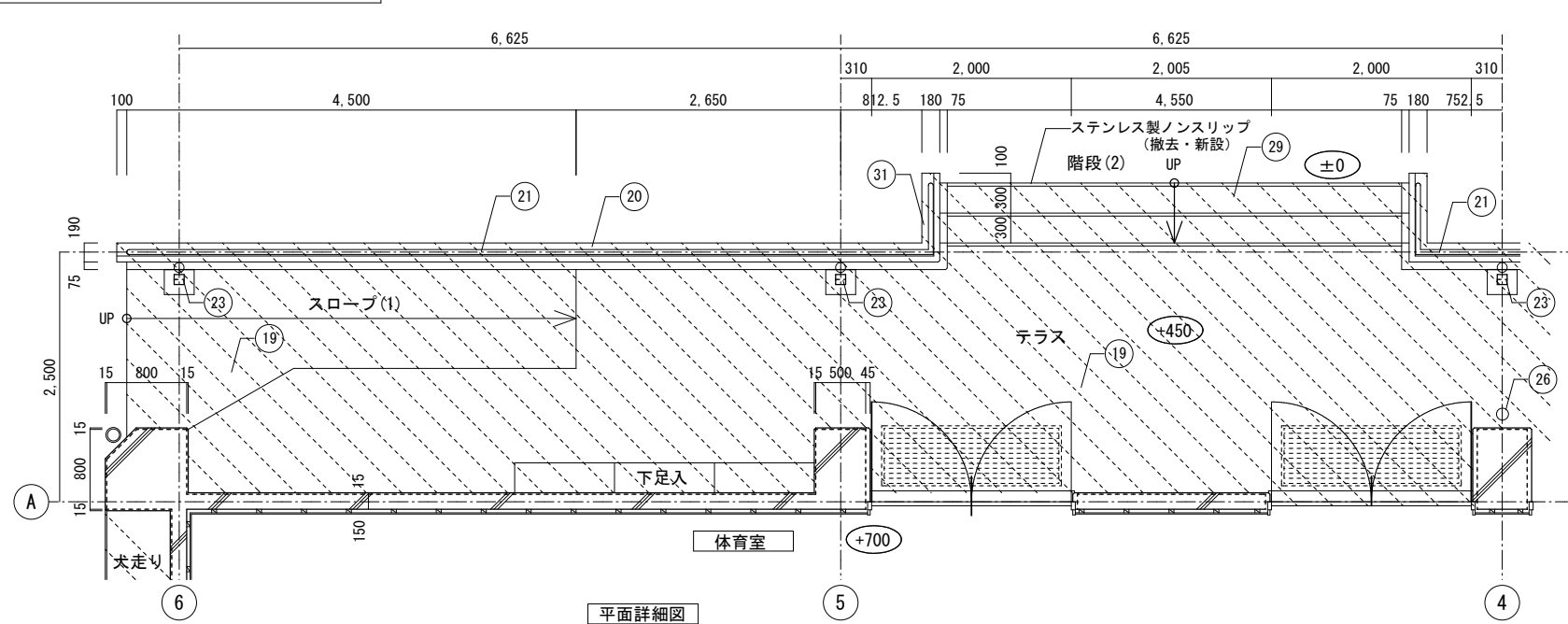
[屋内運動場]

事業年度	年度	設計	令和 年月	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	設計	令和 年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	放送室・器具庫平面詳細図・展開図		A-32

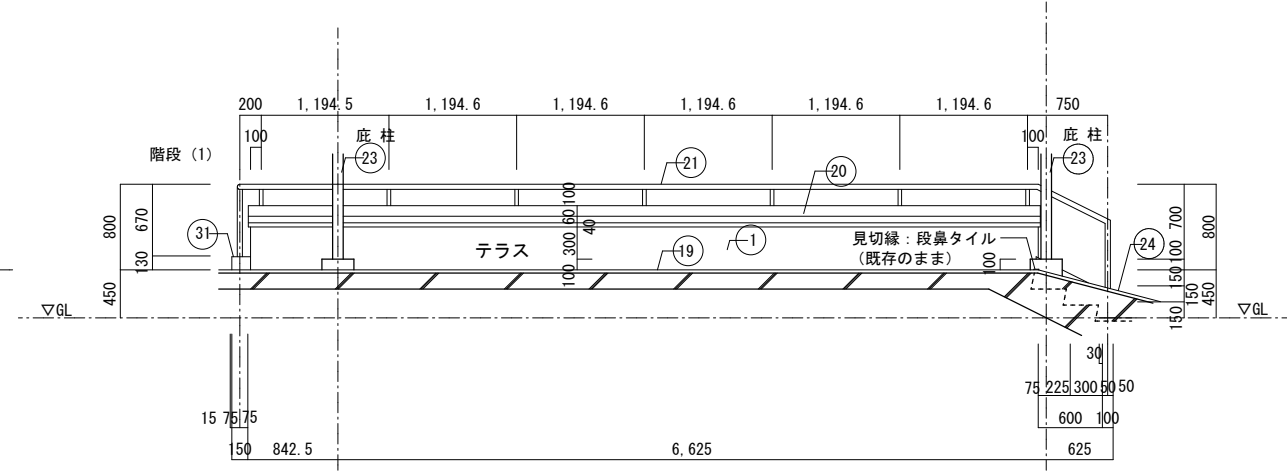
2通り A~F柱間 1階平面詳細図



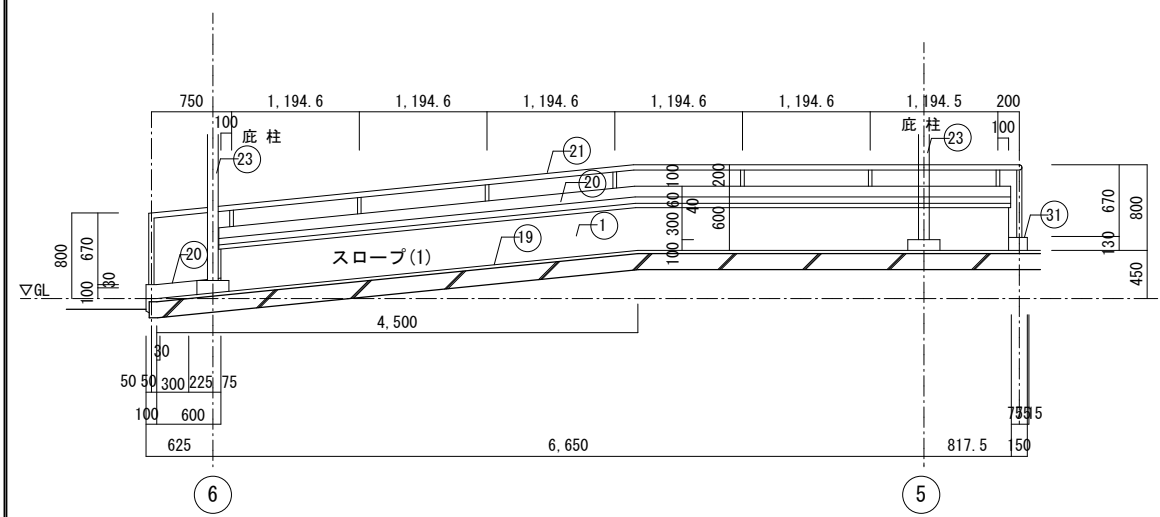
A通り 4~6柱間 1階テラス廻り詳細図



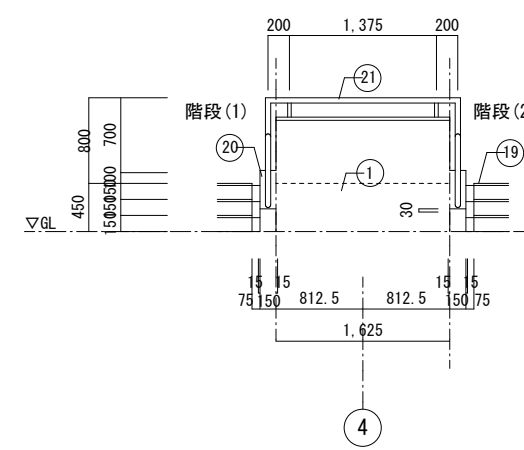
平面詳細図



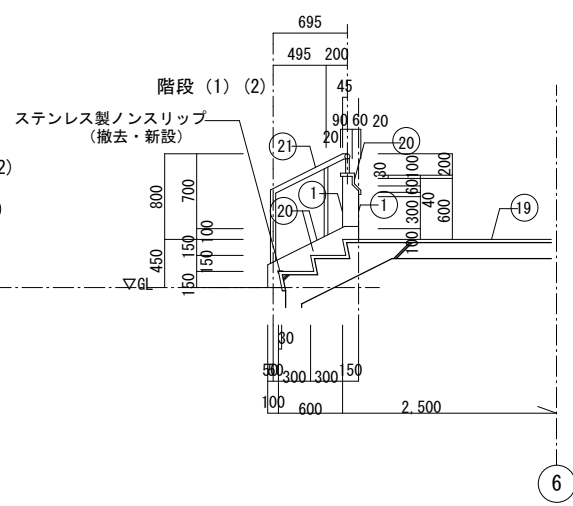
テラス手摺展開図



スロープ(1) 断面詳細図



階段(1)(2) 姿図



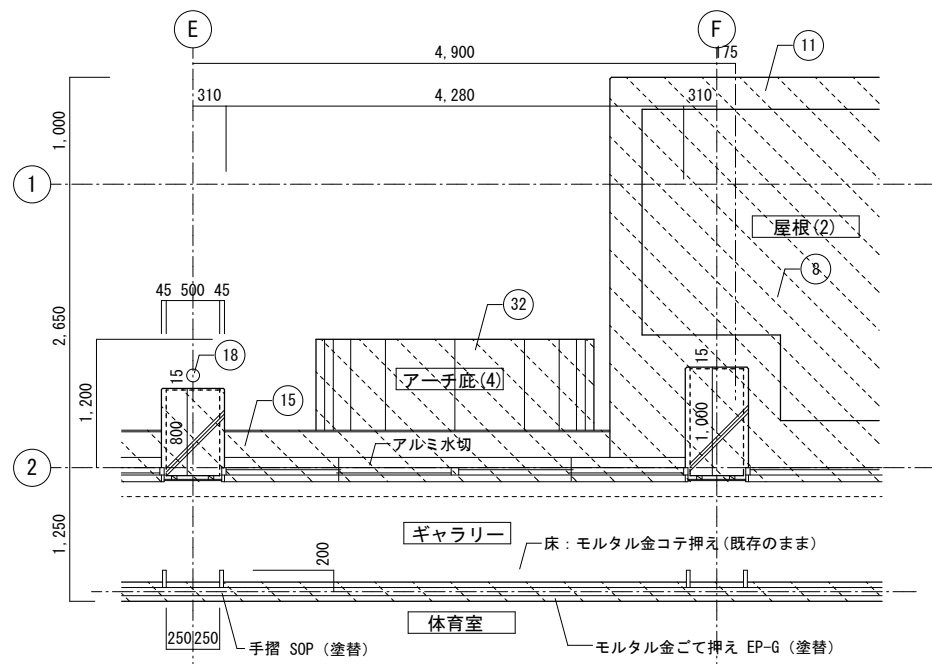
階段(1)(2) 断面詳細図

凡例	
±0	GLからのレベルを示す。
	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す。

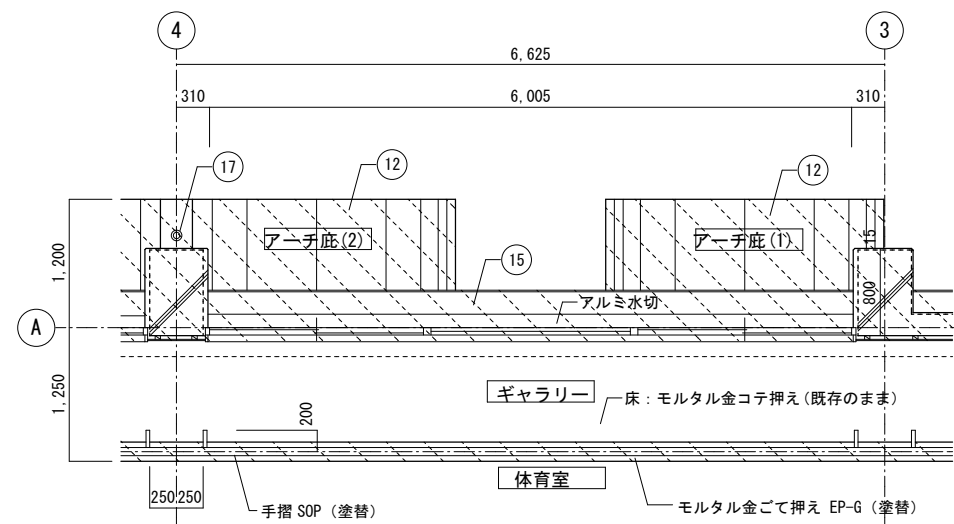
[屋内運動場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	外部廻り 1階平面詳細図	図番 A-33
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----	-----	---	-------------------------------	--------------	------------

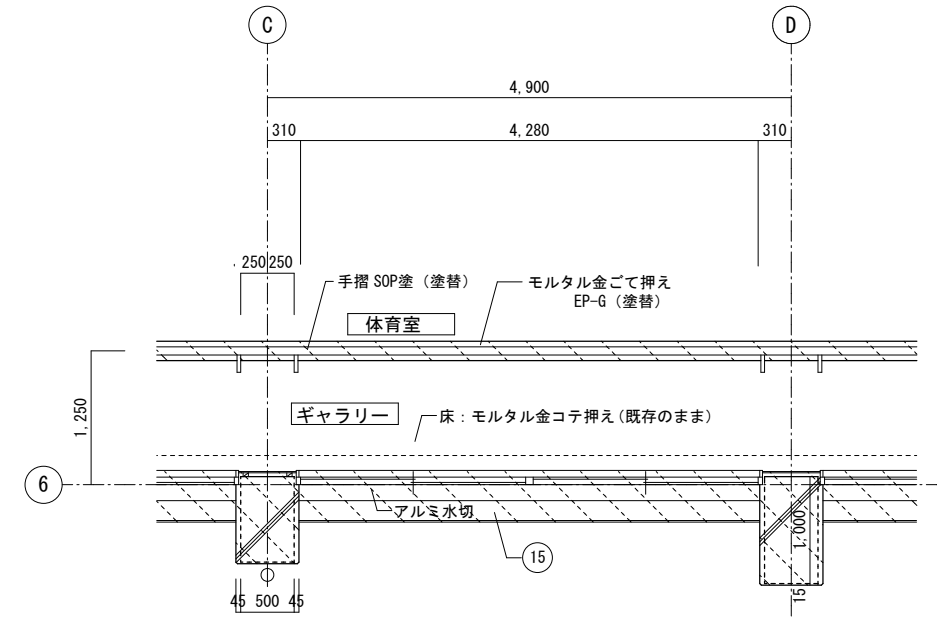
2階廻り詳細図



2通り E～F柱間 平面詳細図



A通り 3～4柱間 平面詳細図

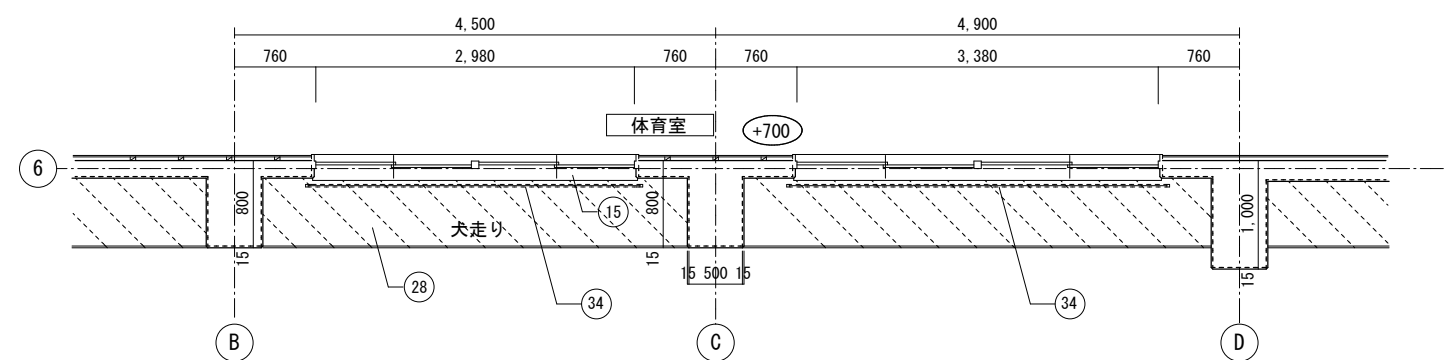


6通り C～D柱間 平面詳細図

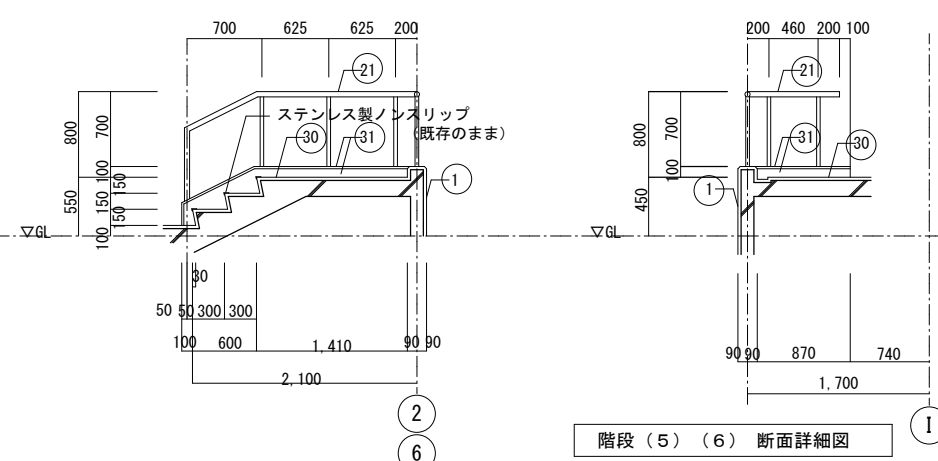
凡例

	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す。

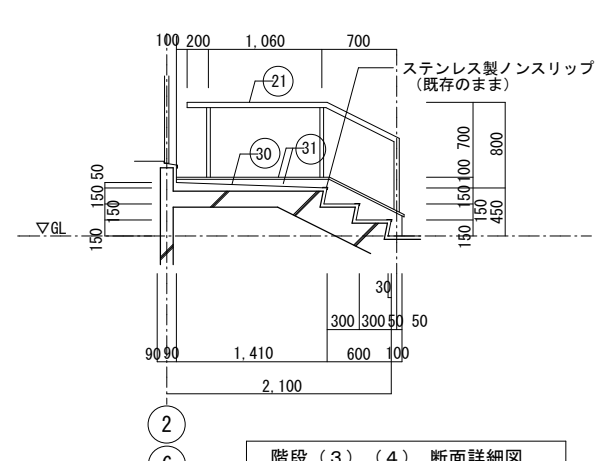
1階廻り詳細図



2通り E～F柱間 平面詳細図



階段 (5) (6) 断面詳細図



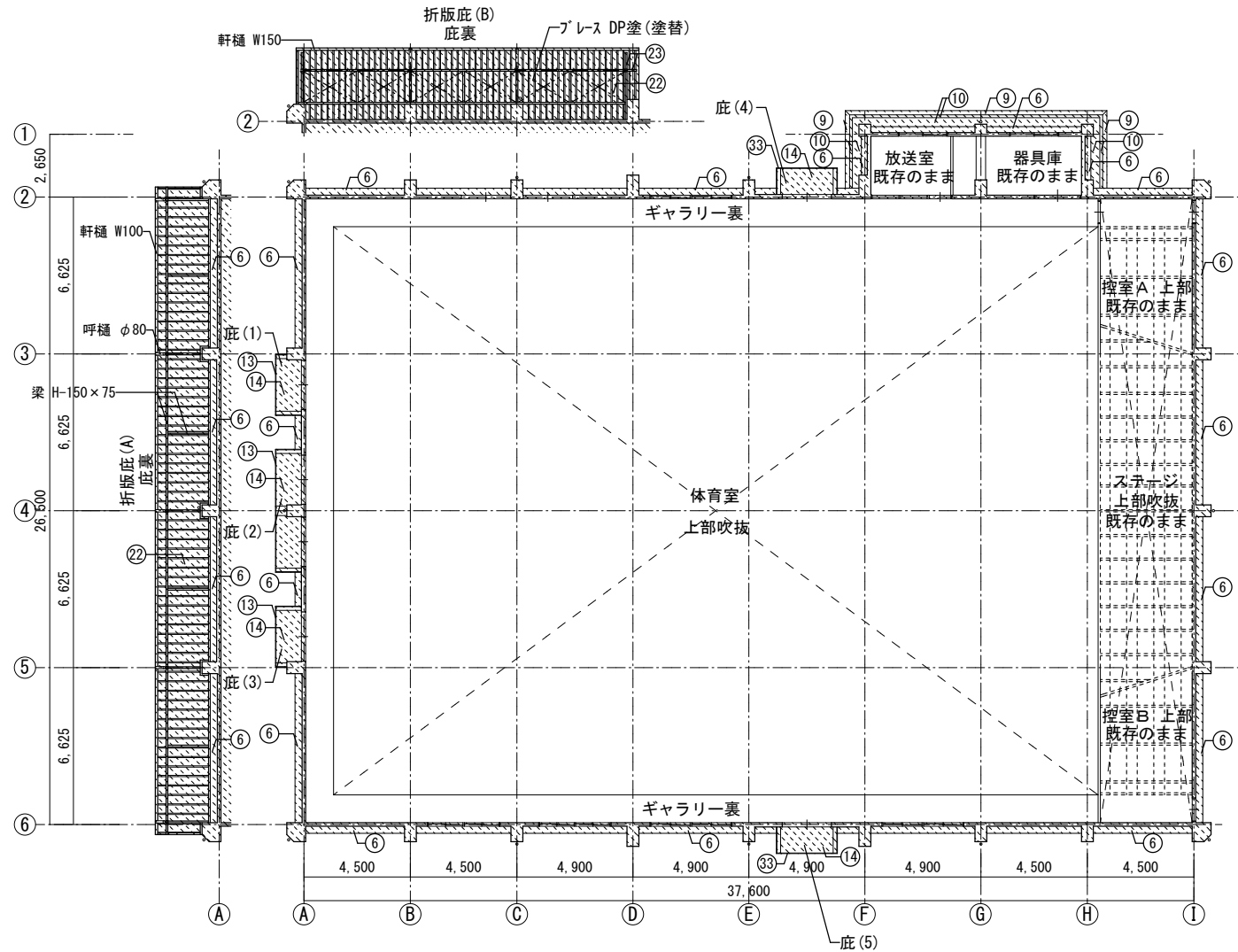
階段 (3) (4) 断面詳細図

凡例

	GLからのレベルを示す。
	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す。

[屋内運動場]

事業年度	年度	設計	令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度									建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	外部廻り 1・2階平面詳細図	A-34



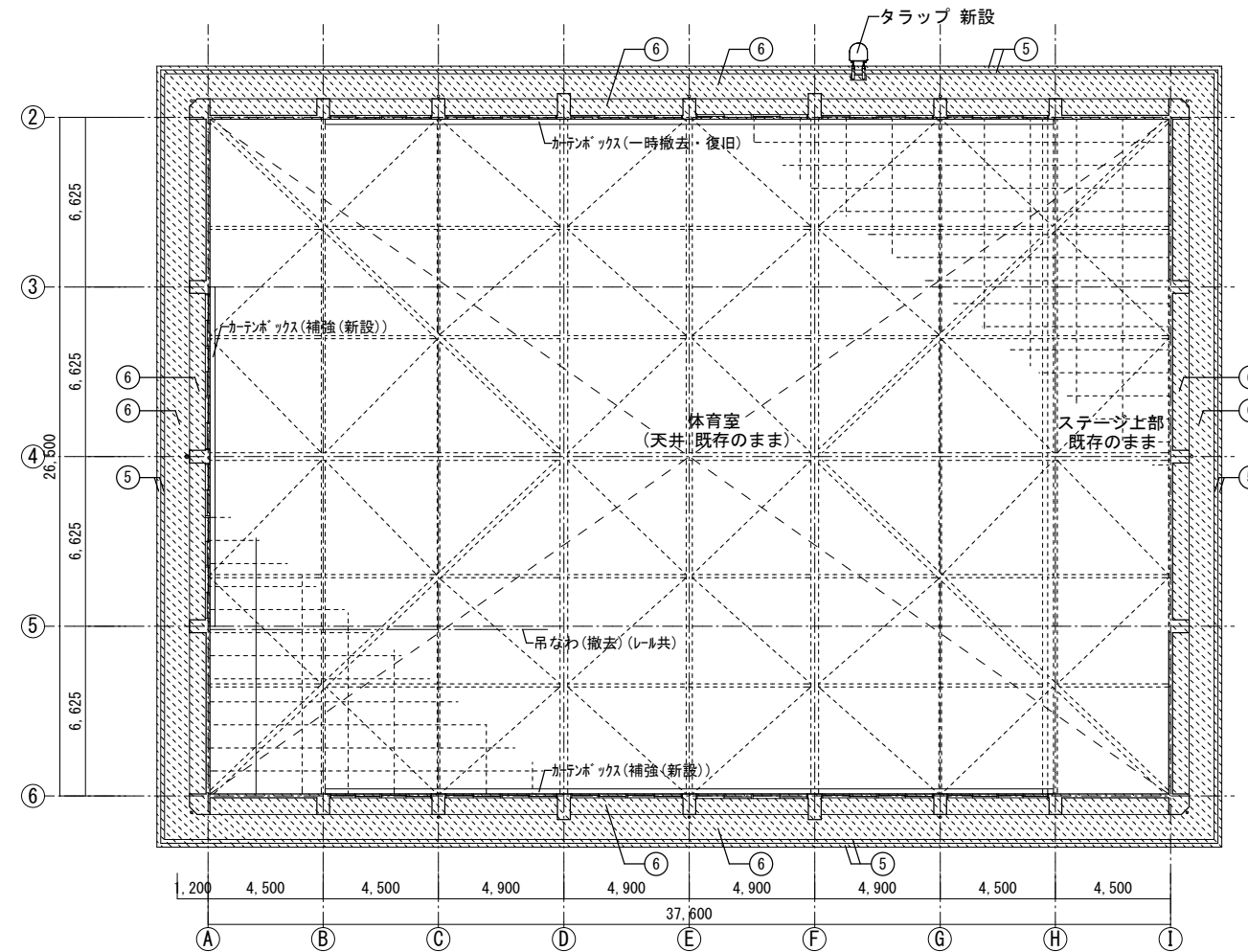
凡例

	改修範囲を示す

1階天井伏図 S=1/200

[屋内運動場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/200 1階天井伏図	(A3版-71%縮小) 図番 A-35
工事完成 令和 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)			



凡例

[Hatched Box]	改修範囲を示す

2階天井伏図 S=1/100

[屋内運動場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類 建築	工事名 宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/200 2階天井伏図	(A3版-71%縮小) 図番 A-36
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----------	---------------------------------------	---	---------------------------	------------------------

共通事項

表示略号	略号	建具	略号	ガラス	平面図表示建具金物記号	アルミニウム製建具の特記事項	特記なき場合は、形式が引違い片引き・上げ下げ窓で、複層ガラスを使用する場合は、枠見込み100mmとする。	外部	一般扉	丁番	シリンダー箱錠 (片面サムターン)	防火戸	(1) ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動は「備考」欄による。 (2) 防火戸の種類は下表により、適用は「防火戸の種類」欄による。 (3) 防火戸の解放機構は別途とする。 (4) 扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う。
AW	アルミ製	型板ガラス	F	型板ガラス	ドアクローザー (ストップ付)	厚見込み 寸法 (mm)	SD 40 (H=2,400以下、扉一枚の幅=950以下) 及び 50 (H=2,400超える、扉一枚の幅=1,600以下) SSD 50 (H=2,700以上、扉一枚の幅=1,500以下) 60 (H=3,200以上、扉一枚の幅=2,000以下) LSD 36	自由開き扉	フロアヒンジ (片自由、ストップ付き) シリンダー本締め (片面サムターン)	押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (SUS 304 HL程度、L≧400)	引戸用本締め錠 (片面サムターン)		
AW	アルミ製	網入りガラス	NF	網入りガラス	ドアクローザー (ストップなし)	形状	(1) SDのうち、点検扉は特記以外は片面フラッシュ戸とする。 (2) 掃き出し窓の適用は「備考」欄による。 (3) 特殊な性能 (簡易気密、防音、断熱、耐震) の建具の適用は「備考」欄による。 (4) 水切りは「備考」欄による。 (5) 標準型建具の適用は「標準型建具の適用」欄に○が付いたものとする。	内部	一般扉	ヒポットヒンジ	シリンダー箱錠 (片面サムターン)	自動ドア	
AW	アルミ製	強化ガラス	T	強化ガラス (材料板ガラス)	平面図表示建具符号	仕上げ	(1) ST、SD、SW、SG、SS及びLDの仕上げは特記以外はSOPとする。 (2) SD及びLDのドアガラスは、鋼板②にSOPとする。 (3) ふすまの上張りの種類は、「備考」欄による。	洗面所	ヒポットヒンジ	錠なし	錠なし	自動ドア	
AW	アルミ製	複層ガラス	HR	複層ガラス (材料板ガラス)	整理番号	建具金物	(1) ドアクローザーの適用は建具配置図 (平面図) による。なお、ドアクローザーの取付は室内側を原則とする。 (2) 壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm程度とし、ドアクローザーの有無にかかわらず戸当たりを設ける。 (3) クレセントの高さは1,500mm以下、掃き出し窓用ペレター装置の高さは800mmから1,500mmとする。 (4) 扉の把手は特記なき場合は、レバーハンドルとし握り玉の適用は「建具金物」欄による。 (5) 扉の握り玉、把手類の取付位置は床面から1,000mmとし、押板類は1,100mmとする。 (6) 防犯建物部品は「建具金物」欄による。 (7) 建具金物は下表により、それ以外は「建具金物」欄による。	便所、洗面所	ヒポットヒンジ	錠なし	錠なし	自動ドア	
AW	アルミ製	単層ガラス	HR	単層ガラス (材料板ガラス)	建具略号			自閉式上り引戸	自閉・制御装置 (ストップ付)	ステンレス製揺れ止め軸	押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (SUS 304 HL程度、L≧400)	付属電気設備	(1) 自動ドアの開閉装置は「備考」欄による。 (2) 自動ドアの開閉装置の防錆性能、凍結防止措置の適用は、「備考」欄による。 (3) センサーの種類は、「備考」欄による。
AW	アルミ製	複層ガラス	HR	複層ガラス (材料板ガラス)				随時開閉式防火戸	ヒンジローラー (ヒポット型、ストップなし)	ケースハンドル錠	ケースハンドル錠		
AW	アルミ製	複層ガラス	HR	複層ガラス (材料板ガラス)				点検扉	軸吊りヒンジ	点検口錠	点検口錠		
AW	アルミ製	複層ガラス	HR	複層ガラス (材料板ガラス)				自由開き扉	フロアヒンジ (片自由、ストップ付き) シリンダー本締め (片面サムターン)	押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (SUS 304 HL程度、L≧400)	押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (SUS 304 HL程度、L≧400)		
AW	アルミ製	複層ガラス	HR	複層ガラス (材料板ガラス)				窓	クレセント				
<p>(○-○-○-○)、(○-○)は国交省標準詳細図の図番号を示す。 複層ガラスは、室内・室外側に使用するガラスは下記のとおりとする。 【内 (材料板ガラス) + A + 外 (材料板ガラス)】 【内：室内側ガラス、外：室外側ガラス、A：空気、AR：アルゴン】 網入りガラスの網の形状は (※) ヒシ網 (※) かく網) とする。</p>													

建具枠・くつずり詳細図 (枠廻り記号)

A1	A2	A3	A4	S1	S2	S3	S4	L1	L2	三方枠	1	2	3	4	5	6	凡例
																	<p>○* 新設建具を示す</p> <p>○* 改修建具を示す</p> <p>○ 撤去建具を示す</p> <p>○* 既存のままの建具を示す</p>
A5	A6	A7	S5	S6	S7	S8	H1	H2	I型	II型	III型	<p>特記事項</p> <p>1. 特記なき限り、建付け調整・金物部品調整を行うこと。</p> <p>2. 外部建具周囲・打継目地等のシーリングは既存シーリング材を除去後打替えとする。 ※シーリングの打替えを行う場合は、既存シーリング材及びバックアップ材を除去し、下地及び除去したシーリング材について監督員の確認を受けた後に施工すること。 また、除去したシーリング材は重量を測り、全量の写真撮影を行うこと。</p>					

符号・数量	① SW × 1	② SW × 1	②A SW × 1 防火設備	②B SW × 1	②C SW × 1	① AD × 5	①A AD × 1 防火設備	② AD × 2 防火設備	③ AD × 2 (右勝手: 1 左勝手: 1)
改修内容	SOP塗替 錠: 1カ所新設 シーリング打替 建具調整 外部 アルミ製格子付 (一時撤去・再取付)	SOP塗替 外部 アルミ製格子付 (一時撤去・再取付) シーリング打替	SOP塗替 シーリング打替	SOP塗替 錠: 1カ所新設 シーリング打替	SOP塗替 引違い障子: 2カ所撤去・新設 シーリング打替	SOP塗替 既存のまま (クリーニング) ドアフェック・フタス落し: 交換 押し棒ビス: 締直し シーリング打替	SOP塗替 既存のまま (クリーニング) 建付け・ドアフェック: 調整 フタス落し: 新設 押し棒ビス: 締直し シーリング打替	SOP塗替 既存のまま (クリーニング) ドアフェック・フタス落し: 交換 鍵受け: 新設 押し棒ビス: 締直し シーリング打替	SOP塗替 既存のまま (クリーニング) 取手: 新設 シーリング打替

図示				
室名	体育室	体育室	体育室	控室
既存付属金物	引手・戸車・ステンレスレール・差込錠・水切	引手・戸車・ステンレスレール・差込錠・水切	丁番 (3枚吊×2)・戸締錠・ドアフェック フタス落し・押し棒×4・ステンレス香槽	丁番 (3枚吊)・戸締錠・ドアフェック 押し棒×2・ステンレス香槽
枠巾見込	80	80	70	70
硝子	-	-	ランマ部: 学校用 T4mm / NP 6.8mm (防火設備)	-

[屋内運動場]

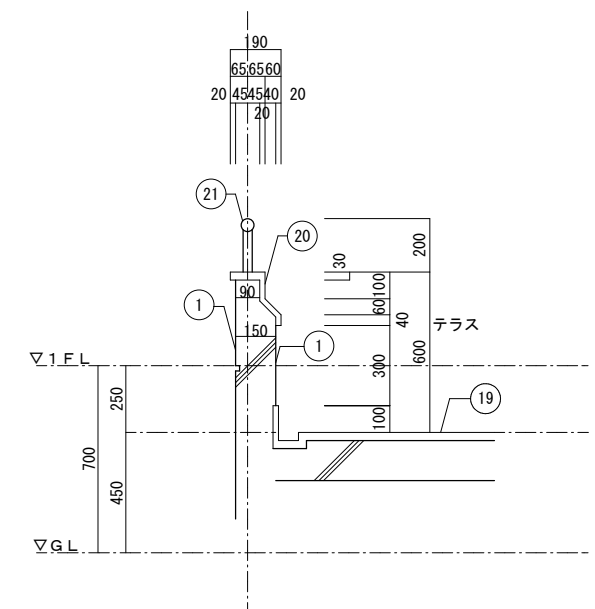
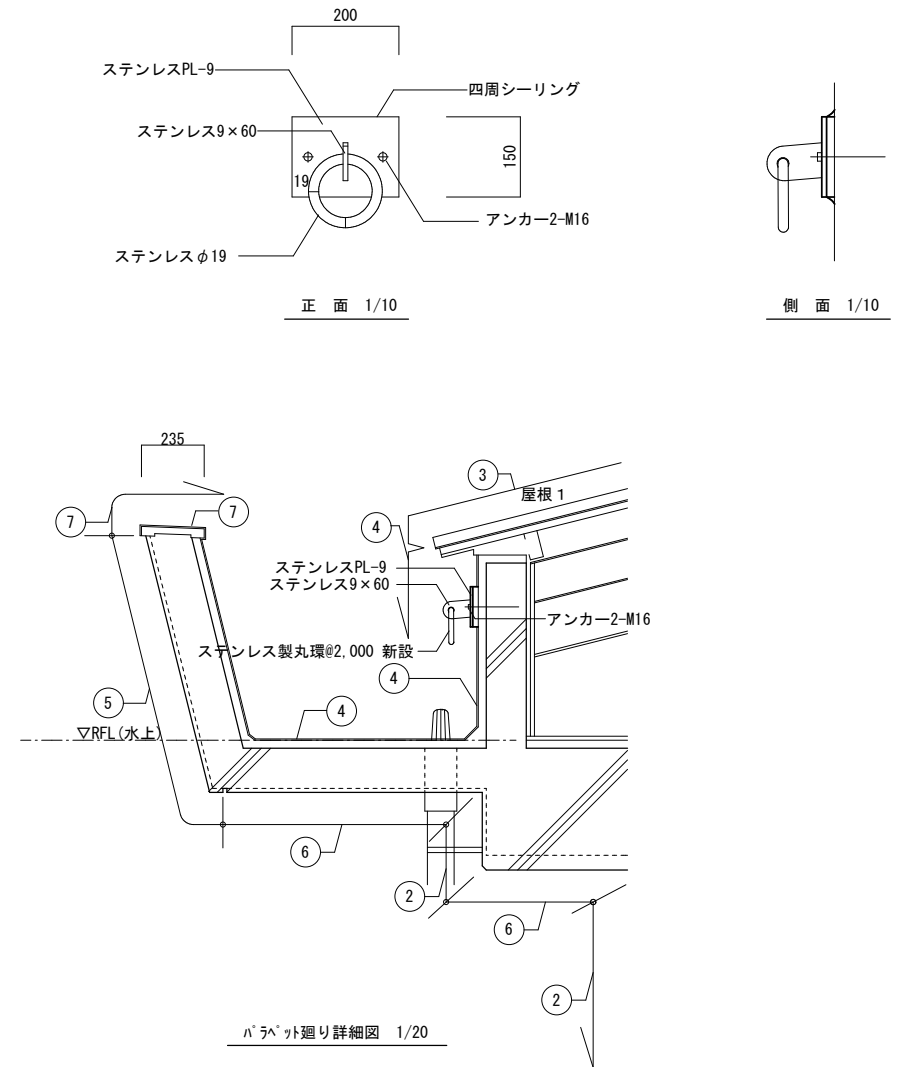
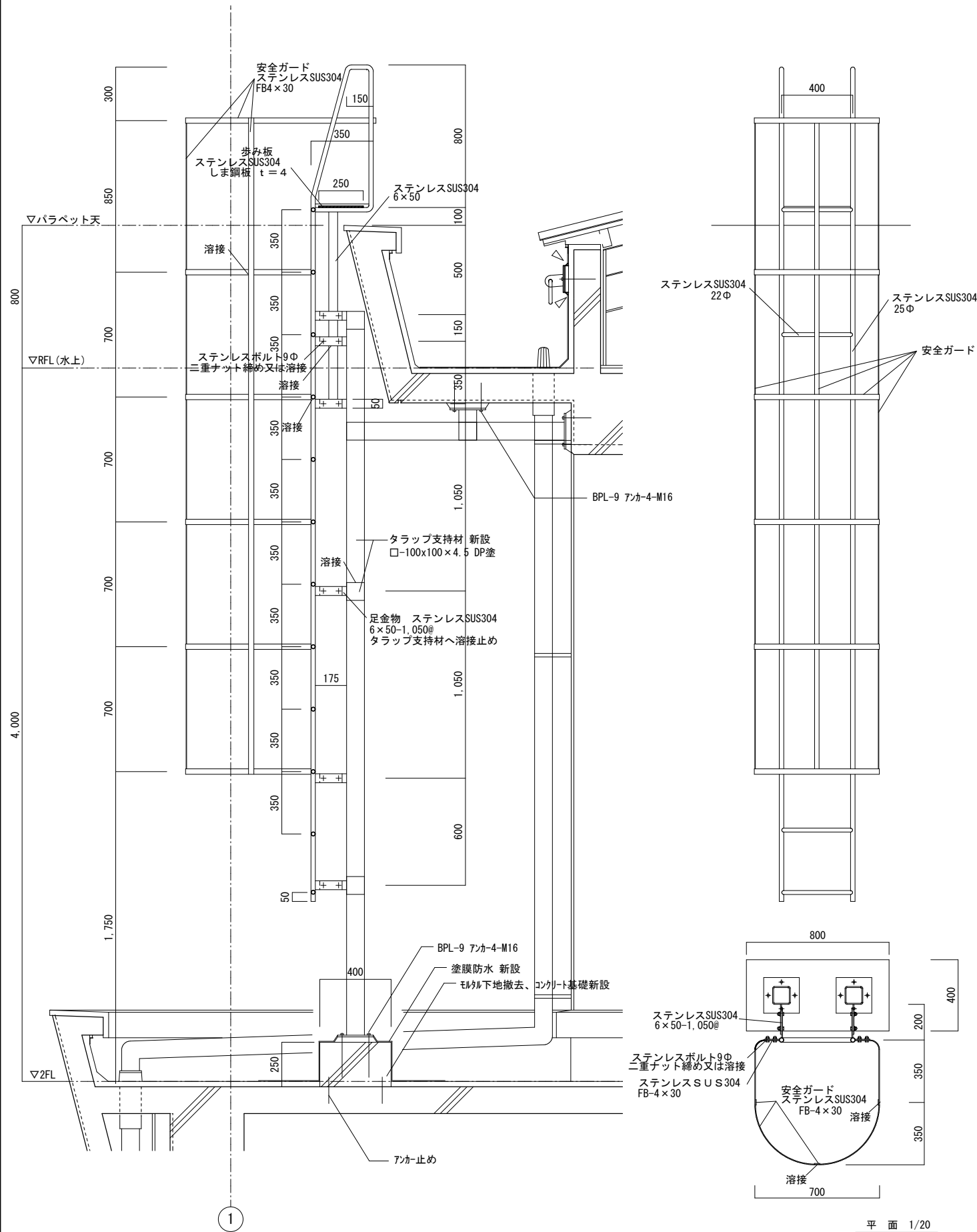
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	S=1/100 (A3版-71%縮小)	A-37

建具表 (1)

符号・数量	$\left(\frac{1}{AW}\right) \times 2$	$\left(\frac{2}{AW}\right) \times 2$	$\left(\frac{2A}{AW}\right) \times 1$ 防火設備	$\left(\frac{2B}{AW}\right) \times 1$	$\left(\frac{3}{AW}\right) \times 4$	$\left(\frac{3A}{AW}\right) \times 3$ 防火設備	$\left(\frac{3B}{AW}\right) \times 1$	$\left(\frac{4}{AW}\right) \times 2$ 防火設備
改修内容	SOP塗替 既存のまま(クリーニング) シーリング打替	SOP塗替 既存のまま(クリーニング) シーリング打替	SOP塗替 既存のまま(クリーニング) ガラス:交換 シーリング打替 建具調整		SOP塗替 既存のまま(クリーニング) シーリング打替		SOP塗替 既存のまま(クリーニング) ガラス:交換 シーリング打替	SOP塗替 既存のまま(クリーニング) シーリング打替
図示								
室名	ギャラリー	ギャラリー			ギャラリー			放送室、器具庫
既存付属金物	標準金物一式(引違い)	標準金物一式(引違い)			標準金物一式(引違い)			標準金物一式(引違い)
枠巾見込	70	70			70			70
硝子	中央FIX: P8mm・その他: P5mm	P5mm / NP6.8mm(防火設備)			P5mm / NP6.8mm(防火設備)			P5mm
符号・数量	$\left(\frac{1}{AG}\right) \times 2$		$\left(\frac{1}{WD}\right) \times 3$ (右勝手:1 左勝手:2)	$\left(\frac{2}{WD}\right) \times 1$	$\left(\frac{1}{WDD}\right) \times 1$			
改修内容	既存のまま(クリーニング) シーリング打替		原:撤去・新設 枠:既存のまま(SOP塗替) ドアフェック・レバーハンドル:交換・一部補修	原:既存のまま(OSCL塗替) 枠:既存のまま(SOP塗替) 扉枠補修 大型引手取替	原:既存のまま(OSCL塗替) 枠:既存のまま(SOP塗替) つ台板増張りの上、OSCL塗(新設)(放送室側) 握り玉取替			
図示								
室名	体育室上部吹抜		控室	器具庫	放送室			
既存付属金物	標準金物一式		丁番(3枚吊)・空錠・取手	ハンガー・レール・ガイドレール	丁番(3枚吊)・戸締錠・ドアフェック			
枠巾見込	70		36	40	36・40			
硝子	-		-	-	学校用T4mm			
符号・数量								
改修内容								
図示								
室名								
付属金物								
枠巾見込								
硝子								

[屋内運動場]

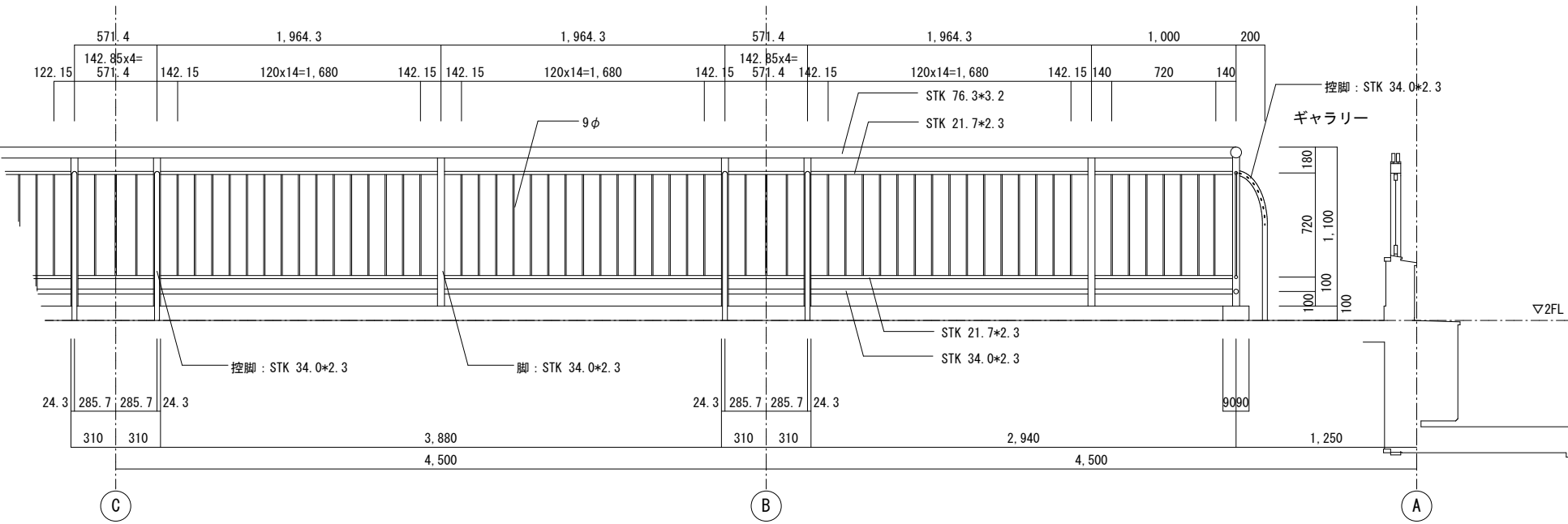
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/100	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年 月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	建具表(2)			A-38



[屋内運動場]

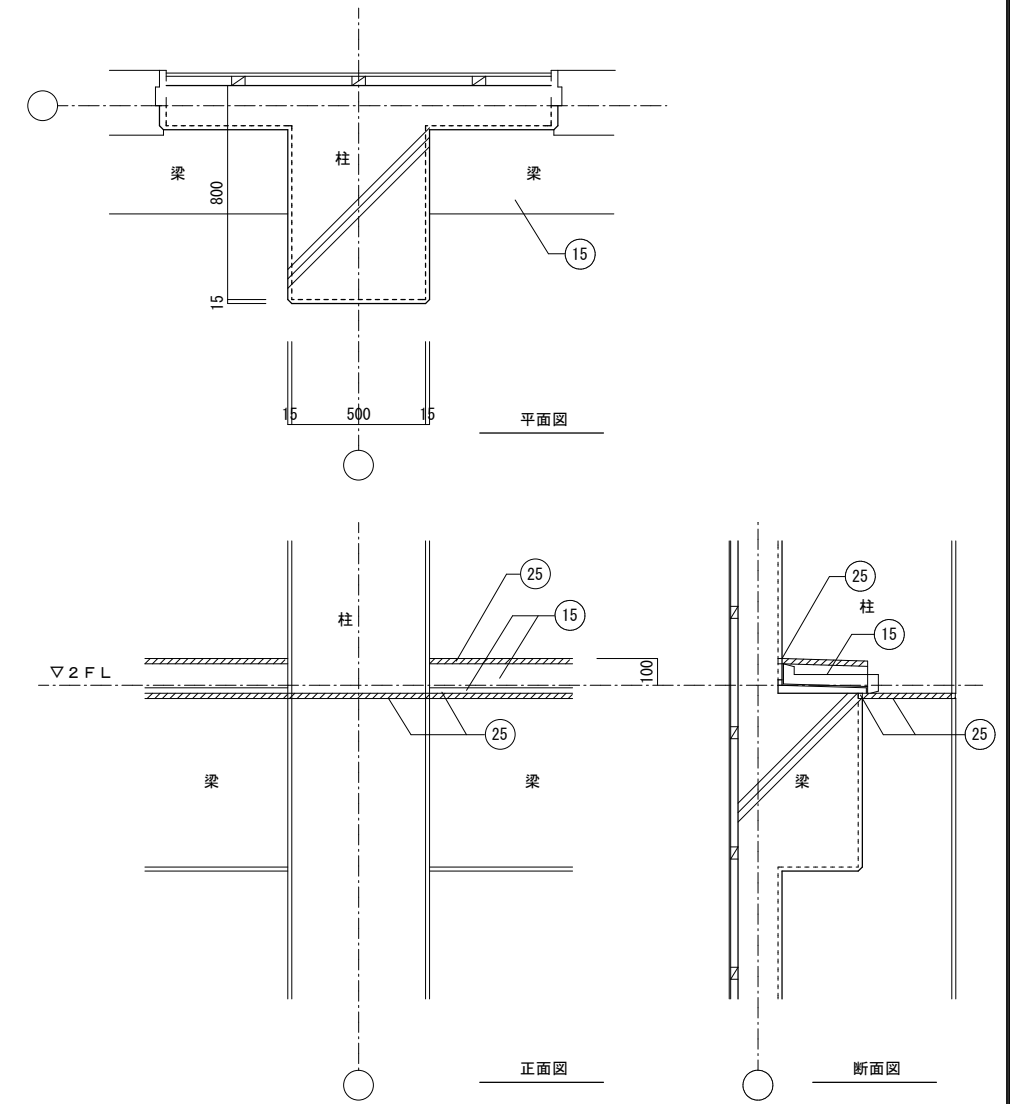
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事（建築主体工事）	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	S=1/10, 20		A-39
三原市都市部建築課										部分詳細図（1）			

ギャラリー手摺 詳細図 S=1/30

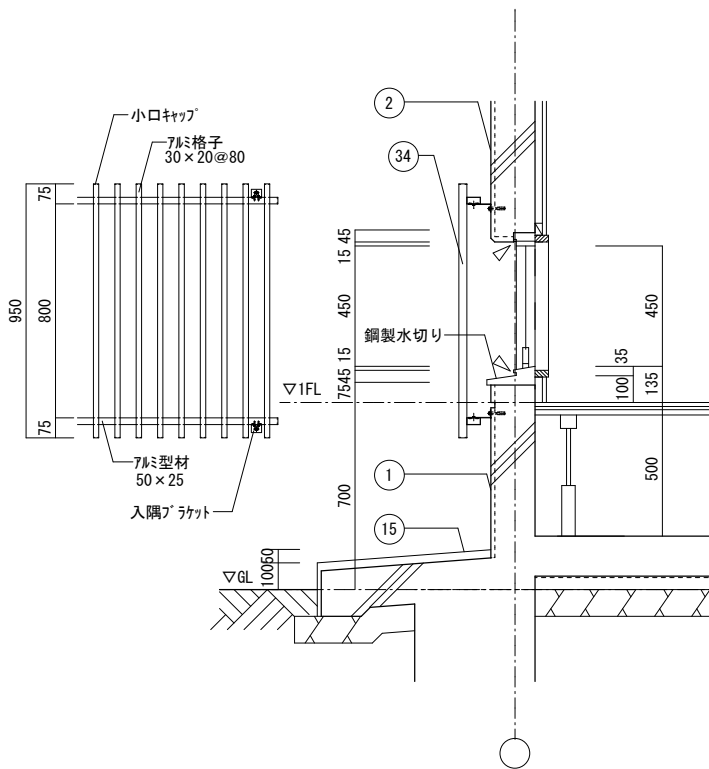


仕上	改修前	鋼材：OP 3回塗
	改修後	SOP塗替
備考		

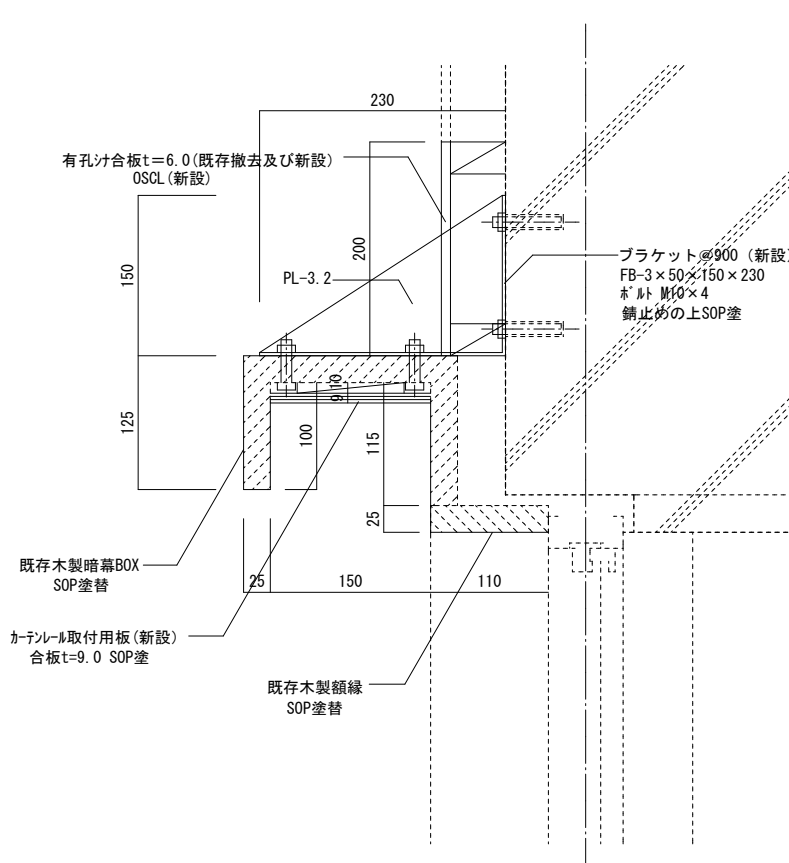
2階外壁梁廻り 詳細図 S=1/20



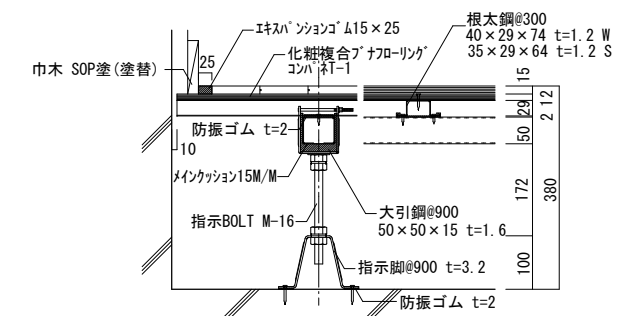
地窓廻り 詳細図 S=1/20



暗幕BOX 詳細図 S=1/5



鋼製床下地 詳細図 S=1/10

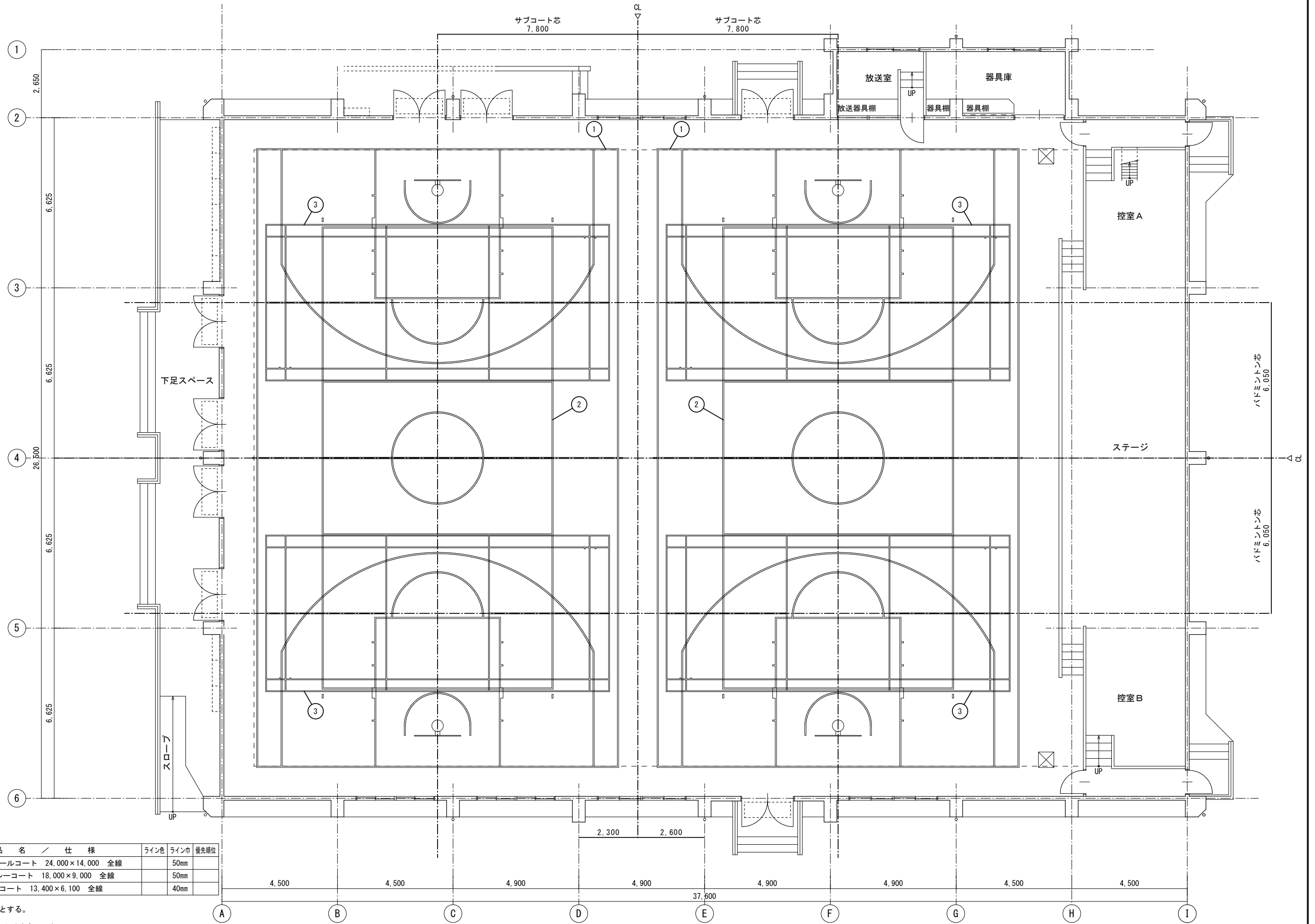
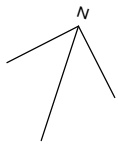


[屋内運動場]

事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/5, 10, 20, 30	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/5, 10, 20, 30	(A3版-71%縮小)	図番

体育室コートライン図

S=1/100



コートライン一覧表

NO	品番	数量	品名 / 仕様	ライン色	ライン巾	優先順位
1	SL211	2面	バスケットボールコート 24,000×14,000 全線		50mm	
2	SL213	2面	一般6人制バレーコート 18,000×9,000 全線		50mm	
3	SL215	4面	バドミントンコート 13,400×6,100 全線		40mm	

コートラインNO.1~3は(撤去・新設)とする。

※優先順位・ライン色は、打合せ等により決定のこと

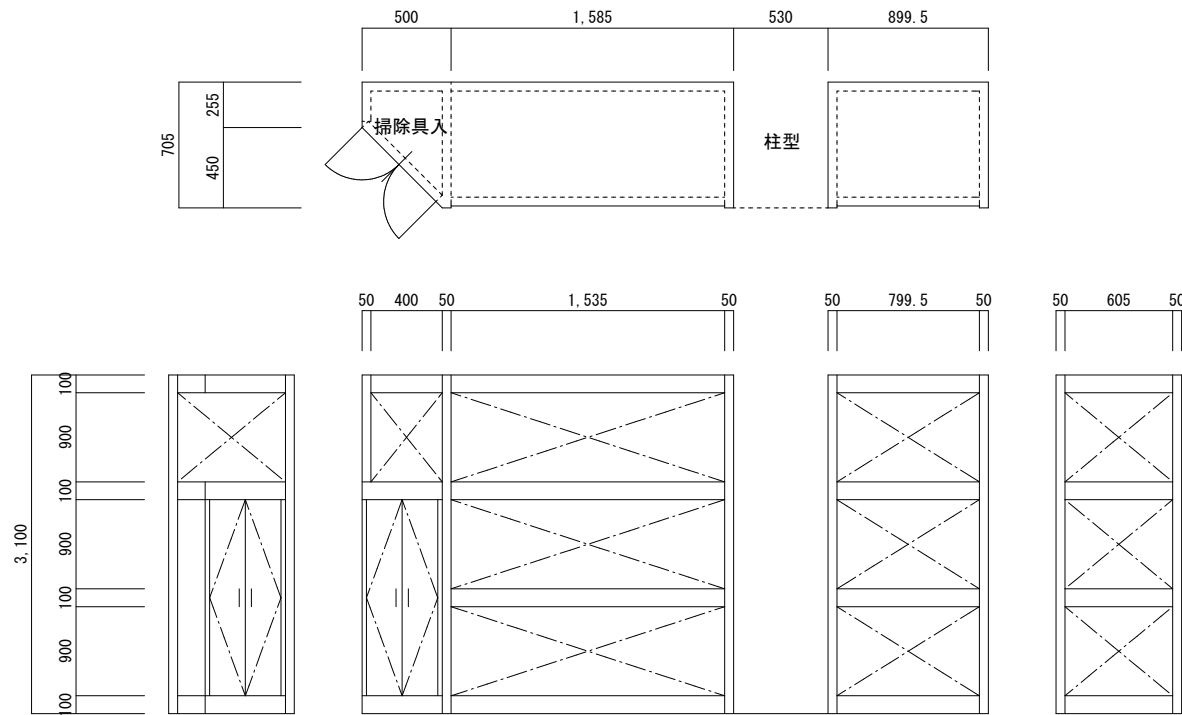
※コートライン配置位置等は全て参考図示とする

※各コートライン芯は既存バスケットゴール、既存床金具合せとすること

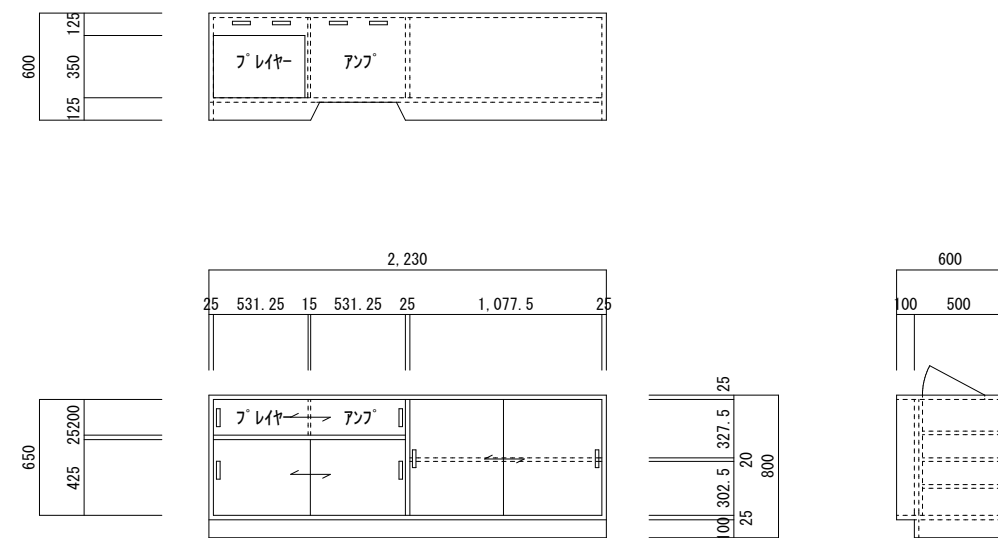
[屋内運動場]

事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和	年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	体育室コートライン図		A-41

器具棚 (器具庫 1台) 詳細図 S=1/30



放送器具棚 (放送室 1台) 詳細図 S=1/30

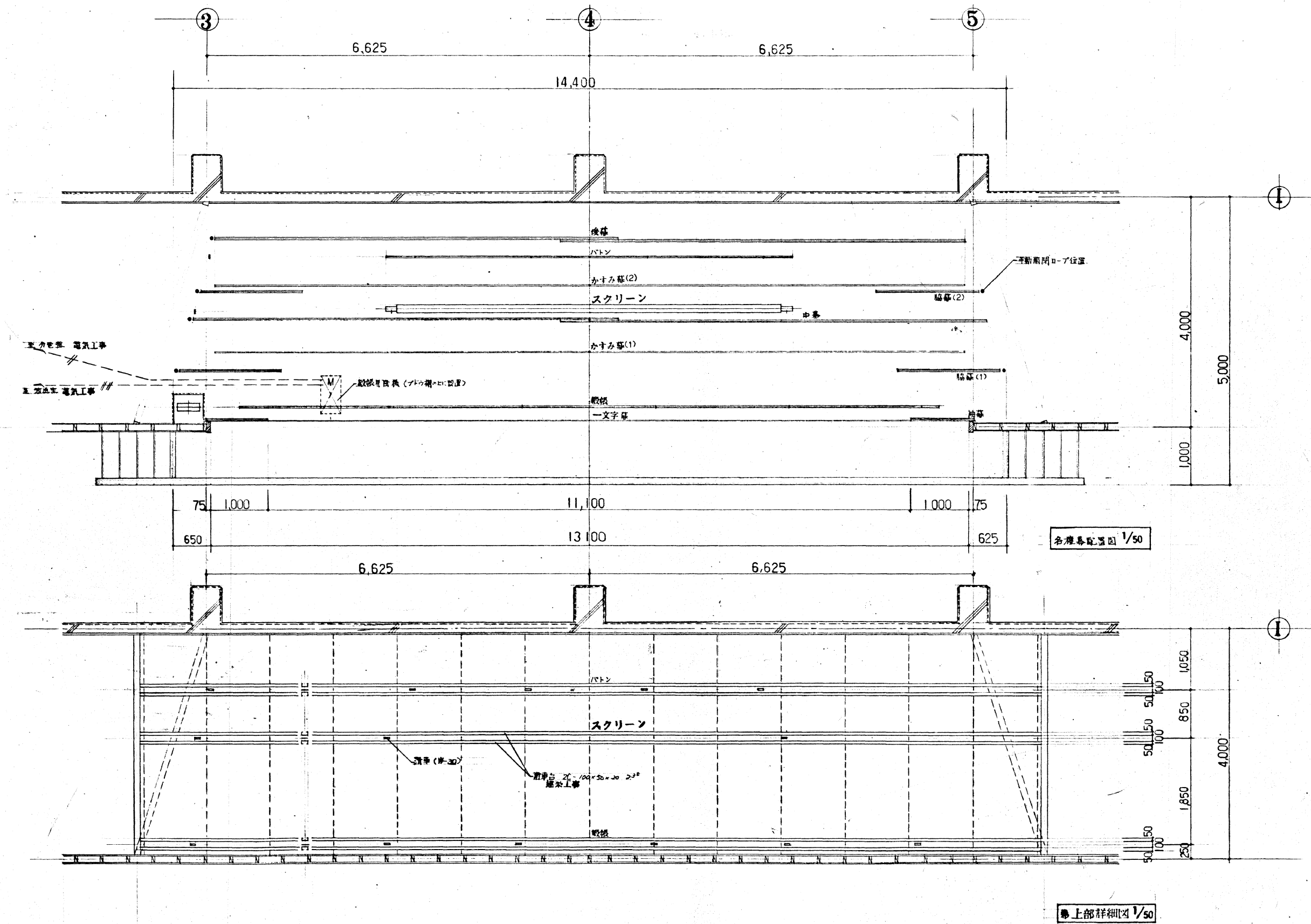


仕 上	改修前	構造材 : 米栴 100x50 棚板材 : コンパネ 15mm 掃除具入 (壁・フラッシュ扉材) : シナベニヤ 5.5mm OS仕上
	改修後	OS塗替
備 考	可動部の建付け・金物調整を行うこと。	

仕 上	改修前	シナベニヤ フラッシュ OS仕上
	改修後	既存のまま
備 考	可動部の建付け・金物調整を行うこと。	

[屋内運動場]

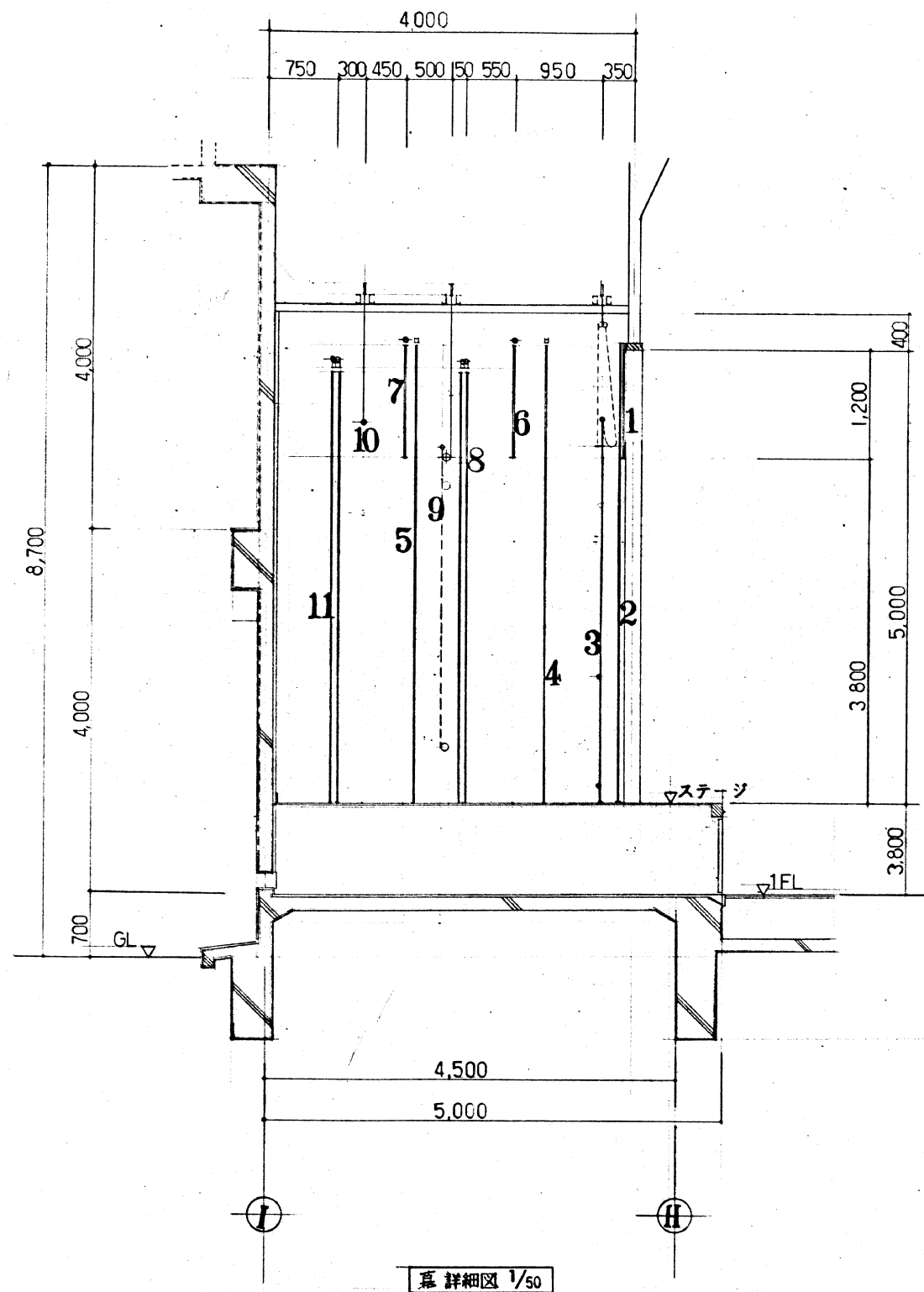
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/30	(A3版-71%縮小)	図 番
工事完成	年度	令和 年 月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	家具参考図		A-42



各種幕配置図 1/50

上部詳細図 1/50

事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和	年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治	(参考図1) 各種幕 配置図		A-43



幕詳細図 1/50

番号	名称	数量	方式	パイプ(W), ロープ(R)		滑車		吊数	パイプ	レール	幕 関 係			
				分岐	径	固定	全長				元	巻 地	W	H
1	一文字幕	1	固定釘打								(株)川島織物 5寸 フロンテ パネル巻地スライ-1.5倍ヒダ	13,400	1,300	1
2	袖幕	1	全上								(株)川島織物 2倍ヒダ パネル巻地スライ-フロンテ	1,100	5,100	2
3	巻幕	1	電動昇降3-折5%	W3φ	W4φ	W-30	W-63	6	CP-31° φ-12,200 × 3		(株)川島織物 絹隔 巻地付 フロンテ	12,200	4,200	1
4	脇幕(1)	1	手動開閉 ロープ引		R8φ					H-6,000P φ-1,750 × 2	(株)川島織物 パネル 2倍ヒダ	1,750	5,000	2
5	脇幕(2)	1	全上		R8φ					H-6,000P φ-1,750 × 2	全上	1,750	5,000	2
6	かすみ幕(1)	1	固定 パイプ吊		W3°				CP-25° φ-13,000		全上	13,000	1,250	1
7	かすみ幕(2)	1	全上		W3°				CP-25° φ-13,000		全上	13,000	1,250	1
8	中幕	1	手動開閉 ロープ引		R8φ	W3°				H-6,000P φ-7,400 × 2	全上	7,400	4,700	2
9	スクリーン	1	手動開閉 吊巻上ロープ	R8φ	W3°	W-30	W-30	2						
10	ボタン	1	全上 扇形型 ロープ	W25°	R8φ	W-30	W-30	4	CP 25° φ-7,000					
11	後幕	1	手動開閉 ロープ引		R8φ					H-6,000P φ-7,000 × 2	(株)川島織物 2倍ヒダ パネル	7,000	4,700	2

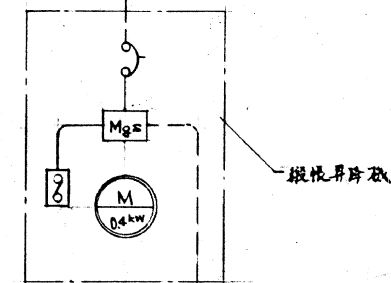
巻機昇降機 1φ 100/110V 0.4kW (ST-4D) 逆転防止付

スクリーン イメージ H2,400 × W6,400 寸φ H4,200 × W6,700 (16% 映写機 10~16" の位置に2幕出)

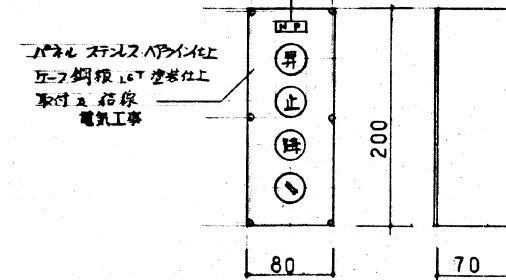
巻上ドラム アルミ 100φ × 7,000

主電源有電盤

1φ 100/110V 電気工事



1.6 × 4 (25) 電気工事

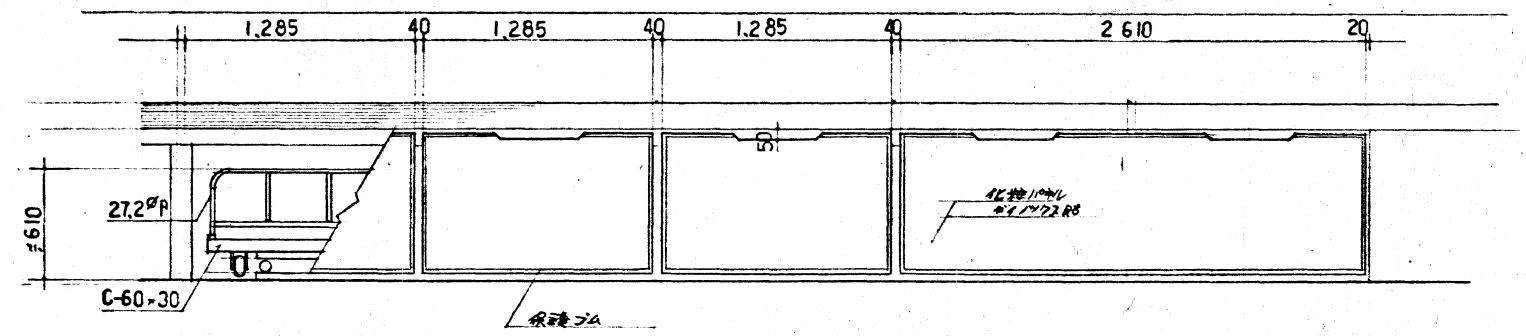
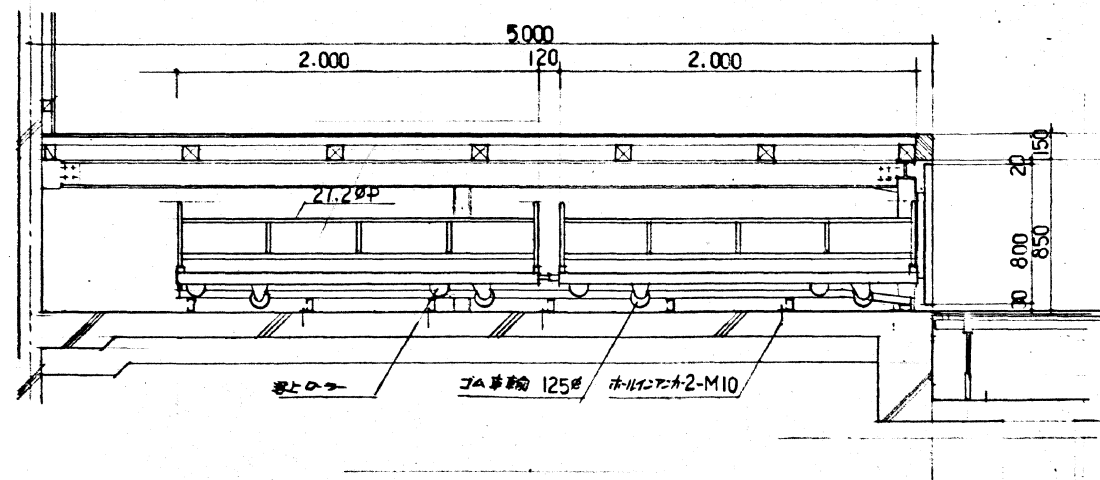
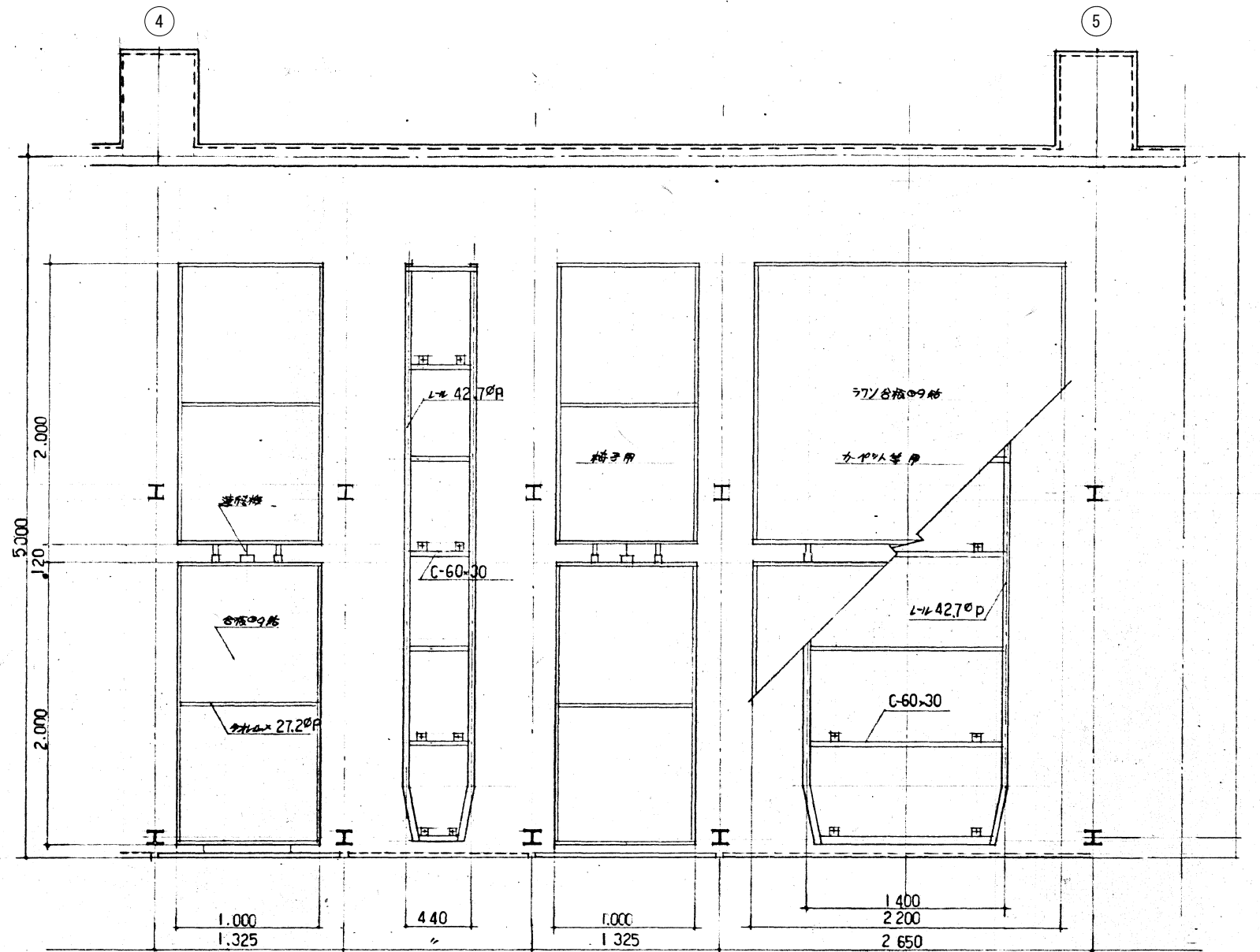


パネル ステンレスパイプ仕上げ
互フ鋼線 16T 巻巻仕上
取付金具等
電気工事

操作盤 1/5

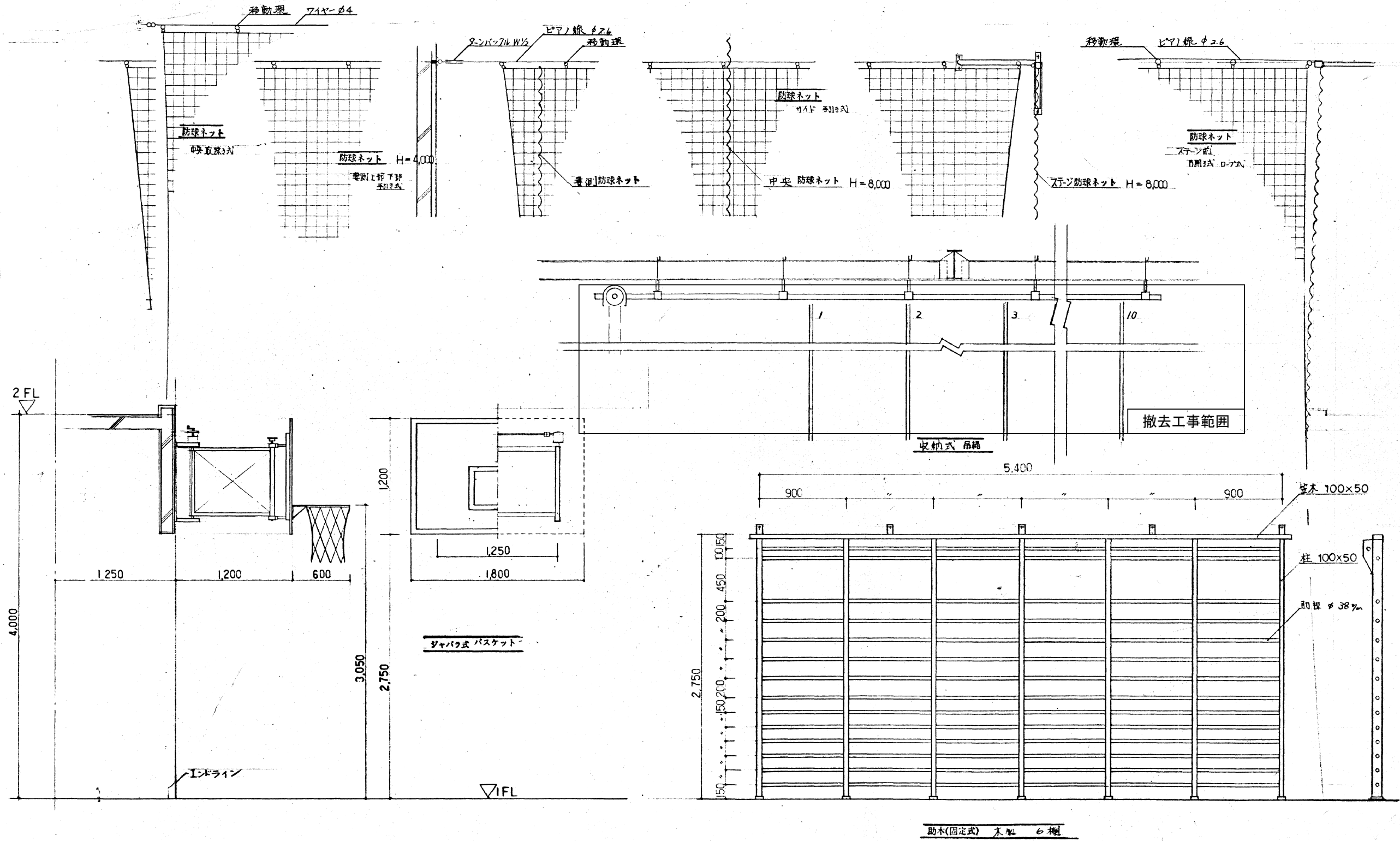
[屋内運動場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/5・1/50 (参考図2) 幕詳細図	(A3版-71%縮小) 図番 A-44
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----	-----	---	-----------------------------------	------------------------



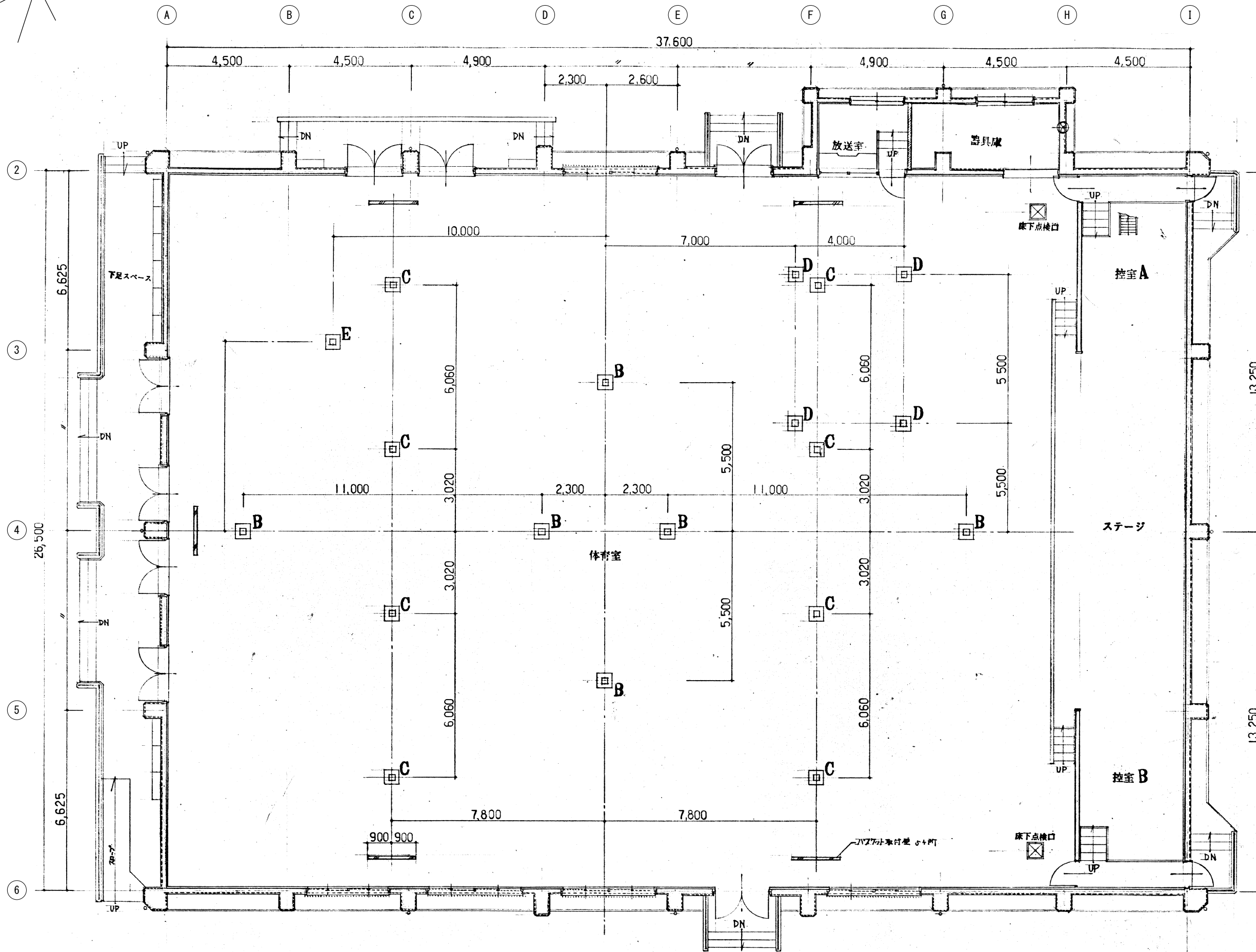
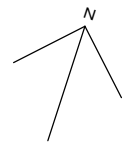
〔屋内運動場〕

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/30	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	(参考図3) ステージ下部 椅子運搬台		A-45

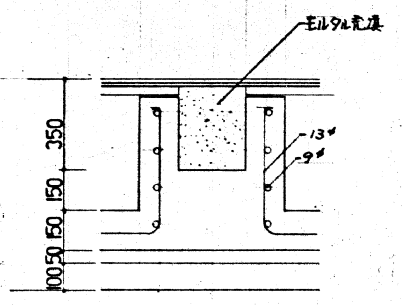
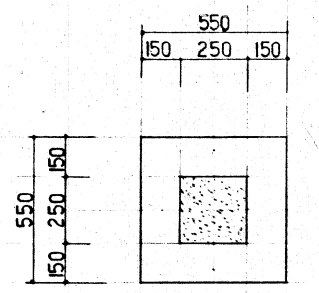


[屋内運動場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/30 (参考図4) 体育器具施設図	(A3版-71%縮小) 図番 A-46
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----	-----	---	----------------------------------	------------------------



B	パレ	6ヶ所
C	パトメント	8ヶ所
D	移動式高張脚	4ヶ所
E	馬	1ヶ所



体育器具伏図 1/100

床下基礎詳細図 1/20

[屋内運動場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治	図面名称・縮尺 S=1/20・1/100 (A3版-71%縮小)	図番 A-47
工事完成 令和 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	印	(参考図5) 体育器具伏図	

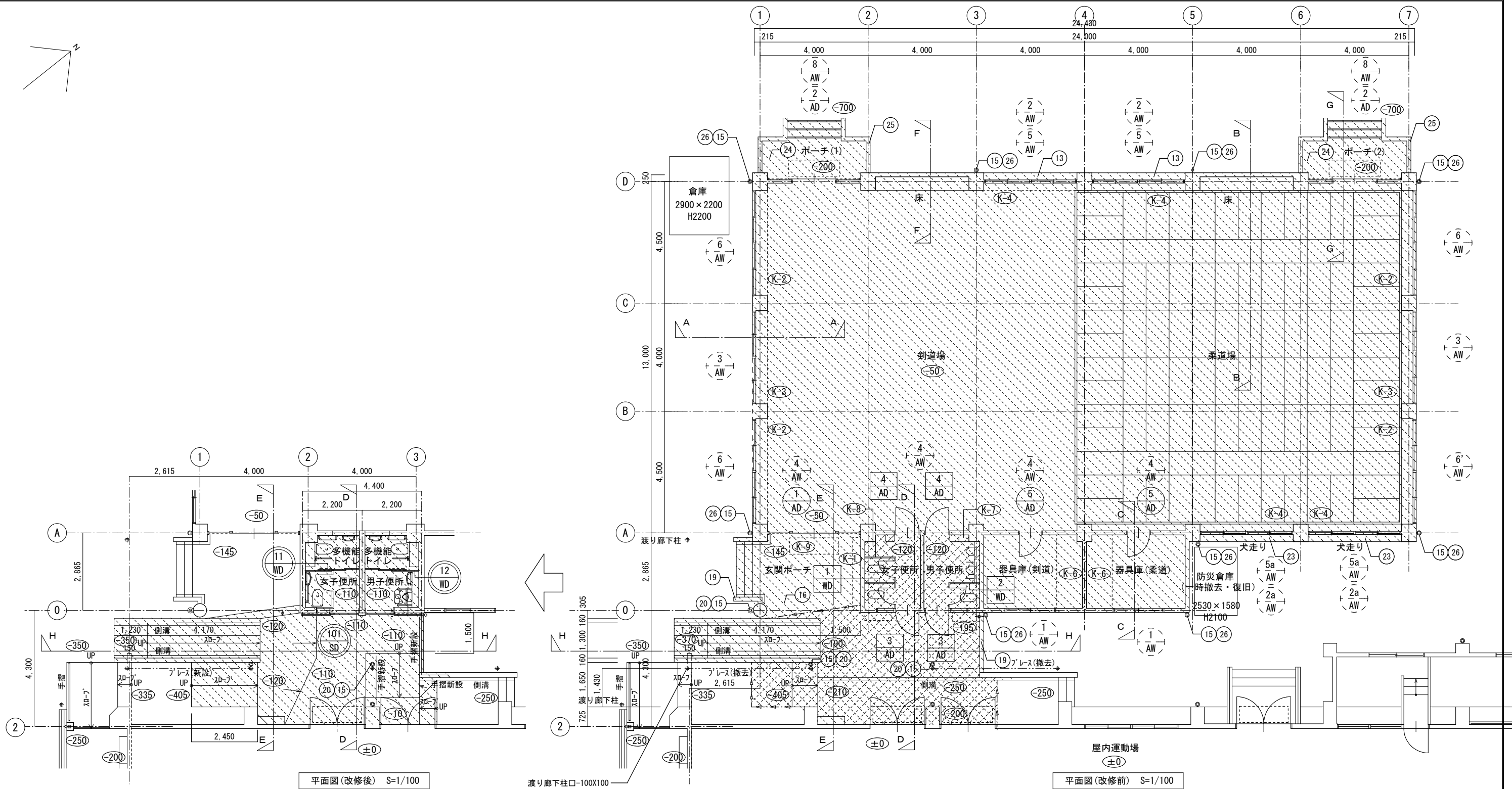
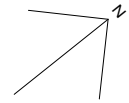
階	室名	床			巾木			腰壁・壁			天井					備考		
		下地	仕上	床レベル	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	廻り縁	天井高(CH)		梁型	
共通	剣道場	改修前	C	ウレタン塗装のうえ樹脂ワックス仕上 ブナ複合化粧フローリング t=15 コバ ねt=12 鋼製床組 巾木あたり伸縮ｺﾞ 115x25	±0	C	米桐t=30 H=100	OP (撤去)	C	腰壁：天然木化粧張t=8.5 見切：木100x25 壁：モルタル塗	壁：VP (撤去)	S	ロックウール化粧吸音板t=30 化粧鉄骨格子組	FP				防具棚：ﾌﾗﾝｽﾞ合板造り付
		改修後	C (既存のまま)	ウレタン塗装のうえ樹脂ワックス仕上 (既存のまま) ブナ複合化粧フローリング t=15 (既存のまま) コバ ねt=12 (既存のまま) 鋼製床組 (既存のまま) 巾木あたり伸縮ｺﾞ 115x25 (既存のまま)	±0	C (既存のまま)	米桐t=30 H=100 (既存のまま)	OS (新設)	C (既存のまま)	腰壁：天然木化粧張 (既存のまま) 見切：木100x25 (既存のまま) 壁：モルタル塗 (既存のまま)	壁：EP-G (新設)	S (既存のまま)	ロックウール化粧吸音板t=30 (既存のまま) 化粧鉄骨格子組 (既存のまま)	FP (既存のまま)				防具棚：ﾌﾗﾝｽﾞ合板造り付 (一部小口補修、OS塗替)
	柔道場	改修前	C	柔道用敷き ブナ複合化粧フローリング t=15 コバ ねt=12 鋼製床組 巾木あたり伸縮ｺﾞ 115x25	±0	C	米桐t=30 H=100 引掛け金物付	OP (撤去)	C	腰壁：天然木化粧張t=8.5 見切：木100x25 壁：モルタル塗	壁：VP (撤去)	S	ロックウール化粧吸音板t=30 化粧鉄骨格子組	FP				防具棚：ﾌﾗﾝｽﾞ合板造り付
		改修後	C (既存のまま)	柔道用敷き (既存のまま) ブナ複合化粧フローリング t=15 (既存のまま) コバ ねt=12 (既存のまま) 鋼製床組 (既存のまま) 巾木あたり伸縮ｺﾞ 115x25 (既存のまま)	±0	C (既存のまま)	米桐t=30 H=100 (既存のまま) 引掛け金物付	OS (新設)	C (既存のまま)	腰壁：天然木化粧張 (既存のまま) 見切：木100x25 (既存のまま) 壁：モルタル塗 (既存のまま)	壁：EP-G (新設)	S (既存のまま)	ロックウール化粧吸音板t=30 (既存のまま) 化粧鉄骨格子組	FP (既存のまま)				防具棚：ﾌﾗﾝｽﾞ合板造り付 (一部小口補修、OS塗替)
	床の間	改修前	C	ブナ複合化粧フローリング t=15 (ｶﾊﾞ ね)ﾌﾞﾝナ積層材	±0		雑巾摺：ｷﾞｷﾞ		M GB-R	ｶｰｽ張 (撤去)		S	ロックウール化粧吸音板t=30 (既存のまま)	FP				防具棚：ﾌﾗﾝｽﾞ合板造り付
		改修後	C (既存のまま)	ブナ複合化粧フローリング t=15 (既存のまま) コバ ねt=12 (既存のまま) 鋼製床組 (既存のまま)	±0		雑巾摺：ｷﾞｷﾞ (既存のまま)		M (既存のまま) GB-R (既存のまま)	下地調整	EP-G (新設)	S (既存のまま)	ロックウール化粧吸音板t=30 (既存のまま)	FP (既存のまま)				防具棚：ﾌﾗﾝｽﾞ合板造り付 (一部小口補修、OS塗替)
	器具庫 (剣道)	改修前	C	ブナ複合化粧フローリング t=15 コバ ねt=12 鋼製床組 巾木あたり伸縮ｺﾞ 115x25	±0	C	モルタル塗	EP (撤去)	C	モルタル塗	EP (撤去)	S	ロックウール化粧吸音板t=30					防具棚：ﾌﾗﾝｽﾞ合板造り付天袋付き
		改修後	C (既存のまま)	ブナ複合化粧フローリング t=15 (既存のまま) コバ ねt=12 (既存のまま) 鋼製床組 (既存のまま) 巾木あたり伸縮ｺﾞ 115x25 (既存のまま)	±0	C (既存のまま)	モルタル塗 (既存のまま)	OS (新設)	C (既存のまま)	モルタル塗 (既存のまま)	EP-G (新設)	S (既存のまま)	ロックウール化粧吸音板t=30 (既存のまま)					防具棚：ﾌﾗﾝｽﾞ合板造り付天袋付き (OS塗替)
	器具庫 (柔道)	改修前	C	ブナ複合化粧フローリング t=15 コバ ねt=12 鋼製床組 巾木あたり伸縮ｺﾞ 115x25	±0	C	モルタル塗	EP (撤去)	C	モルタル塗	EP (撤去)	S	ロックウール化粧吸音板t=30					防具棚：ﾌﾗﾝｽﾞ合板造り付天袋付き
		改修後	C (既存のまま)	ブナ複合化粧フローリング t=15 (既存のまま) コバ ねt=12 (既存のまま) 鋼製床組 (既存のまま) 巾木あたり伸縮ｺﾞ 115x25 (既存のまま)	±0	C (既存のまま)	モルタル塗 (既存のまま)	OS (新設)	C (既存のまま)	モルタル塗 (既存のまま)	EP-G (新設)	S (既存のまま)	ロックウール化粧吸音板t=30 (既存のまま)					防具棚：ﾌﾗﾝｽﾞ合板造り付天袋付き (OS塗替)
	男子便所	改修前	M t=30 (撤去)	磁器ﾓｯﾀﾞｲｸﾀｲﾙ張 (撤去)	-50	C	ﾀｲﾙ (撤去)		C	腰壁：100角ﾀｲﾙ (撤去) 壁：モルタル金鏝押え (撤去)	吹付ﾀｲﾙ (撤去)	LGS (撤去)	フレキシブルﾎｰﾄ t=6 [ｱｽﾌﾞﾙｽ含有] (撤去)	VP (撤去)	塩ビ	2.150		台天端TB30x200 (撤去) 掃除具入 (撤去) ｼﾞｬｰ室 (撤去)
		改修後	M t=40 (新設)	防滑性ビニル床シートt=2.5 (新設)	±0		床材立上げ (新設) 見切り金物 (新設)		C (下地調整)	GB-S t=12.5 (GL工法) (新設) GB-S t=12.5 (GL工法) 化粧けい酸ｶﾙｼﾞｳﾑ板 t=6 H=2150まで (新設)	EP-G (新設)	LGS (新設)	化粧石膏吸音板 t=9.5 (新設)		塩ビ (新設)	2.150		面台 (新設) ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ (新設) ｽﾃﾝﾚｽ製手摺 (新設)
	女子便所	改修前	M t=30 (撤去)	磁器ﾓｯﾀﾞｲｸﾀｲﾙ張 (撤去)	-50	C	ﾀｲﾙ (撤去)		C	腰壁：100角ﾀｲﾙ (撤去) 壁：モルタル金鏝押え (撤去)	吹付ﾀｲﾙ (撤去)	W (撤去)	フレキシブルﾎｰﾄ t=6 [ｱｽﾌﾞﾙｽ含有] (撤去)	VP (撤去)	塩ビ	2.150		台天端TB30x200 (撤去) 掃除具入 (撤去) ｼﾞｬｰ室 (撤去)
		改修後	M t=40 (新設)	防滑性ビニル床シートt=2.5 (新設)	±0		床材立上げ (新設) 見切り金物 (新設)		C (下地調整)	GB-S t=12.5 (GL工法) (新設) GB-S t=12.5 (GL工法) 化粧けい酸ｶﾙｼﾞｳﾑ板 t=6 H=2150まで (新設)	EP-G (新設)	LGS (新設)	化粧石膏吸音板 t=9.5 (新設)		塩ビ (新設)	2.150		面台 (新設) ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ (新設) ｽﾃﾝﾚｽ製手摺 (新設)

凡例		凡例		凡例		凡例	
符号	名称	符号	名称	符号	名称	符号	名称
M	モルタル	OP	油性調合ペイント	GB-S	耐水ボード		
C	コンクリート	SOP	合成樹脂調合ペイント	GB-R	石膏ボード		
CB	コンクリートブロック	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	GB-D	化粧石膏ボード		
RC	鉄筋コンクリート	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	GB-F	強化石膏ボード		
LGS	軽量鉄骨下地	AEP	アクリル樹脂水性エマルジョンペイント	GB-R-H	普通硬質強化石膏ボード		
				DR	ロックウール化粧吸音板		

*特記事項 巾木・壁の塗装(新設)は、既存塗装面の下地調整を行うこと。

[武道場]

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年 月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	内部仕上表		A-49



平面図(改修後) S=1/100

渡り廊下柱口-100X100

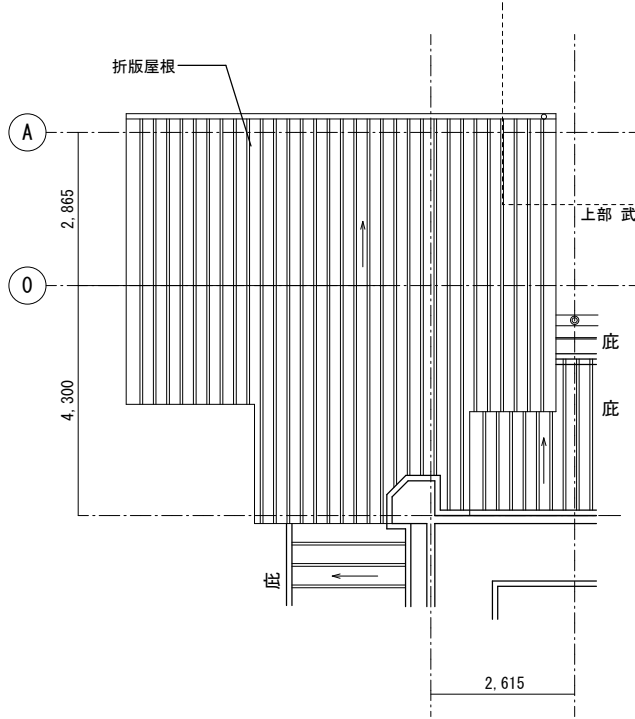
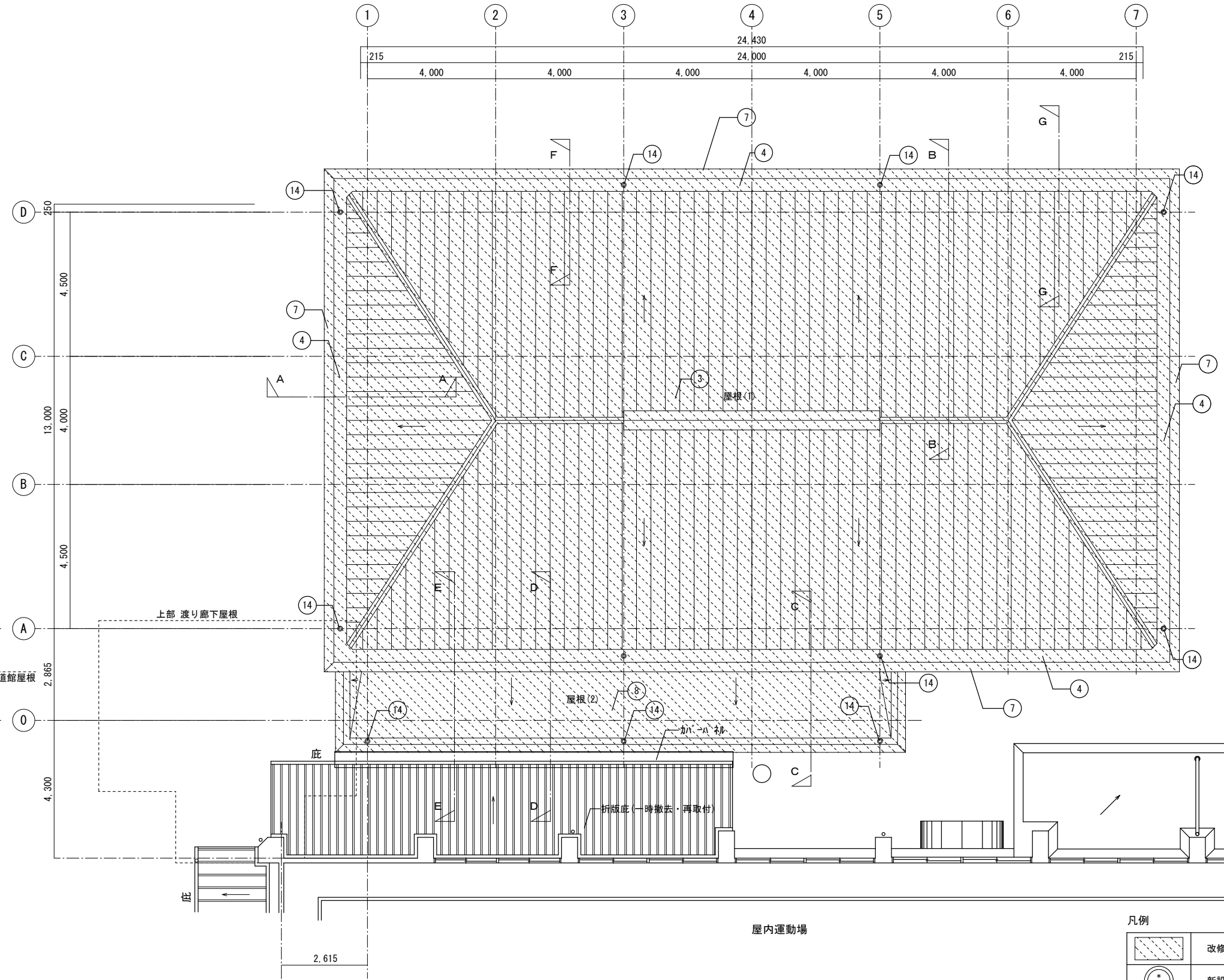
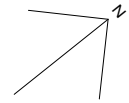
屋内運動場 ±0 平面図(改修前) S=1/100

凡例

	改修範囲を示す
	撤去範囲を示す
	新設建具を示す
	改修建具を示す
	撤去建具を示す
	既存のままの建具を示す
	カッター切を示す。

[武道場]

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	1階平面図・建具配置図	A-50



渡り廊下 屋根伏図 S=1/100

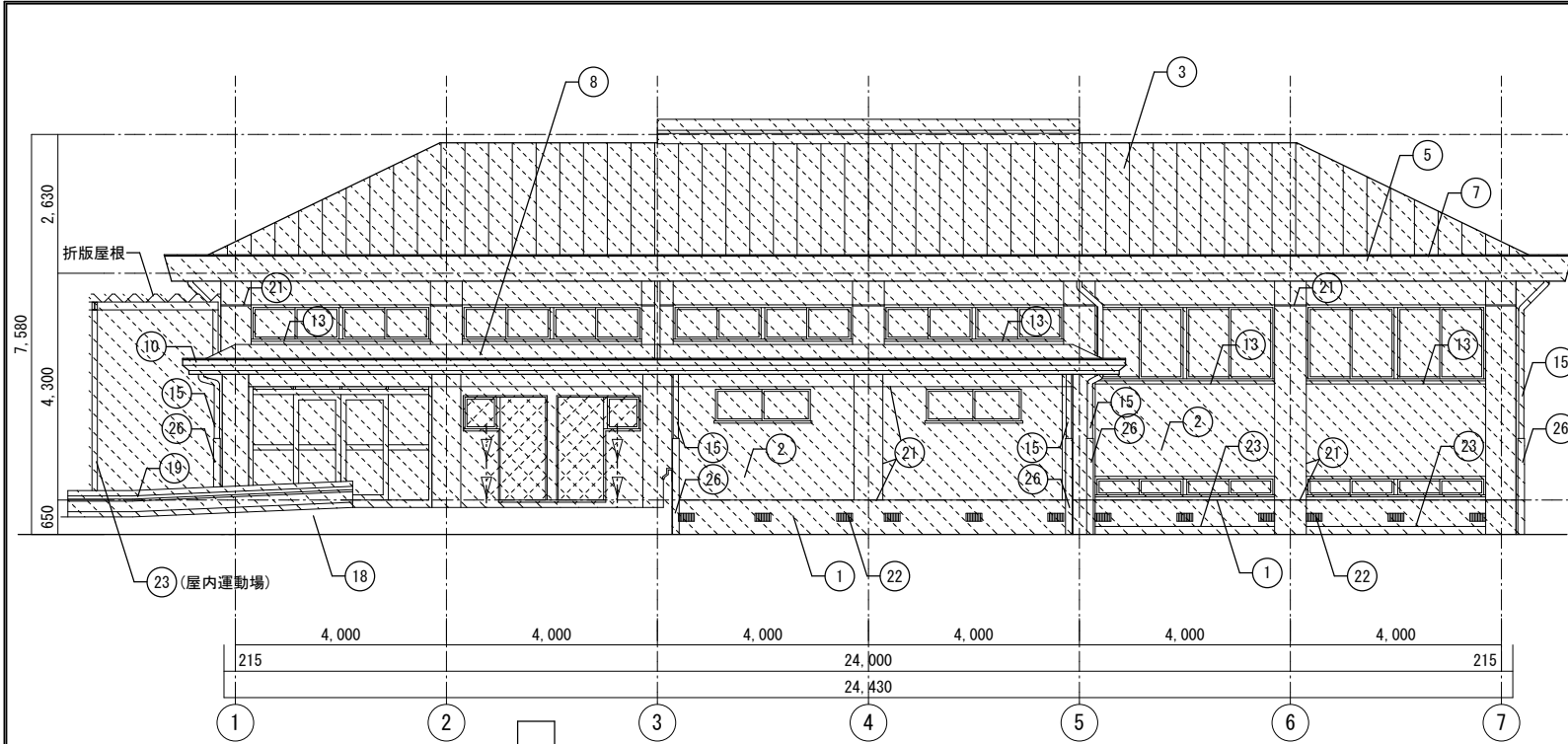
屋根伏図 S=1/100

凡例

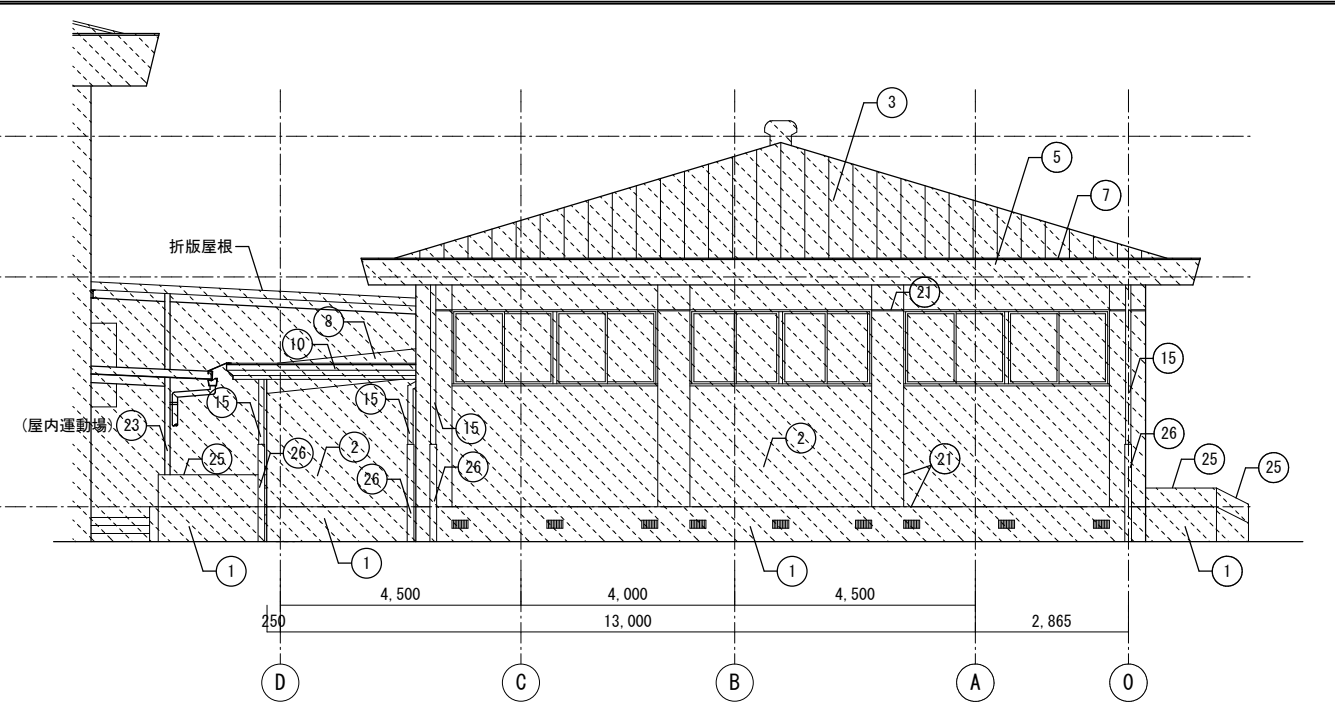
	改修範囲を示す
	新設建具を示す
	改修建具を示す
	撤去建具を示す
	既存のままの建具を示す

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図番 A-51
工事完成 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)		屋根伏図	

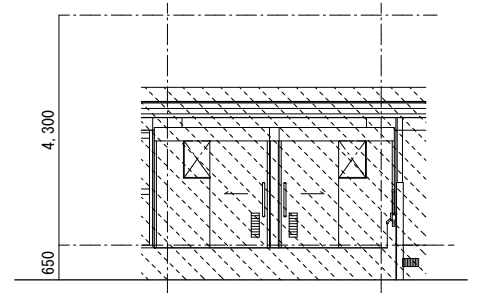
[武道場]



東立面図 (改修前) S=1/100



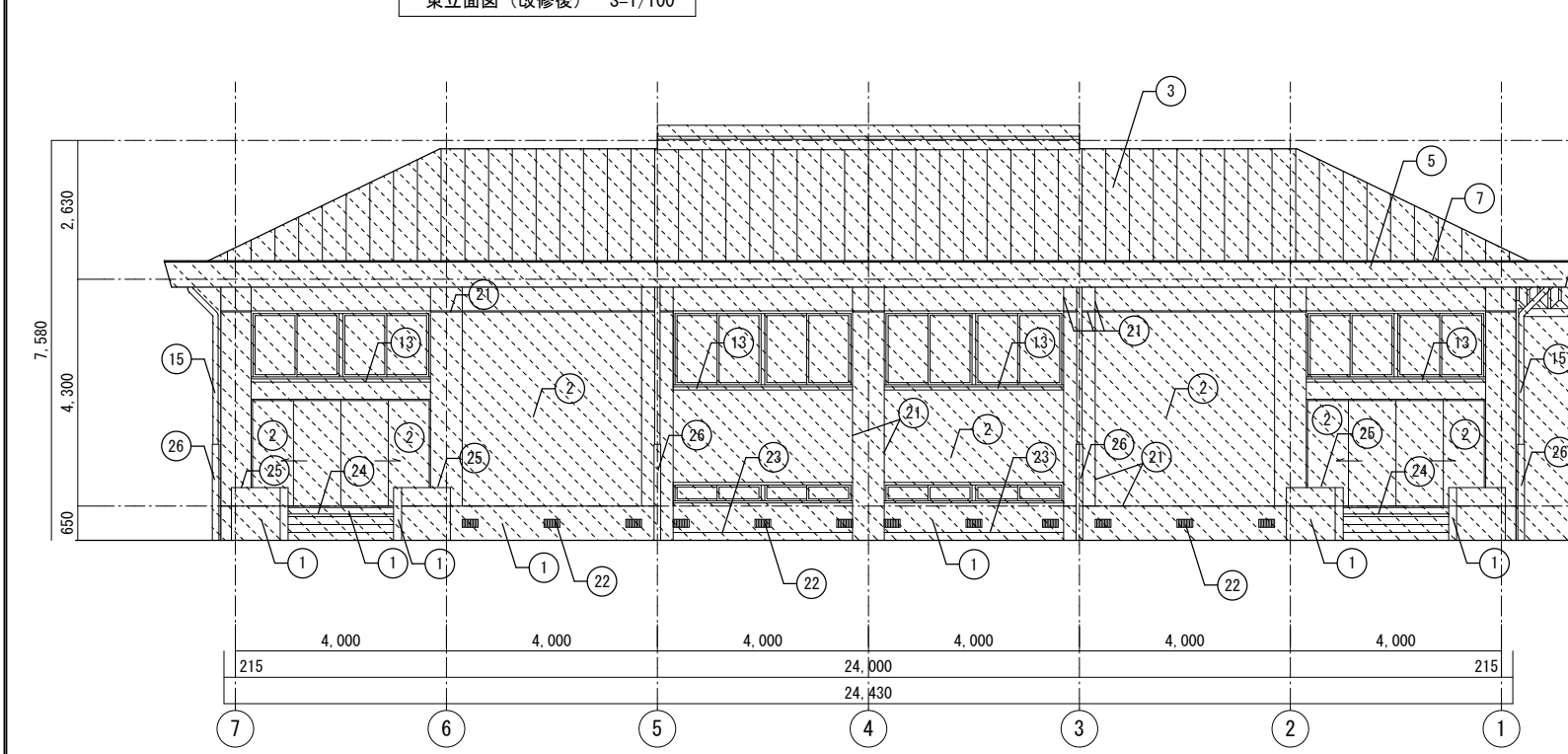
北立面図 S=1/100



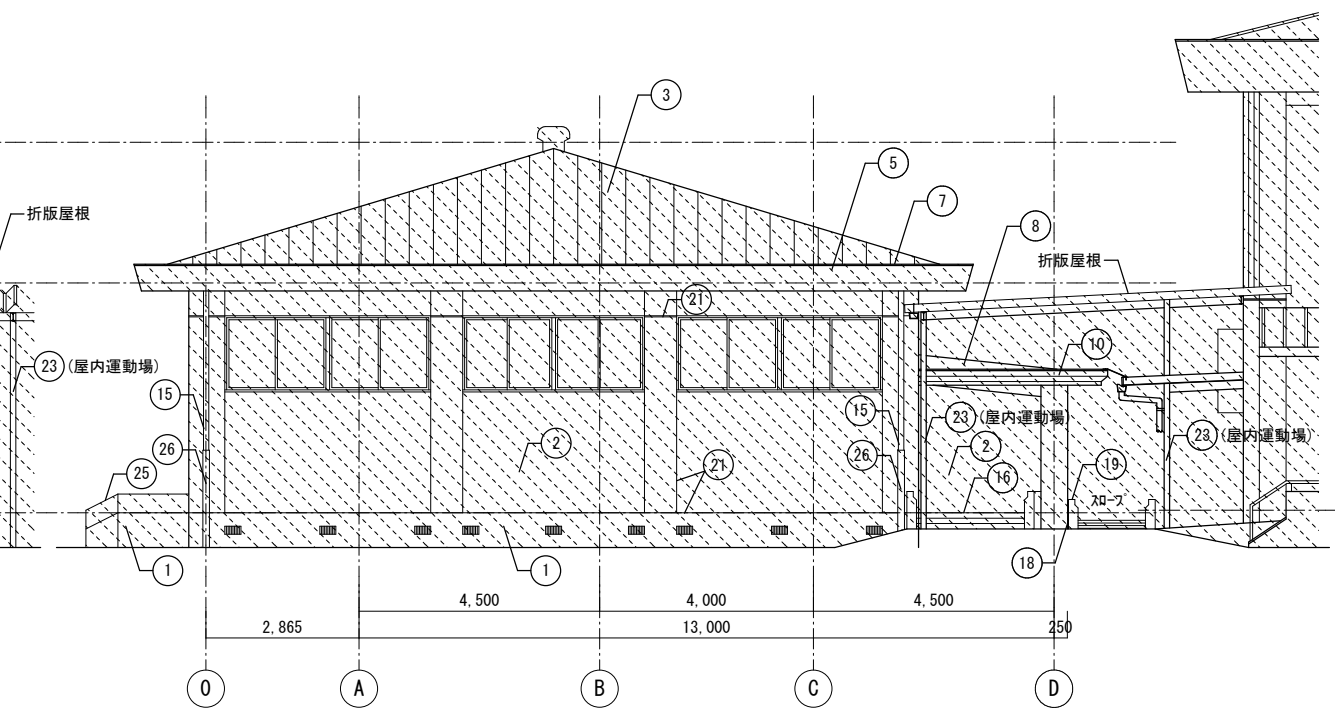
東立面図 (改修後) S=1/100

凡例

	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター一切を示す。



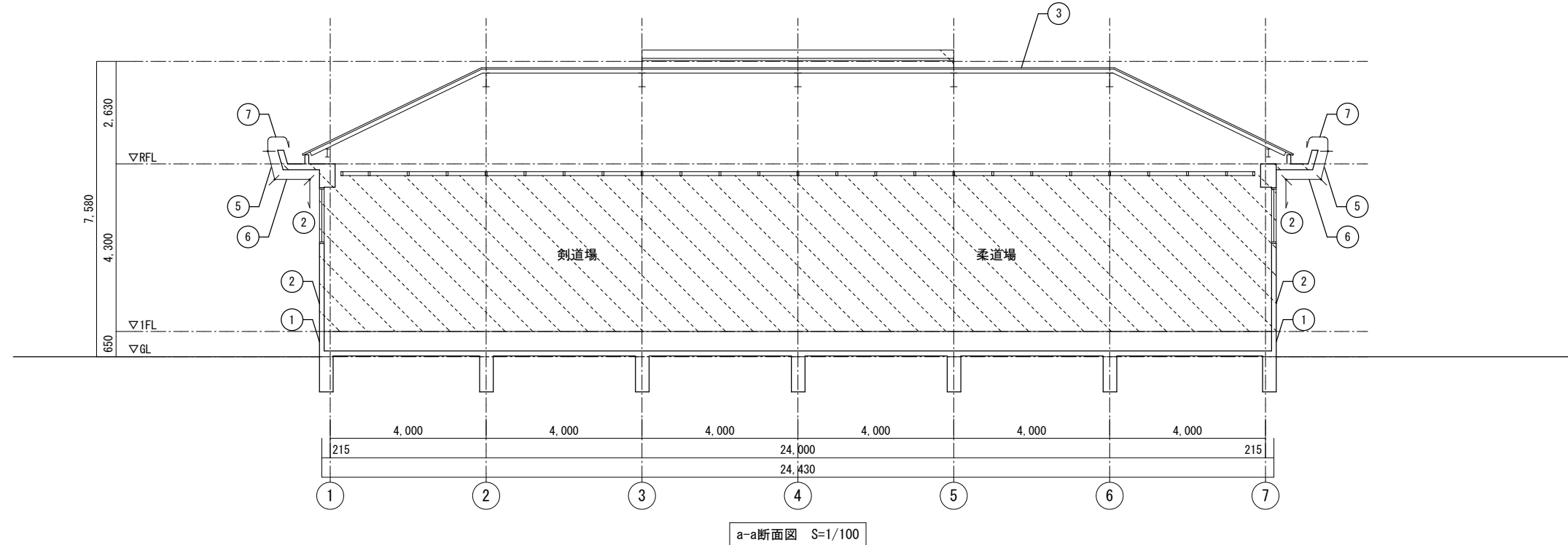
西立面図 S=1/100



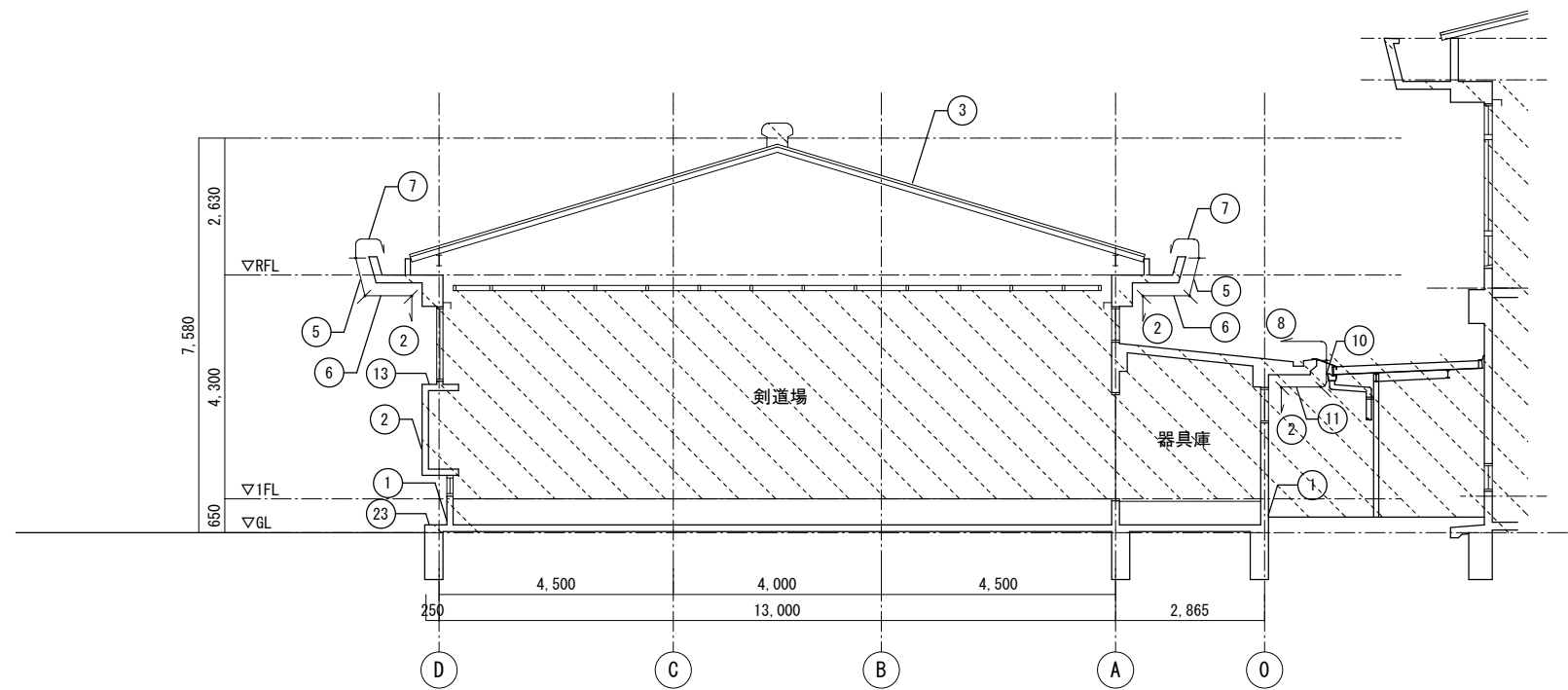
南立面図 S=1/100

事業年度 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/100 立面図	(A3版-71%縮小)	図番 A-52
工事完成 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)				

[武道場]



a-a断面図 S=1/100



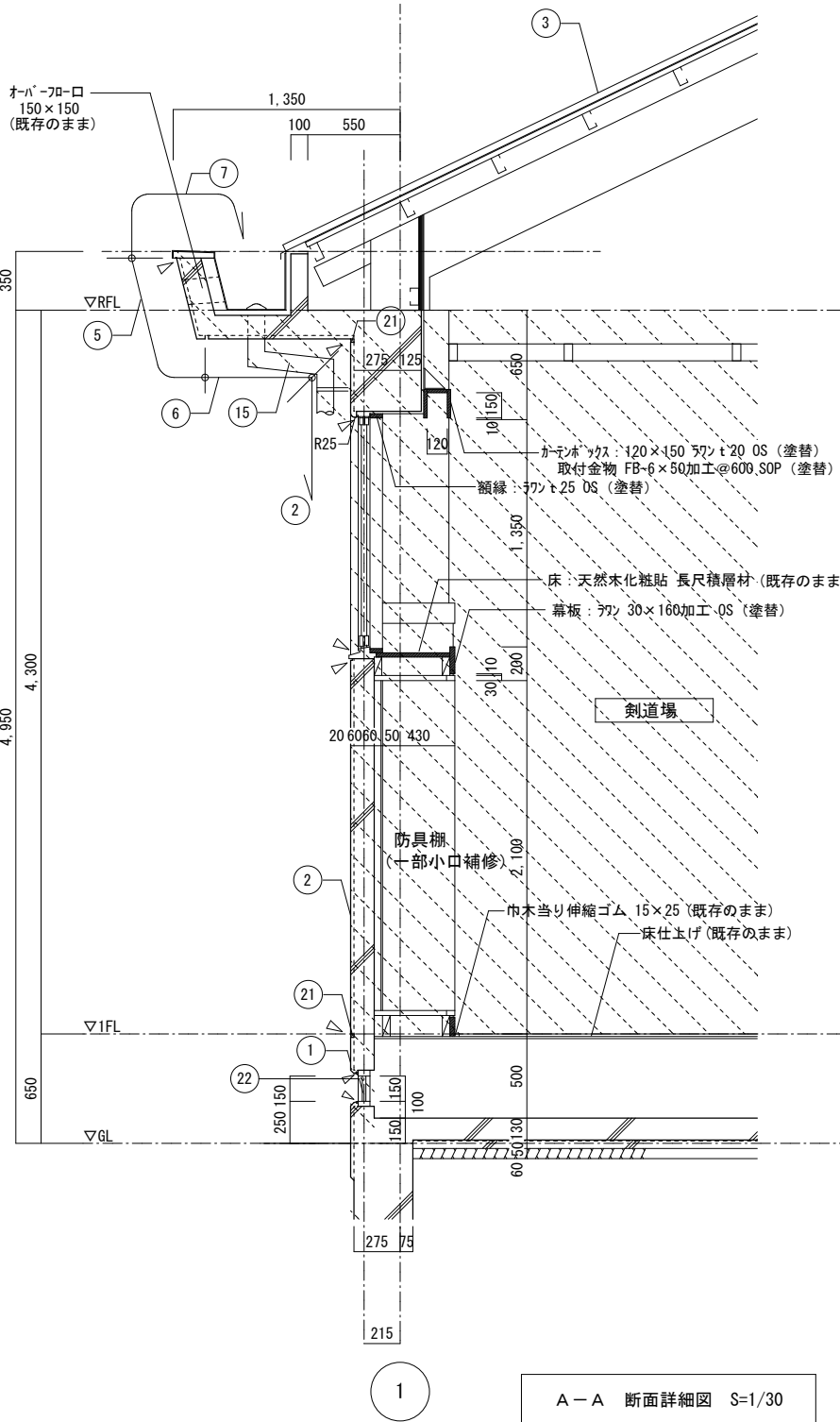
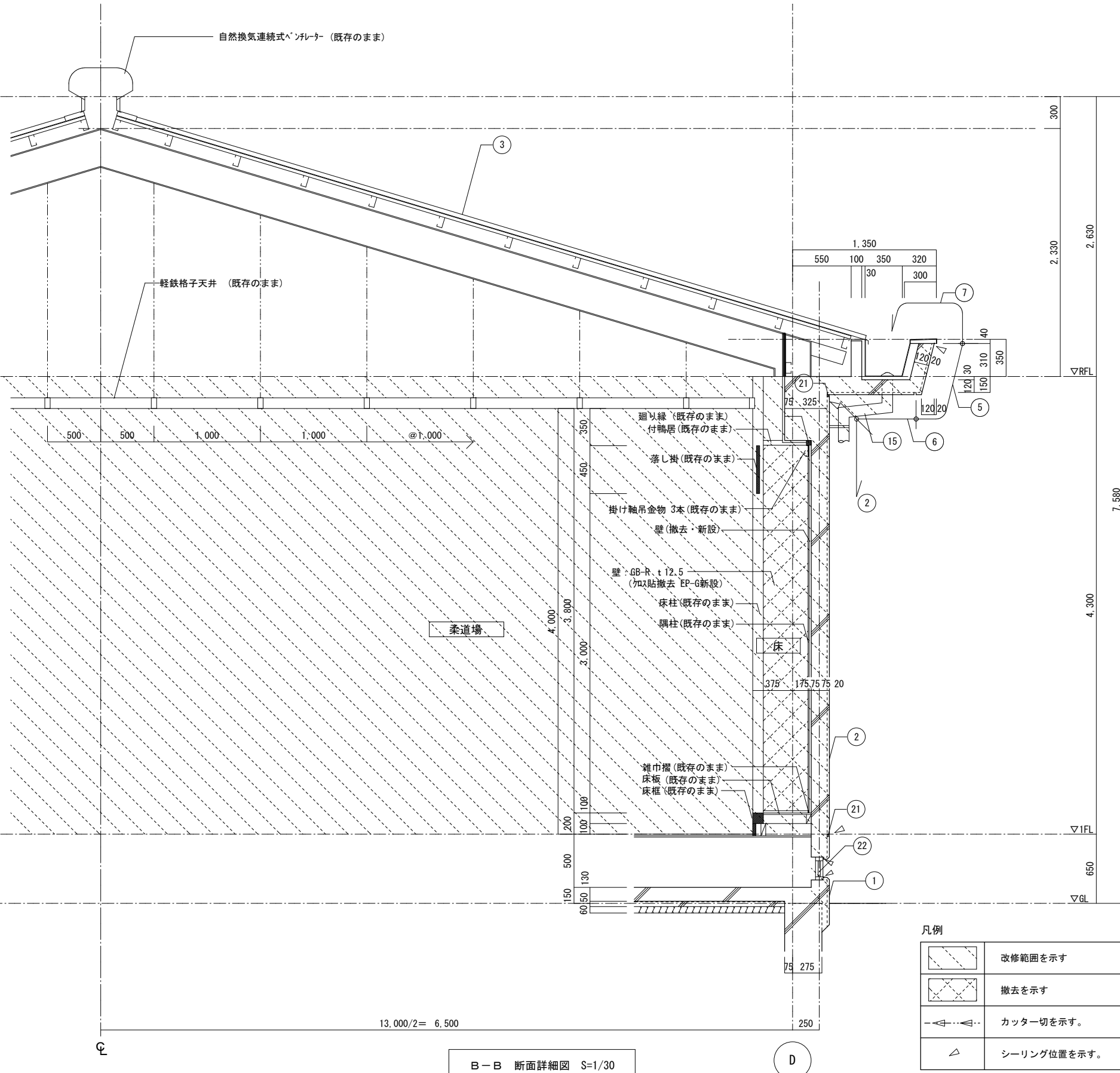
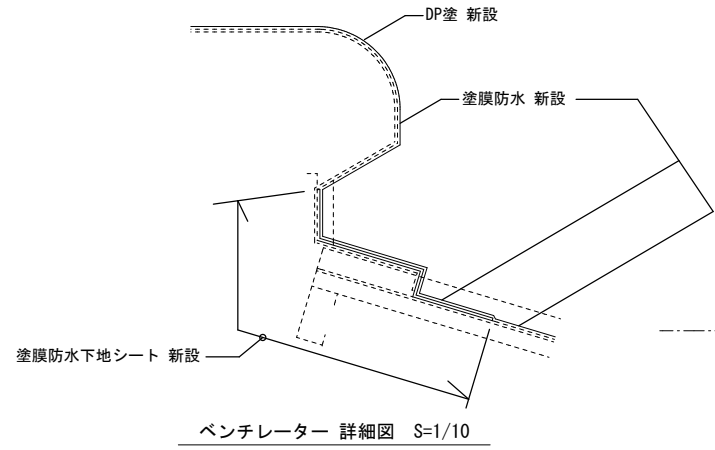
b-b断面図 S=1/100

凡例

	改修範囲を示す

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治	図面名称・縮尺 S=1/100 断面図	(A3版-71%縮小)	図番 A-53
工事完成 令和 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事（建築主体工事）	印			

[武道場]



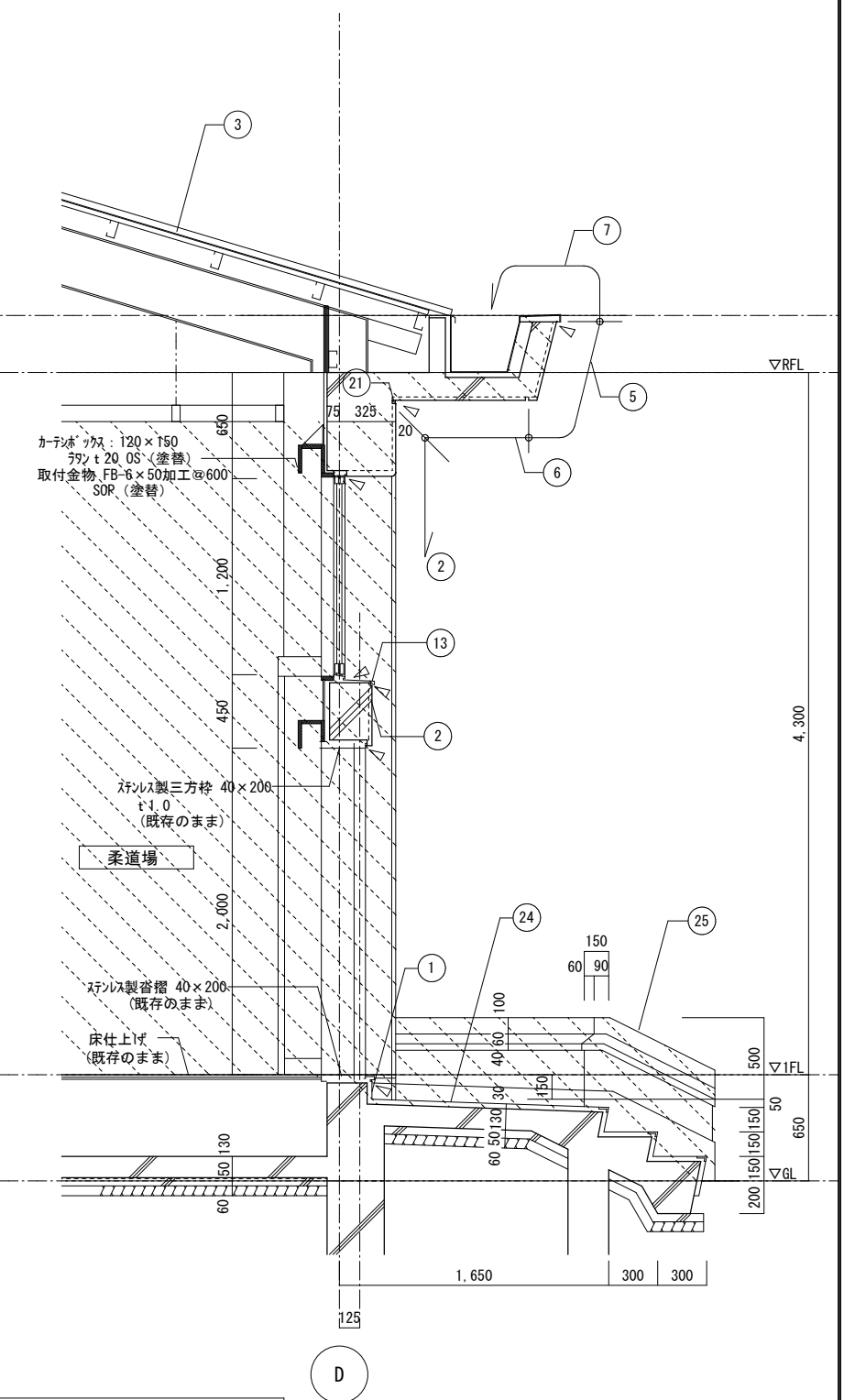
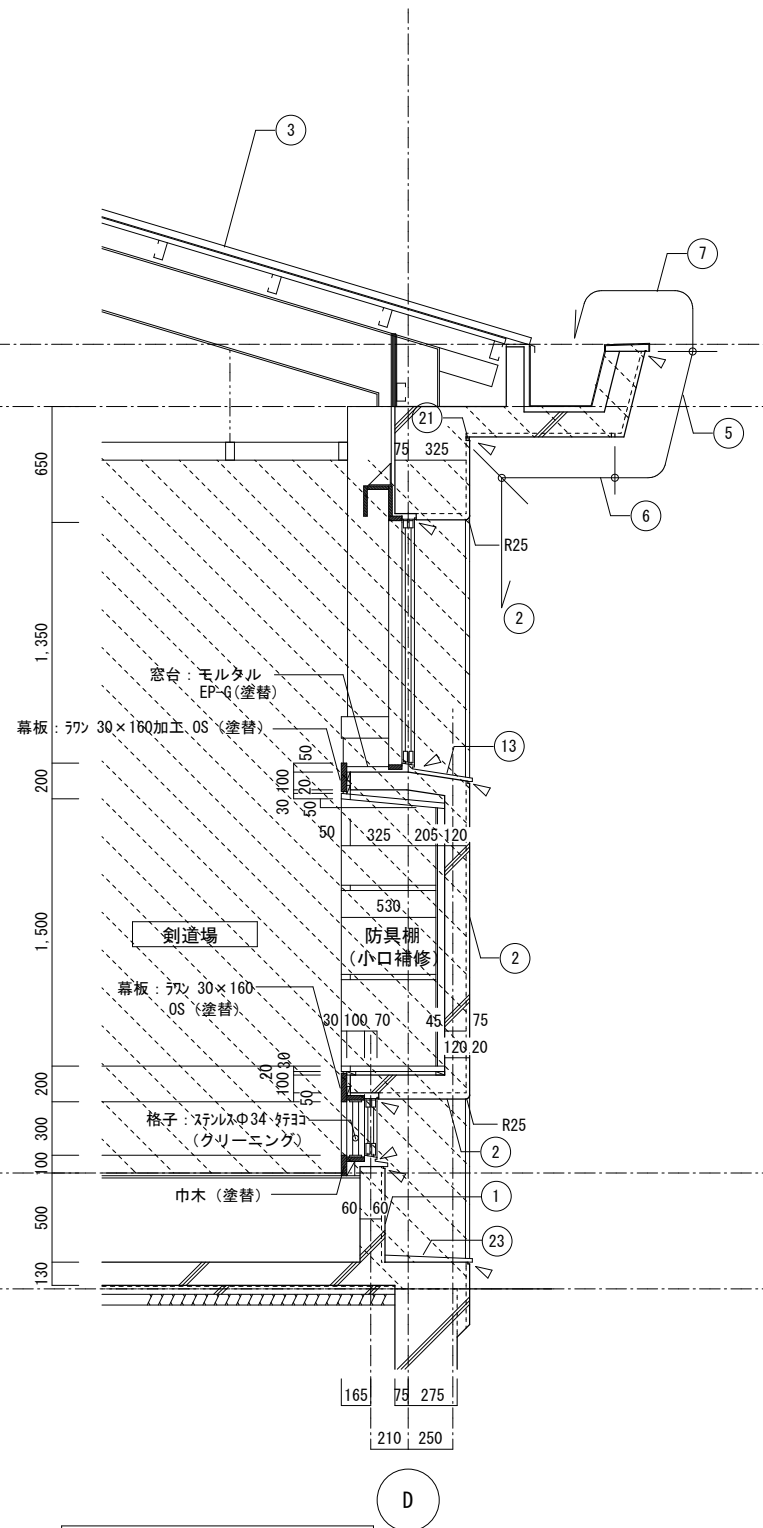
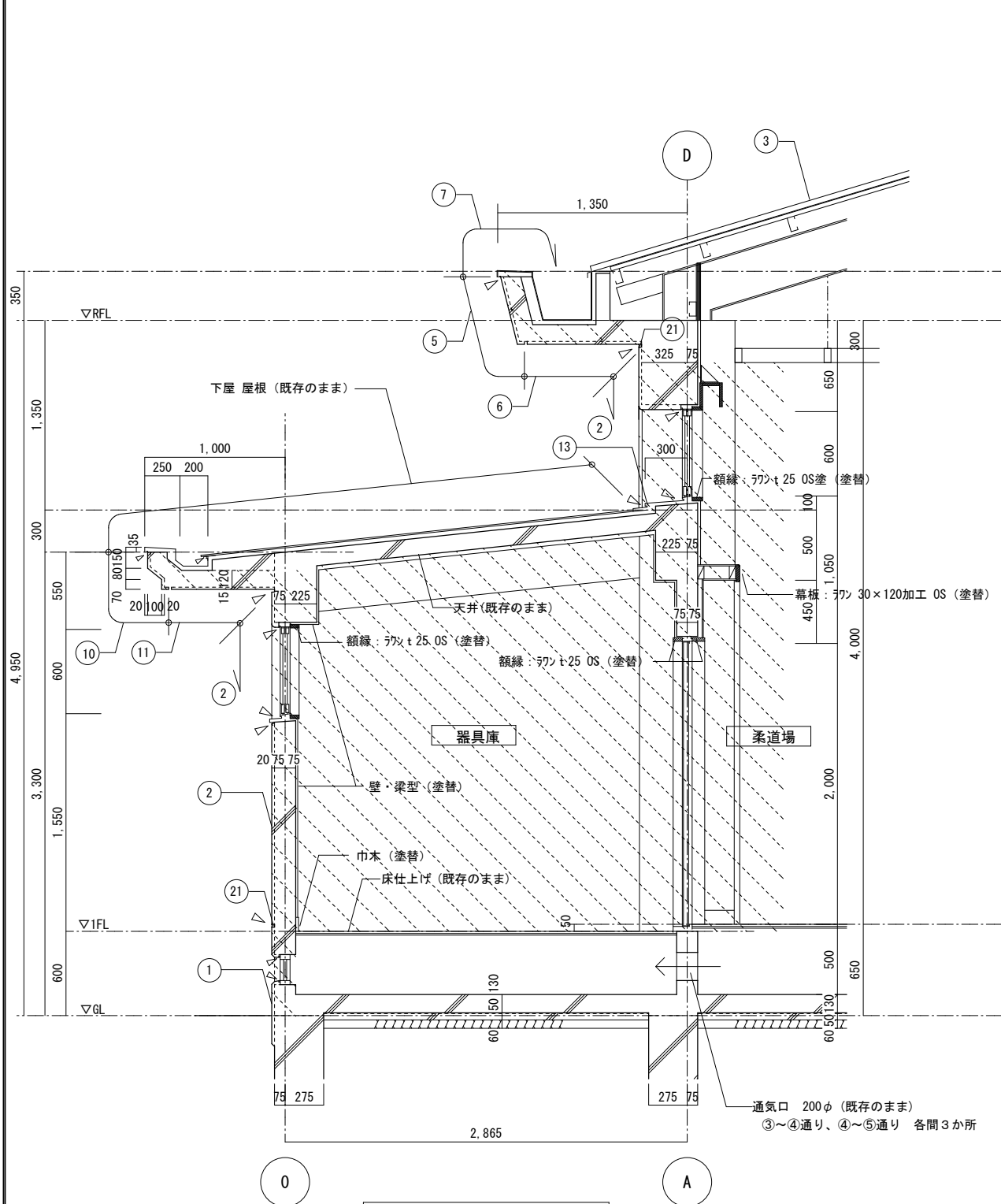
凡例

	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す。
	シーリング位置を示す。

事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/10, 30 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和	年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	断面詳細図 (1)	A-54

[武道場]

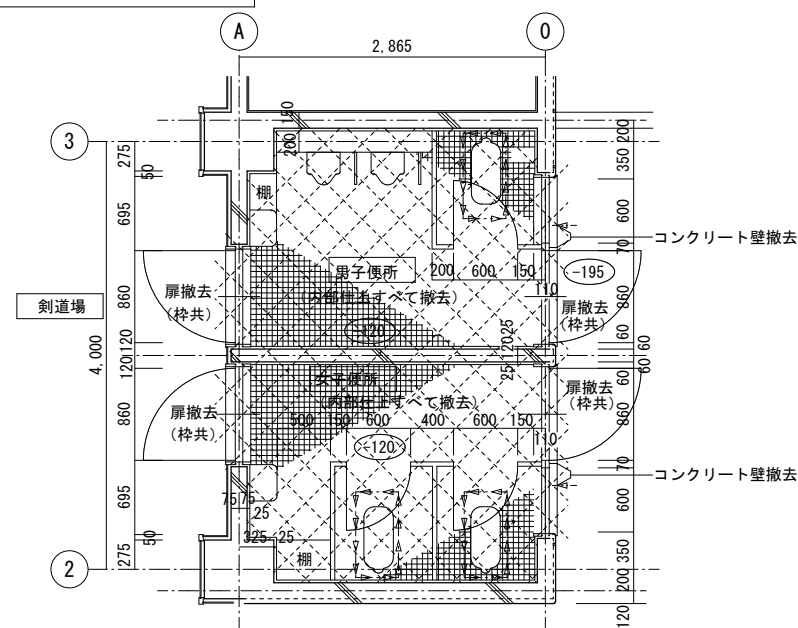
	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す。
	シーリング位置を示す。



事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治	図面名称・縮尺 S=1/30 (A3版・71%縮小)	図番 A-55
工事完成 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	印	断面詳細図(2)	

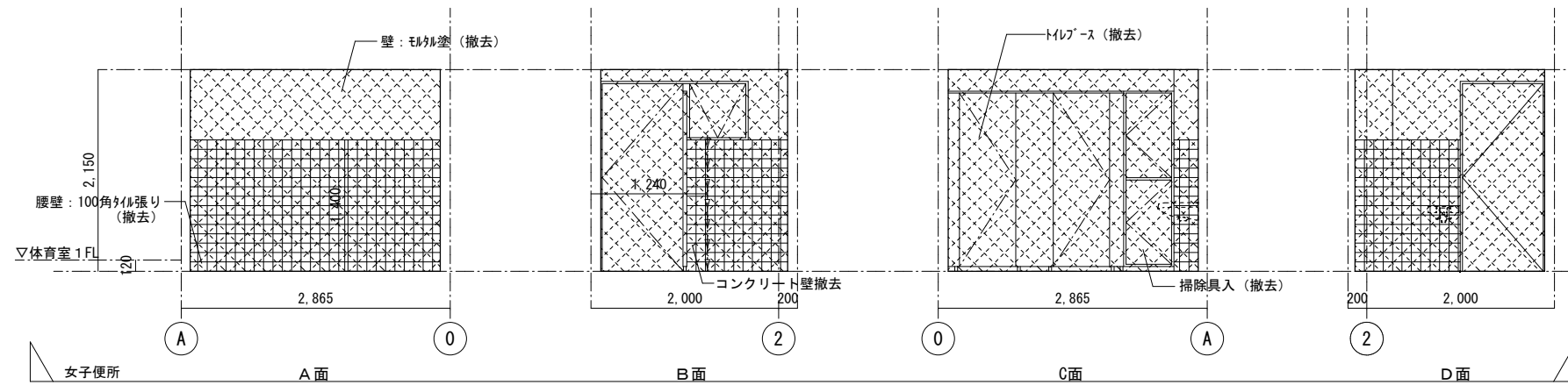
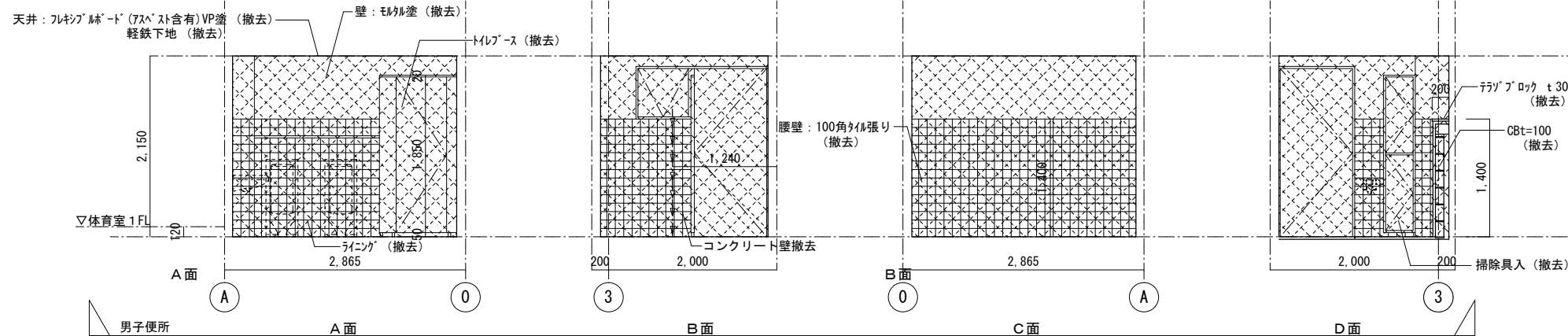
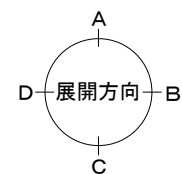
[武道場]

(改修前)便所平面詳細図・展開図 S=1/50

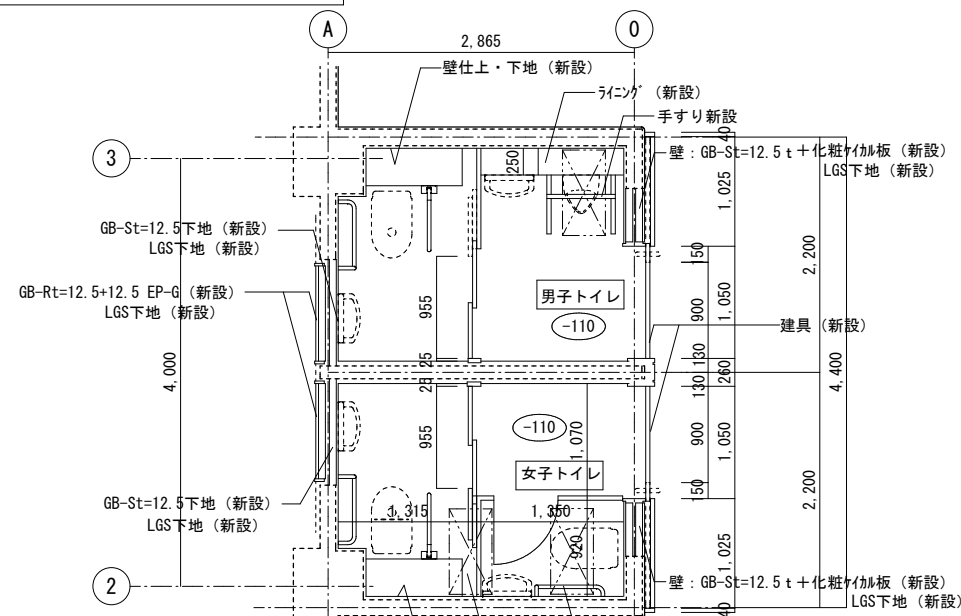


凡例

室名	工事対象室を示す。
±0	体育室1FLからのレベルを示す。
	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す。

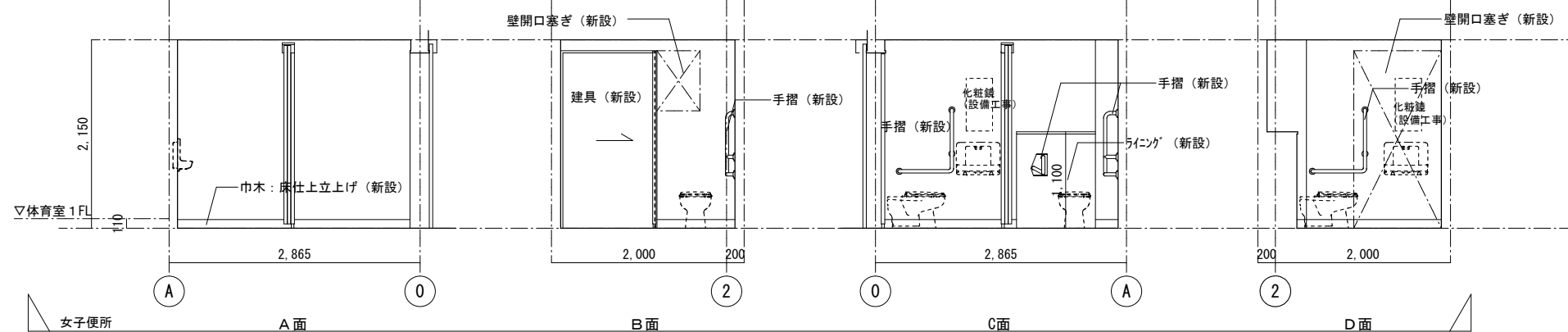
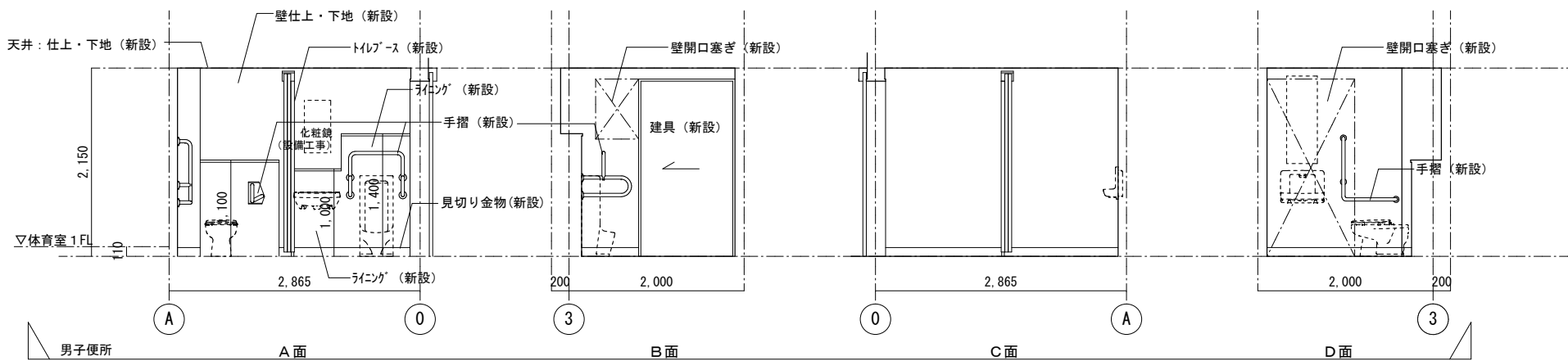
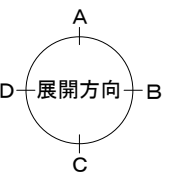


(改修後)便所平面詳細図・展開図 S=1/50



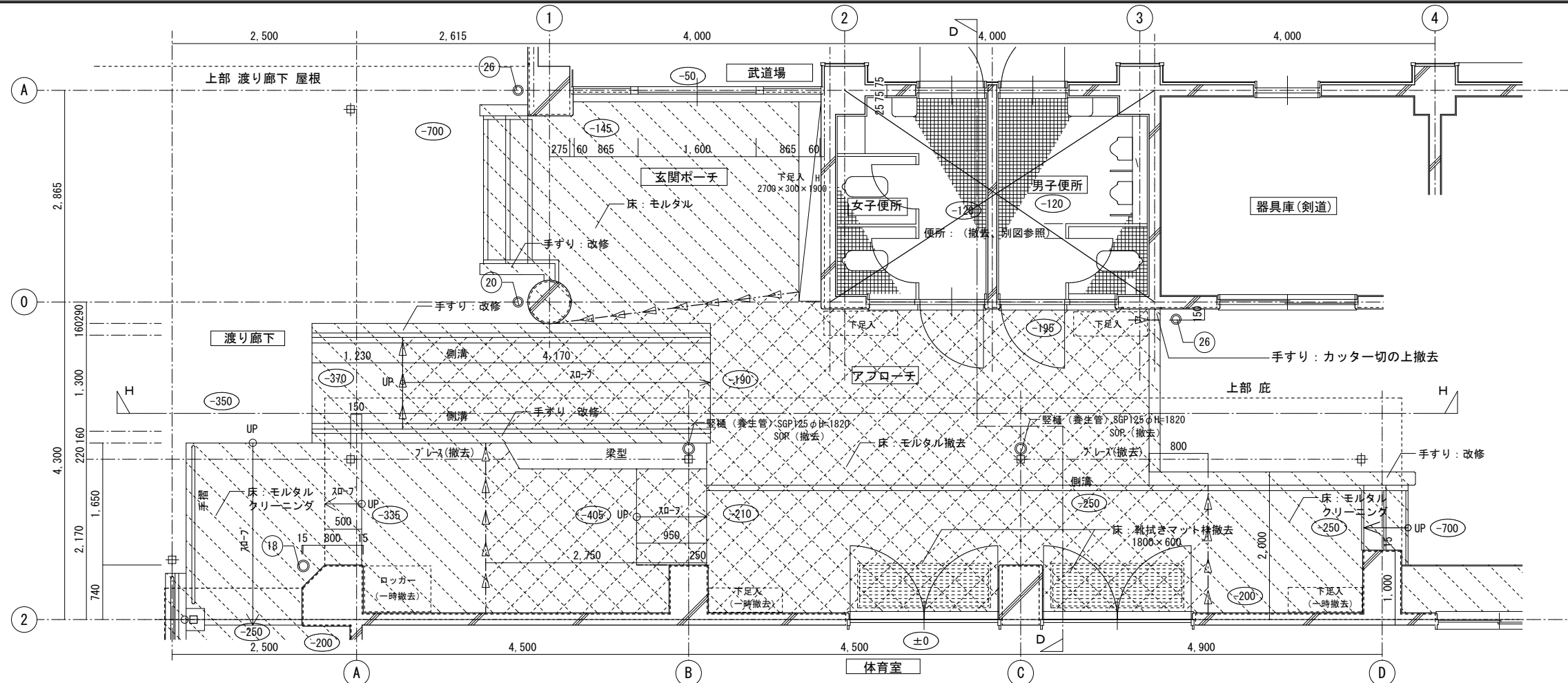
凡例

室名	工事対象室を示す。
±0	体育室1FLからのレベルを示す。
	改修範囲を示す
	既存のままを示す。



[武道場]

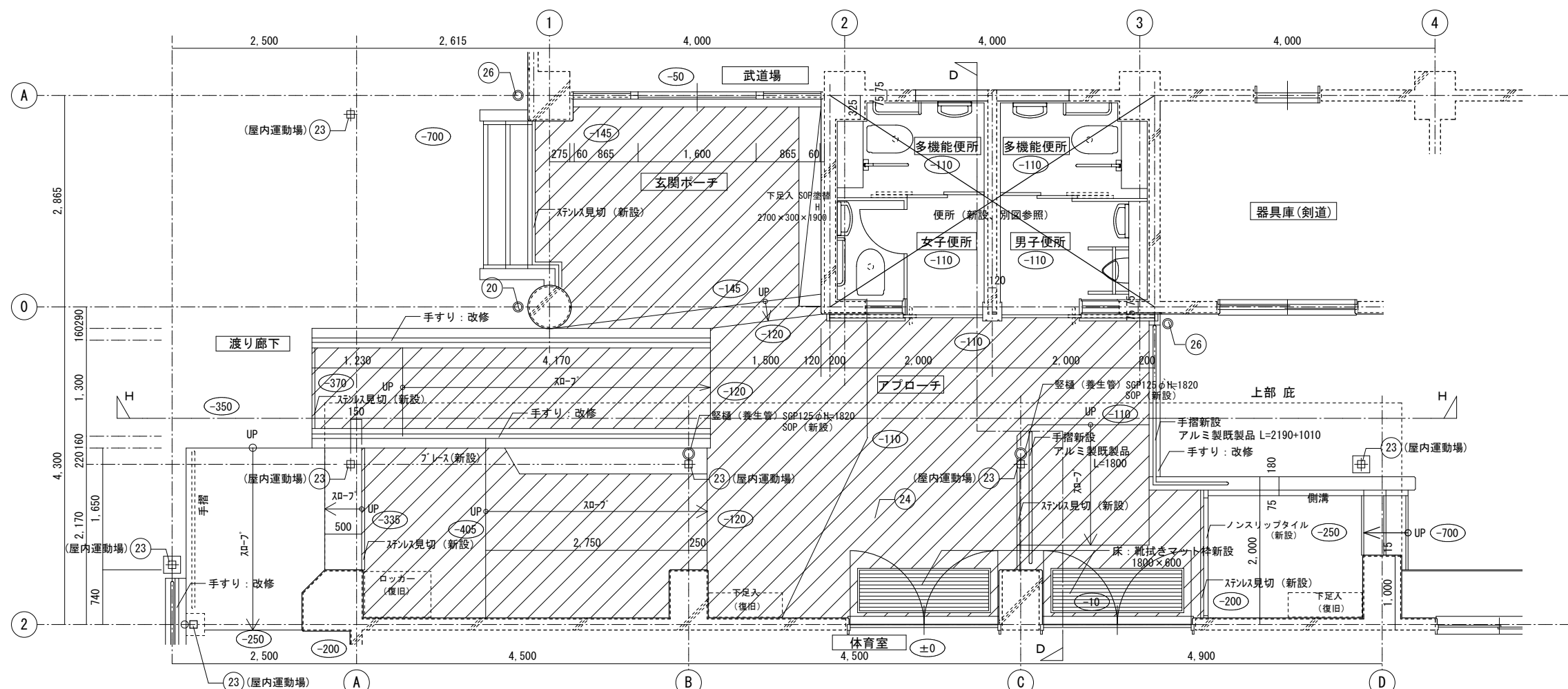
(改修前)平面詳細図 S=1/50



凡例

室名	工事対象室を示す。
±0	体育室1FLからのレベルを示す。
(斜線)	改修範囲を示す
(点線)	撤去を示す
(矢印)	カッター切を示す。

(改修後)平面詳細図 S=1/50



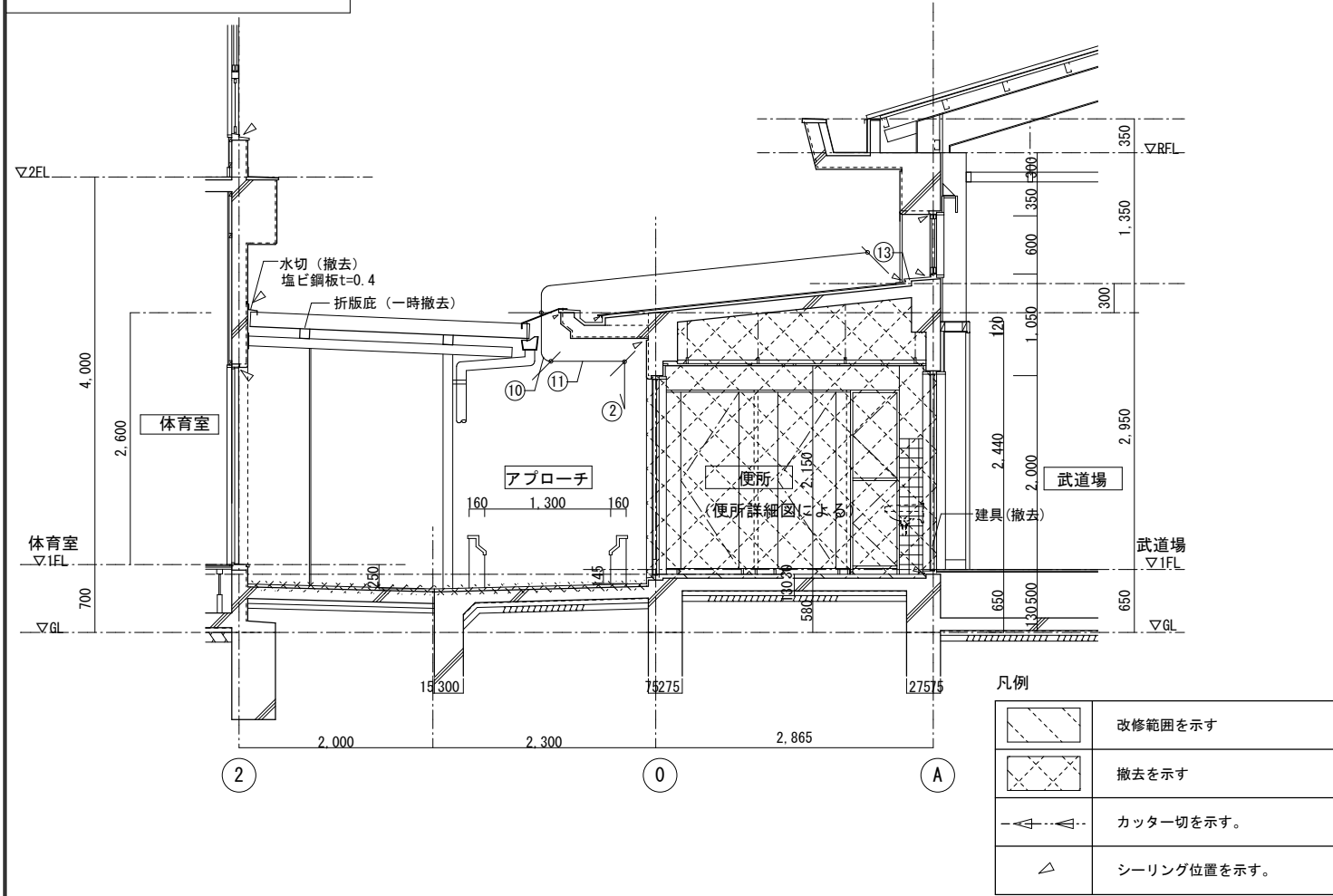
凡例

室名	工事対象室を示す。
±0	体育室1FLからのレベルを示す。
(斜線)	改修範囲を示す
(点線)	既存のままを示す
(斜線/点線)	防滑ビニル床シート=2.0(新設) 端部: ステンシル見切(新設)

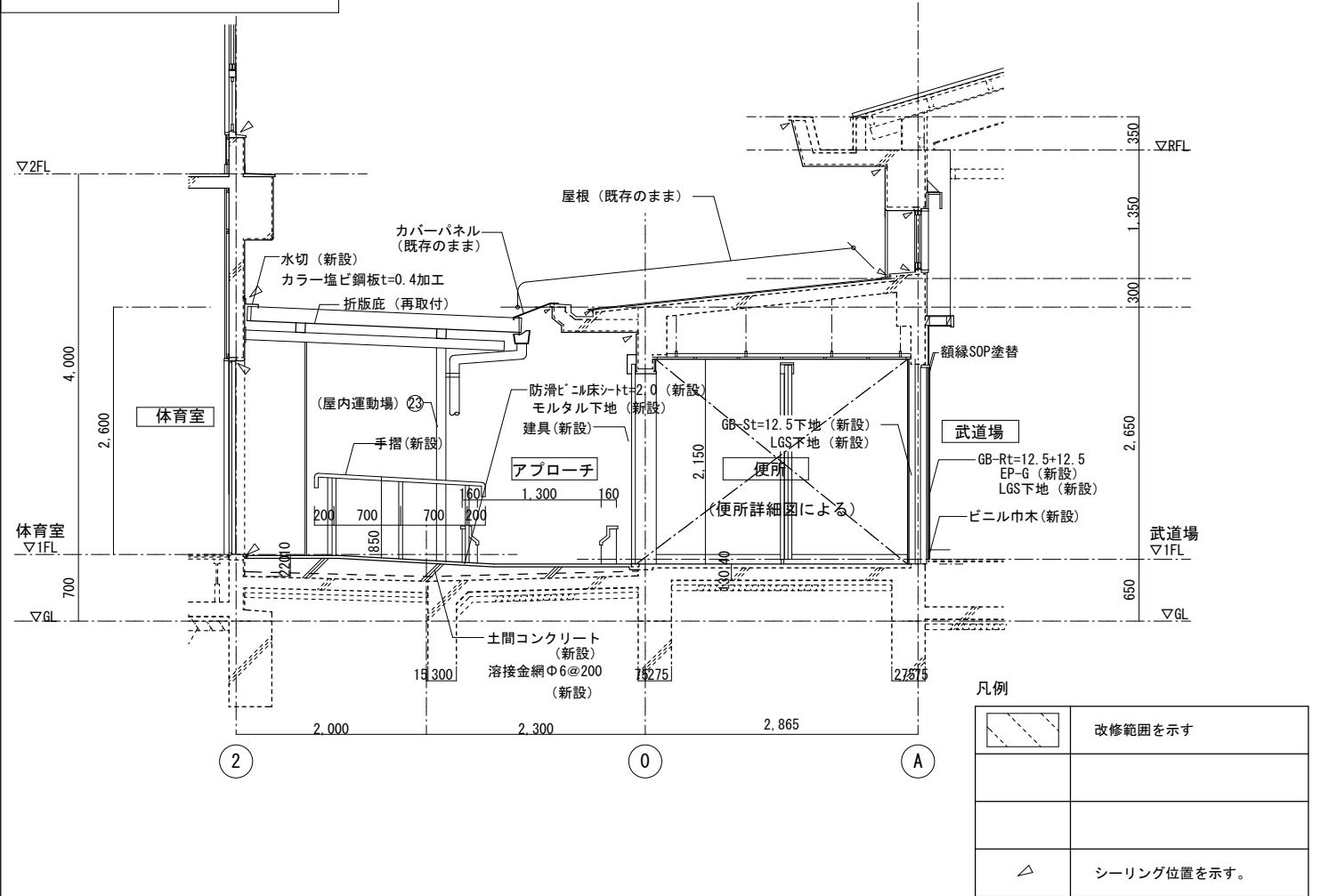
[武道場]

事業年度	年度	設計	令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度								建築	建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	(改修前・後)アプローチ廻り平面詳細図	A-57

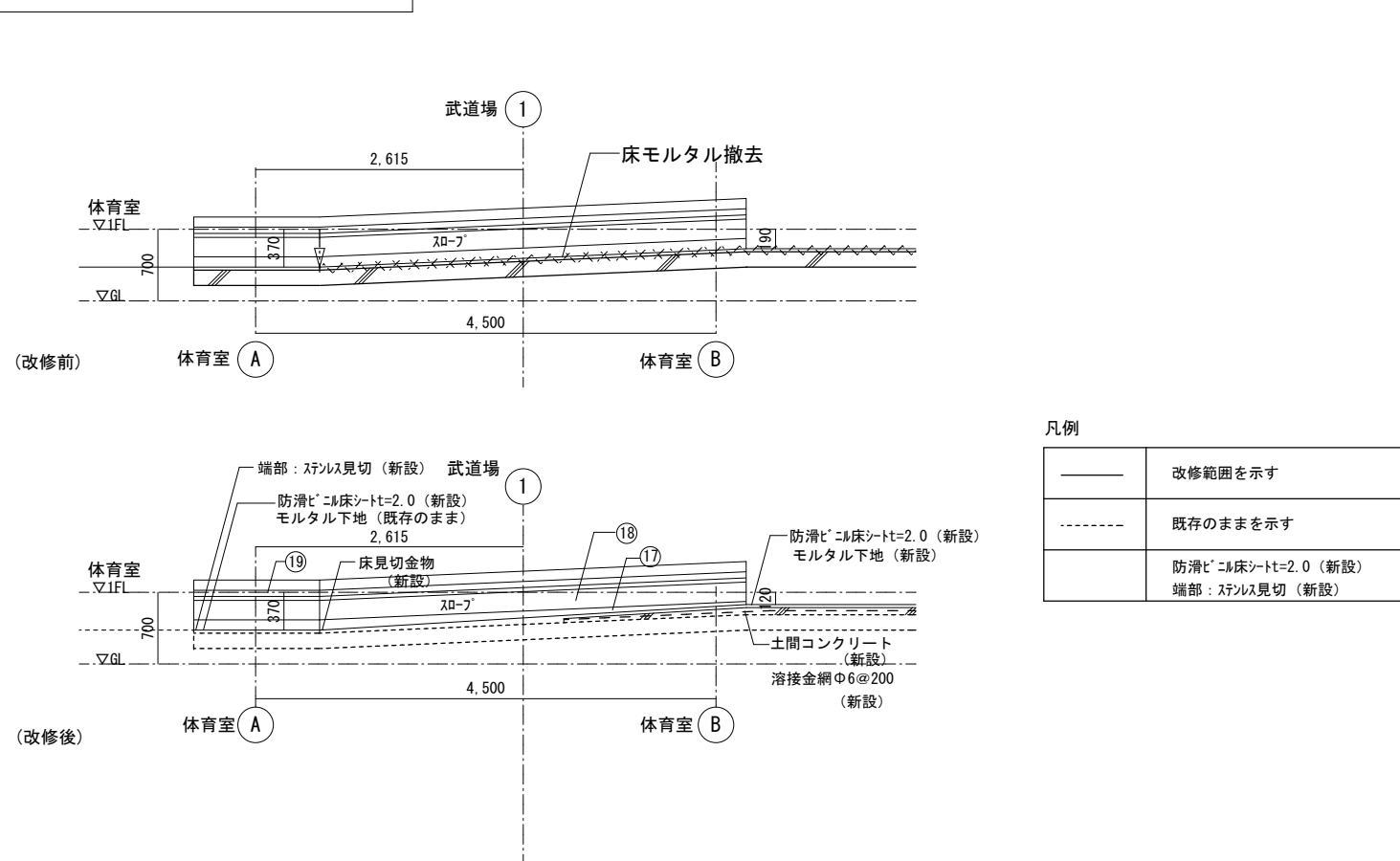
D-D 断面詳細図(改修前) S=1/50



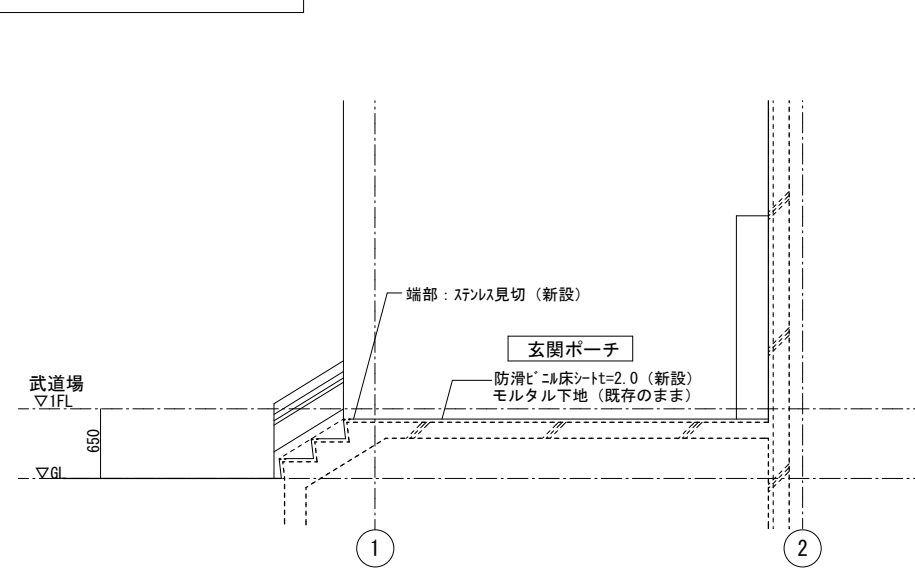
D-D 断面詳細図(改修後) S=1/50



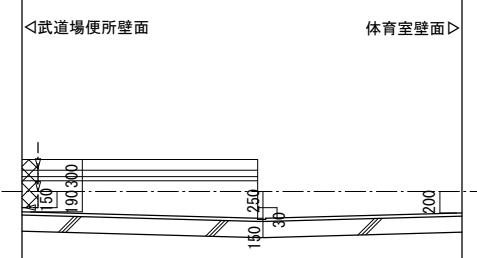
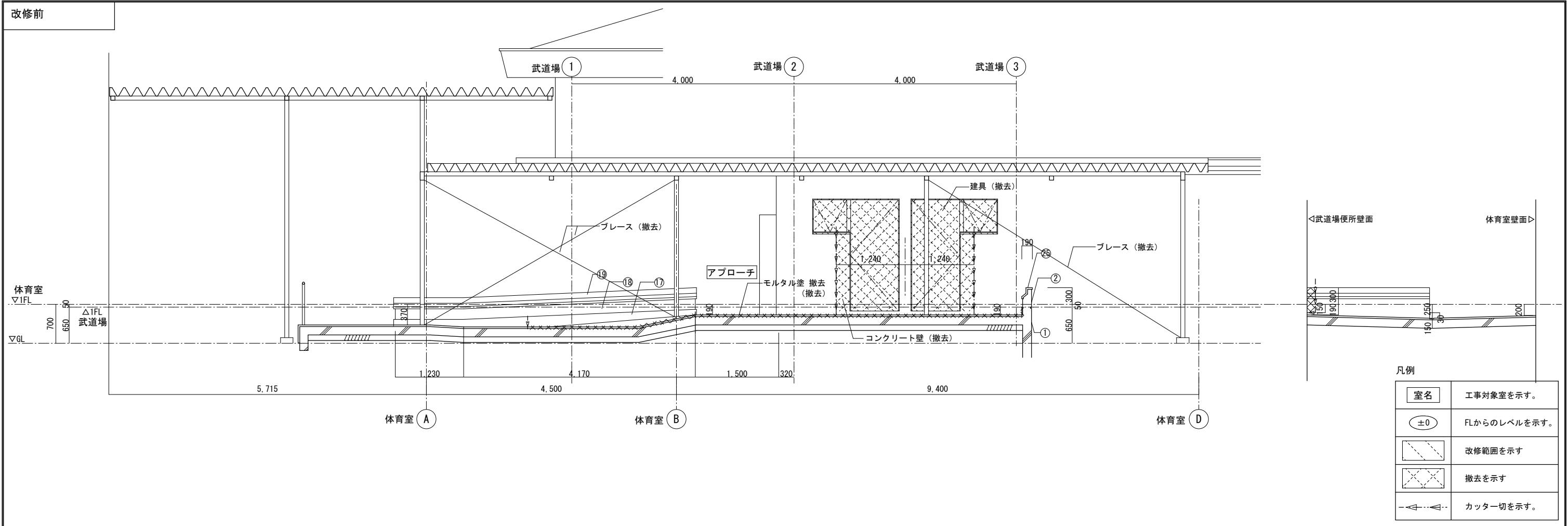
スロープ断面詳細図(改修前・後) S=1/50



武道場ポーチ断面詳細図(改修前・後) S=1/50

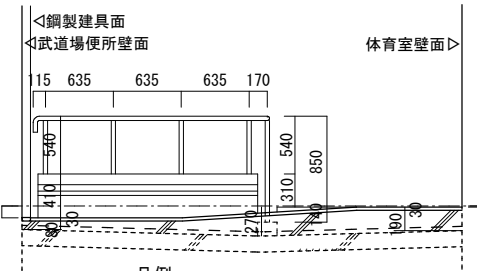
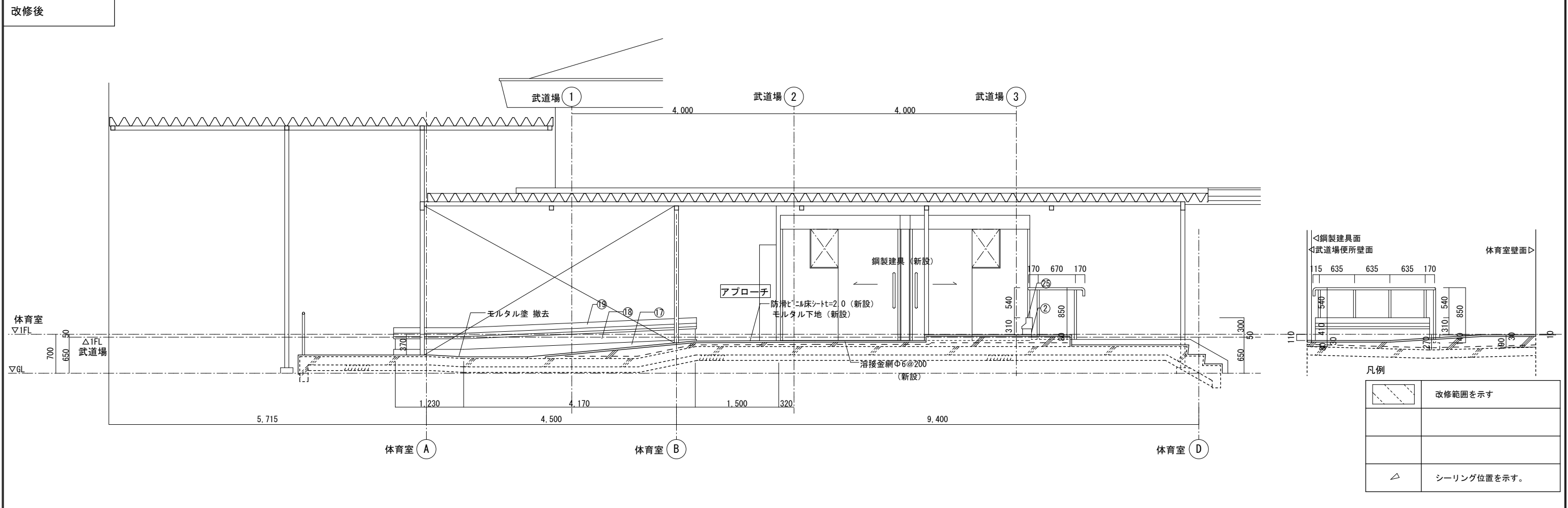


[武道場]



凡例

室名	工事対象室を示す。
±0	FLからのレベルを示す。
	改修範囲を示す
	撤去を示す
	カッター切を示す。

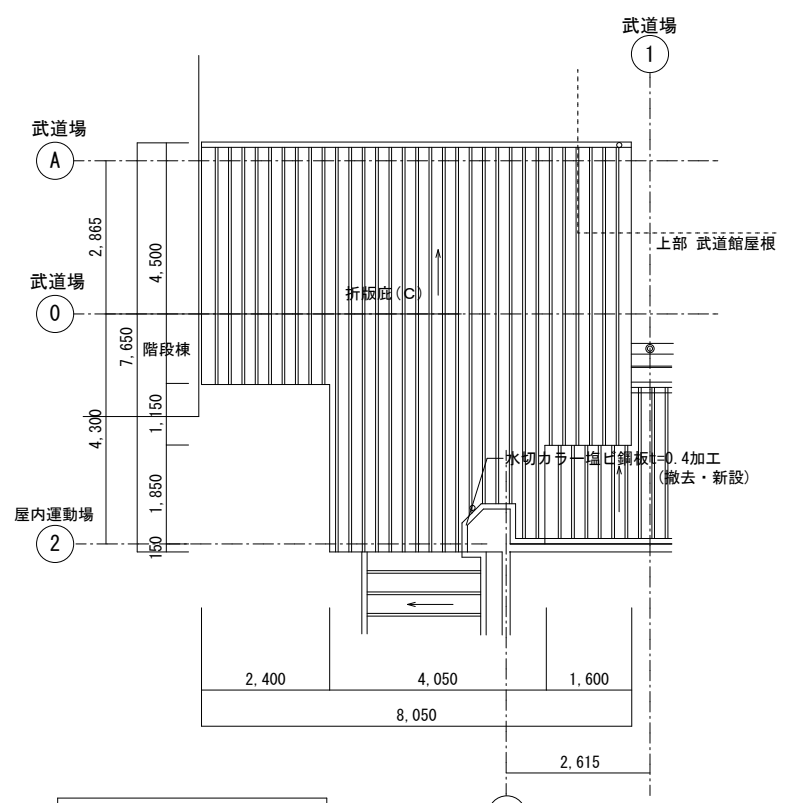


凡例

	改修範囲を示す
	シーリング位置を示す。

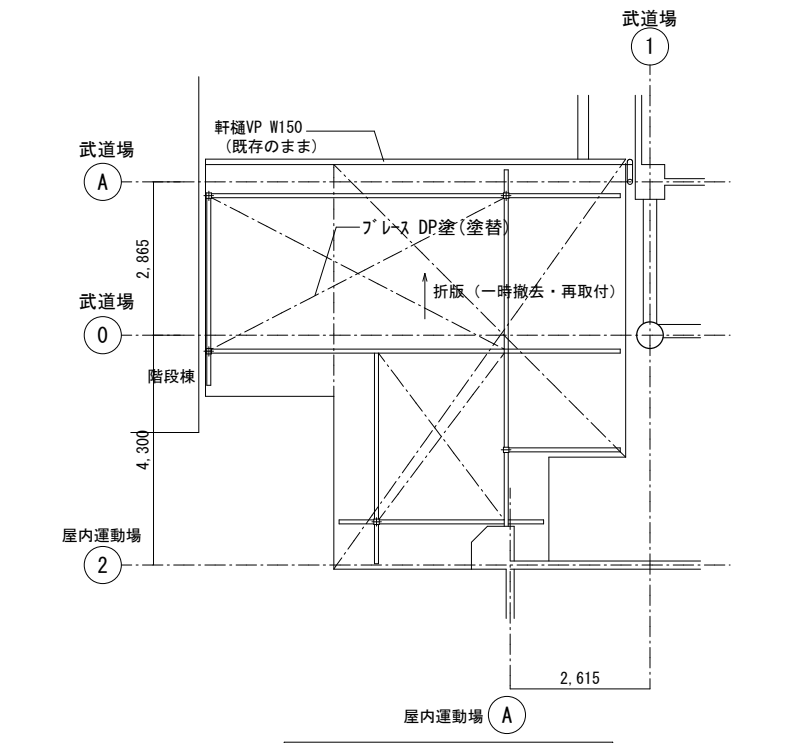
[武道場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前・後) アプローチ廻り断面詳細図 (2)	(A3版-71%縮小) 図番 A-59
工事完成 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)			



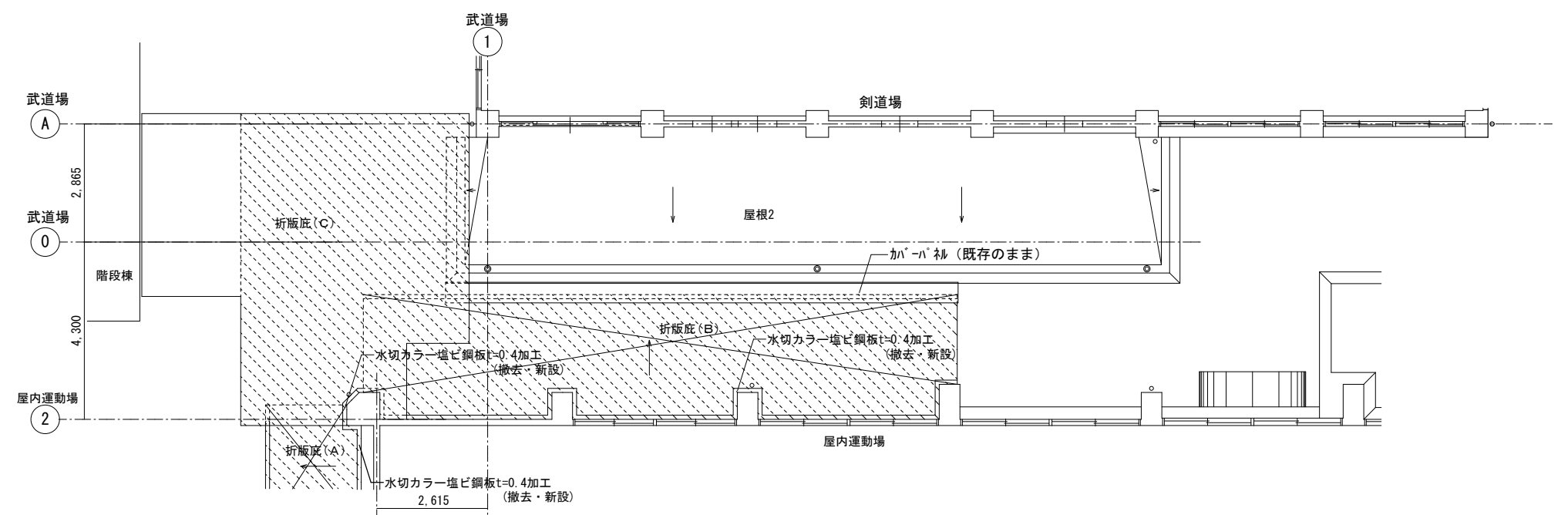
折版底 (C) 屋根伏図

屋内運動場 A



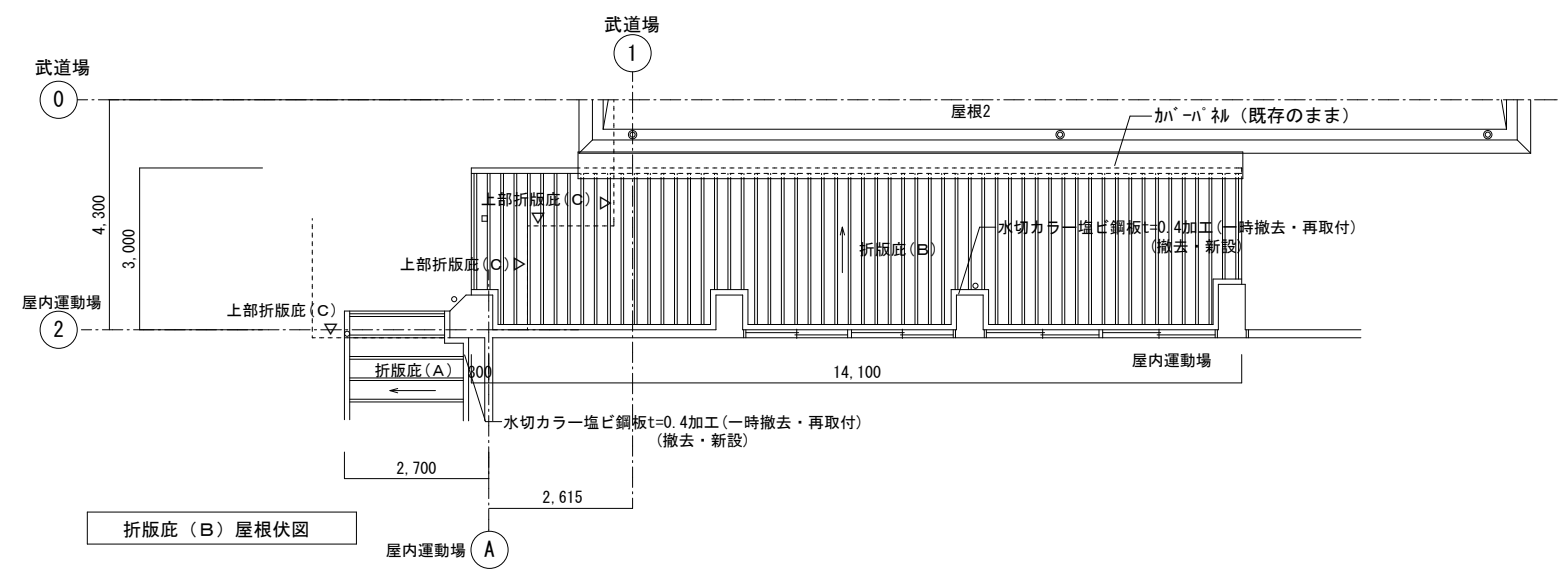
折版底 (C) 天井伏図

柱 : □-100 x 100 DP (塗替)
梁 : □-100 x 100 DP (塗替)



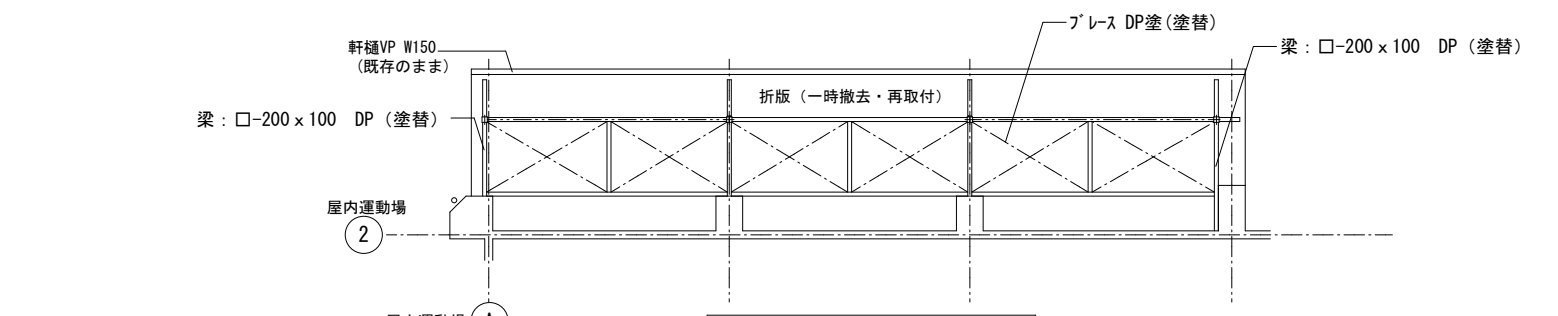
折版底 (C) 屋根伏図

屋内運動場 A



折版底 (B) 屋根伏図

屋内運動場 A



折版底 (B) 天井伏図

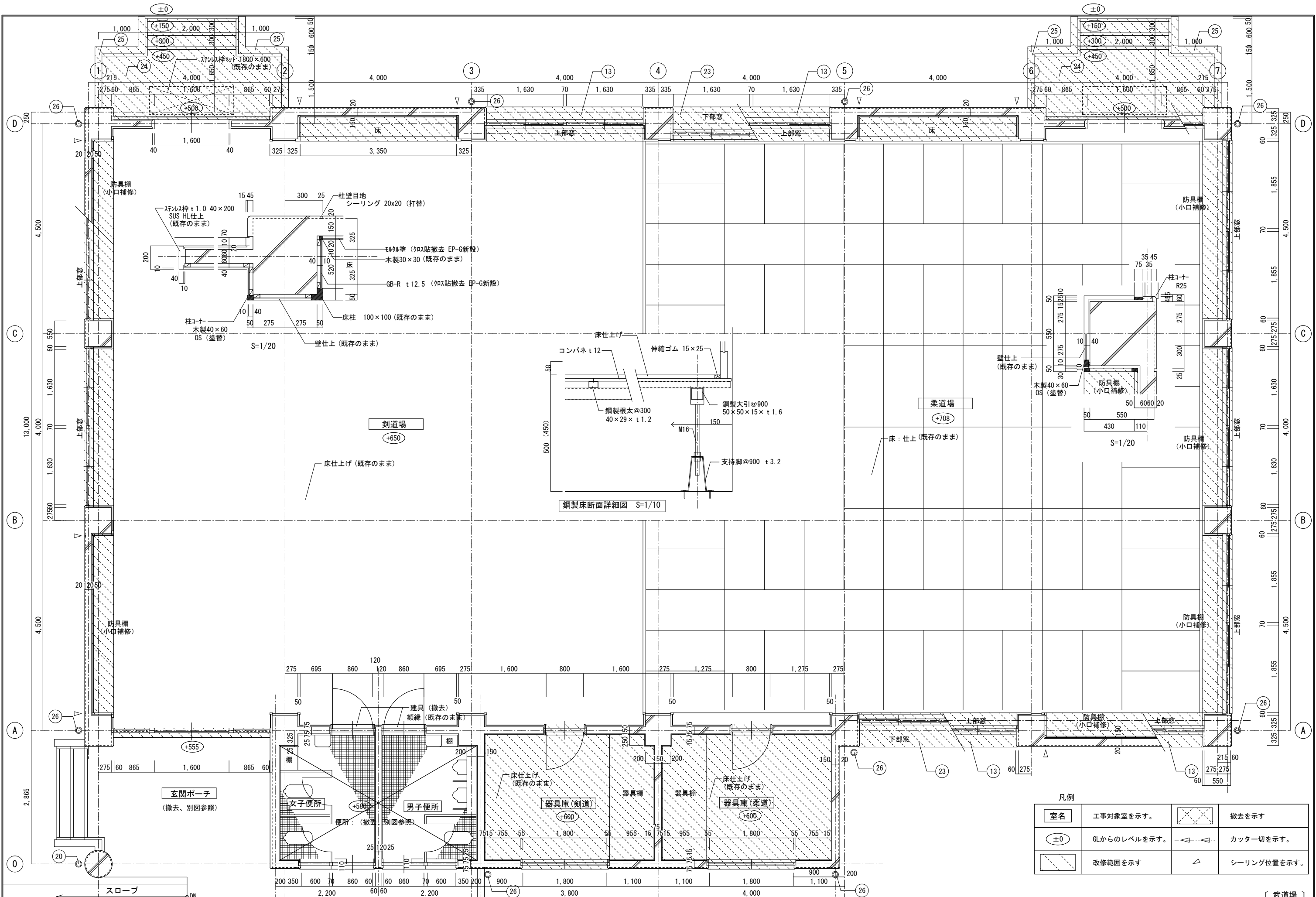
柱 : □-100 x 100 DP (塗替)
梁 : 特記なき限り□-100 x 100 DP (塗替)

凡例

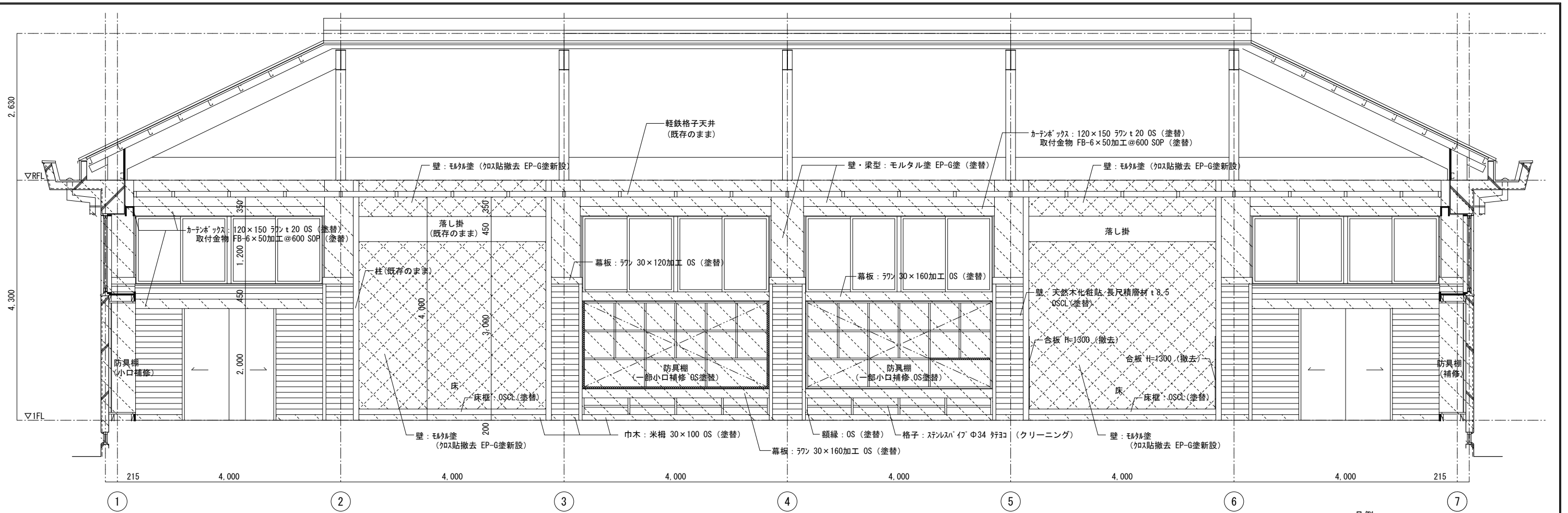
	折版底 (一時撤去・再取付) を示す

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	アプローチ折版屋根・天井伏図		A-60

[武道場]

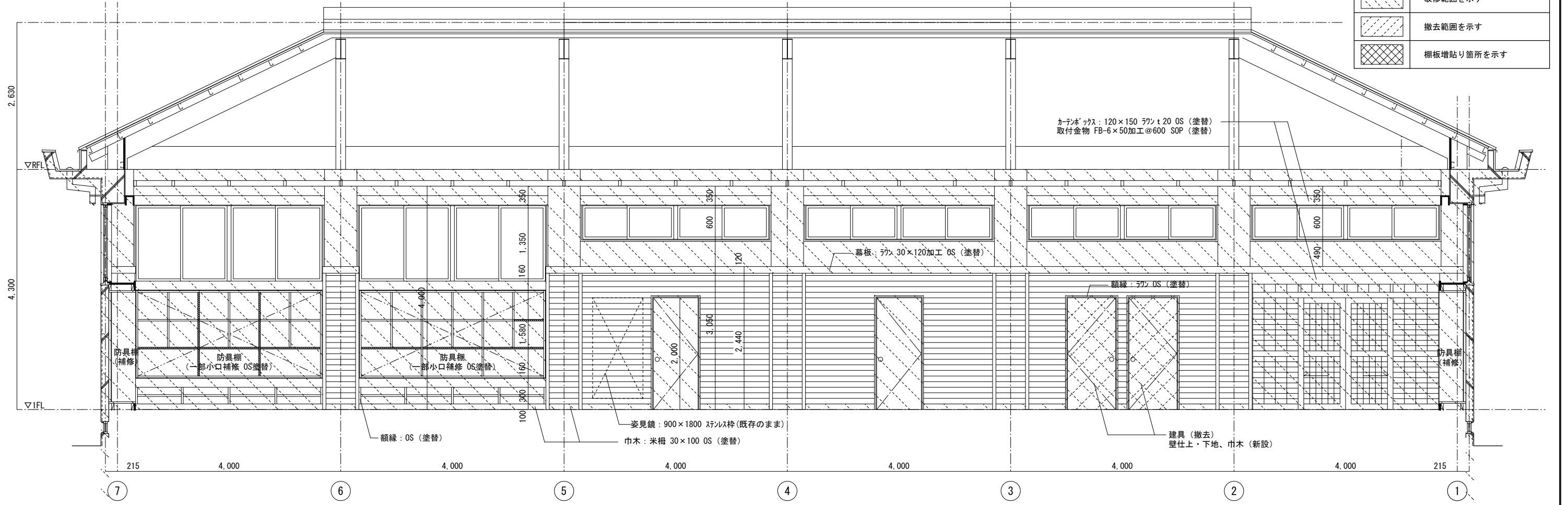


事業年度	年度	設計	令和 年月	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/10, 20, 50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月	三原市都市部建築課						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	平面詳細図	A-61



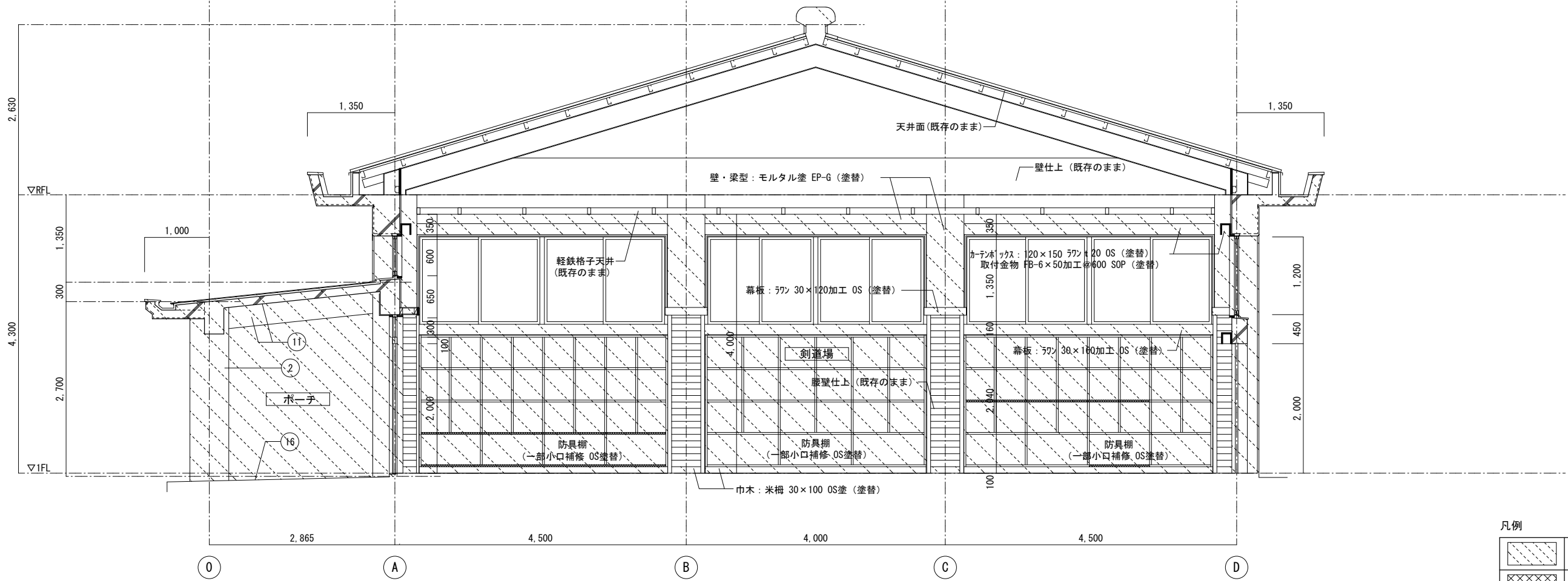
凡例

	改修範囲を示す
	撤去範囲を示す
	棚板増貼り箇所を示す



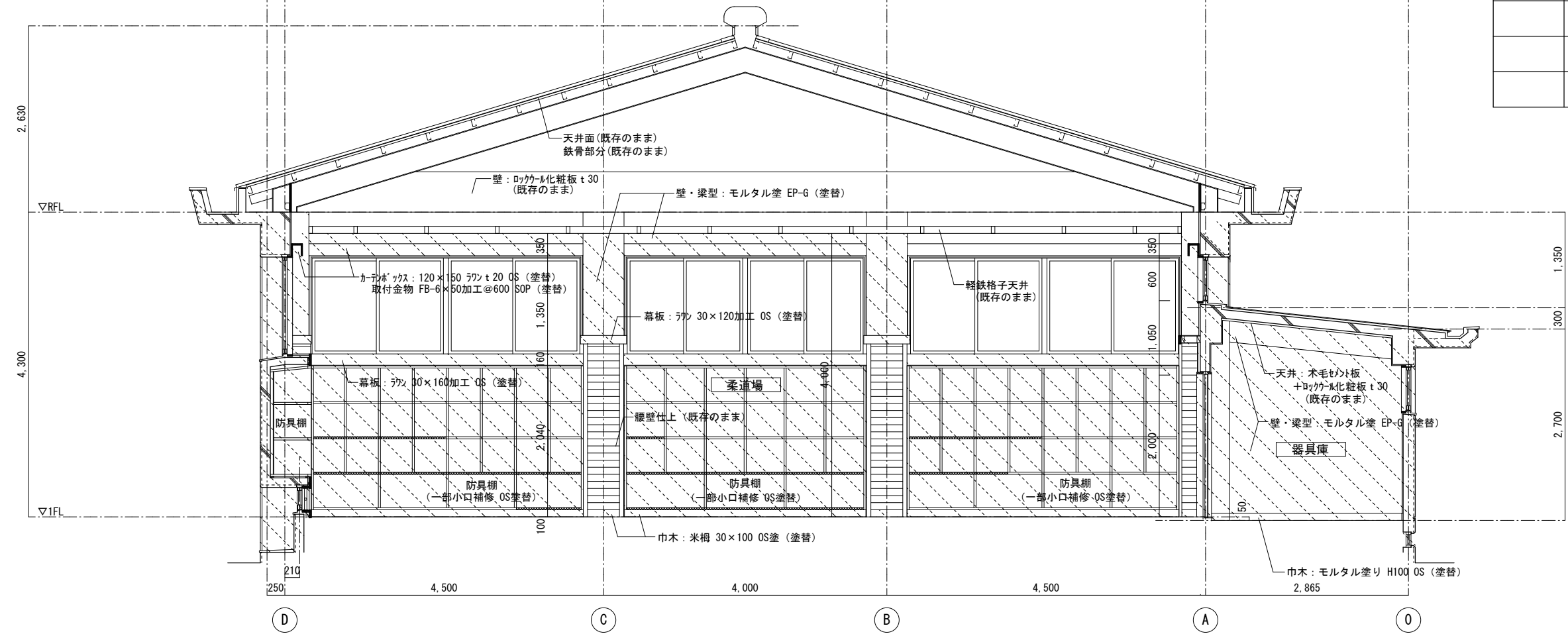
[武道場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	大 中 小 地域 施設 種類 三原市都市部建築課 建築	工事名 宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/50 展開図 (1)	(A3版-71%縮小) 図番 A-62
---------------	-------------	-----------------------------------	--	---	---------------------------	------------------------



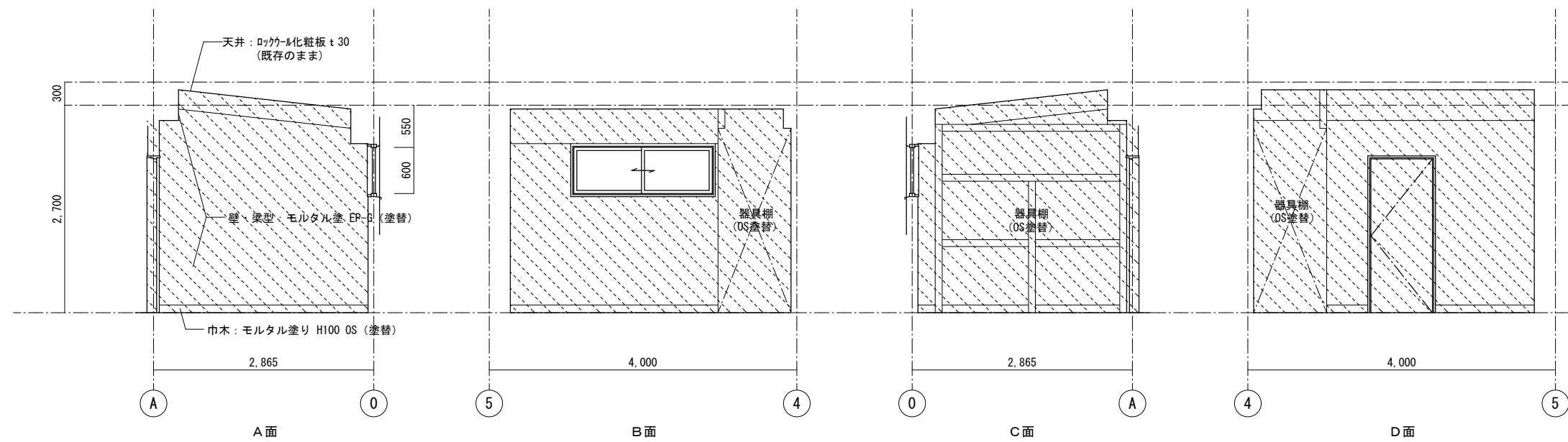
凡例

	改修範囲を示す
	棚板増貼り箇所を示す

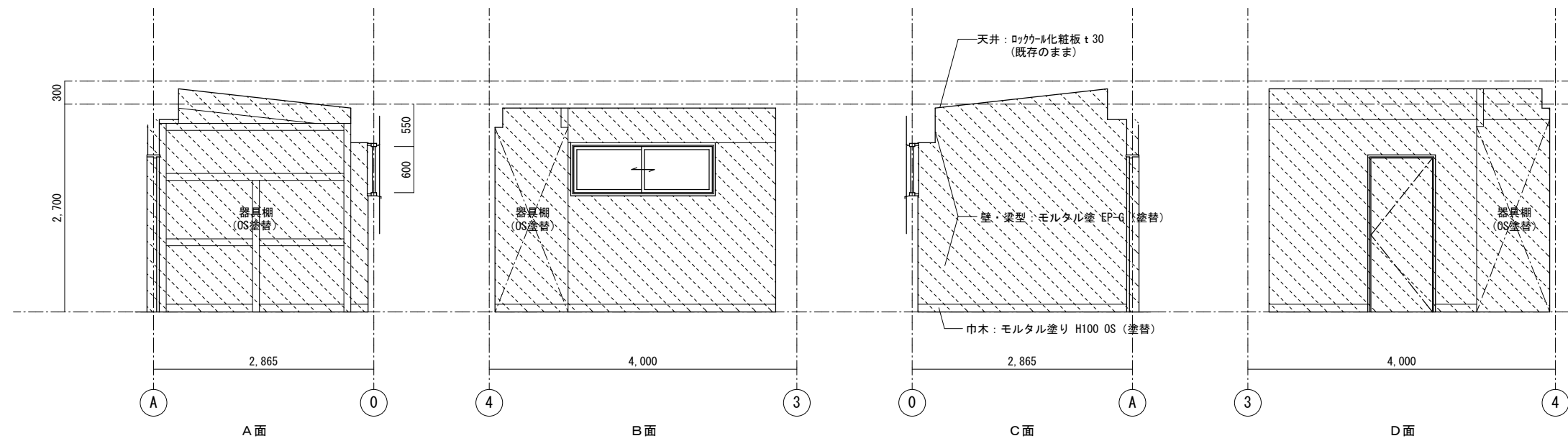


[武道場]

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/50 展開図 (2)	(A3版-71%縮小)	図番 A-63
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----	-----	---	---------------------------	-------------	------------

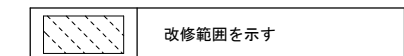


器具庫(柔道)展開図 S=1/50



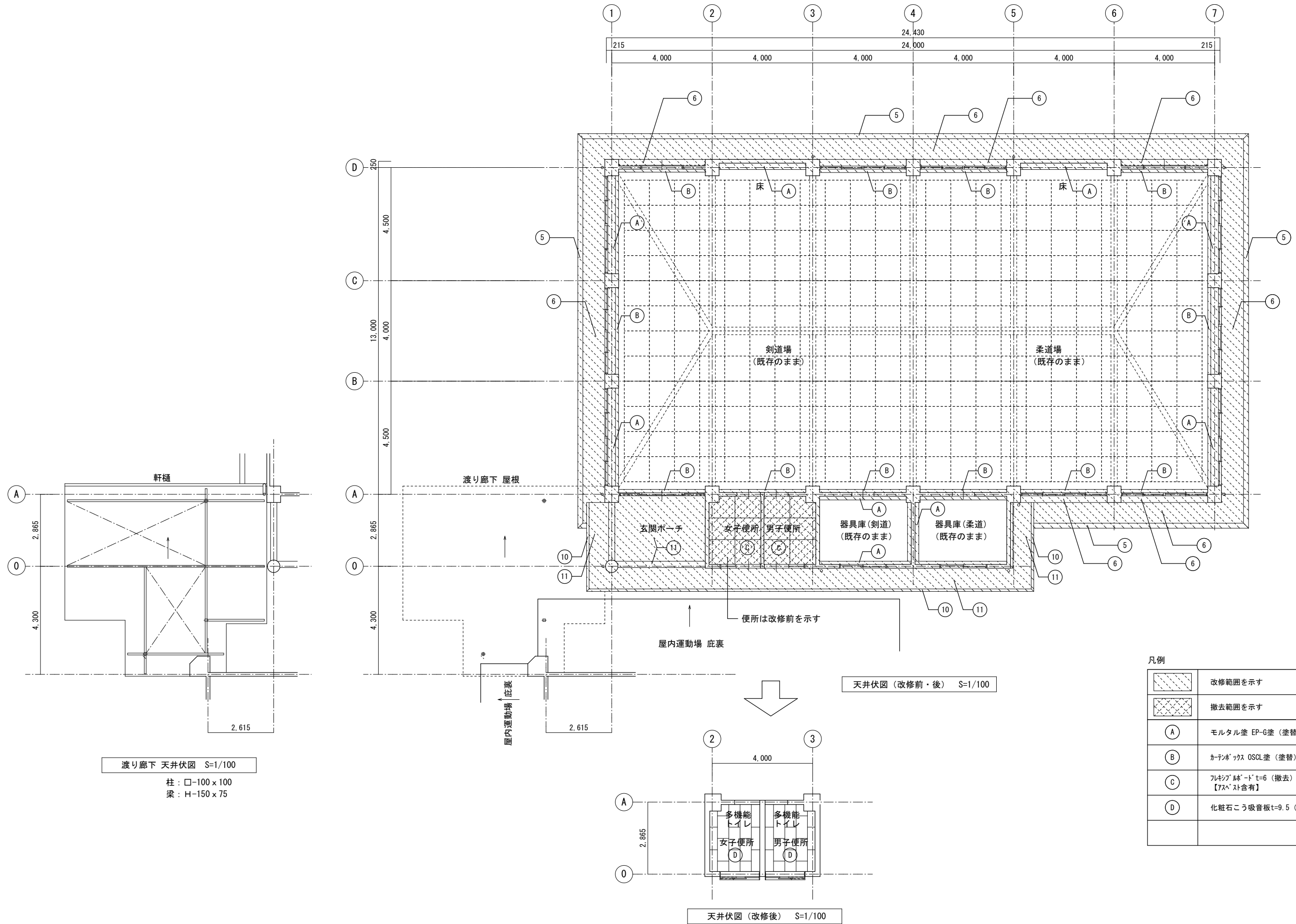
器具庫(剣道)展開図 S=1/50

凡例



事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	器具庫展開図			A-64

[武道場]



渡り廊下 天井伏図 S=1/100

柱：□-100 x 100
梁：H-150 x 75

天井伏図（改修前・後） S=1/100

天井伏図（改修後） S=1/100

凡例

	改修範囲を示す
	撤去範囲を示す
(A)	モルタル塗 EP-G塗（塗替）
(B)	カーボックス OSCL塗（塗替）
(C)	フレキシブルボードt=6（撤去） 【フスヘスト含有】
(D)	化粧石膏吸音板t=9.5（新設）

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/100 天井伏図	(A3版-71%縮小) 図番 A-65
工事完成 令和 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事（建築主体工事）			

[武道場]

共通事項

表示略号	略号	建具	略号	ガラス	平面図表示建具記号	アルミニウム製建具の特記事項	特記なき場合は、形式が引違い片引き・上げ下げ窓で、複層ガラスを使用する場合は、枠見込み100mmとする。	外部	一般扉	丁番	シリンダー箱錠 (片面サムターン)	防火戸	(1) ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動は「備考」欄による。 (2) 防火戸の種類は下表により、適用は「防火戸の種類」欄による。 (3) 防火戸の解放機構は別途とする。 (4) 扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う。
AD	アルミ製戸	P	フロート板ガラス		ドアクローザー (ストップ付)	厚見込み 寸法 (mm)	SD 40 (H=2,400以下、扉一枚の幅=950以下) 及び 50 (H=2,400超える、扉一枚の幅=1,600以下) SSD 50 (H=2,700以上、扉一枚の幅=1,500以下) 60 (H=3,200以上、扉一枚の幅=2,000以下) LSD 36	内部	一般室	ヒポットヒンジ	シリンダー箱錠 (片面サムターン)		
AW	アルミ製窓	F	型板ガラス						自由開き扉	フロアヒンジ (片自由、ストップ付き) シリンダー本締り錠 (片面サムターン) 押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (SUS 304 HL程度、L=400)			
AG	アルミ製がらり	NF	網入型板ガラス						自動ドア (スライディングドア)	引戸用本締り錠 (片面サムターン)			
ST	鋼製三方枠	WF	網入型板ガラス		ドアクローザー (ストップなし)								
SST	ステンレス製三方枠	NP	網入型板ガラス										
SD	鋼製戸	WP	網入型板ガラス										
SW	鋼製窓	HAP	熱線吸収フロート板ガラス										
SG	鋼製がらり	T ()	強化ガラス (材料板ガラス)										
SS	重量シャッター	IG (O) ()	複層ガラス (材料板ガラス)										
LSD	鋼製軽量戸		(O) は断熱性、日射取得性、日射遮蔽性による区分を示す										
LS	軽量シャッター												
SSD	ステンレス製戸	HR ()	熱線反射ガラス (材料板ガラス)										
SSW	ステンレス製窓	DS ()	倍強度ガラス (材料板ガラス)										
SSG	ステンレス製がらり	L ()	合わせガラス (材料板ガラス)										
OHD	オーバーヘッドドア												
ACW	アルミ製カーテンウォール	Low-E	低放射ガラス										
PD	樹脂製戸												
PW	樹脂製窓												
H	ふすま												
PA	紙張り障子												
WD	木製戸												
				(O-OO-OO)、(O-OO) は国交省標準詳細図の番号を示す。 複層ガラスは、室内・室外側に使用するガラスは下記のとおりとする。 【内 (材料板ガラス) + A + 外 (材料板ガラス)】 【内 : 室内側ガラス、外 : 室外側ガラス、A : 空気、AR : アルゴン】 網入りガラスの網の形状は (※ ひし網) ・ (※ かく網) とする。									

建具枠・くつずり詳細図 (枠廻り記号)

A1	A2	A3	A4	S1 (内部)	S2 (内部)	S3 (内部)	S4 (外部)	L1	L2 (簡易気密形)	三方枠	1	2	3	4 (簡易気密形)	5	6 (簡易気密形 (外部))	凡例
(4-51-1) (4-51-6)	(4-51-1) (4-51-7)	(4-51-1) (4-52-4)	(4-51-1) (4-52-5)	(4-21-1, -3) (4-22-1) (4-23-3) (4-25-1)	(4-22-2, -3, -4) (4-23-1, -4) (4-24-1, -3)	(4-21-2, -4) (4-23-2) (4-24-2)	(4-41-3) (4-42-3)	(4-22-5) (4-23-5) (4-24-4)	(4-24-2) (4-24-2) (4-46-1, -2, -3)		(4-31-2)	(4-31-1)	(4-31-4)	(4-45)	(4-41, 4-42)	(4-43, 4-44)	<ul style="list-style-type: none"> ★ 新設建具を示す ☆ 改修建具を示す □ 撤去建具を示す ○ 既存のままの建具を示す
A5	A6	A7	S5 (外部)	S6 (外部)	S7 (簡易気密形 (外部))	S8 (簡易気密形 (外部))	H1	H2	I型	II型	III型	特記事項 1. 特記なき限り、建付け調整・金物部品調整を行うこと。 2. 外部建具周囲・打継目地等のシーリングは既存シーリング材を除去後打替えとする。 ※シーリングの打替えを行う場合は、既存シーリング材及びバックアップ材を除去し、下地及び除去したシーリング材について監督員の確認を受けた後に施工すること。 また、除去したシーリング材は重量を測り、全量の写真撮影を行うこと。					

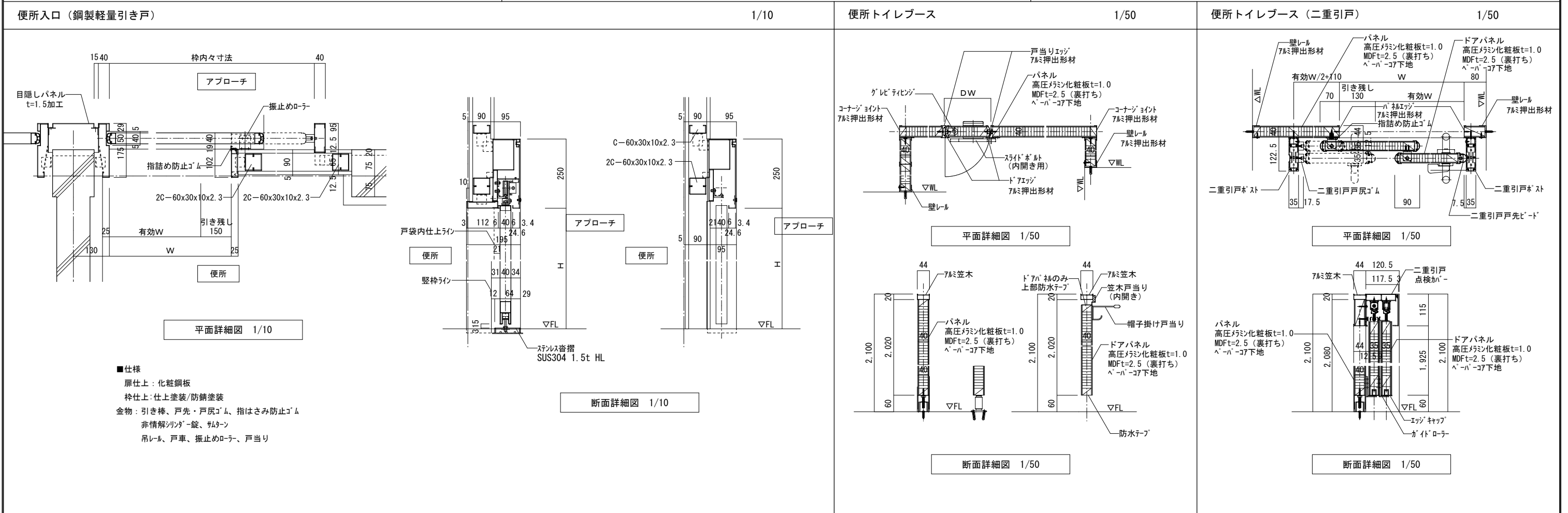
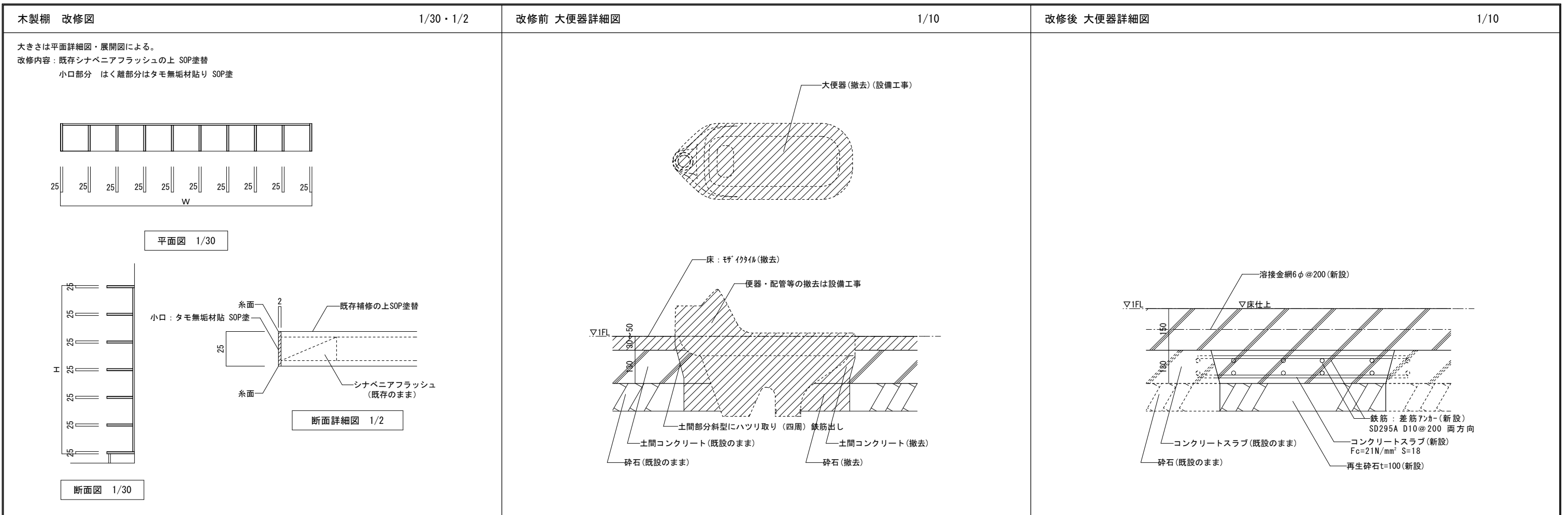
符号・数量	1/AD × 1	2/AD × 2	3/AD × 2 (右勝手: 1 左勝手: 1)	乙種防火戸	4/AD × 2	5/AD × 2
改修内容	既存のまま (クリーニング) 建付け: 調整 シーリング打替え	既存のまま (クリーニング) 建付け: 調整 シーリング打替え	撤去	撤去	アルミ製フラッシュ扉: 撤去・新設 ヒポットヒンジ・シリンダー本締り錠・ドアフェック 戸当り・付属金物一式	アルミ製フラッシュ扉: 撤去・新設 ヒポットヒンジ・シリンダー本締り錠・ドアフェック 戸当り・付属金物一式
図示						
室名	柔剣道場入口	柔剣道場入口	男子、女子便所入口	男子、女子便所入口	柔剣道場 器具庫入口	柔剣道場 器具庫入口
付属金物 (既存)	鎌錠・戸当り 付属金物一式	鎌錠・戸当り 付属金物一式	ヒポットヒンジ・シリンダー本締り錠・ドアフェック 戸当り・付属金物一式	ヒポットヒンジ・シリンダー本締り錠・ドアフェック 戸当り・付属金物一式	ヒポットヒンジ・シリンダー本締り錠・ドアフェック 戸当り・付属金物一式	ヒポットヒンジ・シリンダー本締り錠・ドアフェック 戸当り・付属金物一式
枠巾見込 (既存)	100	70	70	70	70	70
硝子 (既存)	学校用 T4mm	-	NF6.8mm	-	-	-
備考 (既存)	カラーアルミ (電解着色) ・ 横材 W=20 額縁用アングル・下枠ステンレスL型	カラーアルミ 額縁用アングル・下枠ステンレスL型	カラーアルミ 7mm水切り・額縁用アングル	カラーアルミ 額縁用アングル	カラーアルミ 額縁用アングル	カラーアルミ 額縁用アングル

[武道場]

事業年度	年度	設計	大 中 小 地域 施設 種類 工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図番 A-66
工事完成	年度	令和 年月	建築 宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事 (建築主体工事)	建具表 (1)		

符号・数量	$\left(\frac{1}{AW}\right) \times 2$	乙種防火戸	$\left(\frac{2}{AW}\right) \times 2$	乙種防火戸	$\left(\frac{2a}{AW}\right) \times 2$	乙種防火戸	$\left(\frac{3}{AW}\right) \times 2$	乙種防火戸	$\left(\frac{4}{AW}\right) \times 4$	乙種防火戸	$\left(\frac{5}{AW}\right) \times 2$	乙種防火戸				
改修内容	既存のまま(クリーニング)	建付け:調整 シーリング打替え	既存のまま(クリーニング)	建付け:調整 シーリング打替え	既存のまま(クリーニング)	建付け:調整 シーリング打替え	既存のまま(クリーニング)	建付け:調整 シーリング打替え	既存のまま(クリーニング)	建付け:調整 シーリング打替え	既存のまま(クリーニング)	建付け:調整 シーリング打替え				
図示																
室名	器具庫		柔剣道場		柔剣道場		柔剣道場		柔剣道場高窓		柔剣道場下窓					
付属金物	標準金物一式(引違い)		標準金物一式(引違い)		標準金物一式(引違い)		標準金物一式(引違い)		標準金物一式(引違い)		標準金物一式(引違い)					
枠巾見込	70		70		70		70		70		70					
硝子	N F 6.8mm		学校用 T 4mm		N F 6.8mm		学校用 T 4mm		学校用 T 4mm		学校用 T 4mm					
備考	カラーアルミ 7&ミ水切り・額縁用アングル		カラーアルミ 7&ミ水切り・額縁用アングル		カラーアルミ 7&ミ水切り・額縁用アングル		カラーアルミ 7&ミ水切り・額縁用アングル		カラーアルミ 7&ミ水切り・額縁用アングル		カラーアルミ 7&ミ水切り・額縁用アングル					
符号・数量	$\left(\frac{5a}{AW}\right) \times 2$	乙種防火戸	$\left(\frac{6}{AW}\right) \times 3$	乙種防火戸	$\left(\frac{6}{AW}\right) \times 1$	乙種防火戸	$\left(\frac{8}{AW}\right) \times 2$	乙種防火戸	$\frac{1}{WD} \times 1$		$\frac{2}{WD} \times 1$					
改修内容	既存のまま(クリーニング)	建付け:調整 シーリング打替え	既存のまま(クリーニング)	建付け:調整 シーリング打替え	既存のまま(クリーニング)	建付け:調整 シーリング打替え	既存のまま(クリーニング)	建付け:調整 シーリング打替え	撤去		撤去					
図示										女子便所(トイレブース)		男子便所(トイレブース)				
室名	柔剣道場下窓		柔剣道場		柔剣道場		柔剣道場高窓		女子便所(トイレブース)		男子便所(トイレブース)					
付属金物(既存)	標準金物一式(引違い)		標準金物一式(引違い)		標準金物一式(引違い)		標準金物一式(引違い)		表示錠にぎり玉付ラッチ ヒンジ 戸当り 帽子掛 笠木・脚部ステンレス 付属金物一式		表示錠にぎり玉付ラッチ ヒンジ 戸当り 帽子掛 笠木・脚部ステンレス 付属金物一式					
枠巾見込(既存)	70		70		70		70		ポリエステル化粧合板フラッシュ40 t		ポリエステル化粧合板フラッシュ40 t					
硝子(既存)	N F 6.8mm		学校用 T 4mm		N F 6.8mm		学校用 T 4mm		-		-					
備考(既存)	カラーアルミ 7&ミ水切り・額縁用アングル		カラーアルミ 7&ミ水切り・額縁用アングル		カラーアルミ 7&ミ水切り・額縁用アングル		カラーアルミ 7&ミ水切り・額縁用アングル		内開き		内開き					
符号・数量	$\frac{101}{SD} \times 1$				$\frac{11}{WD} \times 1$				$\frac{12}{WD} \times 1$							
改修内容	新設				新設				新設							
図示										有効開口 900 25						
室名	男子・女子便所(外部入口)				女子便所(トイレブース)				男子便所(トイレブース)							
付属金物(新設)	引棒・引戸錠・吊レール 戸当り・付属金物一式				表示器付ラッチ 付属金物一式、丁番、引手、把手、金物				表示器付ラッチ 付属金物一式、引手、金物							
枠巾見込(新設)	220+105				40				40							
硝子(新設)	-				-				-							
備考(新設)	焼付塗装 ガラリ				頭: ステンレス 2枚引き・内開き				頭: ステンレス 2枚引き							
事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課			大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月								建築		宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	建具表(2)		A-67

[武道場]



[武道場]														
事業年度	4年度	設計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/2, 10, 30, 50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	5年度		令和5年2月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治	部分詳細図(1)		A-68

面台 S=1/20

<特記事項>
 ・D、W寸法は平面詳細図による
 ・特記なき限りH寸法は、下記による。
 小便器:1,400
 大便器(多目的):1,000
 手洗器(多目的):1,000
 手洗器:800

小便器面台詳細図 S=1/20・1/5

小便器用手摺 S=1/20

<特記事項>
 ・手摺は樹脂製34φとし、手摺取付補強PL-2.3を行うこと
 ・手摺取付補強の範囲は 150×300程度とする

跳ね上げ式手摺(可動式) S=1/20

<特記事項>
 ・手摺は樹脂製34φとし、手摺取付補強PL-2.3を行うこと

L型手摺 S=1/20

<特記事項>
 ・手摺は樹脂製34φとし、手摺取付補強PL-2.3を行うこと

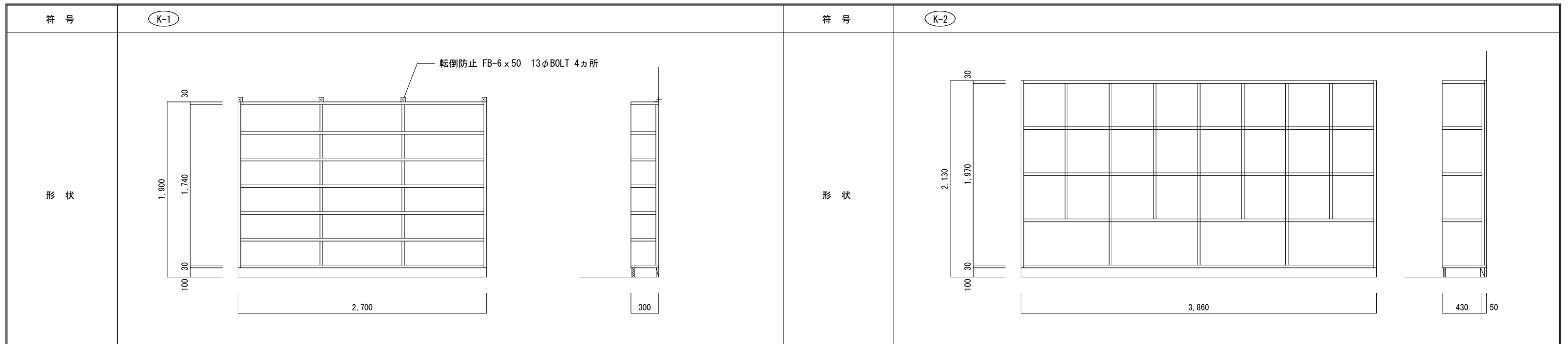
パラペット廻り 詳細図 S=1/20

自在手すり 詳細図 S=1/30・1/5

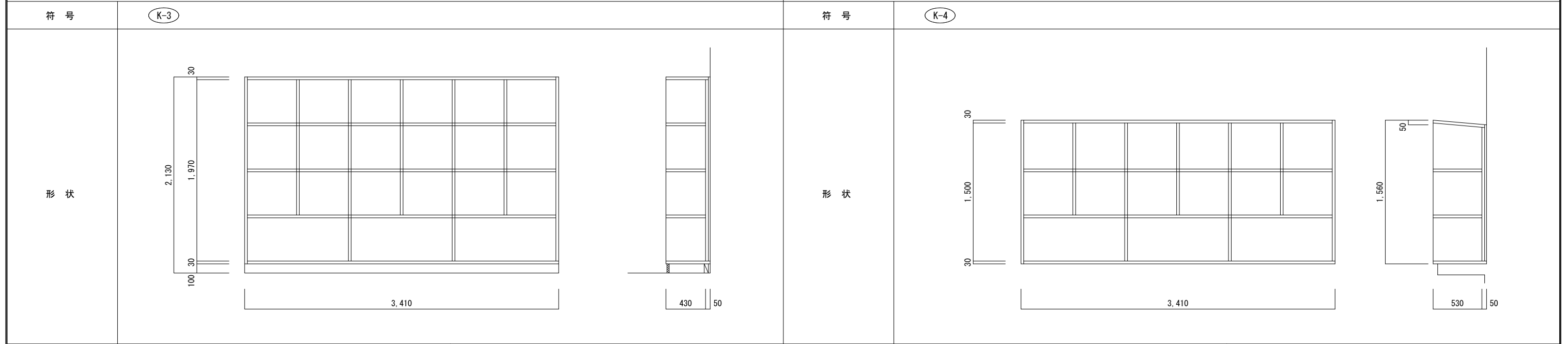
ピクト(平付け型) S=1/4

設置階	設置場所	表示面(組合せ)	数量
1階	男子便所		1
	女子便所		1

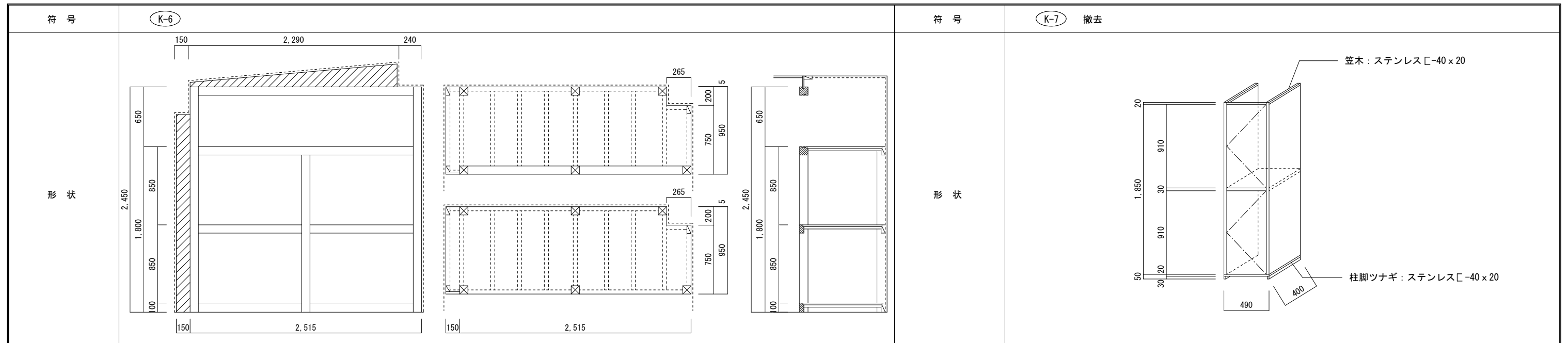
※ 表示色は、現場監督員の指示による。



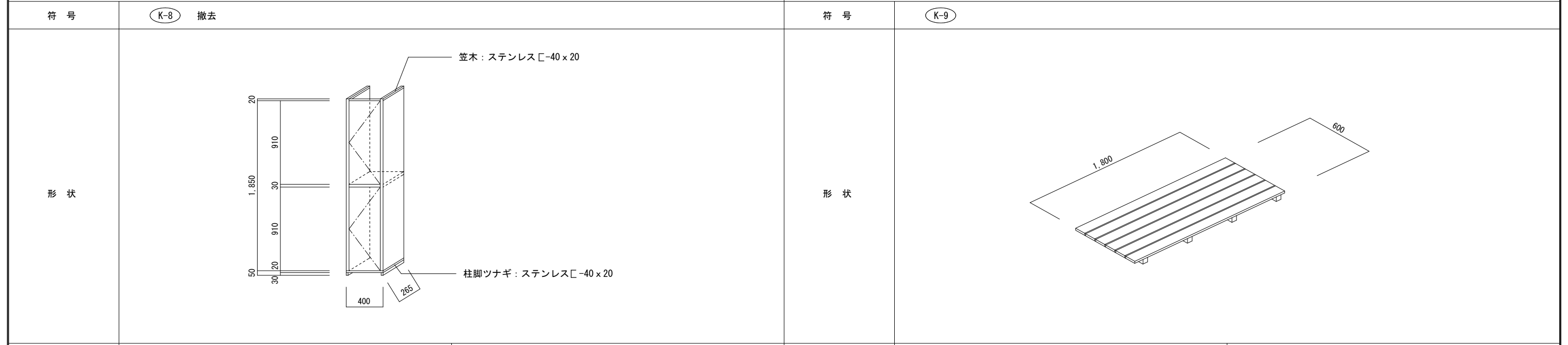
		改修前	改修後			改修前	改修後
場所 場所	玄関ポーチ	1台	既存のまま	場所 場所	剣道場 2台 柔道場 2台	既存のまま	既存のまま
種別	下足箱		既存のまま	種別	防具棚	既存のまま	既存のまま
材料(枠・仕切板)	ラワン30t		既存のまま	材料(枠・仕切板)	ラワン合板5.5t 片面フラッシュ30t 小口ラワン30t	既存のまま	既存のまま
材料(棚板)	ラワン30t		既存のまま	材料(棚板)	ラワン合板5.5t フラッシュ30t 小口ラワン30t	既存のまま	既存のまま
材料(背板)	ラワン合板9t		既存のまま	材料(背板)	ラワン合板5.5t 片面フラッシュ30t	既存のまま	既存のまま
巾木	米柵 25x100 OP塗		SOP塗替	巾木	米柵 25x100 OP塗		SOP塗替
硝子	---		---	硝子	---		---
金物	転倒防止 FB-6 x 50 13φBOLT 4カ所		既存のまま	金物	---		---
塗装	OS塗、CL塗		OS塗替	塗装	OS塗、CL塗		OS塗替
備考				備考			一部小口補修



		改修前	改修後			改修前	改修後
場所 場所	剣道場 1台 柔道場 1台	1台	既存のまま	場所 場所	剣道場・柔道場 計4台	既存のまま	既存のまま
種別	防具棚		既存のまま	種別	防具棚	既存のまま	既存のまま
材料(枠・仕切板)	ラワン合板5.5t 片面フラッシュ30t 小口ラワン30t		既存のまま	材料(枠・仕切板)	ラワン合板5.5t 片面フラッシュ30t 小口ラワン30t	既存のまま	既存のまま
材料(棚板)	ラワン合板5.5t フラッシュ30t 小口ラワン30t		既存のまま	材料(棚板)	ラワン合板5.5t フラッシュ30t 小口ラワン30t	既存のまま	既存のまま
材料(背板)	ラワン合板5.5t 片面フラッシュ30t		既存のまま	材料(背板)	ラワン合板5.5t 片面フラッシュ30t	既存のまま	既存のまま
巾木	米柵 25x100 OP塗		SOP塗替	巾木	米柵 25x100 OP塗		SOP塗替
硝子	---		---	硝子	---		---
金物	---		---	金物	---		---
塗装	OS塗、CL塗		OS塗替	塗装	OS塗、CL塗		OS塗替
備考			一部小口補修	備考			一部小口補修











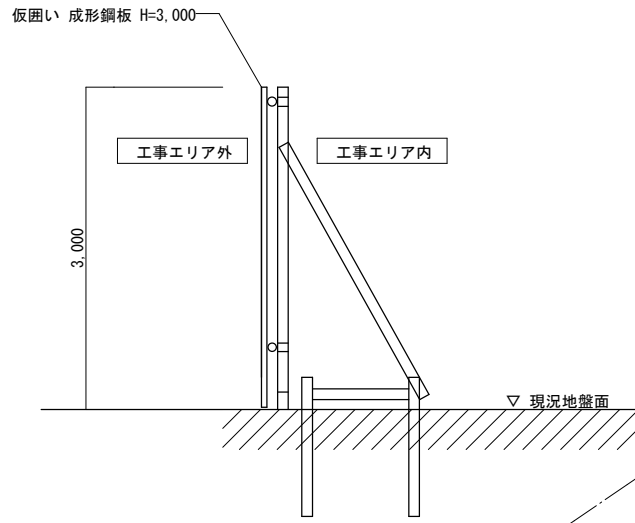
改修前		改修後		改修前		改修後	
場所 場所	柔剣道場器具庫 計2台	既存のまま	既存のまま	場所 場所	女子便所 1台	撤去	撤去
種別	器具庫棚 天袋付	既存のまま	既存のまま	種別	掃除具入		
材料(構造材)	米褥- 柱90x90 框90 x 60 根太45x45 敷居・鴨居: 90x90 その他45x45	既存のまま	既存のまま	材料(構造材)	ポリエステル化粧合板 フラッシュ30t		
材料(棚板)	ラワン合板12t	既存のまま	既存のまま	材料(棚板)	ポリエステル化粧合板 フラッシュ30t(天地板ナシ)		
材料(天袋)	ラワン合板5.5t フラッシュ30t 小口ラワン30t 引違い戸	既存のまま	既存のまま	材料(天袋)	_____		
巾木	米褥 60x100 OP塗	SOP塗替	SOP塗替	巾木	_____		
硝子	_____	_____	_____	硝子	_____		
金物(ステン)	引手 レール 戸車 棒錠本締め錠	調整	調整	金物	ラッチ ヒンジ にぎり玉 戸当り 附属金物一式		
塗装	OS塗	OS塗替	OS塗替	塗装	_____		
備考		可動部の建付け・金物調整を行うこと。	可動部の建付け・金物調整を行うこと。	備考			



改修前		改修後		改修前		改修後	
場所 場所	男子便所 1台	撤去	撤去	場所 場所	玄関ポーチ 2台	既存のまま	既存のまま
種別	掃除具入			種別	スイタ	既存のまま	既存のまま
材料(構造材)	ポリエステル化粧合板 フラッシュ30t			材料	米松 板20x90 根太45x45	既存のまま	既存のまま
材料(棚板)	ポリエステル化粧合板 フラッシュ30t(天地板ナシ)						
材料(天袋)	_____						
巾木	_____			巾木	_____	_____	_____
硝子	_____			硝子	_____	_____	_____
金物	ラッチ ヒンジ にぎり玉 戸当り 附属金物一式			金物	_____	_____	_____
塗装	_____			塗装	_____	_____	OSCL新設
備考				備考			

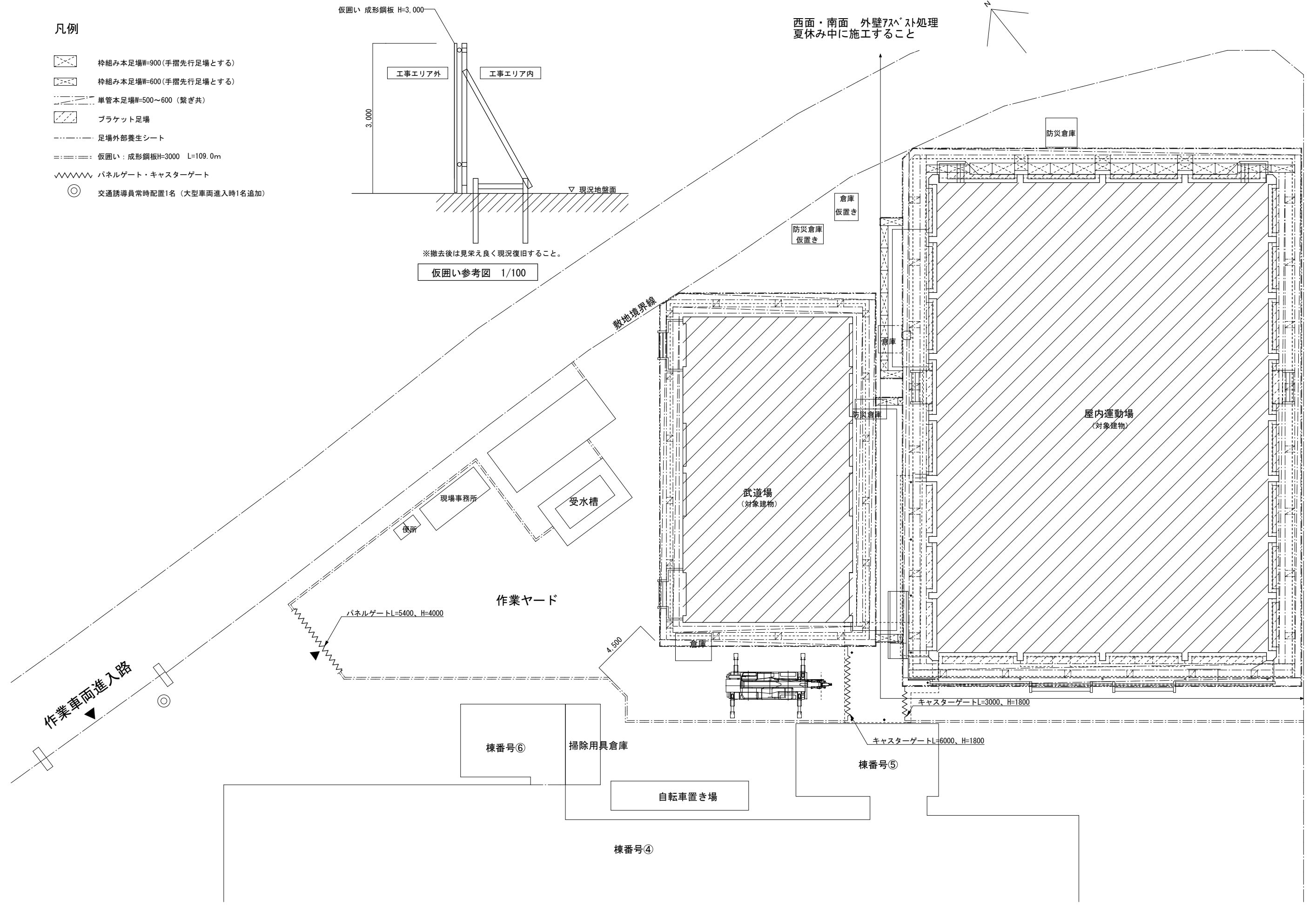
凡例

-  枠組み本足場W=900(手摺先行足場とする)
-  枠組み本足場W=600(手摺先行足場とする)
-  単管本足場W=500~600(繋ぎ共)
-  ブラケット足場
-  足場外部養生シート
-  仮囲い: 成形鋼板H=3000 L=109.0m
-  パネルゲート・キャスターゲート
-  交通誘導員常時配置1名(大型車両進入時1名追加)

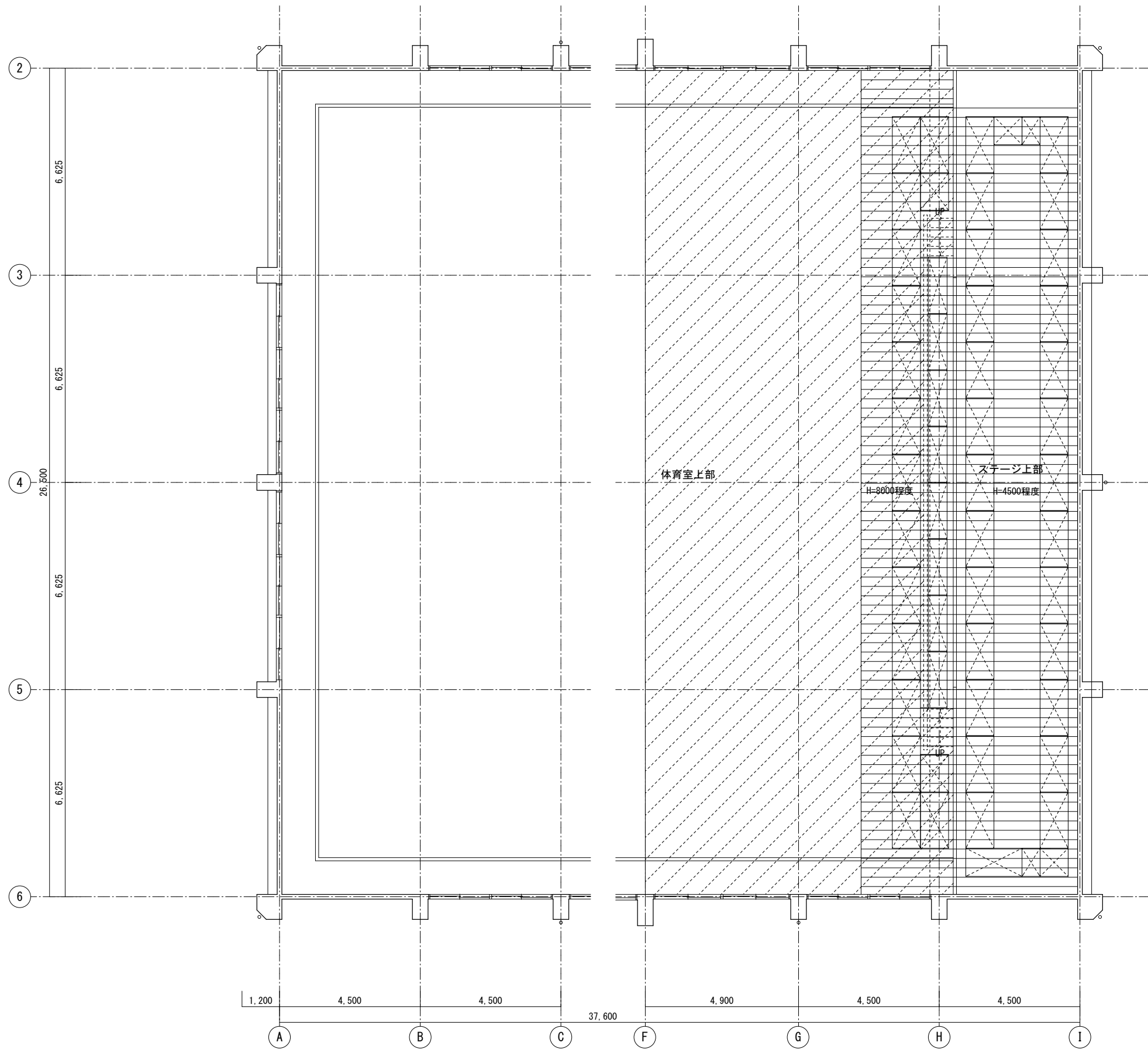


※撤去後は見栄え良く現況復旧すること。
仮囲い参考図 1/100






西面・南面 外壁アスベスト処理
夏休み中に施工すること



事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年 月						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	仮設計画図(1)			A-72



凡例

-  枠組み本足場W=900(手摺先行足場とする)
-  枠組み本足場W=600(手摺先行足場とする)
- 体育室床養生
 -  合板 t=5.5
 -  養生シート
 -  足場板 木製t=35 2段

事業年度 令和 年度	設計 令和 年 月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治	図面名称・縮尺 S=1/100 仮設計画図(2)	(A3版-71%縮小)	図番 A-73
工事完成 令和 年度								建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	印			

特記仕様書(構造関係)		④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)		⑤ 圧接完了後の圧接部の試験		⑥ 機械式継手		⑦ 溶接継手		⑧ 割製補強筋																																							
8 耐震改修工事 共通事項	1 適用範囲	※改修標準仕様書 8章 耐震改修工事 ・改修標準仕様書において8章耐震改修工事以外の改修工事で8章を引用している部分 工事内容 ・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・鉄骨プレースの設置工事 ・柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・連続繊維補強工事 ・耐震スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制振改修工事 ・土工事及び地業工事 ・()																																															
	2 既存部分の処理等	既存構造体の撤去 [8.21.2][8.22.2][8.23.2][8.24.4][8.25.2] 撤去範囲 ※構造図による はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ※露出部分は、錆止め塗料塗りを行う 既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲 [8.21.3][8.22.3][8.23.3] 既存柱、梁面 ※打継ぎ面の15~30%程度に、平均深さ 2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸処理を施す。 ・構造図による 既存壁 ※打継ぎ面の10~15%程度に、平均深さ 2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸処理を施す。 ・構造図による 既存杭の撤去等 [8.28.2] ・撤去範囲及び撤去方法 ※構造図による																																															
8-1 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類等 [8.2.1] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ SD295</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>.</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>.</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										種類の記号	呼び名	備考	※ SD295	※ D16以下		※ SD345	※ D19以上		.			.																									
	種類の記号	呼び名	備考																																														
	※ SD295	※ D16以下																																															
※ SD345	※ D19以上																																																
.																																																	
.																																																	
2 溶接金網	鉄線の形状等 [8.2.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										種類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	※ 溶接金網				・ 鉄筋格子																														
種類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																														
※ 溶接金網																																																	
・ 鉄筋格子																																																	
③ 鉄筋の継手及び定着	鉄筋の継手の方法等 [8.3.4][8.4.2.3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>※ 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 継手位置 [8.3.4] ※構造図による ・柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ ※構造図による 耐力壁の重ね継手の長さ ※改修標準仕様書 8.3.4(3)(7)による [8.3.4] ・改修標準仕様書 表8.3.2 鉄筋の定着長さ [8.3.4] ※改修標準仕様書 8.3.4(5)、(6)による ・構造図による 機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 ・図示による() 種類 ・原座圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定 ・ 蝶合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による										部位	継手方法	呼び名	柱、梁の主筋	※ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手		耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手		その他の鉄筋()	・ 重ね継手																												
部位	継手方法	呼び名																																															
柱、梁の主筋	※ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手																																																
耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手																																																
その他の鉄筋()	・ 重ね継手																																																
8-2 コンクリート工事	① コンクリートの種類	コンクリートの種類 [8.1.3] ※I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)																																															
	② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等	※普通コンクリート [8.1.3.4][8.2.5] <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>15</td> <td>2.3程度</td> <td>構造図による</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 構造体強度補正値 ※改修標準仕様書表8.2.4による ・構造図による ・軽量コンクリート [8.1.3.4][8.2.5][8.9.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td></td> <td></td> <td>1種・2種</td> <td>構造図による</td> </tr> </tbody> </table> 構造体強度補正値 ※改修標準仕様書表8.2.4による ・構造図による										設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所	21	15	2.3程度	構造図による	18	5			設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種類	適用箇所	21			1種・2種	構造図による																
設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所																																														
21	15	2.3程度	構造図による																																														
18	5																																																
設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種類	適用箇所																																													
21			1種・2種	構造図による																																													
	③ セメント	種類 [8.2.5] ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で402J/g 以下のものとする ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所() ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所()																																															
	④ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 [8.2.5] ※A・B																																															
	⑤ 混和材料	・混和剤 [8.2.5] 混和剤の種類 ※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による ・構造図による ・混和材 [8.2.5] 混和材の種類 ※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による ・構造図による																																															
	⑥ 構造体用モルタル	圧縮強度() [8.2.6] フロー値()																																															
	⑦ 層中コンクリート	構造体強度補正値 ※6N/mm ² ・構造図による [8.10.2]																																															
	⑧ マスコンクリート	適用箇所 [6.13.1] ※構造図による セメントの種類 [6.13.2] ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] ・シリカセメント ・() 混和材料 [6.13.2] ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(ア)による ・構造図による ・混和材 [6.13.2] 混和材の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(イ)による ・構造図による スランブ [6.13.2] ※15cm () cm 構造体強度補正値 ※標準仕様書表6.13.1による ・構造図による																																															
	⑨ 無筋コンクリート	コンクリートの種類 [8.11.1] ※普通コンクリート () 設計基準強度 [8.11.1] ※18N/mm ² () N/mm ² スランブ [8.11.1] ※15cm又は18cm () cm セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ※構造図による																																															
	⑩ 流動化コンクリート	適用箇所 [6.15.1] ※構造図による																																															
	⑪ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地	仕様 [8.21.6][8.22.7] 形状 ・スパイラル筋 () 種類の記号 ・SR235またはSMM-P () 呼び径、曲げ直径、ピッチ																																															
8-3 鉄骨工事	① 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5] ※建築基準法 第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 ()グレード以上 ・監督職員の承諾する工場																																															
	② 鉄骨製作工場における施工管理技術者	※ 配置する ・ 配置しない [8.1.6]																																															
	③ 鋼材	種類等 [8.2.8] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所(主要な部分)</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SS400</td> <td>鋼板、鉄骨プレース</td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> </tbody> </table>										種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格	SS400	鋼板、鉄骨プレース	※JIS規格による			※JIS規格による			※JIS規格による			※JIS規格による			※JIS規格による			※JIS規格による																	
種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格																																															
SS400	鋼板、鉄骨プレース	※JIS規格による																																															
		※JIS規格による																																															
		※JIS規格による																																															
		※JIS規格による																																															
		※JIS規格による																																															
		※JIS規格による																																															
13 構造体コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打設し仕上げ [8.1.4] ※意匠図による コンクリートの仕上りの平たんさ [8.1.4] ※意匠図による																																																
13 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) [8.7.8] ・20mm () mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm () mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm ・床型枠用鋼製デッキプレート梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う ・10mm ・20mm () mm																																																
14 型枠	せき板の材料及び厚さ [8.2.7] ※合板 [G] 厚さ ※12mm () mm ・メッシュ型枠(使用部位 ※構造図による) ・床型枠用鋼製デッキプレート(施工範囲 ※構造図による) ・断熱材を兼用した型枠材 (6.8.2) 使用箇所 ※構造図による ・MCR工法用シート (6.8.2) 適用箇所 ※構造図による 打増し厚さ ・20mm () mm 打増し範囲 ※構造図による スリーブの材質・規格等 [8.2.7] ※構造図による																																																
15 型枠の加工及び組立	シアコネクタをセパレーターとして使用 [8.7.8] 使用箇所 ※構造図による																																																
16 コンクリートの打込み工法等	コンクリートの打設工法の種類 [8.21.8][8.23.5] <table border="1"> <thead> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・現場打ちコンクリート壁の増設工事</td> <td>・流込み工法 8.21.8(1)(ア)、(2)</td> <td>・全ての増設壁 ・構造図による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・圧入工法 8.21.8(1)(イ)、(3)</td> <td>・全ての増設壁 ・構造図による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</td> <td>・流込み工法 8.21.8(1)(ア)、(2)</td> <td>・全ての柱補強部分 ・構造図による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・圧入工法 8.21.8(1)(イ)、(3)</td> <td>・全ての柱補強部分 ・構造図による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・柱脚保護コンクリート、土間コンクリート</td> <td>・流込み工法 8.21.8(1)(ア)、(2)</td> <td>・全て</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・圧入工法 8.21.8(1)(イ)、(3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等 [8.23.6] 柱頭及び柱脚の隙間の寸法 ※構造図による 柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠 ・発泡プラスチック保温材等を埋込む ・構造図による 既存柱周囲あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ ※構造図による 補強後の仕上げ [8.23.7] ※構造図による										補強工法	打設工法	部位	・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・流込み工法 8.21.8(1)(ア)、(2)	・全ての増設壁 ・構造図による		・圧入工法 8.21.8(1)(イ)、(3)	・全ての増設壁 ・構造図による							・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	・流込み工法 8.21.8(1)(ア)、(2)	・全ての柱補強部分 ・構造図による		・圧入工法 8.21.8(1)(イ)、(3)	・全ての柱補強部分 ・構造図による							・柱脚保護コンクリート、土間コンクリート	・流込み工法 8.21.8(1)(ア)、(2)	・全て		・圧入工法 8.21.8(1)(イ)、(3)							
補強工法	打設工法	部位																																															
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・流込み工法 8.21.8(1)(ア)、(2)	・全ての増設壁 ・構造図による																																															
	・圧入工法 8.21.8(1)(イ)、(3)	・全ての増設壁 ・構造図による																																															
・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	・流込み工法 8.21.8(1)(ア)、(2)	・全ての柱補強部分 ・構造図による																																															
	・圧入工法 8.21.8(1)(イ)、(3)	・全ての柱補強部分 ・構造図による																																															
・柱脚保護コンクリート、土間コンクリート	・流込み工法 8.21.8(1)(ア)、(2)	・全て																																															
	・圧入工法 8.21.8(1)(イ)、(3)																																																
事業年度	年度	設計	大		中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番																																			
工事完成	年度	令和 年月	三原市都市部建築課						建築	宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治	改修工事特記仕様書-10(構造関係)		S-01																																			

④	高力ボルト	高力ボルトの種類 [8. 2. 9]	※トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) ・JIS高力ボルト 2種 (F10T)	
		ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8. 13. 2]	※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔	
		摩擦面の処理方法 [8. 14. 2]	※自然発錆 (黒皮等を除去した後) に自然放置して表面に赤さびが発生した状態) ・プラスト処理 (表面粗度50μm Rz以上)	
		すべり試験の実施	※すべり係数試験 ・すべり耐力試験	
		すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2(1) (イ) による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。		
		溶融亜鉛めっき高力ボルト	セツトの種類 [8. 13. 2]	※1種 (F8T) 相当
		ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8. 13. 2]	※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔	
		摩擦面の処理方法等 [8. 20. 5]	※プラスト処理 (表面粗度50μm Rz以上) 又はりん酸塩処理	
		すべり試験の実施	※すべり係数試験 ・すべり耐力試験	
		すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2(1) (イ) による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。		
6	普通ボルト	ボルト及びナットの材料 [7. 2. 3]	※標準仕様書 表7. 2. 3 (JIS附属書品) 又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。ボルトの規格を呼び径六角ボルト又は六角ナットとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4. 8又は4. 9とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の倍以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナット・Cとし、材料は鋼とする。	
		座金 [7. 2. 3]	※JIS B 1256による	
7	アンカーボルト	ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8. 13. 2]	※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔	
		母屋又は筋線の取付けに使用するボルトの孔径 [7. 3. 8]	※ねじの呼び径+1. 0mm	
8	溶接材料	溶接材料 [8. 2. 10]	・改修標準仕様書 8. 2. 10(1) (2) による	
		溶接材料 [8. 2. 10]	・改修標準仕様書 8. 2. 10(1) (2) による	
9	スタッド	種類等 [8. 2. 11]		
		JIS B1198 (頭付きスタッド)		
10	製作精度	鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準] に加えて、次による [8. 13. 3]		
		通しダイアグラムの突合せ継手の食い違いの寸法 [8. 13. 3]	・H12建告第1464号第二号イ(2) による	
11	溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験	試験の要領 [8. 15. 3]	※構造図による	
		溶接接合 [8. 15. 4]	開先形状 [8. 15. 4]	
12	溶接接合	開先形状 [8. 15. 4]	※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-2	
		切断する箇所 [8. 15. 7]	※構造図による	
13	入熱、パス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 [8. 15. 7]	※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4	
		溶接接合 [8. 15. 7]	※構造図による	
14	溶接部の試験	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 [8. 15. 12]	・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3. 5. 2 受入検査による	
		JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験方法等 [8. 15. 12]	・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3. 5. 2 受入検査による	
15	錆止め塗装	塗料の範囲 [8. 17. 2]	・耐火被覆材の接着する面の塗装	
		塗料の種類 [8. 17. 4]	下記以外の鉄鋼面は、7章 [塗装改修工事] による	
16	耐火被覆	種類、材料、工法等 [8. 18. 2~8]		
		種類、材料、工法等 [8. 18. 2~8]		
17	アンカーボルト等の設置等	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 [7. 10. 3]	※構造図による	
		構造用アンカーフレームの形状及び寸法 [7. 10. 3]	※構造図による	
18	鉄骨ブレース設置後の仕上げ	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 [7. 10. 3]	※構造図による	
		構造用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 [7. 10. 3]	※構造図による	
8-4	あと施工アンカー工事	あと施工アンカー [8. 2. 4]	材料等 [8. 2. 4]	
		穿孔 [8. 12. 4]	埋込み配管等の調査方法 [8. 12. 4]	
8-5	グラウト工事	柱底均しモルタル及びグラウト材 [8. 2. 12]	・柱底均しモルタル	
		グラウト材 [8. 2. 11]	・グラウト材	
8-6	連続繊維補強工事	連続繊維シート [8. 2. 13]	連続繊維の材料 [8. 2. 13]	
		仕上げ [8. 24. 7]	補強工事後の仕上げ [8. 24. 7]	
8-7	耐震スリット新設工事	耐震スリットの方式、幅及び深さ [8. 25. 2]	方式 [8. 25. 2]	
		耐震スリットの施工前の埋込み配管等の調査 [8. 12. 4]	既存撤去部の埋込み配管等の調査方法 [8. 12. 4]	
8-8	土工事及び地業工事	埋戻し及び盛土 [8. 28. 3]	埋戻し及び盛土の材料及び工法 [8. 28. 3]	
		山留めの撤去 [8. 28. 3]	鋼矢板等の抜き跡の処理 [8. 28. 3]	
8-9	杭地業	杭地業 [8. 28. 4]	支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) [8. 28. 4]	
		杭地業 [8. 28. 4]	杭の材料、工法、寸法、施工方法等 [8. 28. 4]	
8-10	砂利地業	砂利地業 [8. 28. 4]	材料 [8. 28. 4]	
		砂利地業 [8. 28. 4]	材料 [8. 28. 4]	
8-11	捨コンクリート地業	捨コンクリート地業 [8. 28. 4]	捨コンクリートの厚さ [8. 28. 4]	
		捨コンクリート地業 [8. 28. 4]	捨コンクリートの種類 [8. 28. 4]	
8-12	鉄骨ブレース設置後の仕上げ	鉄骨ブレース設置後の仕上げ [8. 22. 9]	※意匠図による	
		鉄骨ブレース設置後の仕上げ [8. 22. 9]	※意匠図による	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

設計図書に記載なき場合は本標準図による。

§ 1 一般共通事項

1. 1 鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内径(D)			使用箇所
		SD295A D16以下	SD295B D19~D38	SD345 D19~D38	
180°					柱・梁の主筋及び杭基礎のベース筋並びにD16以上の鉄筋
135°		3d	4d	5d	あばら筋、帯筋、スパイラル筋、D13以下の鉄筋
90°		以上	以上	以上	T形及びL形のあばら筋
135°及び90°					幅止めの筋
90°以下		4d以上 (5d以上)	6d以上 (6d以上)	8d以上 (8d以上)	その他の鉄筋

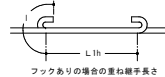
(注) 1. Dは、曲げ内径
2. dは、呼び名に用いた数値
3. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の角で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長を4d以上とする。
4. SD390は、()内を適用する。

1. 2 鉄筋の継手

- 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧継手又は特殊な鉄筋継手（「鉄筋の継手の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示1463号)に適合する機械式継手）とし、適用は特記による。
- 鉄筋の溶接は、アーク溶接とし、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）7.6.5[部材の組立]（d）及び7.6.7[溶接施工]に準じ、工事に相応した技量を有する者とする。
- 重ね継手は、次による。
 - なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
 - 1) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、突起による。特記があれば、4.0d（軽量コンクリートの場合は5.0d）と下記表の重ね継手の長さのうち大きい値とする。
 - 2) 1)以外の鉄筋の重ね継手の長さは、下記表による。

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	L1(フックなし)	L1h(フックあり)
SD295A SD295B	18	4.5d	3.5d
	21	4.0d	3.0d
	2.4, 2.7	3.5d	2.5d
SD345	18	5.0d	3.5d
	21	4.5d	3.0d
	2.4, 2.7	4.0d	3.0d
SD390	18	5.0d	3.5d
	21	4.5d	3.5d
	2.4, 2.7	4.5d	3.0d

(注) 1. L1, L1h: 重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL1hは、下記に示すようにフック部分（片持ちスラブを除く）を含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



1. 3 隣り合う継手の位置

- 隣り合う継手の位置は下記表による。但し、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。
なお、先組込み工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所に行ける場合は、特記による。

継手の種類	フックありの場合	フックなしの場合	圧接継手	機械式継手
重ね継手				
圧接継手	a ≥ 400mm			
機械式継手	a は、400mm以上、かつ、(h+40)mm以上			

1. 4 鉄筋の定着

1. 4. 1 鉄筋の定着の長さ

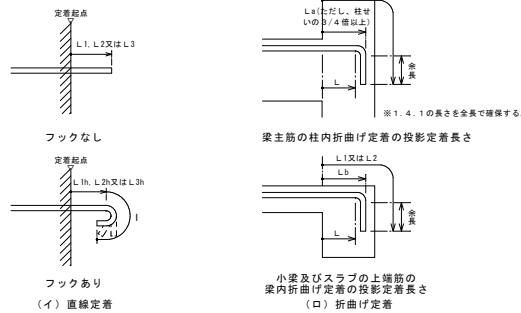
- 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、4.0d（軽量コンクリートの場合は5.0d）と下記表の定着長さのうち大きい値とする。
- (1)以外の鉄筋の定着の長さは、下記表による。

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	フックなし		L3		フックあり	
		L1	L2	小梁 スラブ	L1h L2h	小梁 スラブ	L3h
SD295A SD295B	18	4.5d	4.0d	20d	10d かつ 150mm 以上	3.5d	3.0d
	21	4.0d	3.5d			3.0d	2.5d
	2.4, 2.7	3.5d	3.0d			2.5d	2.0d
	3.0, 3.3, 3.6	3.5d	3.0d			2.5d	2.0d
SD345	18	5.0d	4.0d	20d	10d	3.5d	3.0d
	21	4.5d	3.5d			3.0d	2.5d
	2.4, 2.7	4.0d	3.5d			3.0d	2.5d
	3.0, 3.3, 3.6	4.0d	3.0d			2.5d	2.0d
SD390	18	5.0d	4.0d	20d	10d	3.5d	3.0d
	21	4.5d	3.5d			3.0d	2.5d
	2.4, 2.7	4.5d	3.0d			3.0d	2.5d
	3.0, 3.3, 3.6	4.0d	3.5d			3.0d	2.5d

(注) 1. L1, L1h: 2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
2. L2, L2h: 斜張壁等のおおむね垂直な壁面への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
3. L3: 小梁及びスラブ下部筋の直線定着の長さ。ただし、基礎部分スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
4. L3h: 小梁の下部筋のフックあり定着の長さ
5. フックあり定着の場合は、1. 4. 2に示すようにフック部分（片持ちスラブを除く）を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

1. 4. 2 定着の方法

- 定着の方法は下図による。
- 仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さLが、1. 4. 1のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を1. 4. 1に示す直線定着の長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを下記表に示す長さ（かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上）のみ込ませる。

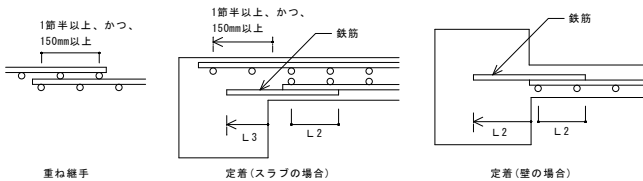


鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	La	Lb
SD295A SD295B	18	2.0d	1.5d
	21	1.5d	1.5d
	2.4, 2.7	1.5d	1.5d
SD345	18	2.0d	1.5d
	21	2.0d	2.0d
	2.4, 2.7	2.0d	1.5d
SD390	18	2.0d	1.5d
	21	2.0d	2.0d
	2.4, 2.7	2.0d	2.0d

(注) 1. La: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）
2. Lb: 小梁及びスラブの上層筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

1. 4. 3 溶接金網の継手及び定着

- 溶接金網の継手及び定着は下図による。なお、L2及びL3は、1. 4. 1の（注）による。



1. 5 鉄筋の最小かぶり厚さ及び間隔

1. 5. 1 鉄筋の最小かぶり厚さ

- 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、下記表による。
- 貫通孔に挿入する鉄筋かぶり厚さは最小かぶり厚さ以上とする。
- 柱、梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上として最小かぶり厚さを定める。

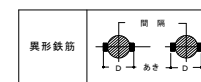
構造部分の種類	仕上げ	最小かぶり厚さ	
		土に接し ない部分	土に接する部分
スラブ・耐力壁 以外の壁	仕上げあり	20	20
	仕上げなし	30	30
	柱内	30	30
	柱外	30	30
耐力壁	仕上げあり	30	30
	仕上げなし	40	40
柱、梁、スラブ、壁	基礎、擁壁、耐圧スラブ	40	*40
煙突等高温を受ける部分		60	60

- * 1. 4. 1の最小かぶり厚さは普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
- * 2. 「仕上げあり」とし、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久上有効でない仕上げ（仕上材、塗膜等）のものを除く。
- * 3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で直接土に接する部分の最小かぶり厚さは、普通コンクリートの厚さを含まない。
- * 4. 基礎部分の最小かぶり厚さは、規定値からとする。
- * 5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所は、特記による。

1. 5. 2 鉄筋の間隔

- 鉄筋相互のあきは、下記の値のうち最大のもの以上とする。

- 1) 粗骨材の最大寸法の1. 25倍
- 2) 25mm
- 3) 隣り合う鉄筋の平均径（呼び名に用いた数値）の1. 5倍
- 4) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄筋とのあきは上記（1）～（3）のうち最大のもの以上とする。



(注) D: 鉄筋の最大外径

§ 2 基礎及び基礎梁の配筋

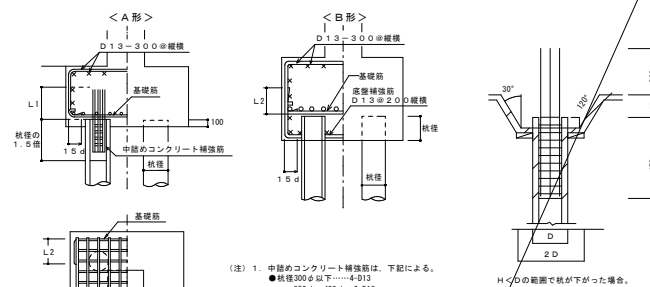
2. 1 基礎の配筋

2. 1. 1 一般事項

- 杭基礎のかま筋は縦筋、横筋ともD13～30.0を標準とする。
- 地盤の種類及び厚さは特記する。ただし、普通コンクリート厚さ50mm、砂利地層厚さ60mmを標準とする。

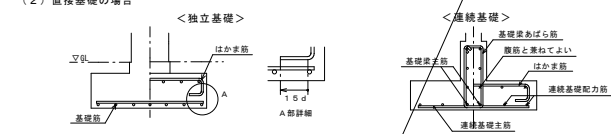
2. 1. 2 基礎の配筋及び杭基礎の方法

(1) 杭基礎の場合

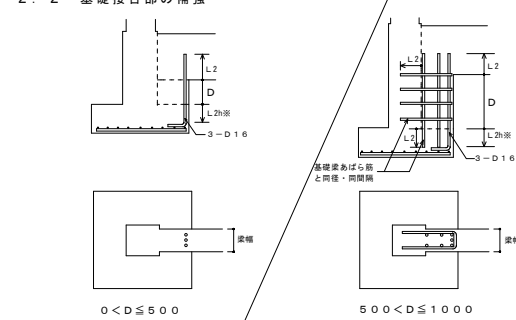


(注) 1. 中筋のコンクリート補強筋は、下記による。
● 柱径300φ以下……4-D13
● 300φ～400φ……4-D13
● 450φ～600φ……8-D13
● 600φ～1000φ……10-D13
2. 中筋のコンクリート補強筋にはフックをつけない。

(2) 直接基礎の場合



2. 2 基礎接合部の補強

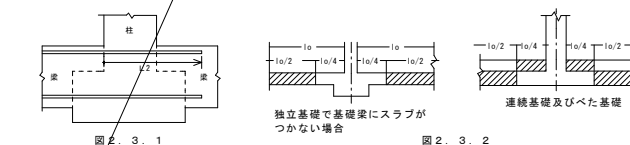


(注) L2hを確保できない場合は、1. 4. 2によることができる。

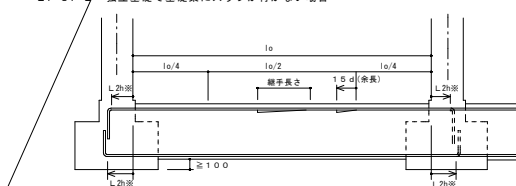
2. 3 基礎梁筋の継手、定着及び余長

2. 3. 1 一般事項

- 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図2. 2. 1による。
- 梁筋を柱内に定着する場合は、4. 1. 1(3)による。
- 継手中心位置は図2. 3. 2の斜線部分とする。

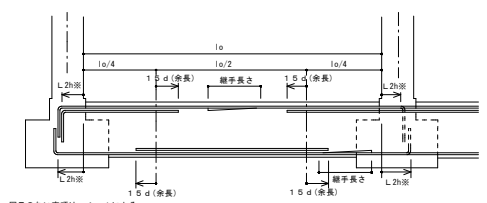


2. 3. 2 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合



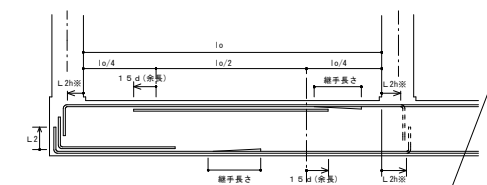
(注) 1. 図示しない事項は、4. 1による。
2. 隅部には、継手及び余長位置を示す。
3. 縦筋は、柱内定着の場合を示す。
※ L2hを確保できない場合は、1. 4. 2によることができる。

2. 3. 3 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合（耐圧スラブが付く場合は、2. 3. 4による）



(注) 1. 図示しない事項は、4. 1による。
2. 隅部には、継手及び余長位置を示す。
3. 縦筋は、柱内定着の場合を示す。
※ L2hを確保できない場合は、1. 4. 2によることができる。

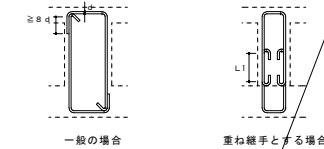
2. 3. 4 連続基礎及びべた基礎の場合



(注) 1. 図示しない事項は、4. 1による。
2. 隅部には、継手及び余長位置を示す。
3. 縦筋は、柱内定着の場合を示す。
※ L2hを確保できない場合は、1. 4. 2によることができる。

2. 4 基礎梁のあばら筋

- あばら筋組立の形及びフックの位置は、4. 2. 2による。
- 梁の上側にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1. 5m以上の場合は、下図によることができる。

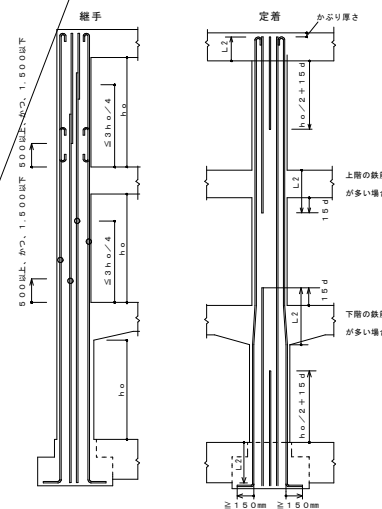


§ 3 柱

3. 1 柱筋の継手及び定着

3. 1. 1 一般事項

- 継手中心位置は、梁上端から500mm以上1,500mm以下、かつ3h₀/4（h₀は柱の内法高さ）以下とする。
- 柱筋定着長さL2が確保できない場合は、構造計算等により必要長さの確認を行うものとする。
- 柱頭柱底について、梁上端主筋との取合いを考慮し、適切なかぶり厚さを確保する。

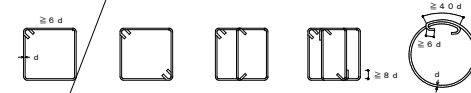


(注) 1. 隣り合う継手の位置は、1. 3の長による。
2. 柱の頭部にある状態で、重ね継手に適合し最上層の柱頭にある場合はフックを付ける。

3. 2 帯筋

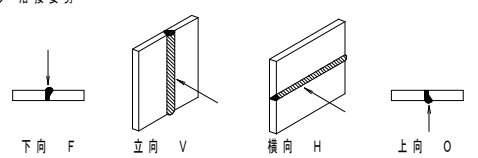
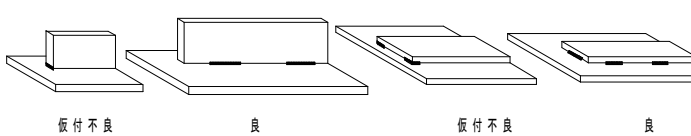
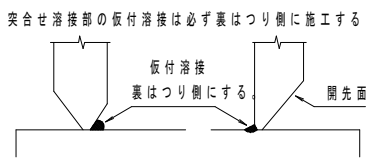
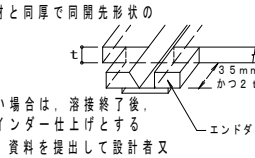
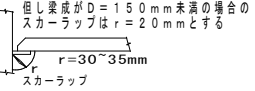
3. 2. 1 帯筋

- 帯筋の種類及び間隔は、特記による。
- 帯筋組立の形は、特記がなければ、下記による。
- フック及び継手の位置は、交互とする。
- 上下の柱断面寸法が異なる場合は、帯筋は、一般の帯筋より1サイズ大きい鉄筋又は同径のものを2本重ねたものとする。



鉄骨構造標準図(1)

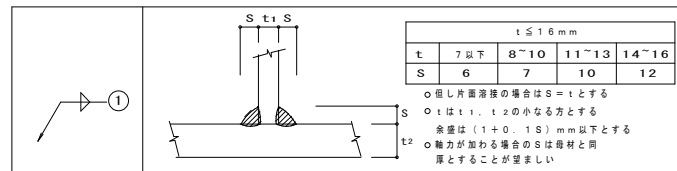
1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
 (a) 構造設計仕様による
 (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
 (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 作業一般
 (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る
 (b) 鋼骨部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼骨自動切断機による
 (c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
 (a) 本構めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
 (a) 溶接工
 溶接工は施工する溶接に適用するJIS Z 3801(手溶接)又はJIS Z 3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引継ぎ、半年以上溶接に従事している者とする
 (b) 溶接機器
 (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 (ロ) アークエアガウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 (ハ) サブマージアーク溶接機1式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
 (c) 溶接方法
 アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
 セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエアガウジング(AAG)
 (d) 溶接姿勢

 (e) 仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う
 (イ) 仮付位置
 仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり見い箇所は避ける

 (ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する

 (f) 溶接施工
 (イ) エンドダブ
 Ⅰ 突合せ溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同形状のエンドダブを取り付ける
 Ⅱ エンドダブの材質は、母材と同質とする
 Ⅲ エンドダブの長さは、MC: 35mm以上、NGC、GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
 Ⅳ プレス鋼板タブ、図形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監督者の承認を得る

 (ロ) 裏あて金
 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする

 (ハ) スカーラップ 半径は30~35mmとする
 (ニ) 裏はつり
 標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監督者の確認を履行し、部材に確認マークをつける
 (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を痛めない様に、養生を行なう
- (5) 塗装
 コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

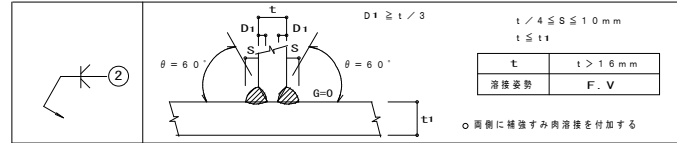
2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

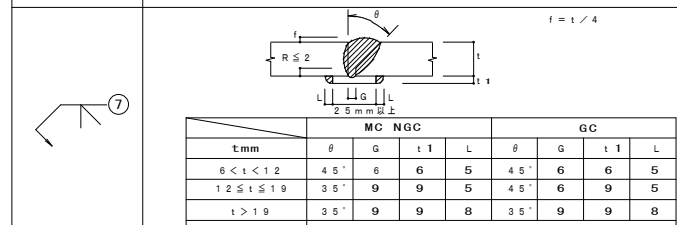
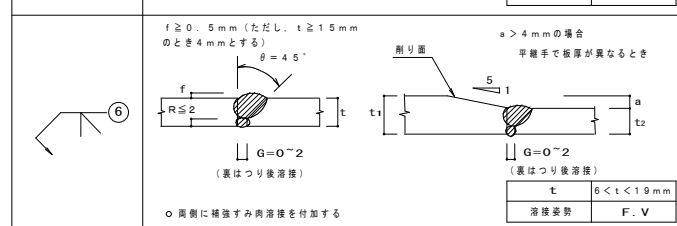
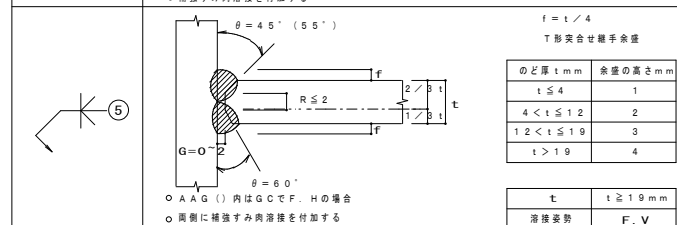
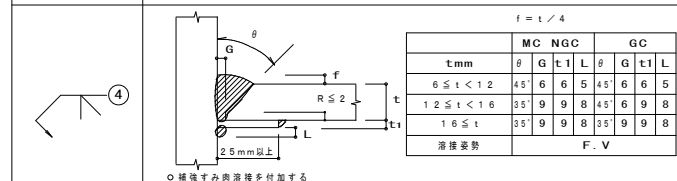
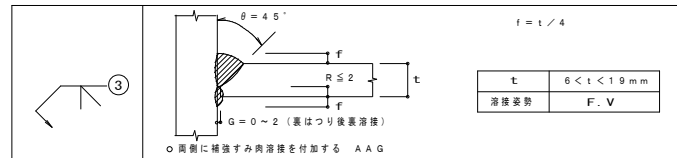
(1) スミ肉溶接



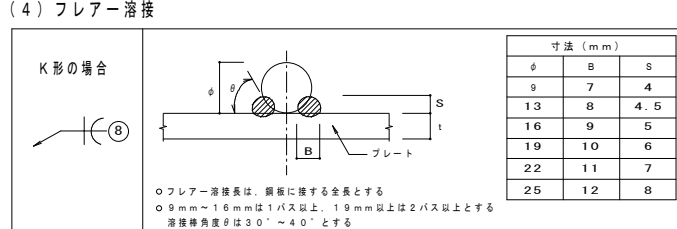
(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所に注意)



(3) 突合せ溶接 (平継手 T形継手)

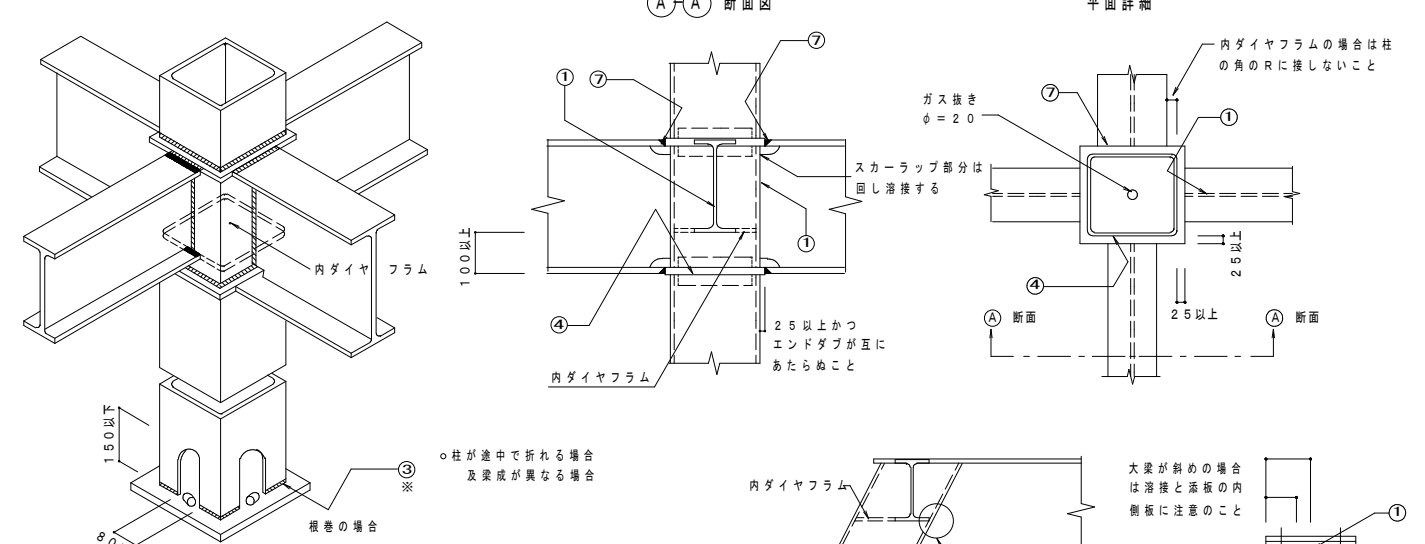


(4) フレア溶接

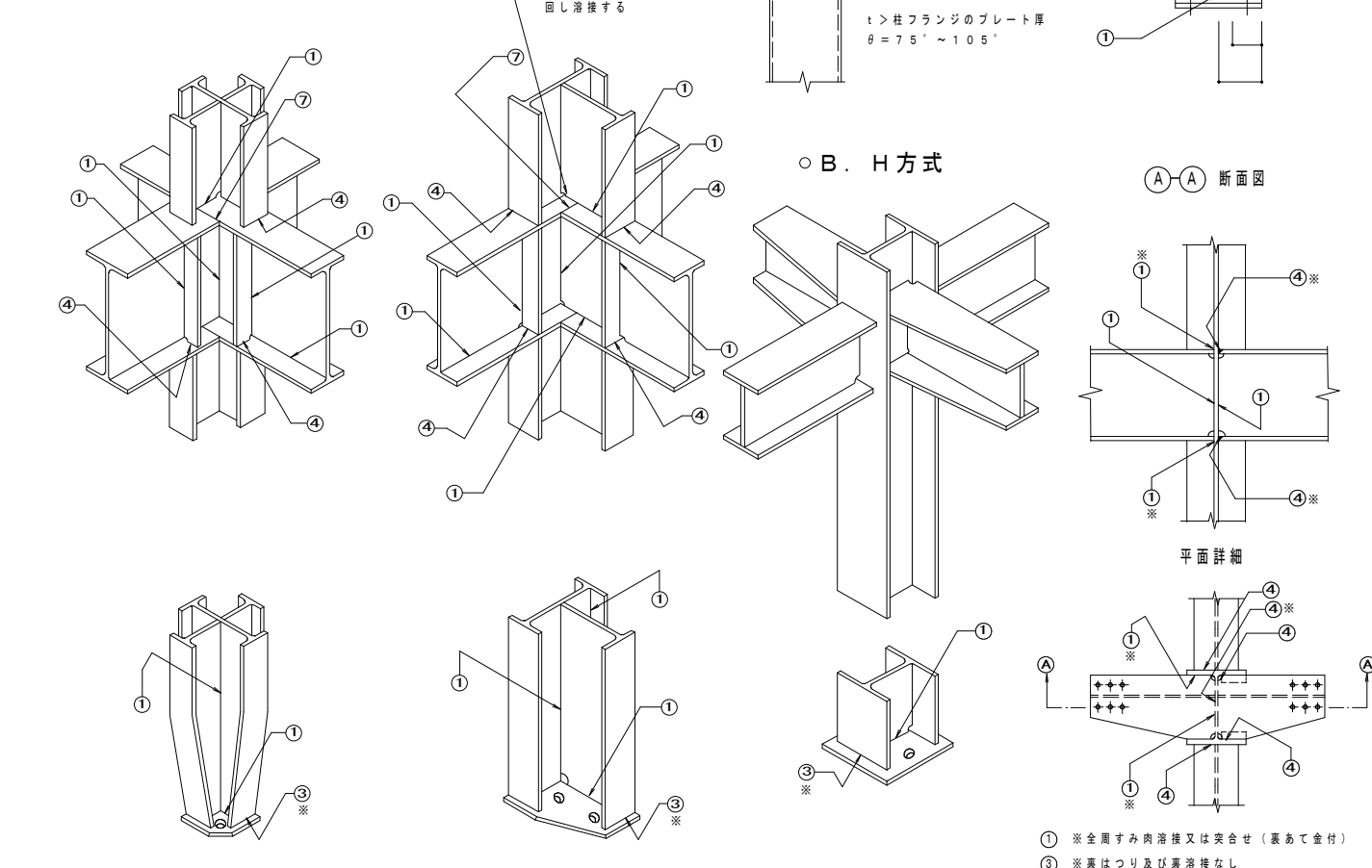


○ 溶接記号番号を○中に記入のこと

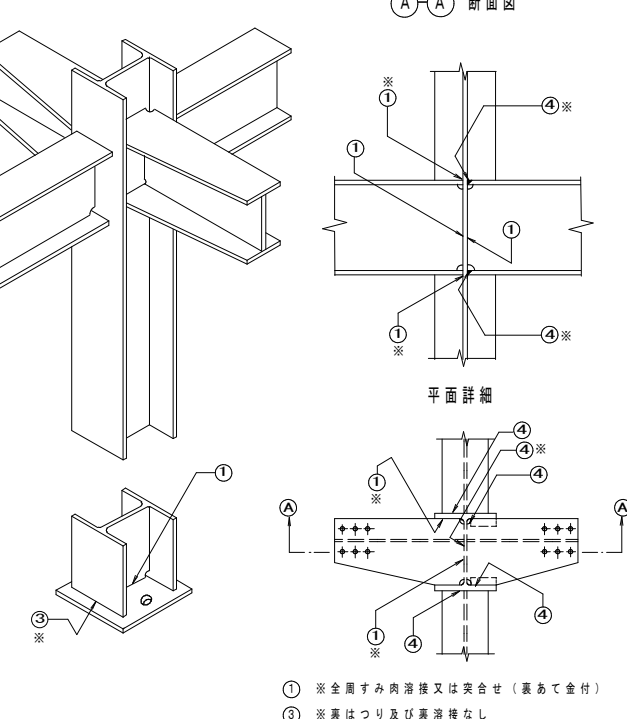
○ BOX型 (通しダイヤフラムの場合)

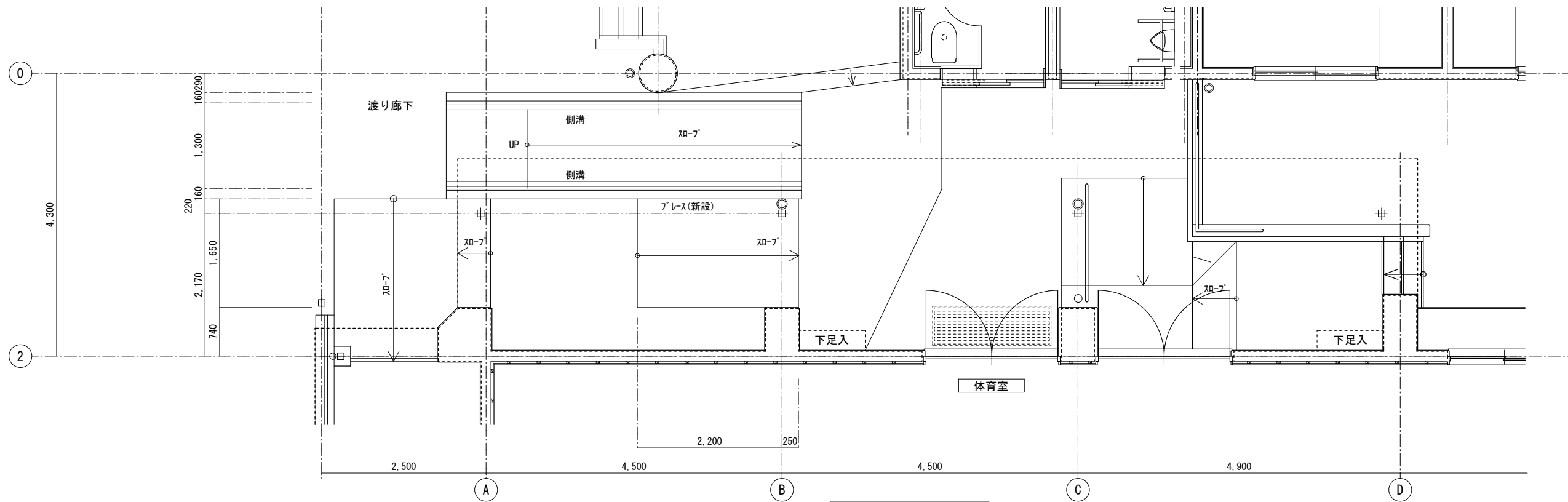


○ H, H, H 型

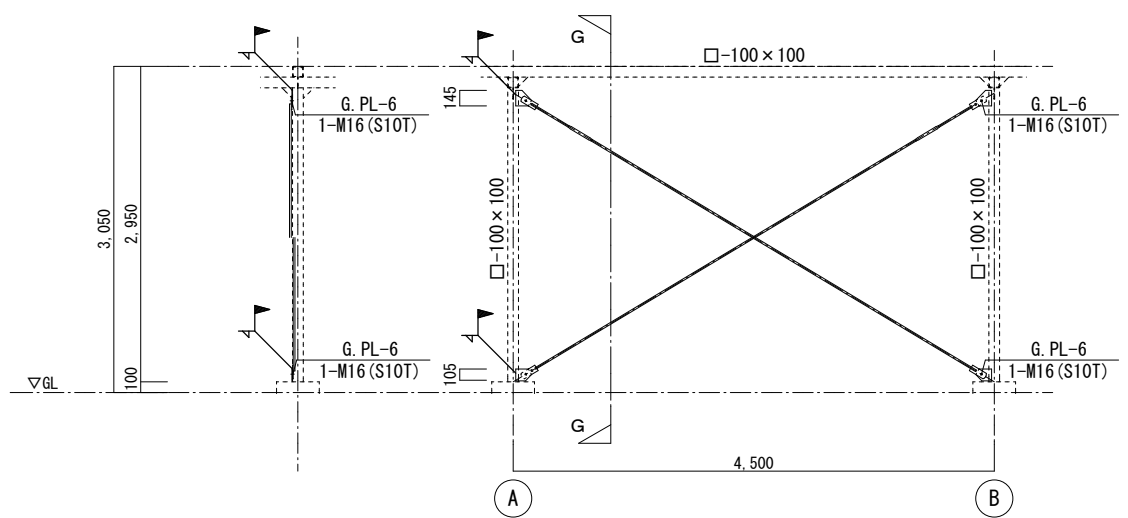


○ B, H方式





平面詳細図(改修後) S=1/50



G-G 断面詳細図 S=1/50

武道場O-2,130通り詳細図 S=1/50

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	図面名称・縮尺 S=1/50 渡り廊下鉄骨プレス改修図	(A3版・71%縮小) 図番 S-06
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----	-----	---	--------------------------------	------------------------

参 考 数 量 書

工 事 名 称 宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事（建築主体工事）

工 事 場 所 三原市宮浦五丁目

[工 事 概 要]

用途、構造、面積

【屋内運動場】RC造、地上1階、延床面積1,021㎡ 【武道場】RC造、地上1階、延床面積354㎡

工 事 範 囲

改修工事一式（建築主体工事）

別 途 発 注 工 事

宮浦中学校屋内運動場・武道場長寿命化改修工事（設備工事）

工 期

契約締結日の翌日 ～ 令和9年9月16日

一 般 事 項

《 工事予算内訳 》

合 計 金 額

〈内 訳〉

区 分

金 額

概 要

設 計 金 額

消 費 税 額

合 計 金 額

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

宮浦中学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

建築工事 科目別内訳

宮浦中学校 屋内運動場									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
コンクリート		1		式					
木工		1		式					
屋根及びとい		1		式					
金属		1		式					
左官		1		式					
塗装		1		式					
内外装		1		式					
ユニット及びその他		1		式					
防水改修		1		式					
外壁改修		1		式					
建具改修		1		式					
塗装改修		1		式					
解体		1		式					
発生材処理		1		式					

宮浦中学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

建築工事 科目別内訳

宮浦中学校 武道場

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設	1	式		
防水	1	式		
木工	1	式		
屋根及びとい	1	式		
金属	1	式		
左官	1	式		
塗装	1	式		
内外装	1	式		
ユニット及びその他	1	式		
防水改修	1	式		
外壁改修	1	式		
建具改修	1	式		
塗装改修	1	式		
解体	1	式		
発生材処理	1	式		

宮浦中学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

建築工事 中科目別内訳

宮浦中学校 屋内運動場					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	外部	1	式		
直接仮設	内部	1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
木工		1	式		
計					
屋根及びとい		1	式		
計					
金属		1	式		
計					
左官		1	式		
計					
塗装		1	式		
計					

宮浦中学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

建築工事 中科目別内訳

宮浦中学校 屋内運動場					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
内外装		1	式		
計					
ユニット及びその他		1	式		
計					
防水改修		1	式		
計					
外壁改修		1	式		
計					
建具改修		1	式		
計					
塗装改修		1	式		
計					
解体		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		

宮浦中学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

建築工事 中科目別内訳

宮浦中学校 武道場					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	外部	1	式		
直接仮設	内部	1	式		
計					
防水	内部	1	式		
計					
木工	部材別	1	式		
計					
屋根及びとい	外部	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	内部	1	式		
計					
塗装	内部	1	式		

建築工事 中科目別内訳

宮浦中学校 武道場					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
内外装	内部	1	式		
計					
ユニット及びその他	内部	1	式		
計					
防水改修	防水改修	1	式		
計					
外壁改修	外壁改修	1	式		
計					
建具改修	建具改修	1	式		
計					
塗装改修	外部	1	式		
計					
解体	解体	1	式		
計					

宮浦中学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

建築工事 中科目別内訳

宮浦中学校 玄関ポーチ					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
コンクリート	外部仕上	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
計					
塗装	外部	1	式		
計					
内外装	外部	1	式		
計					
ユニット及びその他	外部	1	式		
計					
外壁改修	外壁改修	1	式		
計					
解体	解体	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 屋内運動場		金属				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床目地棒	ステンレス製 3×12	27	m			
ステンレス製タラップ 700*700*3650	安全ガード付	1	か所			
丸環	ステンレス	68	個			
カーテンボックス補強金物		1	式			
ボルト	M10	170	本			
普通ボルト締付	径 9～13 施工手間	170	本			
ボルトアンカー	スリーフ打込み式 金属拡張アンカー M10*80	170	本			
折版(A) 水切	塩ビ鋼板t=0.4	30.2	m			
折版(B) 水切	塩ビ鋼板t=0.4	18.5	m			
折版(C) 水切	塩ビ鋼板t=0.4	2.9	m			
鋼製床下地	体育室	173	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 屋内運動場		ユニット及びその他				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗い工法	9MPa以上 階段(1),(2) クリーニング	9.5	m ²			
水洗い工法	9MPa以上 階段(3),(4) クリーニング	11.5	m ²			
水洗い工法	9MPa以上 階段(5),(6) クリーニング	7.5	m ²			
水洗い工法	9MPa以上 ステンレス手摺 クリーニング	5	m ²			
ロッカー 900*1800*620	一時撤去・復旧	1	か所			
ロッカー 880*1800*380	一時撤去・復旧	1	か所			
下足箱	一時撤去・復旧	1	か所			
下駄箱 1000*1600*330	一時撤去・復旧	10	か所			
物置 2200*1900*2100	一時撤去・復旧	1	か所			
アルミ製防球格子	一時撤去・復旧	5	か所			
防球ネット	一時撤去・復旧	165	m			
棚 1580*1900*370	一時撤去・復旧	5	か所			
暗幕,レール 77.1m	一時撤去・復旧	1	式			
校歌額 2600*1350	一時撤去・復旧	1	か所			
彫刻 1600*1120	一時撤去・復旧	1	か所			

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 屋内運動場		ユニット及びその他				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
額 1250*1880 1820*1820 1820*910	一時撤去・復旧	4	か所			
舞台幕	一時撤去・復旧	1	式			
コートラインNo. 1	バスケットボール 24*14m 既設撤去共	2	面			
コートラインNo. 2	バレーボール6人制 18*9m 既設撤去共	2	面			
コートラインNo. 3	バドミントンダブルス 18.4*6.1m 既設撤去共	4	面			
折版庇(A)	一時撤去・再取付	53.7	m ²			
折版庇(B)	一時撤去・再取付	42.3	m ²			
折版庇(C)	一時撤去・再取付	47	m ²			
水洗い工法	9MPa以上 折版庇(A) クリーニング	53.7	m ²			
水洗い工法	9MPa以上 折版庇(B) クリーニング	42.3	m ²			
水洗い工法	9MPa以上 折版庇(C) クリーニング	47	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 屋内運動場		建具改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(アルミ建具)						
AG1	クリーニング	1.3	m ²			
AW1	クリーニング	36.6	m ²			
AW2	クリーニング	23.7	m ²			
AW2A	クリーニング	11.8	m ²			
AW2B	クリーニング	11.8	m ²			
AW3	クリーニング	52.2	m ²			
AW3A	クリーニング	39.2	m ²			
AW3B	クリーニング	13.1	m ²			
AD1	クリーニング	30.5	m ²			
AD1A	クリーニング	6.1	m ²			
AD2	クリーニング	8	m ²			
AD3	クリーニング	3.6	m ²			
AW4	クリーニング	4	m ²			
AW2B	建具調整	1	か所			

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 屋内運動場		建具改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
AD1A	建具調整	1	か所			
AD1	ドアチェック 既設撤去共	5	か所			
AD1A	ドアチェック 調整	1	か所			
AD2	ドアチェック 既設撤去共	2	か所			
AD1A	フタス落し	1	か所			
AD2	フタス落し 既設撤去共	2	か所			
AD1	フタス落し 既設撤去共	5	か所			
AD1	押し棒ビス 締直し	5	か所			
AD2	押し棒ビス 締直し	2	か所			
AD2	鍵受け	2	か所			
AD3	取手	2	か所			
	(鋼製建具)					
SW1	建具調整, 鍵	1	か所			
SW2B	鍵	1	か所			
SW2C	引違い障子	2	か所			

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 屋内運動場		建具改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(木建具)						
WD1	片開き扉,トアチェック,レハ-ハンドル	3	か所			
WD1	枠補修 17.4m	3	か所			
WD2	大型引手 既設撤去共	1	か所			
WD2	扉補修 7.6㎡	1	か所			
WD2	枠補修 7.8m	1	か所			
WWD1	握り玉 既設撤去共	1	か所			
(ガラス)						
フロント板ガラス	厚さ5 特寸 2.18㎡以下 シーリング 清掃共	11.8	㎡			
フロント板ガラス	厚さ5 特寸 2.18㎡以下 シーリング 清掃共	13.1	㎡			
計						

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 屋内運動場		塗装改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
複層塗材 RE	コンクリート面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	1,320	m ²			
可とう形 外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	165	m ²			
コーラル塗	鉄鋼面鉛・クロムフリー錆止めペイント	1.7	m ²			
外装塗装	既設撤去共 体育室	866	m ²			
外装塗装	既設撤去共 ステージ	109	m ²			
SOP塗り 改修仕様	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料As種(鉛・クロムフリー1種) 下地RB種(塗替え面)	27	m ²			
SOP塗	鉄鋼面RB種	49.4	m			
SOP塗り 改修仕様	木部 工程B種 塗料1種 下地RB種(塗替え面)	183.1	m ²			
SOP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	822.1	m			
木部 EP-G塗り 改修仕様	工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	318	m ²			
EP-G塗り 改修仕様	モルタル面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	67.8	m ²			
EP-G塗り 改修仕様	モルタル面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	98.5	m ²			
OS塗り 改修仕様	木部 下地調整RB種(塗替え面)	9	m ²			
OS塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 下地調整RB種(塗替え面)	41.6	m			
OSCL塗	木部RB種	330	m ²			

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 屋内運動場		解体				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
リソ吹付 外壁, 屋根, 壁, 天井	下地調整材【アスベスト含有】	1	式			別紙 00-0001
ステンレスノスリッパ	階段(1), (2)	27	m			
シーリング撤去	集積共	29.6	m			
スチール製掴金物@1200	100φ	60	か所			
たてどい撤去	鋼管 集積共	9	m			
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	413	m ²			
防水モルタル塗		47.6	m ²			
床・縁甲板 フローリング撤去	集積共	109	m ²			
床下地板撤去	集積共	109	m ²			
ビニル床シート撤去	集積共	8.4	m ²			
壁合板・ボード 撤去	一重張り 一般 集積共	22.6	m ²			
吊なわ	1本共	1	か所			
SW2C	引違い障子	2	か所			
WD1	片開き扉	3	か所			
ガラス撤去	集積共	24.9	m ²			

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 屋内運動場		発生材処理		運搬		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.7	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.2	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.7	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 木材類 DID区間有り 10.5km以下	3.3	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 木材類 DID区間有り 10.5km以下	8.3	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.7	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.2	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.7	m3			
発生材積込み	ボート・木材類 人力	3.3	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	8.3	m3			
計						

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 武道場		塗装		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(巾木・立上り)						
OS塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 下地調整RB種(塗替え面)	62.3	m			
OSCL塗	木面 糸巾 下地調整RB種	6.7	m			
OS塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 下地調整RB種(塗替え面)	23.9	m			
(壁)						
OS塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 下地調整RB種(塗替え面)	60.5	m			
EP-G塗り 改修仕様	モルタル面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	116	m ²			
OS塗り 改修仕様	木部 下地調整RB種(塗替え面)	11.1	m ²			
OSCL塗	木面 下地調整RB種	42.8	m ²			
(天井)						
EP-G塗り 改修仕様	モルタル面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	8.1	m ²			
(雑)						
OS塗り 改修仕様	木部 下地調整RB種(塗替え面)	401	m ²			
OS塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 下地調整RB種(塗替え面)	19.3	m			
SOP塗	鉄鋼面 糸巾 下地調整RB種	64	m			

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 武道場		内外装		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(床)						
防滑ビニル床シート	t=2.5	10.6	m ²			
(巾木)						
防滑ビニル床シート	t=2.5	1.9	m ²			
(壁)						
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け - -	35.9	m ²			
化粧けい酸カルシウム 板	t=6	35.9	m ²			
(天井)						
化粧石こう吸音板	t=9.5	10.6	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	18.6	m			
(雑)						
小口補修	家具	66.5	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 武道場		外壁改修		外壁改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
下地調整塗材C-1 (基準単価)	- 吹付け	3.7	m ²			
下地調整塗材C-1 (基準単価)	- 吹付け	13.2	m ²			
下地調整塗材C-1 (基準単価)	- 吹付け	1.8	m ²			
下地調整塗材C-1 (基準単価)	- 吹付け	52.5	m ²			
下地調整塗材C-1 (基準単価)	- 吹付け	1.8	m ²			
水洗い工法	9MPa以上	283	m ²			
シール工法	0.2mm未満	269	m			
B-2 打放し面Uカットシール 材充填工法	1.0mm以上 挙動 有り	478	m			
充填工法	ポ ^リ マ ^ー セ ^{メント} モ ^{ルタル}	25.4	m ²			
防災倉庫	一時撤去・復旧	1	か所			
倉庫	一時撤去・復旧	1	か所			
水洗い工法	9MPa以上 屋根 クリーニング	102	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 武道場		塗装改修		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
SOP塗り (糸幅300mm以下)	鉄鋼面 工程B種 錆止現場1回共	51.5	m			
コータール塗	鉄鋼面 下地調整RB種	2.1	m ²			
複層塗材RE	コンクリート面 下地調整RB種	47.1	m ²			
軒先						
複層塗材RE	コンクリート面 下地調整RB種	47.1	m ²			
柱型						
複層塗材RE	コンクリート面 下地調整RB種	10.2	m ²			
外壁						
複層塗材RE	コンクリート面 下地調整RB種	230	m ²			
軒裏						
複層塗材RE	コンクリート面 下地調整RB種	15.7	m ²			
梁型						
複層塗材RE	コンクリート面 下地調整RB種	5.5	m ²			
軒裏						
可とう形外装薄塗材E	コンクリート面 下地調整RB種	69.9	m ²			

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 武道場		解体		解体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
リシ吹付	柱型	10.2	m ²			
リシ吹付	外壁	236	m ²			
リシ吹付	軒先	40.3	m ²			
リシ吹付	軒裏	51.1	m ²			
アクリリシ吹付	軒先	6.8	m ²			
アクリリシ吹付	軒裏	21.3	m ²			
シーリング撤去	集積共	154	m			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20~30mm	7.2	m			
床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	11.2	m ²			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	20.3	m ²			
壁モルタル・プaster撤去	集積共	10.9	m ²			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレイカ 集積共	0.09	m ³			
天井下地撤去	集積共	11.2	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 石綿含有 集積共	11.2	m ²			
テラゾブロック	t=30	0.3	m ²			

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 武道場		解体		解体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
CB撤去	コンクリートブレイカ 集積共	0.18	m ³			
壁クロス撤去	集積共	24.5	m ²			
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	0.7	m ²			
AD3	扉枠共	2	か所			
AD4	扉枠共	2	か所			
AD5	扉のみ	2	か所			
WD2	トイレブース W1900H2000D1145	1	か所			
WD2	トイレブース W950H2000D1145	1	か所			
シーリング撤去	集積共	203	m			
高圧水洗浄	150～200kg/cm ²	16.2	m ²			
高圧水洗浄	150～200kg/cm ²	2.2	m ²			
たてどい撤去	鋼管 集積共	16.4	m			
ポリエステル化粧合板	フラッシュ t=30	3.3	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

宮浦中学校 武道場		発生材処理		運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホ0.13m3 無筋コンクリート類 DID区間無し 60.0km以下	2.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 60.0km以下	0.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホ0.13m3 無筋コンクリート類 DID区間無し 60.0km以下	1.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホ0.13m3 木材類 DID区間無し 60.0km以下	0.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 60.0km以下	0.01	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	2.5	m3			
発生材積込み	ボート・木材類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	1.5	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.4	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.01	m3			
計						

建築工事 別紙明細

宮浦中学校 屋内運動場		解体				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
リソ吹付 外壁, 屋根, 壁, 天井	下地調整材【アスベスト含有】	1	式			別紙 00-0001
床養生	プラスチックシート(厚0.15mm以上)二重+吸水シート	290.8	m ²			
床養生	プラスチックシート(厚0.15mm以上)一重	769.2	m ²			
壁・開口養生	プラスチックシート(厚0.08mm以上)一重	1,115.3	m ²			
天井養生	プラスチックシート(厚0.08mm以上)一重	290.8	m ²			
外壁塗材撤去(下地調整材共)	AGハブシステム	1,485	m ²			
内壁塗材撤去(下地調整材共)	AGハブシステム	166.3	m ²			
AGハブシステム機械 接地解体費		1	式			
AGハブシステム機械 運搬費	4tユニット 燃料費共	3	車			
AGハブシステム設置 箇所屋根設置	W5.0*L5.0*H3.0程度(単管, コンパネ)	1	式			
発電機	45KVA 燃料, 運搬費共	1	式			
コンプレッサー	7.5馬力 アフタークーラー付き 燃料・運搬費共	1	式			
カーブアップ剤散布	除去面	1,651.3	m ²			
廃赤面密封処理	二重梱包(除去塗材, 床養生材共)	1	式			
清掃費	施工区画二回清掃	1,060	m ²			

